

質疑応答書

工事名:新市立島田市民病院建設工事

工事場所:島田市野田1200番地の5

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1 現場説明書	現地確認について	現場説明会は開催しないと記載されていますが、改修部分など現地を確認しないと適切な見積ができないと判断します。個別の現場確認会を実施していただけますか。(同様の質問複数あり)	発注者による現場説明会は実施しません。 既存建屋及び敷地内での調査については、一般の市民の立ち入りが可能な共用部分の調査は可としますが、病棟部分等は不可とします。また、運営中の病院施設であるため、患者さんへの迷惑、診療への支障が無い様注意してください。また、写真撮影等を行う場合は患者さんのプライバシー及びマナーに十分配慮してください。 なお、来院時には入札公告1-3記載の病院建設推進課に電話にて前日までに事前連絡を行い、調査終了時にも電話にて病院建設推進課にご一報ください。 発注者側の立会いも行いません。
2 入札公告 1-4	工事期間について	月日の記載のある工事着手、新病院完成、既存棟・改修・解体・撤去・外構工事完了を遵守する前提で、例えば解体工事の着手時期を提案することはよいでしょうか	提案することは可能です。
3 入札公告 個別事項 1-6-2 施工者決定のフロー	質疑追加提出をお願いします。	質疑期間が、10/10見積資料受領日から10/16提出日まで実質5日しかありません。建物規模及び設計内容もボリュームが大きいので、再度質疑提出の機会を設定していただけないでしょうか。(同様の質問複数あり)	設計図書に関する質疑のみを追加で受け付けます。 期間は10月23日(月)から10月27日(金)までの午前9時から午後5時までとし、回答は11月6日(月)に市立島田市民病院ウェブサイトにて回答します。 なお、①VE提案に関する質疑、②9月29日と10月23日の質問の回答で既に回答済みとなる質疑、③前2回の回答に対する再質疑は受け付けません。 今回の質疑期間の追加に伴う全体スケジュールの変更はありません。
4 入札公告 個別事項 1-6-2 施工者決定のフロー	VE提案書提出日延長をお願いします。	VE検討期間が、10/10見積資料受領日から11/8提出日まで実質22日しかありません。建物規模及び設計内容もボリュームが大きいので、提出日の3週間程度の延長をお願いします。	VE提案書の提出期限について、提出期限の延長は行いません。
5 入札公告 個別事項 1-8-2 イ 配置予定技術者の能力	病院使用中工事の施工実績	配置予定技術者が、同種工事の他に公共の病院での病院使用中工事の施工実績を有する場合(同種工事と同規模ではない)、評価して頂けるでしょうか。	入札公告・個別事項1-5(1)ア⑤の要件を満たす工事の施工実績のみを評価の対象とします。
6 入札公告 個別事項 1-8-2 エ 技術提案、及び、入札公告 個別事項 1-6-2 施工者決定のフロー	既存建物と新築建物の重ね図をデータで下さい。	技術提案及び見積の仮設計画検討のために、既存建物と新築建物との位置関係のわかる図面が必要です。データでいただけないでしょうか。	設計図書のPDFデータを活用してください。
7 入札公告 1-10-⑮	工事費内訳書	工事費内訳書は様式26のみとし、内訳明細書は不要と考えてよろしいでしょうか。	入札時に提出する工事費内訳書は様式26のみです。ただし、入札価格が調査基準価格を下回った場合は、その調査のために入札後に詳細な内訳書の提出を求めます。 また、内訳書は工事請負契約後に必要となります。
8 入札公告 1-10-⑮	工事費内訳書	様式26の指定項目に該当しにくい項目は任意に追加してよろしいでしょうか。 (例)電気設備工事:既存病院解体工事 など	指定項目以外の項目の追加は認めません。 事例の場合は建築工事の既存病院解体工事を含めてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
9	入札公告 1-7-1(4)ア(エ)	VE提案内訳書について	様式3には、VEを包括的に記載し、VE提案内訳書にはそれに含まれる複数の項目を記載すると理解してよいでしょうか	お見込みの通りです。 VE提案は1枚につき1提案とし、額の多い順に10提案まで提出することができます。またVE提案内訳書は各提案ごとに作成し、提出してください。
10	入札公告 1-7-1(4)ア(エ)	VE提案内訳書について	上記の場合、VE提案内訳書の項目毎にVEを採否されると理解してよいでしょうか	様式3のVE提案書に記載の提案ごとにVE提案の採否を行います。 一つの大項目の中に、小項目が5項目があった場合、小項目(5項目)ごとではなく、大項目一つにおいてのみ評価します。つまり、小項目(5項目)のうち、1項目でも不採用の場合は大項目が不採用となります。
11	入札公告 1-7-2	VE対象項目について (仮設計画)	新病院建設に係る現駐車場は、H30.4～H33.8まで不使用となっています(H29.7.5ホームページ掲載)。STEP②の仮囲範囲はSTEP③以後の範囲と同じとしてよいでしょうか。	STEP②の仮囲範囲はSTEP③以後の範囲と同じとしてください。STEP2における敷地南東側の範囲については、協議の上決定します。
12	入札公告 1-8-1(3)ア(サ)	技術資料の様式について	様式1ー3 はA4 としてよいでしょうか	A4で提出いただいても構いません。
13	入札公告 1-8-2(1)(オ)	全体工程表について	クリティカルパスの各工程に主要資機材の概算数量を記入とありますが、資機材名の指示がありましたらご教示ください。	杭(本数、重機台数)、山留(枚数、重機台数)、土工事(土量m ³)、鉄骨(ピース数)、外壁(外装材m ²)、耐火被覆(m ²)等記載願います。
14	入札公告 1-8-2(1)ア	企業の施工能力について	完成した施工実績の期日につきまして、技術資料提出時に完成が確認できる資料があれば認められると考えてよろしいでしょうか。	技術資料の提出時において、完成が確認できる資料の添付があれば、評価の対象とします。(完成見込みは対象となりません。)
15	入札公告 1-8-2(1)イ	配置予定技術者の能力について	「工事の着手から完成までの全期間従事したことが確認できる工事を評価の対象とする。」とございますが、一部の期間欠けていた場合は、評価対象にはならないと考えてよろしいでしょうか。	評価の対象外とします。
16	入札公告 1-8-2(1)ウ	地元活用について	資材、物品調達とございますが、現場事務員、警備員等人的サービスも含まれると考えてよろしいでしょうか。	現場事務員、警備員等の直接雇用は地元活用には含めません。ただし、島田市内の事業者への委託については可とします。
17	入札公告 1-8-2(1)エ(オ)	工程管理に関する提案について	全体工程表記載事項において、各工程主要工事資機材の概算数量を記述することと記載がありますが、想定されている主要工事資機材名を具体的にご教授願います。	杭(本数、重機台数)、山留(枚数、重機台数)、土工事(土量m ³)、鉄骨(ピース数)、外壁(外装材m ²)、耐火被覆(m ²)等記載願います。
18	入札公告 1-8-2(1)エ技術提案(イ)ウ)	提案のため現状病院周辺交通量調査実施について	公開資料に昨年実施の交通量調査結果データがありますが、車両のみの調査のため歩行者・自転車等の状況も含めて再度詳細に調査を実施することは可能でしょうか。調査実施に当たっては、実施計画作成の上病院運営に支障を生じないようにいたします。(道路使用許可申請も行います。)	発注者としての指示は行いませんので、企業の責任においてご判断ください。
19	入札公告 1-9-2	プレゼンテーション・ヒヤリングについて	一般市民等がリアルタイムに視聴できる公開形式でしょうか。	プレゼンテーション・ヒヤリングは非公開とします。
20	入札公告 1-9-2	プレゼンテーション・ヒヤリングについて	現場代理人と監理技術者を別々に配置したい場合、その両者共出席必須でしょうか。	入札公告・個別事項に記載のとおり、現場代理人、監理技術者の出席は必須とします。
21	入札公告 1-9-2(1)	プレゼンテーション・ヒヤリングについて	会場の部屋の大きさ(○m×△m)や席・機器類の配置について、具体的なプレゼンテーション・ヒヤリングの時間・場所を、通知いただく際に併せて御提示いただけますでしょうか。	概要については、通知の際に可能な範囲でお知らせします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
22	入札公告 1-9-2(2)ア	プレゼンテーション・ヒアリングについて	プレゼンテーションの際に「プレゼンテーションに使用する資料は技術提案を基本とし・・・」との記載がありますが、これはプロジェクターにて表示する場合においても技術資料以外のものは認めない、ということよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
23	入札公告 1-9-2(2)イ	プレゼンテーションについて	プレゼンテーション時に持参する記憶媒体はCDのみとされておりますが、非常時を想定してパソコンを持参することを許可いただけませんか。	パソコンの持参は認めますが、プレゼンテーション時に使用するパソコンは原則として発注者が用意したものとします。
24	入札公告 1-9-2(2)イ	プレゼンテーションについて	データ形式のパワーポイントのバージョン及びプロジェクターの機種について教えてください。	パワーポイントのバージョンは2010です。 プロジェクターの機種は、EPSON EB-G5350(またはEB-W28、X18)の使用を想定しています。 接続ケーブルは、D-sub15ピンです。
25	入札公告 1-9-5	評価内容の担保について	減額の算出式の α は「1-9-1(4)技術提案」のみが対象と考えてよいでしょうか	1-9-1(1)企業の施工能力のうち現場管理体制、(2)監理技術者の資格及び監理技術者の施工経験、(3)地元活用の地元調達率及び注意事項遵守手法、(4)技術提案の各提案が対象となります。
26	入札公告 2-9(4)	島田市建設工事請負契約約款について	第26条のいわゆる物価スライド条項は本件に適用されるとしてよいでしょうか	島田市建設工事請負契約約款第26条の規定は有効です。また、予算上の制約はありますが、必要な協議に応じます。
27	入札公告 2-9-(4)-キ	低入札調査基準価格について	VE提案により各社入札価格が下がることが予想されますが、低入札調査基準価格は当初の予定価格から算出されたものが基準となるのか、又はVE提案が反映された金額が基準となるのでしょうか。御教示をお願いします。	低入札調査基準価格は、当初の予定価格から算定したものとします。 なお、VE提案により入札価格が下がることが予想されるため、低入札価格調査に該当した場合には、工事費内訳書には採用されたVE提案による減額分が比較できるよう記載をお願いします。(VE提案による減額分を考慮した上での調査とします。)
28	入札公告 様式26	工事費内訳書について	押印は必要でしょうか	電子入札システムにより工事費内訳書を提出する場合には押印は不要ですが、紙入札方式により提出する場合には押印が必要となります。
29	入札公告に関する補足説明 【補助内容③】	総合建設業者の下請について	総合建設業者とは建築一式、土木一式の許可を持つ市内の会社としてよいでしょうか。	お見込みの通りです。
30	入札公告に関する補足説明 【補助内容③】	総合建設業者の下請について	市内会社が下請として市外会社とJVを組む場合、市内会社のJV比率に応じた工事金額は地元貢献率に算定できますか	下請とする共同企業体の出資比率のうち、市内業者分のみを地元調達率の算入対象とします。 ただし、市内業者のうち下請階層の最上位の契約額のみを算入可能とします。
31	入札公告書(個別事項) P21～22 現場説明書 P2	前払金、中間前金払	当該会計年度における支払限度額とありますが、支払限度額をご教授ください。	支払限度額は契約金額と提案工程に基づく出来高に応じて算定します。 なお、基本設計に基づき建設工事に係る継続費を予算計上しておりますが、各年度の年割額としてはH30年度2,236,000千円、H31年度4,823,000千円、H32年度10,763,000千円、H33年度1,259,000千円、H34年度627,000千円を見込んでいます。(この金額には工事監理料を含んでいます。) 継続費については、将来設計変更があった場合においても予算の変更は考えておりません。
32	技術資料様式	技術資料様式1-2、1-4-②、1-5、2-1、2-2等A3様式について	各A3サイズの様式については、ワードにてデータ提供いただいておりますが、提出はPDFであるため、作成においてはワード以外のデータでの作成とさせていただいてよろしいでしょうか。また、各様式下部欄外に記載の注1)、2)については提出物では削除してもよろしいでしょうか。	作成時のデータ形式は問いませんが、提出物のデータ形式は入札公告書に記載のデータ形式とします。 各様式下部欄外の記載については、削除しても構いません。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
33	VE提案様式	VE提案様式3について	作成時のデータ形式は問いませんが、提出物のデータ形式は入札公告書に記載のデータ形式とします。各様式下部欄外の記載については、削除しても構いません。
34	その他	式典について	発注者主催の式典は、新病院開院セレモニー、グランドオープンセレモニーを想定しています。起工式は行いません。(受注者主催の安全祈願祭程度を想定していますので、見積にて見込んでください。) 想定人数については現時点では具体的な検討はしておりません。400床から500床規模の公立病院における一般的な規模を想定してください。
35	その他	配置図CADデータについて	提案書等作成において、配置図のCADデータを利用したいのですが、送付をお願いできますでしょうか。
36	各設計図書	図面CADデータについて	設計図書のPDFデータを活用してください。
37	現場説明書p.4 その他の事項4	駐車場用地について	技術提案書作成及び積算用仮設計画のため、設計図書CADデータの提供をお願いできないでしょうか。 提供希望図面:A-005、006、019～041、325～328、R-013～014、C-027～032、S-22～45、S-078,081～082、102～104、206～212、304
38	現場説明書p.4 その他の事項4	残土仮置き用地について	工事関係者の通勤車両の駐車場として、近隣の市有地を借用することは可能でしょうか。
39	現場説明書P.5 その他の事項6(9)	土壌調査について	掘削土の仮置き場として、近隣の市有地を借用することは可能でしょうか。
40	現場説明書p.5 その他の事項6(19)	土壌調査について	土壌調査は別途工事と考えてよろしいでしょうか。本工事であれば調査方法、調査範囲など具体的な仕様をご指示ください。
41	現場説明書p.6 その他の事項10	歩行者用仮設通路について	新病院の仮使用中、エントランスまでの歩行者用仮設通路(屋根付き)を確保するとありますが、変更の提案をしてもよいでしょうか。
42	工事費内訳書 工事ステップ図(1)(2)	指定科目に含む範囲	仮設計画を行うためにVE、技術提案の検討時にCADデータを貸与いただけませんか。
43	工事費内訳書P.125細目別内訳 S-201	基礎杭解体 杭φ500 L=32m 28本と 基礎杭解体 杭φ500 L=36m 28本とありますが、解体図面一式の中に杭の図面が見当たりません。杭の図面を御提示願います。	設計図書のPDFデータを活用してください。
		工事費内訳書の建築工事の下位の指定科目に於いて、それぞれの科目に含む範囲が不明です。科目名は、工事ステップ図の各STEPの注釈に対応するものと考え、下記の通りと判断しますが宜しいですか。 インフラ切廻し工事:STEP②のNo.4関連 浄化槽新設工事:STEP②のNo.5関連 既設浄化槽解体工事:STEP③全般 新棟建設工事:STEP④全般 既存救急センター改修工事:STEP⑤No.10関連 既存健診センター改修工事:STEP⑤No.11関連 既存病院解体工事:STEP⑤No.9・No.12関連 外構整備工事:STEP⑥全般 ※解体や外構は、各STEPに計上	原則不可とします。数台程度であれば協議に応じます。
			原則不可とします。
			土壌汚染対策法に伴う土壌汚染調査は別途であり、実施済みです。調査結果については基準値以下です。既存病院下部については解体時に別途調査します。原則として工期変更は考えておりません。汚染が確認された場合の処分費用負担は別途協議とします。
			提案下さい。来院者及び関係者の安全を確保し、病院運営に支障が無いようお願いいたします。
			設計図書のPDFデータを活用してください。
			お見込みの通りです。
			意匠別紙3を参照ください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
44	工事費内訳書P.98細目別内訳 S-201	既存浄化槽新築 コンクリート工事	コンクリート内訳において、FC-27Nのみです。機械基礎及びかさ上げ(コーナーほか)のコンクリートについても、すべてFC-27Nと考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
45	参考数量書	参考数量書の取扱いについて	入札における参考数量書の取扱いが不明です。参考数量書の項目及び数量は、あくまで参考とし、入札金額は、参考数量書以外の見積図書による、各入札参加者独自の積算に基づくものと判断いたしますが、宜しいですか。	お見込みの通りです。 ただし、参考数量書は設計変更が生じた場合、請負金額の変更にあたって受注者と協議する根拠資料となります。
46	参考数量書	参考数量書の細々目別内訳について	電気設備工事他設備工事の参考数量にて、ケーブル・電線管・保温塗装工事・スプリンクラー配管類等が一式となっていて数量が不明となっています。細々目別内訳を頂けませんか。	追加資料の別紙明細を参照してください。
47	参考数量書P-173	外壁 押出成形セメント板について	参考数量書 既製コンクリート 外部 押出成形セメント板張り 縦張り デザインパネル 6項目が同じ項目で、摘要欄にデザインパネルの種類の記入がありません。御指示下さい。	立面図、外部材料表を参照してください。
48	参考数量書P-181	外壁タイルについて	参考数量書 タイル工事 外部で役物タイルの記入がありませんが、使用場所なしと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。但し、外構にはございます。
49	参考数量書P-189	接続庇について	参考数量書 金属 外部に計上されている、接続庇 2項目の設置場所が不明です。御指示下さい。	メインエントランスと時間外玄関です。
50	参考数量書P-189	スラブ小口金物について	参考数量書 金属 外部に計上されている、スラブ小口金物 アルミ B-2 ブラック I-75*150 取付金物共が部分詳細図には見当たりません。設置場所を御指示下さい。	矩計図に図示がございます。マットシルバーとしてください。(スラブ先端)
51	参考数量書P-189 A-175	外壁 押出成形セメント板 足元見切について	参考数量書 金属 外部に計上されている、壁セメント板足元見切 アルミ既製品 B-2 ブラック L-75*75*4が、部分詳細図(10) 押出成形セメント板詳細図には見当たりません。設置場所を御指示下さい。	矩計図(2)に図示がございます。(アスロック下端)
52	参考数量書P-304	垂直式救助袋について	参考数量書 エント及びその他 外部に計上されている、垂直式救助袋 2項目の設置場所を御指示下さい。	平面詳細図を参照してください。 2,3F東側バルコニーです。
53	参考数量書P563	アイソレーショントランスの工事区分について	医用接地設備において参考数量書P563のアイソレーショントランス31面は、別途医療機器工事との解釈で宜しいでしょうか。	アイソレーショントランス31面は建築工事に含まれます。アイソレーショントランス31面への医用接地線の接続は電気設備工事とします。
54	参考数量書P693	浄化槽新設の小口径柵について	参考数量書には小口径柵4個の記載がありますが、図面の記載箇所が不明です。該当図面を御指示下さい。	図番P-126、P-135の、GT-1:グリストラップ、GT-2:グリストラップの前後に各2個×4個を追加します。
55	参考数量書P693	浄化槽新設の小口径柵について	参考数量書には小口径柵4個の記載がありますが、図面の記載箇所が不明です。該当図面を御指示下さい。	図番P-126、P-135の、GT-1:グリストラップ、GT-2:グリストラップの前後に各2個×4個を追加します。
56	参考数量書P693	浄化槽新設の小口径柵について	参考数量書には小口径柵4個の記載がありますが、図面の記載箇所が不明です。該当図面をご指示下さい。	図番P-126、P-135の、GT-1:グリストラップ、GT-2:グリストラップの前後に各2個×4個を追加します。
57	参考数量書P693	浄化槽新設の小口径柵について	参考数量書には小口径柵4個の記載がありますが、図面の記載箇所が不明です。該当図面を御指示下さい。	図番P-126、P-135の、GT-1:グリストラップ、GT-2:グリストラップの前後に各2個×4個を追加します。
58	参考数量書P693	浄化槽新設の小口径柵について	参考数量書には小口径柵4個の記載がありますが、図面の記載箇所が不明です。該当図面をご指示下さい。	図番P-126、P-135の、GT-1:グリストラップ、GT-2:グリストラップの前後に各2個×4個を追加します。
59	参考数量書P-89	インフラ切り回し工事について	参考数量書で計上されている インフラ切り回し工事 建築工事 解体工事に関する図面が見当たりません。御指示下さい。	K002、K003です。
60	設計図書	参考数量書について	配付された設計図書のうち、参考数量書はあくまで参考数量であり、設計書ではなく契約図書には含まないと解釈して宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。 ただし、参考数量書は設計変更が生じた場合、請負金額の変更にあたって受注者と協議する根拠資料となります。
61	設計図書	参考数量書について	参考数量書がPDFですがエクセルデータで配付していただけますか。	参考数量書であるため、配布はしません。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
62	数量書	数量書の扱いについて	ご提示いただいた数量書を基にしてよろしいでしょうか。その場合実施の段階で項目及び数量に違いがあった場合は、追加変更の対象となると考えてよろしいでしょうか。	提示した参考数量書は、予定価格を算出するための根拠資料です。数量は入札参加者の責任により算出してください。数量に疑義が生じた場合は契約締結後協議の上決定します。
63	建築工事特記仕様書 2/61 第2 仕様 3	使用約款の特定について	(2) 島田市建設工事請負契約約款は、島田市のホームページに御座います。最終改正 平成29年4月1日 版の島田市建設工事請負契約約款でよろしいでしょうか。御指示下さい。	島田市のウェブサイトにて平成29年10月1日適用の島田市建設工事請負契約約款が掲載されておりますので、そちらをご参照ください。
64	建築工事特記仕様書 付記-1 2設計図書等の取扱い a	設計図書に記載されていない仕様について	設計図書に書かれない、工事の進め方や仮設については施工者としての経験と実績に基づき積算いたしますが、下地の材質や補強方法等、設計図書に記載されていない仕様については、判断つきかねますので、追加項目がある場合は、協議させていただきたくお願い致します。	一般的な下地の材質及び補強方法については本工事に含むものとし、特殊な材質及び工法の場合は協議します。
65	b	施工図(生産設計)の定義について	施工図(「生産設計」とは「設計図書情報では詳細図が作成できない場合に、設計者が施工者と共に施工図を基に設計内容を検討し決定すること」ではなく、「施工者が設計図書に基づき作成する工事のための詳細図(施工図)を作成すること」と解釈してよろしいでしょうか。ご指示下さい	お見込みの通りです。
66	3別契約の関連工事 abcd	別途工事との施工工程調整及び施工への影響を想定する為	別契約の関連工事、発注者発注機器の工事及び搬入に関して、工程を御指示下さい。	別契約の関連工事としては、休日診療所改修工事(H33.4~7月)、防火水槽撤去工事(H33~H34)、道路拡幅工事(H33~H34)となります。なお、発注者発注機器の工事及び搬入に関しては、H32年頃を予定しておりますが詳細は未定です。
67	5設計変更 b	設計変更における工事単価について	増減内訳書における工事単価は、工事請負契約時の工事単価とするとございますが増加部分については、変更時に再調達を行うこととなりますので、変更時の時価によるものとしていただけないでしょうか。根拠として建設業法第19条の3(不当に低い請負代金の禁止)に抵触する事を誘発する虞がある為、国土交通省の『発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドライン』に準拠するものです。また、当該、特記仕様の記載に関わらず、「特別な要因により工期内に主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ、請負代金額が不相当となったとき」請負代金額の変更を請求できる、所謂、『単品スライド条項』は適用されるという解釈でよろしいでしょうか。	公共工事積算基準に基づき、設計変更における工事費積算に用いる単価及び価格は当初設計における工事費積算時の単価及び価格とします。ただし、新たに種目が追加された場合の単価及び価格は、変更の時期により総括監督員が指示し、又は承諾した時点の単価及び価格とします。また、特別な要因により工期内に主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ、請負代金額が不相当となったと認めるときは、島田市建設工事請負契約約款第26条第6項の規定によることとなります。また、予算上の制約はありますが、必要な協議に応じます。
68	6建物経年調査 ab	損耗調査の定義について	『「損耗調査」について、適用される対象や代表的な基準値を例示ください。なお明らかに異常な損耗が発見された場合、その原因特定や処置の決定については発注者、設計者、施工者が協議し合意の上決定するとしてよろしいでしょうか。御指示下さい。	損耗調査とは、瑕疵検査において通常とは異なり、建物及び部材が著しく損傷及び消耗している部分を確認し是正することです。目視確認により協議します。基準値はありません。瑕疵担保の期間内、1年目及び2年目の2回行います。その他、受注者の判断において行います。原因特定や処置の決定については、発注者、設計者、施工者による協議の場を設け、法令及び島田市建設工事請負契約約款に基づき、適切に処理することとなります。
69	9外壁防水の瑕疵担保期間	劣化、不可抗力における責任分担について	「瑕疵に起因する漏水について施工者が無償で補償する」としてありますが、漏水原因が瑕疵に起因するかどうか、施工者が負担すべき瑕疵比率はどの程度か、に関する判断は、発注者、設計者、施工者が協議し合意の上定めることとしてよろしいでしょうか。また、施工者が補償すべき漏水損害の範囲が明確ではありません。漏水により建物や備品に損害が生じた場合、原因及び補償負担者・金額については都度、発注者、設計者、施工者が協議し合意の上定めることとしてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お尋ねの事項については、発注者、設計者、施工者による協議の場を設け、法令及び島田市建設工事請負契約約款に基づき、適切に処理することとなります。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
70	16施工条件 a1)	近隣協定の有無及び内容について	現時点で適用となる近隣協定がございますでしょうか。またございましたら、その制約条件を御指示下さい。	協定を結んでいる事項は現時点ではありませんが、近隣住民とは計画策定段階から説明や話し合いを行っています。 近隣住民からは施工中の安全管理、騒音、振動、粉塵等への配慮を求められています。
71	17施工中の安全確保 b14、15		「受注者の責任において処理する」範囲は、「請負者が近隣等からの苦情の受付窓口となって、その内容に応じて起因対象を特定した上で、起因者に連絡すること」とし、受注者における損害賠償の責任範囲は、工事に起因する事象が対象であり、建物そのものに起因する、日照、ビル風、電波障害等は受注者の損害賠償の対象外と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	施工中の苦情処理等については、原則として監督員と十分協議の上、受注者の責任において適正に処理して下さい。また損害賠償の責任範囲についても、工事に起因するものを対象とし、監督員と十分協議の上、受注者の責任において処理してください。 工事を起因としないものについても、情報の提供があり次第速やかに監督員へ報告をおこなってください。
72	建築工事特記仕様書	ガラス止めシーリングの種類について	ガラス止めシーリングの種類について、建築工事特記仕様書24/61に「金属-ガラス(外部):変性シリコン系」とありますが、2成分形変性シリコン系と考えてよろしいですか(外部・内部共)。	お見込みの通りです。
73	建築工事特記仕様書 17/61	鉄骨工事	施工管理技術者を適用すると記載ありますが、具体的な資格名をお示し下さい。	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事監理指針 に準ずる建築高力ボルト接合管理技術者、建築鉄骨超音波検査技術者、建築鉄骨製品検査技術者、鉄骨工事管理責任者
74	建築工事特記仕様書 59/61 追加特記仕様書	遠隔地からの建設資材調達について	遠隔地とは、海外と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
75	建築工事特記仕様書 P.9	建設発生土の場内指定場所	3 土工事の2 建設発生土の処理に、近隣の受入先へ搬出する他に、“場内指定場所に敷き均し”という指示もありますが、この場合の指定場所と規模を御指示下さい。	場内指定場所はございません。近隣受入れ先へ搬出としてください。
76	建築工事特記仕様書 P.9	地盤の載荷試験	4 地業工事の2 地盤の載荷試験について、平板載荷試験の部分に適用の○がありますが、2 地盤の載荷試験そのものにはついていませんので、今回は対象外と解釈してよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
77	建築工事特記仕様書 3/61	発生材処理について	金属類が引渡しとありますが、解体工事で発生する鉄骨・鉄筋のスクラップは受注者の自由処分は不可で、発注者に引渡さなければならないと考えてよろしいでしょうか。	自由処分としてください。
78	建築工事特記仕様書 A-29	アルミ製建具の性能等級について	アルミ製建具の性能等級について、建築工事特記仕様書36/61で「B種:S-5・A-3・W-4」とあります。高さ31mを超える建物ですが、記載の通りと考えてよろしいですか。	S-5、A-4、W-5としてください。
79	建築工事特記仕様書 特記仕様書 付記-1	モックアップの範囲について	モックアップの有無・範囲について、建築工事特記仕様書36/61で建具見本の製作を行わないとありますが、特記仕様書 付記-1ではモックアップ製作範囲:カーテンウォール他とあります。モックアップの範囲をご指示下さい。	カーテンウォールのモックアップ作成をお願いします。 半スパン分2層を想定してください。
80	特記仕様書付記-1 A-134	モックアップについて	特記仕様書付記-1において、モックアップ作成範囲にカーテンウォール他とありますが、下記について御指示下さい。 ①作成範囲・作成寸法 ②モックアップの作成位置(例:足場に施工等々) ④他とありますが、カーテンウォールに必要な範囲御指示下さい。	カーテンウォールのモックアップ作成をお願いします。 半スパン分2層を想定してください。
81	特記付記1	モックアップの作成範囲について	モックアップの作成範囲について、特記仕様書 付記-1 1章.項目13.施工図等において、c.モックアップ作成範囲(カーテンウォール他)の指示があります。モックアップの範囲を御指示下さい。	カーテンウォールのモックアップ作成をお願いします。 半スパン分2層を想定してください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
82	A-00	モックアップ作成範囲について	特記仕様書 付記-1 モックアップ作成範囲について、カーテンウォール他とありますが、モックアップ作成箇所数及び付記-2のカーテンウォール工事-モックアップサンプルの作成するが共に該当なし(□)となっています。モックアップは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	カーテンウォールのモックアップ作成をお願いします。半スパン分2層を想定してください。
83	建築工事特記仕様書(建築工事) 参考図各山留計画図	各山留計画について	特記仕様書では図示の山留については指定仮設とすること。また、参考図各山留計画図では原則山留は指定仮設とする。と記載がありますが、山留計画については原則との記載により、詳細かつ最適な計画を実施し、見積に反映させていただいてよろしいでしょうか。	よろしいです。また、VEとして提案は可とします。
84	建築工事特記仕様書(建築工事) 参考図各山留計画図	各山留計画について	山留計画については指定仮設と記載されていますが、山留壁については指定であると考え、切梁等の支保工については任意と考えてよろしいで	お見込みの通りです。
85	建築工事特記仕様書34/61	天井補強について	天井フクロがH1500以上の場合の補強方法をご指示下さい。 又、ブドウ棚の設置は必要でしょうか。必要であれば部材設置範囲をご指示下さい。	標準仕様書の通りです。ブドウ棚は不要とします。
86	建築工事特記仕様書9/61・ 参考設計書129	残土処分について	参考設計書で処分欄がありません。運搬処分としてよろしいでしょうか。また、残土が調査により汚染が確認された場合、処理方法・工程について協議いただき、費用をご精算いただけたらと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	残土処分は運搬処分としてください。 既存病院下以外については、土壌汚染調査を実施済みです。調査結果については基準値以下です。既存病院下については解体時に別途調査します。汚染が確認された場合の処分費用負担は別途協議とします。
87	建築工事特記仕様書P21 A-028・029・032	押出成形セメント板の幅の使い分けについて	建築工事特記仕様書P21 8章コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事において、押出成形セメント板の幅が「600・900」とありますが、使い分けが不明確です。矩計図(2)で一部のパターンを図示があり、立面図でも幅が違うような図面の表記のされ方がされていますが、積算できる状態ではありません。押出成形セメント板の幅600・900の使い分けがわかる図面の発行をお願い致します。	低層部の幅は基本的に600幅とスタイル部分、A+B B+C C+D D+E部分、南側立面図のJ-L通り間の着色部分、病棟の凹凸部分以外の縦長窓部分等としてください。その他の寸法は立面図の通りです。病棟部分については意匠別紙21を参照してください。
88	建築工事特記仕様書P24 A-031	地中外周廻り塗膜防水の仕様について	地中外周廻り塗膜防水の仕様に相違があります。 ・建築工事特記仕様書P24 9章防水工事 — Y-1 ・矩計図(1) — Y-2 Y-1を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
89	建築工事特記仕様書P32	立てハゼ葺きのメーカーについて	建築工事特記仕様書P32 13章屋根及びとい工事において、立てハゼ葺きのメーカーに「元旦ビューティ工業同等品」とありますが、「元旦ビューティ工業同等品」では縦葺きの商品が数多くあり、程度の判断が出来ません。 板厚毎に、商品名などをご指示ください。	庇の各詳細図を参照ください。
90	建築工事特記仕様書P34	天井軽鉄下地の耐震性について	建築工事特記仕様書P34において、軽量鉄骨天井下地の耐震性を考慮した補強方法が図示とありますが、意匠図では指示がなく不明です。補強方法及び該当範囲を御指示下さい。	耐震天井の使用が無いため、無しとします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
91	建築工事特記仕様書P36 A-217 建築工事特記仕様書P43	カーテンウォールの仕様の相違について	カーテンウォールの仕様の相違があります。 ・建築工事特記仕様書P36 — B-1 マットシルバー ・建具詳細図(1) — マットシルバー ・建築工事特記仕様書P43 — B-2種ブラック系 マットシルバーを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
92	建築工事特記仕様書P39	鍵箱の数量について	建築工事特記仕様書16章建具工事において、11鍵に鍵箱の指示がありますが、設置数及び同等メーカー・品番が不明です。設置数及び同等メーカー・品番を御指示下さい。	240組用6箇所とします。 中等品としてください。
93	建築工事特記仕様書P41 A-120	アルミ建具のガラス留め材について	アルミ製の部分のガラス留め材の仕様に相違があります。 ・建築工事特記仕様書P41 — ガスケット ・建具共通事項 — シーリング ガスケットを正と考えて宜しいですか。	シーリングを正としてください
94	建築工事特記仕様書P41	アルミ建具のガラス留め材について	上記質疑において、ガスケットの仕様が不明です。御指示下さい。	シーリングを正としてください
95	建築工事特記仕様書P42 A-217	ACW-1の性能について	ACW-1の性能の相違があります。 ・建築工事特記仕様書P42 — W-4・A-3・T-2・H-2 ・建具詳細図(1) — W-5・A-4 建築工事特記仕様書P42を正と考えて宜しいですか。	S-5、A-4、W-5としてください。
96	建築工事特記仕様書P50 建築工事特記仕様書P52 建築工事特記仕様書P52 A-007 A-077・078 A-007・177	同等メーカー・品番について	下記の同等メーカー・品番を御指示下さい。 ①視覚障害者用床タイル ②流し台・コンロ台・吊戸棚 ③水切棚 ④ユニットバス枠 ⑤1床室・2床室・4床室 樹脂製ベッドガード ⑥アルミルーバー(B) W50×D100+W80×D100	①外構図及び階段詳細図参照及び部分詳細図の通り。中等品とします。 ②内田洋行同等 ③内田洋行同等 ④樹脂製。カイダーベースボード同等 ⑤ナカ工業同等 ⑥アイカ同等
97	建築工事特記仕様書P51	黒板・ホワイトボードの有無について	建築工事特記仕様書20章ユニット及びその他工事において、8黒板、ホワイトボードが適用となっておりますが、他図に見当たりません。必要な場合、仕様・形状・設置数量及び同等メーカー・品番を御指示下さい。	他図に無き場合は不要とします。
98	建築工事特記仕様書P52	旗竿の施工範囲について	建築工事特記仕様書P52 20章ユニット及びその他工事において、23旗竿に「※ハンドル式、※埋込式」とありますが、施工範囲が不明です。旗竿が必要な場合は、施工範囲・旗竿の本数・仕様・メーカー・品番・基礎断面の詳細図の発行をお願い致します。	旗竿不要とします。
99	建築工事特記仕様書P52 A-091~111	カーテンレールの使い分けについて	建築工事特記仕様書の14カーテンレールにおいて、形式に「シングル」と「ダブル」の両方が適用となっておりますが、各階天井伏図よりBB部分が「ダブル」、それ以外を「シングル」と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
100	建築工事特記仕様書P52 A-091~111	カーテンレールの使い分けについて	建築工事特記仕様書の14カーテンレールにおいて、形式に「片引き」と「引分け」の両方が適用となっておりますが、各階天井伏図には図示がありません。使い分けを御指示下さい。	BB表記の部分はW1,600以上については引分けとし、それ以外は片引きとします。カーテンレールのみ部分は全て片引きとしてください。
101	建築工事特記仕様書P52 A-169	天井点検口の仕様について	天井点検口の仕様に相違があります。 ・建築工事特記仕様書 — 目地タイプ ・部分詳細図(4) — 1・2階の廊下・ホールのみ目地タイプ 建築工事特記仕様書を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
102	建築工事特記仕様書P53	敷地境界石標の施工範囲について	建築工事特記仕様書P53 20章ユニット及びその他工事において、26敷地境界石標に「※コンクリートブロック製(市販品)」とありますが、施工範囲が不明です。設置か所数を御指示下さい。	35か所です。
103	建築工事特記仕様書P54 G-068	舗装の地盤改良について	建築工事特記仕様書P54 22章舗装工事において、1路床の路床安定処理に「高炉セメントB種・生石灰、(固定材の配合試験による)」とありますが、外構部分詳細図(1)の各舗装断面には、地盤改良は見当たりません。地盤改良が必要な場合は、施工範囲・添加材・添加量・地盤改良厚さを御指示下さい。	不要です。
104	建築工事特記仕様書P57	土壌改良材の有無について	土壌改良材の有無の相違があります。 ・建築工事特記仕様書P57 4土壌改良材:施工箇所 — ○植栽範囲 ・建築工事特記仕様書P57 2植栽基盤の整備 — 適用しない ○植栽範囲を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
105	建築工事特記仕様書P57 G-005	芝の植栽基盤について	芝の植栽基盤の仕様の相違があります。 ・建築工事特記仕様書P42 2植栽基盤の整備 — B種、※20 ・植栽計画図 — 客土150t B種、※20を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
106	建築工事特記仕様書P59	家屋調査について	家屋調査について、「調査範囲は参考として図示」とありますが、該当する図面が見当たりません。御指示下さい。	意匠別紙1を参照ください。
107	建築工事特記仕様書P-59、 参考数量書P-459	家屋調査範囲について	参考数量書事前家屋調査件数がありますが、近隣調査家屋位置をご指示下さい。	意匠別紙1を参照ください
108	建築工事特記仕様書P59	地下水環境調査について	地下水環境調査について、「観測井戸(3か所)解析業務」とありますが、観測井戸は設置済みと考えて宜しいですか。今回の見積に設置工事を見込む必要がある場合、観測井戸の深さについて御指示下さい。	観測井戸未設置です。深さをご提案願います。
109	建築工事特記仕様書P-59	地下水環境調査について	観測井戸(3か所)は新規設置でしょうか。設置の場合位置と測定頻度をご指示下さい。	新設置です。設置場所は監督員と協議の上決定します。測定回数3回程度とし、水位のみの調査とします。
110	建築工事特記仕様書P59	現地調査について	現地調査について、(1)に「周辺道路の交通状況」とありますが、交通量調査まで行う必要は無いと想定しますが宜しいですか。交通量調査が必要である場合は、調査内容について御指示下さい。	交通量調査は必須ではありません。
111	建築工事特記仕様書P7	監督員・監理者事務所について	監督員・監理者事務所について、「設ける」とありますが、工事用の現場事務所も含め、設置場所は問わないと考えて宜しいですか。設置場所に指定がある場合は御指示下さい。	打合せ等を含め、業務の効率性と迅速性を求められるのでできる限り新病院周辺をお考えください。
112	建築工事特記仕様書P7 建築改修工事特記仕様書P8	工事電力用について	工事用電力について構内既存の施設が「利用できる」とありますが、供給可能な電気容量と、各施工ステップごとの供給位置について御指示下さい。	利用不可とします。
113	建築工事特記仕様書P8	埋戻しおよび盛土について	A種とB種の2種類があります。A種と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
114	建築工事特記仕様書P8	建設発生土の処理	建設発生土の処理は、いわゆる”場外処分”と”場内指定場所に敷均し”の両方に○印がありますが、”場内敷均し”をどのように見込むのか不明です。場内指定場所があれば、その場所と数量を御指示下さい。	指定場所はありません。場外処分をしてください。
115	建築工事特記仕様書P9	建設発生土について	場外処分または場内指定場所に敷き均しのどちらでしょうか。御指示下さい。また、場外の場合、自由処分と考えてよろしいでしょうか。	指定場所はありません。場外処分をしてください。
116	建築工事特記仕様書P9	地盤の載荷試験について	地盤の載荷試験について、「行う」とありますが、S-02では載荷試験の項目が削除されており相違があります。S-02を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
117	建築工事特記仕様書P9	載荷試験について	建築工事特記仕様書P9 4章地業工事において、杭の載荷試験と地盤の載荷試験は「行う」の指示がありますが、棟毎の箇所数が不明です。御指示下さい。	構造特記仕様書(1)を正とし、行わないものとします。
118	建築工事特記仕様書P9 C-030～C-037	山留め・構台について	山留め・構台について、「図示の山留については指定仮設とすること。」とありますが、C-030～C-037の図面は、参考図という表記になっています。これらの山留や構台の計画図は全て指定仮設として宜しいですか。	山留は指定仮設とします。
119	建築工事特記仕様書P9 入札公告(個別事項)P8	山留め・構台について	山留め・構台が指定仮設である場合、VE提案の対象になると考えて宜しいですか。	VE提案の対象としてお考えください。
120	建築特記仕様書60/61	アートワーク工事について	アートワークで3,500万円計上の指示があります。プレゼンテーションと実際の作業を合わせた合計金額と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
121	特記 P39	鍵箱の必要個数について	鍵箱の必要個数について、特記仕様書 16章建具工事 11.鍵より、鍵箱 120組用は1ヶ所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	10箇所とします。
122	特記P20 A-166	耐火被覆の範囲について	耐火被覆の範囲について、建築工事特記仕様書 7章.鉄骨工事 18.耐火被覆には乾式吹付ロックウール・半乾式吹付ロックウール・繊維混入ケイ酸カルシウム板・高断熱ロックウールの図示がありますがそれぞれの範囲が不明です。部分詳細図(1) D1-2.柱・梁耐火被覆詳細図より、耐火塗料範囲以外の柱は全てセラタイカ2号吹付、梁は全てロックウール吹付と考えて宜しいでしょうか。又、違う場合、耐火被覆の範囲・厚みを御指示下さい。	A-166図 D2-1の通りです。
123	特記P34	特定天井について	特定天井について、法令に基づく耐震化が求められています。天井の脱落防止対策について、具体的な仕様・工法及び範囲等を御指示下さい。	今回、特定天井に該当する部分はございません。
124	特記P34	天井下地材における耐震性を考慮した補強の補強方法について	天井下地材における耐震性を考慮した補強の補強方法について、建築工事特記仕様書 14章.金属工事 4.軽量鉄骨天井下地より、図示とありますが、詳細が不明です。範囲及び補強方法を改めて御指示下さい。	今回、特定天井に該当する部分はございません。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
125	特記P36	防犯建物部品について	特記仕様書 16章建具工事-2防犯建物部品について、適用するとありますが、建具表等に図示がありません。必要な場合、該当する建具符号及び詳細(トア・サッシ・錠等)を御指示下さい。	無しとします。
126	特記P36	アルミニウム製建具の遮音・断熱性能について	特記仕様書 16章建具工事-3アルミニウム製建具の遮音・断熱性能について、下記を御指示下さい。 ①遮音性T-2・建具表によるとありますが、図示がありません。遮音性は全てT-2と考えて宜しいでしょうか。 ②断熱性H-2・建具表によるとありますが、図示がありません。断熱性H-2は該当無しと考えて宜しいでしょうか。	①すべてT-1としてください。 ②全てH-1以上とし、無菌病室、将来ICUについてはH-3としてください。
127	特記P36・43 A-134	アルミカーテンウォールの仕上について	アルミカーテンウォールの仕上について、下記のように相違します。 ・特記仕様書 16章建具工事-3アルミニウム製建具 カーテンウォールのみB-1マットシルバー ・特記仕様書 17章カーテンウォール工事-2メタルカーテンウォール B-2種ブラック系 建具表では電解二次着色とあるため、B-2種ブラック系と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	マットシルバーとしてください。
128	特記P37 A-130他	網戸等について	特記仕様書 16章建具工事-4網戸等について、下記を御指示下さい。 ①種類:防虫網と防鳥網がありますが、防虫網はAWサッシ付の網戸・防鳥網はガリ付の網戸と考えて宜しいでしょうか。 ②防虫網について、※合成樹脂製・○ステンレス(SUS316)製とありますが、使い分けが不明です。建具表ではAWサッシ一部に網戸(ステンレス製)と図示がありますが、ブリーツ網戸には材種の図示がありません。AWサッシにつく網戸は一般網戸・ブリーツ網戸共に全て合成樹脂製と考えて宜しいでしょうか。 ③上記②が否でステンレス(SUS316)製となる場合、ステンレスはSUS316ではなく防鳥網材種同様にSUS304で宜しいでしょうか。	①すべて防虫網とします。 ②ステンレス製とします。 ③SUS316としてください。
129	特記P37・38	鋼製建具・ステンレス建具の遮音・断熱性能について	特記仕様書 16章建具工事-6鋼製建具・8ステンレス建具の遮音・断熱性能について、各T-2・H-2とありますが、全てに適用するのでしょうか。共に該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	・すべてT-1としてください。 ・全てH-1以上とし、無菌病室、将来ICUについてはH-3としてください。
130	特記P38	ステンレス建具の外部耐風圧性について	特記仕様書 16章建具工事-8ステンレス建具の外部耐風圧性について、S-4・S-5とありますが、使い分けが不明です。全てS-5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
131	特記P38	ステンレス建具の鋼板曲げ加工について	特記仕様書 16章建具工事-8ステンレス建具の鋼板曲げ加工について、普通曲げ・角出し曲げとありますが、使い分けが不明です。全て角出し曲げと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
132	特記P40	軽量シャッターの開閉形式について	特記仕様書 16章建具工事-15軽量シャッターの開閉形式について、手動式・上部電動式(手動併用)とありますが、使い分けが不明です。 又、建具表においてもSS-106・107等は軽量シャッター(手動)とありますが、金物欄に電動装置の図示があり相違します。 軽量シャッターについては、全て手動式と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
133	特記P41	ガラスのガラス留め材について	特記仕様書 16章建具工事-17ガラスのガラス留め材について、アルミ建具-ガスケット図示とありますが、見当たりません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	無しとしてください。
134	特記P41	日射調整フィルムについて	特記仕様書 16章建具工事-19ガラス用フィルムの日射調整フィルムについて、○印がありますが、図面上見当たりません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
135	特記P46	カーペットの見切り・押え金物について	カーペットの見切り・押え金物について、建築工事特記仕様書 19章内装工事 8.カーペット敷きにおいて指示がありますが、部屋周長の端部に見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
136	特記P50	トイレブースの脚部について	特記仕様書 20章ユニット及びその他工事-4トイレブースの脚部について、巾木-ステンレス・MDFとありますが、使い分けが不明です。全て巾木ステンレスと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
137	特記P50 A-047	点字タイルの仕様について	外部・外構範囲の視覚障害者用床タイルについて、仕様・メーカー・品番を御指示下さい。	四国化成 チップロード同等品としてください。
138	特記P50 A-047	視覚障害者用床タイルについて	視覚障害者用床タイルについて、外構範囲が、明確には不明です。範囲を御指示下さい。	G-006を参照してください。
139	特記P52	外部の天井点検口について	外部の天井点検口について、建築工事特記仕様書 20章.ユニット及びその他工事 16.天井点検口において、屋内外用とありますが、外部範囲の天井点検口の設置位置が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。 又、必要な場合は外部天井点検口の寸法・か所数及びメーカー・品番を御指示下さい。	不要です。
140	特記P52・53	旗竿について	旗竿について、特記仕様書P.52・53に、旗竿に○印が付いていますが、設置位置・詳細が不明です、御指示下さい。	不要です。
141	特記P53 A-004	敷地境界石標について	敷地境界石標について、箇所数は33か所と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、敷地境界石標の箇所数を御指示下さい。	35か所です。
142	特記P57	植込み用土について	植込み用土について、特記仕様書P.57に、植栽基盤の整備A種とB種ですが、植込み用土は現場発生良質土ともあります。植栽部の土は、植込み用土と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
143	特記P58	芝の法面範囲について	芝の法面範囲について、特記仕様書P.58に、べた張りとありますが、法面範囲は無しと考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、芝の法面範囲(面積)を御指示下さい。	駐輪場南側 31㎡です。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
144	特記P8	外構工事の埋戻し及び盛土について	外構工事の埋戻し及び盛土について、特記仕様書P.8に、埋戻し及び盛土に、A種とB種に○印がついていますが、B種と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
145	特記P9	外構工事の残土場外処分について	外構工事の残土場外処分について、特記仕様書P.9に、建設発生土の処理に、場内指定場所に敷き均しに○印がついていますが、外構工事は場外処分と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
146	特記P9	平板載荷試験の試験について	平板載荷試験の試験について、特記仕様書P.9に、試験位置は※図示とありますが不明です。箇所数等を御指示下さい。	平板載荷試験は適用無しです。
147	特記仕様書	式典について	式典有無及び実施の場の要領をご教示願います。 (時期・回数、予定出席者数、費用負担区分など)	発注者主催の式典は、新病院開院セレモニー、グランドオープンセレモニーを想定しています。 起工式は行いません。(受注者主催の安全祈願祭程度を想定していますので、見積にて見込んでください。) 想定人数については現時点では具体的な検討はしておりません。400床から500床規模の公立病院における一般的な規模を想定してください。
148	特記仕様書P.48 A-166	遮音壁のシーリングについて	W-2Gの遮音間仕切のシーリングについて、部分詳細図1ではシーリングの図示がありませんが、特記仕様書では遮音シール材適用とあります。 シーリングは必要と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
149	特記仕様書P-12 S-2	砂利地業の材料について	砂利地業が特記仕様書及び構造図で再生クラッシュランと切込み砂利及び切込み砕石の両方が適用となっています。再生クラッシュランを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
150	特記仕様書P-24 参考数量書P-178	アスファルト露出断熱防水について	特記仕様書 9章 6.脱気装置欄 設置数量欄がアスファルトルーフィング類製造所の仕様によるの記入ですが、参考数量書 防水 外部より70㎡/個程度と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	1か所@80㎡と解釈ください。
151	特記仕様書P52 A-91~111 A-169	天井点検口について	天井点検口について、特記仕様書では450角と600角の二種類が該当していますが、天井伏図では不明です。又部分詳細図(4)では1・2F廊下・ホールのみ目地タイプとありますが、特記仕様書では全て目地タイプとなっています。全て600角目地タイプと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
152	特記仕様書P54 G-007~009	グレーチング蓋の材質について	特記仕様書で、ステンレス製(建物回り)と記入がありますが、具体的にどの範囲がステンレス製になりますでしょうか。御指示ください。	浄化槽棟の回りです。
153	特記仕様書P-57	植栽 土壌改良の有無について	23章-2:植栽基盤の整備では土壌改良材は適用しないと指示がありますが、23章-4:土壌改良材ではバーク堆肥に適用の指示があります。土壌改良は不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
154	特記仕様書P-8	埋戻し土・残土の種別について	埋戻し土・残土が特記仕様書でA種とB種の両方が適用となっています。A種を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
155	特記付記1	見本施工の作成範囲について	見本施工の作成範囲について、特記仕様書 付記-1 1章.項目13.施工図において、e.見本施工の作成(外壁タイル等)の指示があります。見本施工の範囲を御指示下さい。	外装・内装における監督員の指定箇所としてください。
156	特記付記2	カーポート、シェルターの雪下ろし表示板について	カーポート、シェルターの雪下ろし表示板について、特記仕様書 付記-2に、ユニット及びその他工事、外構にカーポート、シェルターを使用する場合、雪下ろし表示板を設置するとありますが、仕様・寸法・箇所数を御指示下さい。	不要です。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
157	建築改修工事特記仕様書P37 R-006・007	視覚障害者用床タイルの有無について	建築工事特記仕様書10章ユニット及びその他工事において、5視覚障害者用床タイルが摘要になっていますが、各階平面詳細図に図示がありません。必要な場合、施工位置及び同等メーカー・品番を御指示下さい。	R-006図に図示の通りです。
158	建築改修工事特記仕様書P6	室内空気中の化学物質の濃度測定について	室内空気中の化学物質の濃度測定について、「新棟建設工事に準ずる」とありますが、新棟と改修で合計70箇所と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
159	解体特記仕様書P-10	微量PCBの分析調査について	分析調査実施の機器調査台数をご指示下さい。	引渡しを要する機器類同様 ○ 高圧進相コンデンサー 300k var ×1台、直列リアクトル 18k var ×1台 ○ 高圧進相コンデンサー 200k var ×2台、直列リアクトル 12k var ×2台 ○ 高圧進相コンデンサー 150k var ×1台、直列リアクトル 9k var ×1台
160	解体工事特記仕様書・参考設計書 設備解体図	解体工事における設備機器・配管・電線・ダクト等の撤去処分について	空調・衛生・電気・昇降機についての解体図面が有りません。図示いただけるのでしょうか。事前調査するのでしょうか。又、参考設計書において、空調工事及び衛生工事関係の撤去処分費用は科目ごとに計上の指示がありますが、電気工事については指示がありません。追記してよろしいでしょうか。御指示下さい。	解体図は意匠図のみ添付し、空調・衛生・電気については、機器リストを添付しております。既存病院の解体については電気・空調・衛生の解体も建築に含んで参考数量書を作成しています。
161	建築解体工事特記仕様書	冷媒の改修	フロン・ハロンなどの冷媒に対する、調査・回収について、本工事かどうか不明です。見積上は以下の通りと判断しますが宜しいですか。 ①調査：別途 ②回収・処分：別途	全て本工事とします。 撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番M-703の表を参照すること。
162	建築解体工事特記仕様書	冷媒の改修	上記御回答において、②回収・処分が見積に含む場合、仕様・数量等の入札条件を御指示下さい。	全て本工事とします。 撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番M-703の表を参照すること。
163	建築解体工事特記仕様書	その他の特定化学物質など	特記仕様書などに記載が無い、その他の化学物質の、調査・回収・処分(医ガスガスパージなど)は、見積には含まないものと判断しますが宜しいですか。	全て本工事とします。 撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番M-703、P-801の表を参照すること。
164	建築解体工事特記仕様書	その他の特定化学物質など	上記御回答において、調査・回収・処分を見積範囲とする場合、仕様・数量等の入札条件を御指示下さい。	全て本工事とします。 撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番M-703、P-801の表を参照すること。
165	建築解体工事特記仕様書P6	杭の撤去の可否	杭の撤去に関して、「行う(浄化槽棟杭引き抜き 実施)」と「行わない」の両方が○印があり、適用となっております。浄化槽棟のみ撤去を行い、その他は撤去を行わないという解釈で宜しいですか。	お見込みの通りです。
166	建築解体工事特記仕様書P6	照明器具安定器のPCB	「照明器具安定器にPCBが使用されている場合・・・引き渡すこと」とのご指示がありますが、仕様・数量が不明です。入札条件としての仕様・数量を御指示下さい。	照明器具安定器のPCBはございません。
167	建築解体工事特記仕様書P6 C-027 解体図一式	既存解体	建築解体工事特記仕様書P6 3章、及び工事ステップ(1)STEP③において、杭の撤去は既存浄化槽棟杭引抜きを実施と指示がありますが、解体図1式10目「浄化槽設備 構造図」より排水処理1号施設の杭径・杭長が読み取れません。御指示下さい。	意匠別紙3を参照ください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
168	建築解体工事特記仕様書P6 C-027 解体図一式	既存解体	建築解体工事特記仕様書P6 3章、及び工事ステップ(1)STEP③において、杭の撤去は既存浄化槽棟杭引抜きを実施と指示がありますが、解体図1式229枚目「浄化槽(5)」より排水処理2号施設の杭径・杭長・本数が不明です。御指示下さい。	意匠別紙3参照ください。
169	建築解体工事特記仕様書P6 C-027・028 解体図一式	解体後の整地	解体後の整地の仕様が不明です。各棟解体完了後の盛土は不要とし、解体範囲を概ね水平に粗整地を行うものと判断しますがよろしいですか。	お見込みの通りです。外構整備工事のレベルを配慮し粗整地してください。
170	建築解体工事特記仕様書P9	特別管理産業廃棄物	”廃油”と”廃酸・アルカリ”に”○”が有りますが、その仕様・数量等が不明です。見積上見込むべき「残置場所」「品目」「数量」「処理方法」などを御指示下さい。	全て本工事とします。 撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番MP-801の表を参照すること。
171	解体工事特記仕様書 6/12	杭撤去について	杭の撤去について、「行う」「行わない」両方が適用となっていますが、既存浄化槽棟のみ撤去で、その他は残置と考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
172	解体工事特記仕様書 6/12	地下埋設物及び埋設配管の解体について	地下埋設物及び埋設配管の種類、大きさ、数量、位置が不明ですので別途と考えてよろしいでしょうか。本工事であれば、積算可能な資料をご提示ください。	提示図面以外のものは別途です。軽微な地中埋設物は本工事に含むものとします。
173	解体工事特記仕様書 10/12	廃油、廃酸、廃アルカリの処理について	廃油、廃酸、廃アルカリの処理が本工事とありますが、見積可能な資料をご提示ください。	全て本工事とします。 撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番MP-801の表を参照すること。
174	解体工事特記仕様書 12/12	アスベスト含有物の除去について	外壁吹付材の中でアスベスト含有物があれば、範囲と併せてご指示ください。	アスベスト調査の結果 外壁吹付材のアスベスト含有はございません。
175	解体工事特記仕様書 12/12	設備配管・ダクトのアスベスト含有物について	設備配管・ダクトの継手及び保温材(アスベスト含有物)の見積可能な資料をご提示ください。もしくは指示数量をご提示ください。	意匠別紙20を参照ください。
176	解体工事特記仕様書 12/12	その他の有害物質含有物の処分について	下記項目は別途と考えてよろしいでしょうか。本工事であれば見積可能な資料をご提示ください。 <input type="checkbox"/> 水銀などの重金属の処分 <input type="checkbox"/> 解体に伴うアスペルギルス等の感染対策 <input type="checkbox"/> 手術室、細菌検査室、各種研究室にあるHEPAフィルタの処分 <input type="checkbox"/> 臓器類の処分 <input type="checkbox"/> 放射線物質、ダイオキシン、ハロンの処分 <input type="checkbox"/> イオン感知器、六フッ化硫黄ガス等の処分	解体に伴うアスペルギルス等の感染対策、臓器類の処分は別途とします。 水銀などの重金属の処分、手術室、細菌検査室、各種研究室にあるHEPAフィルタの処分、放射線物質、ダイオキシン、ハロンの処分、イオン感知器、六フッ化硫黄ガス等の処分は解体図面にて確認ください。
177	解体工事特記仕様書 12/12	家具・什器・備品の撤去処分	家具・什器・備品の撤去は建設業者では許可されていないので、工事着手前に発注者側にてお願い致します。	移動可能な家具・什器・備品は、原則発注者側にて撤去を行います。
178	土壌汚染関連対応 建築工事特記仕様書 9/61	各種届出、調査結果について	今回工事は形質変更届出の対象となりますが、着工時には届出が提出されていると考えてよいでしょうか。 掘削土の場外搬出にあたり、土壌汚染調査結果は開示頂けると考えてよいでしょうか。	お見込みの通りです。
179	—	外構工作物の鉄筋コンクリート強度について	外構工作物において、図面に記載無い鉄筋コンクリート強度は、FC21・S8を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
180	-	図中の材料について	図中の材料について、全て同等品と考えて宜しいでしょうか。 又、特記すべき指定メーカー品番があれば御指示下さい。	原則、同等品です。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
181	-	<p>図面番号について、下記の図面番号が図面リストと相違しています。図面リストに倣って読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニットバス詳細図(2): A-222 → A-220 ・7階家具キープラン: A- → A-184 ・手術室1～4 平面図: A-228 → A-229 ・手術室5～7 平面図: A-229 → A-230 ・ヘリポート部分詳細図(2): A-323 → A-322 	お見込みの通りです。
182	-	<p>下記の項目について、メーカー・品番を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①屋根:断熱アスファルト防水 AI-2 ②屋根:露出アスファルト防水 DI-2 ③各所:塗膜防水 X-2 ④地下外壁:塗膜防水 Y-2 ⑤サービスヤード庇・救急庇:完全かん合式折板 ⑥アルミハントレス堅樋 ⑦アルミ笠木 W455 ⑧3Fテラス:アルミ手摺 H400 ⑨アルミ庇 既製品 ⑩外壁下端役物 ⑪犬走り側溝:グレーチング ステンレス W650 ⑫外部階段:ステンレスノンスリップ金物 ⑬外壁・軒天井:フッ素樹脂塗装 ⑭外壁:親水性フッ素樹脂塗装 ⑮外壁・軒天井:アクリルシリコン塗装 ⑯ハト小屋壁:複層仕上塗材E ⑰軒天井:外装薄塗材E ⑱3Fテラス:屋上緑化システム ⑲5F光庭:屋上緑化システム 	<p>共通で、仕上げ表及び、参考内訳書の備考欄の仕様同等とし、無いものは中等品とお考えください</p> <ul style="list-style-type: none"> ④地下外壁:塗膜防水 Y-2はY-1とします。 ⑨アルフィン同等品
183	-	<p>下記項目のメーカー・品番を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地中部外壁:塗膜防水 Y-1 ②屋根:二重折板 ③庇:折板 	<ul style="list-style-type: none"> ①地中部外壁:塗膜防水 Y-1 タジマルーフィング オルタック ②屋根:二重折板 製作品 ③庇:折板 製作品
184	-	<p>下記の項目について、メーカー・品番を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①半湿式ロックウール吹付 ②耐火塗料 ③耐火シートt3.0(SHIMADAプラザ・センターストリート丸柱) ④タイルE ⑤ビニル床シートt2.0(1F仮眠室) ⑥OAフロー ⑦鋼製二重床 ⑧ビニルクロス(壁・天井) ⑨腰壁シート ⑩岩綿吸音板 	<p>共通で、仕上げ表及び、参考内訳書の備考欄の仕様同等とし、無いものは中等品とお考えください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ④TOTO ミステイパレット同等品 ⑤東リ フロアマーブル同等品 ⑥三洋工業 サンフロア同等品 ⑦三洋工業 メタルベース同等品 ⑧サンゲツTH8911同等品 ⑨タジマ KG301同等品 ⑩吉野石膏 ソーフトン 平板同等品

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
185	-	各項目のメカ・品番について	下記のメーカー・品番を御指示下さい。 ①ボラード ②車止ポール ③ガードパイプ ④車止めブロック ⑤集水桝グレーチング蓋 ⑥集水桝化粧蓋 ⑦自由勾配側溝スリット化粧蓋 ⑧U型側溝グレーチング蓋 ⑨スチールメッシュフェンスH1200 ⑩免震アコデーションパーテーション ⑪鋼製防護柵H800 ⑫緑化ブロック(調整池) ⑬シェルター(ロータリー) ⑭シェルター(駐車場B) ⑮カーブミラー ⑯ベンチ(広場階段) ⑰駐輪場屋根 ⑱サイクルストッパー	①ボラード G071 部分詳細図(4) D-42に記載 ②車止ポール G071 部分詳細図(4) D-43に記載 ③ガードパイプ G071 部分詳細図(4) D-47に記載 ④車止めブロック 四国化成 サインストッパー ⑤集水桝グレーチング蓋 カネソウ KNSM FBタイプ ⑥集水桝化粧蓋 福西鋳物 スリット化粧蓋 ⑦自由勾配側溝スリット化粧蓋 同上 ⑧U型側溝グレーチング蓋 カネソウ KNSM FBタイプ ⑨スチールメッシュフェンスH1200 G071 部分詳細図(4) D-41に記載 ⑩免震アコデーションパーテーション G071 部分詳細図(4) D-40に記載 ⑪鋼製防護柵H800 部分詳細図(4) D-44に記載 ⑫緑化ブロック(調整池) 日本コンクリート 美緑ブロック同等 ⑬シェルター(ロータリー) 製作物 ⑭シェルター(駐車場B) G064 シェルター詳細図 表右上に記載 ⑮カーブミラー 部分詳細図(4) D-52に記載 ⑯ベンチ(広場階段) 製作物 ⑰駐輪場屋根 G-024 駐輪場回り詳細図に記載 ⑱サイクルストッパー 同上
186	L-001	図面リスト(T-001が不明)	T-001が図面に有りませんが、別冊の特記仕様書の事を指しているのでしょうか。	
187	L-001図(図面リスト(1))	図面リストに種別番号T-001がありますが、これは、添付資料の“T_特記仕様書・建築材料等品質性能表”というフォルダの中の資料の事と解釈してよろしいでしょうか。もし異なる場合は、T-001を御提示下さい。	お見込みの通りです。	
188	T-001	設計図書確認	配布データに該当番号図面がありませんが、空き番でしょうか。特記仕様書としてA-00図面がありますがこれが正ですか。	
189	【昇降機】A-002	建築取合について	エレベーター三方枠取付・枠廻り埋め戻し・補強については昇降機工事とありますが、枠廻り埋め戻しについては建築工事とさせて頂いてよろしいでしょうか。	
190	【昇降機】A-002	運行監視盤までの配管配線について	運行監視盤取付・配管配線については電気工事と考えてよろしいでしょうか。	
191	【昇降機】	工場確認検査について	昇降機工事において、工場での確認検査は実施しないものと考えてよろしいでしょうか。実施するものであれば想定される号機名称をご指示ください。(同様の質問複数あり)	
192	A-008 A-029	堅樋の仕様について	堅樋の仕様について、下記の様に相違しています。 ・仕上表(1):アルミハントス 100角 ・立面図(2):ステンレス 150角 仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
193	A-008 A-047	堅樋の仕様について	堅樋の仕様について、下記の様に相違しています。 ・仕上表(1):中庭 塩ビ、内樋 配管用鋼管、外樋 アルミハントス ・平面詳細図 凡例:内樋 VP、外樋 ステンレス 仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
194	A-002	工事区分について	エレベーター三方枠取付・枠廻り埋め戻し・補強については昇降機工事とありますが、枠廻り埋め戻しについては建築工事としてよろしいですか。	

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
195	A-002	運行監視盤取付・配管配線について	運行監視盤までの配管配線については電気工事としてよろしいですか。	お見込みの通りです。
196	A-002	床暖房(電気式)発熱体について	床暖房(電気式)発熱体について、工事区分表-1より、建築工事とありますが、該当範囲と床の納まり詳細を御指示下さい。	床暖房の使用はございません。
197	A-002	土壌汚染対策について	本入札に際し、土壌汚染がないものとして見積らせて頂いてよろしいでしょうか。否の場合、工事金額算出可能な見積条件・資料等をご指示ご提示ください。	既存病院下以外については、土壌汚染調査を実施済みです。調査結果については基準値以下です。既存病院下については解体時に別途調査します。汚染が確認された場合の処分費用負担は別途協議とします。
198	A-002	土壌汚染対策について	土壌汚染が確認された場合、土壌汚染対策費用は別途とありますが、全体工期についても別途協議頂けると考えてよろしいでしょうか。	既存病院下以外については、土壌汚染調査を実施済みです。調査結果については基準値以下です。既存病院下については解体時に別途調査します。汚染が確認された場合の処分費用負担は別途協議とします。
199	A-2	工事区分表の姿見鏡について	工事区分表について、姿見鏡が建築工事ですが、図中に見当たりません。必要であれば仕様と数量をご指示下さい。	水廻り詳細図を参照してください。 点線表記以外は建築工事です。
200	A-2	工事区分表の電動式移動棚について	工事区分表について、電動式移動棚が建築工事ですが、図中に見当たりません。必要であれば仕様と数量をご指示下さい。	本工事で見込む電動式移動棚はありません。
201	A-2	工事区分表の浴槽・シャワーパンについて	工事区分表について、浴槽が建築工事で、6F作業療法室に1か所見受けられますが、仕様をご指示下さい。 又、シャワーパンが見受けられませんが、必要であれば仕様と数量をご指示下さい。	リハビリで使用するため水栓は不要です。 TOTO PYS1412R同等品としてください。
202	A-002 A-169	洗面化粧台部化粧鏡の工事区分について	工事区分表-1において、洗面化粧台部化粧鏡が衛生工事と記載されておりますが、部分詳細図(4)D4-5及び水廻り詳細図では建築工事の様に思われます。 建築工事と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
203		下り天井の下地について	特記無き限り、Pbt=12.5と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
204		メーカー品番について	下記項目の参考メーカー名・品番・グレード等について御指示下さい。 ■置床下 防塵塗装 ■視覚障害者用点字紙 ■階段室 点字ブロック ポリウレタンエストラマー製 ■階段室 壁付手摺 ■ピクチャーレール ■点滴レール ■電動ロールスクリーン ■階段室 ビニル床シート	■置床下 防塵塗装 →A-007図示(ABC商会 カラートップA同等品) ■視覚障害者用点字紙→SUS製 中等品 ■階段室 点字ブロック ポリウレタンエストラマー製→中等品 ■階段室 壁付手摺 →ナカ工業同等品 ■ピクチャーレール →TOSO TC10同等品 ■点滴レール →TOSO同等品 ■電動ロールスクリーン →ニチベイ シルバースクリーン同等品 ■階段室 ビニル床シート →マーブル t2.0 中等品
205	A-002、P-116	浄化槽棟用仮設市水引込管の負担金について	浄化槽棟用仮設市水引込管の負担金についても別途で宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
206	A-002・G-069	沓洗場の施工場所について	工事区分表-1において、沓洗場が外構となっていますが、施工範囲・仕様・詳細が不明です。沓洗場は外構部分詳細図(2)のD-24:洗い場と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
207	A-005 解体手順図A1 解体図一式	既存解体	現況配置図と解体手順図(1)の解体建物において、解体図のどの図面か判定できない棟があります。現況配置図に、図面を照合出来ない棟をマーキングしますので、解体図のどれを参照するのか教えてください。 ※それでも不明な場合、現地確認だけで見積いたします。	意匠別紙4を参照ください。(図面の無い建物をリスト化します)
208	A-007	地下二重壁の範囲について	共通特記事項 内装工事において、地下二重壁内水抜きは硬質塩ビ管50φを1スパンに2か所設置する。内部は防水モルタル金コテ仕上と記載されておりますが、地下二重壁の範囲が不明です。該当無しと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
209	A-007	ガラスフィルム貼りについて	ガラスフィルム貼りについて、特記仕様書で装飾デザインフィルム・紫外線カット・飛散防止がありますが、飛散防止以外の項目に関して詳細が不明です。それぞれ該当建具及びメーカー名・品番をご指示下さい。	飛散防止フィルムは3Mクラウド同等品としてください。家具図受付カウンター等にデザインフィルムを使用しています。(塩ビフィルムIROZUMI同等品)紫外線カットは使用していません。
210	A-007	結露防止グライツ吹付けの厚さについて	共通特記事項 外壁において、「外部に面する金属裏面には断熱材としてグライツ吹付け(結露防止)とする。」とありますが、グライツ吹付けの厚さが不明です。T5と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
211	A-007	建具の支持材について	共通特記事項 建具において、「建具を取付け支持する通しの構造材はステンレス型鋼、またはスチール型鋼溶融亜鉛メッキ品とする。」とありますが、「建具を取付け支持する通しの構造材」とは何を示すか不明確です。具体的な項目を御指示下さい。	外壁建具の開口補強を示しています。スチール型鋼溶融亜鉛メッキ品としてください。
212	A-007・175	建具の支持材について	上記において、外壁押出成形セメント板の開口補強金物の事の場合、部分詳細図(10)D10-2外壁押出成形セメント板(縦張り、横目地・縦目地部)仕様欄より、「パネル取付金物及び下地金物共耐火被覆を施すこと」とあり、耐火被覆が必要となります。耐火被覆が必要な場合も、ステンレス型鋼、またはスチール型鋼溶融亜鉛メッキ品を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。(今回、開口補強に耐火被覆は必要ありません。)スチール型鋼溶融亜鉛メッキ品としてください。
213	A-007	建具の支持材について	上記において、対象項目が何れの場合も、「スチール型鋼溶融亜鉛メッキ品」を入札仕様と致しますが宜しいですか。	お見込みの通りです。スチール型鋼溶融亜鉛メッキ品としてください。
214	A-007	EV周囲の断熱材について	共通特記事項、内装工事において、「EVのRC室周囲はすべて硬質ウレタンフォームT35吹付とする」とありますが、「RC室周囲」の意味が不明です。「RC室周囲」の具体的な範囲をご指示ください。	シャフト壁面及び天井面としてください。
215	A-007	二重床下の防塵塗装の仕様について	共通特記事項・内部工事に於いて、「OAフロア、フリーアクセスフロア、ユニットフロア下は特記なき限り、防塵塗料とする」と指示がありますが、防塵塗料の同等メーカー・品番が不明です。御指示下さい。	特に指定はございません。監督員に了承を得てください。
216	A-007	床タイル(A)のデザイン貼りについて	材料表に於いて、床タイル(A)に600×300、300×300、600×150(カット加工)、デザイン張りの指示がありますが、デザイン張りの詳細が不明です。デザインの形状や、それぞれの割合を御指示下さい。	1階平面詳細図を参照してください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
217	A-007	床タイル(B)のデザイン貼りについて	材料表に於いて、床タイル(B)に600×300、300×300、デザイン張りの指示がありますが、デザイン張りの詳細が不明です。デザインの形状や、それぞれの割合を御指示下さい。	300×300のみとしてください。
218	A-007	ビニール床シートの仕様について	材料表において、ビニール床シート(D)(E)に単層の指示がありますが、カタログを調べたところ複層でした。複層と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
219	A-007	ビニール床シートの仕様について	材料表において、ビニール床シート(H)に東リ:SFフロアの指示がありますが、カタログを調べたところ該当するものがありませんでした。東リ:SFフロアNWと読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
220	A-007	ビニール床タイルの仕様について	材料表において、ビニール床タイル(B)に複層の指示がありますが、カタログを調べたところ単層でした。単層と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
221	A-007	アルミ複合版の仕様について	材料表において、アルミ複合板に三菱:ブランチックアルポリックの指示がありますが、カタログを調べたところ該当するものありませんでした。三菱ケミカル:アルポリックと読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
222	A-007	メーカー・品番について	下記のメーカー・品番が不明です。御指示下さい。 【床】 ①ビニル床シート 単層 T2.0 (マーブル) 【天井】 ②アルミルーバー(A) W30×D130 ③DR t12 ハルタカ模様 【壁】 ④ビニルクロス ⑤タイル(E) 磁器質 100角 【腰壁】 ⑥腰壁シート	①東リ フロアマーブル同等品 ②アイカオルティノルーバー同等品 ③吉野石膏 ソーラトン 平板同等品 ④サンゲツTH8911同等品 ⑤TOTO ミステイパレット同等品 ⑥タジマ KG301同等品
223	A-007	強化ガラスの飛散防止フィルムについて	材料表において、強化ガラスに飛散防止フィルムとありますが、強化ガラス面には建具表に飛散防止フィルムの指示が無くても必要で宜しいですか。	お見込みの通りです。
224	A-007	壁LGS45の範囲について	共通特記事項で外壁面等GL工法分、LGS内引戸引込み部分にコンセント、スイッチ等設備関係設置の際はLGS45フカシ壁と記入がありますが、該当場所が不明です。御指示下さい。	コンセント、スイッチ等設備関係設置部で設置できない箇所については、LGS45とします。
225	A-007	壁(化粧)ケイカル板下の耐水石膏ボードについて	共通特記事項で(化粧)ケイカル板仕上は下地耐水石膏ボードと記入がありますが、耐火間仕切を除く、表層ボードが石膏ボード・硬質石膏ボードの範囲を耐水石膏ボードと読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	水を使用する部屋及び部分(WC、SW、浴室、機械浴室、水治療、シンクの水槽背面及び側面)は下地の上張りを耐水石膏ボードとしてください。耐火間仕切が面する場合は、耐水PBt12.5を増張してください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
226	A-007	タイル下の耐水石膏ボードについて	共通特記事項でタイル下地石膏ボードの際は耐水石膏ボードと読み替えて記入がありますが、耐火間仕切の範囲を除く、硬質石膏ボードの場合も耐水石膏ボードに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	水を使用する部屋及び部分(WC、SW、浴室、機械浴室、水治療、シンクの水槽背面及び側面)は下地の上張りを耐水石膏ボードとしてください。耐火間仕切が面する場合は、耐水Pb12.5を増強してください。
227	A-007	凡例FKについて	凡例床・壁・天井ではけい酸カルシウム板、材料表壁(内装)では特殊UV塗料硬質セメント板と相違します。凡例床・壁・天井を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
228	A-007	防振天井の範囲について	共通特記事項で屋上機械置場の下階の室の天井吊金物は防振吊金物とし、壁軽鉄スタッドは防振工法とすることと記入がありますが、該当範囲が不明です。7階全てに該当するものと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
229	A-007	防振天井の仕様について	屋上機械置場の下階の室の防振吊金物の仕様が不明です。御指示下さい。	不要とします。
230	A-007	壁軽鉄スタッド防振工法の範囲・仕様について	共通特記事項で屋上機械置場の下階の室の壁軽鉄スタッドは防振工法とすることと記入がありますが、下階スラブ～スラブ(梁底)の間仕切のみに適用するものと解釈して宜しいでしょうか。仕様を併せて御指示下さい。	不要とします。
231	A-007	遮音天井の範囲について	共通特記事項で屋上機械置場の下階の室の天井吊金物は防振吊金物とし、壁軽鉄スタッドは防振工法とすること。又、上下階は全て天井仕上+遮音天井と記入がありますが、上下階に該当する範囲が不明です。御指示下さい。	下階のみとお考えください。
232	A-007	結露防止材の範囲について	共通特記事項で監督員指導の下、結露の発生が予測される部分(無菌個室、新生児室、沐浴授乳室、分娩室、GUC・未熟児室、機械浴室、SW室等)には結露防止剤を塗装することと記入がありますが、該当場所が不明です。御指示下さい。	外壁側壁とします。
233	A-007	内部仕様程度について	下記項目の仕様程度(メーカー名・品名・品番)を御指示下さい。 ・壁、天井 ビニルクロス(医療施設用) ・壁 タイルE ・壁 腰壁シート ・化粧シート	・サンゲツTH8911同等品以上としてください。 ・TOTO ミスティパレット同等品としてください。 ・タジマ KG301同等品としてください。 ・A-120図を参照ください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
234 A-007	ガラス面フィルムについて	<p>共通特記事項・材料表 ガラス面フィルムについて、下記を御指示下さい。</p> <p>①フィルム貼:3M ファサラ同等とありますが、建具表記載のフィルム貼に適用と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>②ガラスフィルム貼:装飾用デザインフィルム・紫外線カットとありますが、建具表に図示がありません。建具がガラス面には該当無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>①3Mクラウド同等とし、建具表のフィルム貼りに適用と考えてください。</p> <p>②家具図受付カウンターを正としてください。</p>
235 A-007 共通特記仕様書	内装工事におけるEVのRC室周囲断熱について	<p>全て硬質ウレタンフォーム35吹付と記載してあります。具体的な部位を御指示下さい。</p>	EVシャフト内壁面及び天井面です。
236 A-007 A-015	車庫の塗床の厚さについて	<p>仕上表(8)に於いて、浄化槽棟1階車庫にエポキシ樹脂系塗床の指示がありますが、材料表では厚さT2.0及びT0.8の指示がありどちらを使用するの不明です。T0.8を想定いたしますが宜しいですか。</p>	お見込みの通りです。
237 A-007 A-120	飛散防止フィルムについて	<p>飛散防止フィルムについて、下記のように相違しています。特記仕様書で考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>■特記仕様書 住友3Mスコッチテント同等品</p> <p>■建具共通仕様書 住友3M「高強度型程度」クラウド同等品</p>	クラウド同等品としてください。
238 A-007 A-120	飛散防止フィルムの品番について	<p>飛散防止フィルムの品番に相違があります。</p> <p>・材料表 — 3M:スコッチテント同等品</p> <p>・建具共通事項 — 住友3M高強度型程度 クラウド同等品</p> <p>3M:スコッチテント同等品を正と考えて宜しいですか。</p>	クラウド同等品としてください。
239 A-007 A-120	衝突防止表示の材質について	<p>衝突防止表示の材質について、共通特記事項で塩ビカッティングシート、建具共通仕様書でステンレスと相違します。塩ビカッティングシートを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	仕様はサイン図を正としてください。
240 A-007 A-129他	飛散防止フィルムについて	<p>飛散防止フィルムについて、下記を御指示下さい。</p> <p>①共通特記事項・材料表において、壁(内装)-強化ガラス-飛散防止フィルムとありますが、建具表ではSTD-1・SD-1等一部建具の強化ガラスに飛散防止フィルムの図示がありません。強化ガラス部は全て飛散防止フィルムが必要と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>②上記①に関連し、複層ガラスに使用される強化ガラス部及び特定防火設備等の耐熱ガラス部も同様に、図示なくとも飛散防止フィルムが必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	①、②共 お見込みの通りです。
241 A-007 A-166	異種下地見切りの相違	<p>壁異種下地部見切縁の形状に相違があります。</p> <p>・共通特記事項 — Π型</p> <p>・部分詳細図(1) — ハット型</p> <p>Π型を正と考えて宜しいですか。</p>	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
242	A-007 A-166 S-02	嵩上げコン内溶接金網の相違	嵩上げコンクリート・防水押えコンクリート内の溶接金網の形状に相違があります。 意匠図 共通特記事項 — φ6-150×150 ・部分詳細図(1) — φ6-150×150 ・構造関係特記仕様書(1) — φ6-100×100 φ6-150×150を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
243	A-007 A-167	配線ピット内部 防塵塗装について	配線ピット内部 防塵塗装について、A-007図に記載のABC商会 カートップA程度と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
244	A-007 A-168	木製巾木の仕様について	木製巾木の仕様について、下記のように相違しています。 ・共通特記事項・材料表:OSCL+県産材ヒキ ・部分詳細図(3)D3-1:SOP+堅木 共通特記事項・材料表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
245	A-007 A-170	取付下地補強の範囲について	図面に記載されている以外の下記の範囲に取付下地補強が必要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■仕様 スチールPL-1.6 ■跳上式手摺 200×400 ■背もたれ 400×400 ■前方ボード 300×900 ■紙巻器・タオル掛け 300×300 ■フィッティングボード 500×200	お見込みの通りです。なお、2つのLGS下地に固定できる幅とします。跳上式手摺は900×900とします。
246	A-007 参考数量書P-300	壁ボード下地の仕様について	特記無き限り継目処理工法とし、寒冷紗パテしごきとありますが、参考数量書より貼物・塗装・吹付下の壁石膏ボードは「アーバーエッジボード」と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	寒冷紗パテしごきを正とします。
247	A-007、031他	断熱材吹付の防火コートについて	断熱材吹付t35の箇所は、防火コートを施すと考えてよろしいでしょうか。	不要とします。
248	A-007～015	壁ケイカル板の納まりについて	共通特記事項で壁ケイカル板仕上はジョイント部及び床・天井取合については全てシーリングと記入がありますが、仕上表では目地シールの有無は部屋によって使い分けされています。仕上表を正とし、目地シールと記入が無い部屋は目透し張り(目地底化粧テープ張り)と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
249	A-007～015	壁化粧ケイカル板の納まりについて	共通特記事項で壁化粧ケイカル板仕上はジョイント部及び床・天井取合については全てシーリングと記入がありますが、仕上表では目地シールの有無は部屋によって使い分けされています。壁化粧ケイカル板(FK-D・FK-D2・FK-D3)は全て防カビ目地シール納まりと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。但し、FK-Dでシール無しで納まる箇所はシール無しとします。
250	A-007～015	塗床立上げの納まりについて	塗床・防塵塗装立上げの範囲にはRC立上りが必要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。但し、納まり上、RC立上りとできない部分は乾式下地を設ける。
251	A-007・031他	病室スラブ下断熱材について	共通特記事項、内部工事に於いて、「病室部分のスラブ下に硬質ポリスチレンフォームT50」の指示がありますが、矩計図(1)他では外壁面折返しの硬質ウレタンフォーム吹付のみの指示です。今回、病室は5階からになります。5階病室部スラブ下に硬質ポリスチレンフォームT50は必要でしょうか。御指示下さい。	病室のスラブ下が外部の場合に硬質ポリスチレンフォームT50と考えています。内部の場合は必要なしです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
252	A-007・034	外部に接するスラブ下断熱材の厚さについて	矩計図(4)他に於いて、最上階スラブ下に硬質ウレタンフォーム吹付T35の指示がありますが、共通特記事項、内部工事では外部に接する断熱はT50の指示です。最上階スラブ下断熱はT50を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
253	A-007・047・166	便所回り遮音壁について	共通特記事項、室内騒音レベルにおいて、「便所廻りの軽鉄間仕切にはグラスウールT50(24kg/m ³)を充填」とありますが、1階平面詳細図(1)G~H通り・2通りWC3周囲の間仕切仕様はWT-1(グラスウール充填は無し)です。部分詳細図(1)のWT-2Gに読み替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
254	A-007・091	天井ルーバーの取付要領について	1階天井伏図(1)及び2階天井伏図(1)・(3)において、天井にアルミルーバー(A)W30×D150がありますが、下記を御指示下さい。 ①ボード天井面の取付部詳細 ②天井内下地金物等	アイカ 工業標準仕様程度とします。
255	A-007・166	WC・(化粧)ケイカル板・タイル下の壁耐水石膏ボードの納まりについて	耐火間仕切面に耐水石膏ボードの増張は不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	水を使用する部屋及び部分(WC、SW、浴室、機械浴室、水治療、シンクの水槽背面及び側面)は下地の上張りを耐水石膏ボードとしてください。耐火間仕切が面する場合は、耐水PBT12.5を増張してください。
256	A-007・166他	メーカー・商品名・品番について	図面上で同等品と記入がない製品に関しても、同等品可と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
257	A-007・168	木製巾木の仕様について	材料表では県産材ヒノキのOSCL塗、部分詳細図では堅木のSOP塗と相違します。材料表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
258	A-007・168	ラミン巾木の厚みについて	材料表では厚8、部分詳細図では厚3と相違します。材料表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
259	A-007・建築工事特記仕様書60/61	保健所対応について	4床室は32㎡以上確保と記載ありますが、設計図通り施工すれば問題ないと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	設計図上問題ありません。プラン変更への配慮及び施工図レベルでのチェックを必ず行って確認願います。
260	A-7 A-166・168	壁タイル下地について	A-168図 D3-3において、タイル下地がFKt6+6となっていますが、A-166図各壁凡例では該当がありません。又、A-7図共通特記事項では、タイル下地GB-Rの際はGB-Sと読み替えるとあります。A-168図を正としタイル下地については全てFK-t6.0+6.0と読み替えるのでしょうか。又その場合、耐火間仕切面についてはKF-t6.0 1枚を増し貼と考えるとよろしいですか。	タイル下地は一枚をFKt6.0に読み替えるものとし、耐火間仕切り面はFKt6.0を増貼とします。
261	A-7 A-8~15	化粧ケイカル板の目地シールについて	A-7図 共通特記事項において、「(化粧)ケイカル板仕上の各ジョイント部及び壁・天井の取合部については全シーリング処理を施す」とありますが、仕上表では+防カビシーリングの記載が無い場合があります。全てシーリングを見込んでよろしいですか。	お見込みの通りです。
262	A-008	防水立上り保護に乾式保護材(押出成形セメント板T15)の仕上について	外装・外構仕上表において、2・6階屋根2の防水立上り保護に乾式保護材(押出成形セメント板T15)の指示がありますが、仕上が不明です。素地仕上を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
263	A-008	3階テラス軒天の外壁下端役物(既製品)について	外装・外構仕上表において、3階テラス軒天に、外壁下端役物(既製品)とありますが、仕様が不明です。アルミを想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
264	A-008	1階廻り外部床タイル施工範囲について	外装・外構仕上表において、外構外部床仕上げエントランス周り磁器質タイル(タイルA)デザイン張りがありますが、施工範囲が不明確です。1階平面詳細図(1)7通りA通りの風除室3前の免震EXP. J金物設置巾のみと想定いたしますが宜しいですか。	⑦-⑬通り、x4-I通りロータリー周り歩道全てとしてください。(犬走り含む)
265	A-008	受付・会計窓口の壁仕上について	仕上表(1)に於いて、1階<医事課・地域サービス課>の受付・会計窓口の壁仕上に吹付塗装(B)、(C)、タイル(A)の指示がありますが、それぞれの施工範囲が不明です。御指示下さい。	展開図を参照してください。 吹付塗装(B)はカウンター裏、吹付塗装(C)はその他です。
266	A-008 A-080	総合待合・記載コーナーの壁仕上について	仕上表(1)に於いて、1階<医事課・地域サービス課>の総合待合・記載コーナーの壁仕上に吹付塗装(B)、(C)、タイル(A)の指示がありますが、主要展開図(1)では吹付塗装(B)の図示が無く範囲が不明です。御指示下さい。	展開図を参照してください。 吹付塗装(B)はカウンター裏、吹付塗装(C)はその他です。
267	A-008	投薬窓口の壁仕上について	仕上表(1)に於いて、1階<医事課・地域サービス課>の投薬窓口の壁仕上に吹付塗装(B)、(C)の指示がありますが、それぞれの施工範囲が不明です。御指示下さい。	カウンター裏が吹付塗装(B)です。
268	A-008	庇2・3について	庇2・3の堅樋仕様は外部・外構仕上表 救急・サービスヤード庇に記入のアルミバンドレスとし寸法は100角と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
269	A-008	外壁ECP下地タイルの大きさについて	タイル厚が15mmで剥落が懸念されますので、タイル毎にSUS引き線(径0.4mm以上)で留める工法としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
270	A-008	アス防水の脱気について	アスファルト防水脱気装置の数量、仕様が不明です。御指示下さい。	1箇所@80㎡、仕様:標準仕様とします。
271	A-008 A-007	PS他の床仕上の相違	PS・EPS・DPSの床仕上に相違があります。 ・仕上表(1) — 弾性ウレタン樹脂系塗床T2.0 ・共通特記事項・材料表 内部工事 — 防塵塗装 弾性ウレタン樹脂系塗床T2.0を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
272 A-008 A-008 A-008 A-008 A-033 A-033 A-037 A-174 A-176 A-176	各項目の仕様について	下記の仕上・雑物などについて、見積図に記載の内容では、グレードが判りません。メーカー・品番を御指示下さい。 ①2・6階屋根 伸縮目地 ②3階テラス他軒天 外装薄塗材E ③外壁押出成形セメント板面 親水性フッ素樹脂塗装 ④4・5階下り壁 打放し面 フッ素樹脂塗装 ⑤リニアック棟・浄化槽外壁 アクリルシリコン塗装 ⑥エントランス庇丸柱型 撥水材塗布 ⑦エントランス庇丸柱型 耐火塗料 ⑧3階テラス他 屋上緑化システム(耐根シート・透水シート) ⑨既製アルミ庇 ⑩5階光庭他 ウッドデッキ ⑪5階光庭 ベンチ	共通で、仕上げ表及び、参考内訳書の備考欄の仕様同等とし、無いものは中等品とお考えください。 ⑧東邦レオ同等品 ⑨アルフィン同等品 ⑩ハンディウッド同等品
273 A-008 A-028	フッ素樹脂塗装下地打放し面の種別について	フッ素樹脂塗装下地打放し面の種別に相違があります。 ・外装・外構仕上表 — A種 ・立面図(1)凡例M — B種 A種を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
274 A-008 A-091	天井仕上の相違	1階EVホール3の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(1) — FK-t6+リブボード+EP-Si ・1階天井伏図(1) — GB-Rt12.5+DRt12 FK-t6+リブボード+EP-Siを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
275 A-008 A-092	天井仕上の相違	1階消火ポンプ室の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(1) — 打放し素地 ・1階天井伏図(2) — GB-Dt9.5 打放し素地を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
276 A-008 A-092	天井仕上の相違	1階受付1・2、相談・問診コーナー天井のリブボードの下地に相違があります。 ・仕上表(1) — FK-T6 ・1階天井伏図(2) — GB-Rt9.5 FK-T6を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
277 A-008 A-093	天井高さの相違	1階ATM室、ATMメンテナンス室の天井高さに相違があります。 ・仕上表(1) — CH=2,200 ・1階天井伏図(3) — CH=2,500 CH=2,200を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
278 A-008 A-093 A-037	天井高さの相違	1階寝台車庫の天井高に相違があります。 ・仕上表(1) — スラブ下まで ・1階天井伏図(3) — スラブ下まで ・矩計図(7) — CH=2,500 スラブ下までを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
279	A-008 A-101	下り壁部の軒天について	外部仕上表 4・5F下がり壁部の軒天について、FK-Dt6.0+EP-Gとありますが、4階天井伏図よりFKt6.0+EP-Gに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
280	A-008 建築工事特記仕様書P13	防水押えコン内溶接金網の寸法について	2・6階屋根2他、防水押えコン内溶接金網の寸法に相違があります。 ・外装・外構仕上表 — $6\phi \times 150$ ・建築工事特記仕様書P13 5章鉄筋工事 — $\phi 6-100 \times 100$ $6\phi \times 150$ を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
281	A-008 建築工事特記仕様書P32	屋根の仕様について	マニホールド室屋根の仕様に相違があります。 ・外装・外構仕上表 — 折板屋根 ・建築工事特記仕様書P32 13章屋根及びびとい工事 — かん合式立てハゼ葺き 折板屋根を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
282	A-008 参考数量書P-181	外壁タイルにつて	外壁 せつ器質タイルの仕様が外部・外構仕上表 外壁 1～3階欄では $190 \times 40 \times 15$ 、参考数量書タイル 外部では $220 \times 60 \times 15$ で相違します。外部・外構仕上表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
283	A-008、069	縦樋の仕様について	内部縦樋の仕様が下記の様に異なります。外部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *外部仕上表:配管用鋼管 防露巻 *8階平面詳細図:VP $\phi 150$	配管用鋼管 防露巻を正としてください。
284	A-008・010・091	天井リフボードの下地について	仕上表ではケイカル板厚6又は、石膏ボード厚12.5、天井伏図では石膏ボード厚9.5と相違します。仕上表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	ケイカル板厚6を正とします。
285	A-008・021	2階屋根について	外部・外構仕上表 部位欄で2.6階屋根2の記入がありますが2階平面図には屋根2の記入が見当りません。場所を御指示下さい。	2階屋根2は3階平面図に記載の屋根2とお考えください。
286	A-008・022	3階屋根1について	外部・外構仕上表 部位欄で3.4階屋根1の記入がありますが3階平面図には屋根1の記入が見当りません。該当場所を御指示下さい。	3階屋根1は、4階平面図の屋根1とお考えください。
287	A-008・022	3階屋根について	外部・外構仕上表 部位欄で3.4階屋根1の記入がありますが、3階には屋根1の記入が見当りません。場所を御指示下さい。	3階屋根1は、4階平面図の屋根1とお考えください。
288	A-008・023	4階屋根1について	4階平面図 I通に屋根1(ウレタン・ゴムアス複合防水)の記入がありますが、矩計図(3)では塗膜防水(X-2)の記入で相違します。屋根1の範囲を御指示下さい。	ウレタン・ゴムアス複合防水を正とします。なお、4階屋根1は5階平面図屋根1とお考えください。
289	A-008・024	5階屋根について	外部・外構仕上表 部位欄で4階.5階光庭(N)の記入がありますが、5階光庭(N)とは4階光庭(N)の上部セットバック部屋根部分と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
290	A-008・025	6階屋根について	外部・外構仕上表 部位欄で3.4.6.7.8階屋根、2.6階屋根2、6階屋根の記入がありますが、6階平面図には屋根が見当たりません。場所を御指示下さい。	6階の屋根は7階平面図に記載の屋根とお考えください。
291	A-008・036・037 参考数量書P-185・186	庇2・3について	外部・外構仕上表 部位欄 救急・サービスヤード'庇は2階平面図に記入の庇2・庇3が該当でしょうか。該当の場合、屋根仕様が仕上表では折版屋根H=100 長尺耐酸被覆鋼板厚0.8、矩計図(6)B通 庇2、矩計図(7)13通 庇3では完全かん合式折版(山高200)で相違します。参考数量書 屋根及び庇とい 外部の項目により、矩計図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	フッ素ガルバリウム鋼板t0.8 H200としてください。
292	A-008・036他	3階庇・4～7階病棟庇について	バルコニー・庇の外壁側はRC立上り H100 塗膜防水と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。但し、床面がウレタン・ゴムアス複合防水の部分は立ち上がりも同様とします。
293	A-008・047他	PS他の壁仕上について	仕上表(1)に於いて、1～8階<共通>のPS・EPS・DPS・FSの壁が打放し補修の指示ですが、1階平面詳細図他では乾式間仕切及び外壁部もあります。乾式間仕切面はボード素地、外壁面は断熱材現しを想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
294	A-008・325	浄化槽棟 屋根について	外部・外構仕上表 浄化槽棟 部位欄 B1屋根の記入がありますが、該当場所が不明です。御指示下さい。	1階の受水槽置場等がB1の屋根に該当します
295	A-008・A-047～070	堅樋について	外部・外構仕上表 ルーフトレイン・樋欄で内堅樋 北西側150φ・その他100φ、外堅樋 北東側150角・その他100角の記入がありますが、平面詳細図の凡例では特記なき限り内堅樋150φ、外堅樋150角の記入があり、100φの記入が見当たりません。内堅樋100φ・150φ、外堅樋100角・150角の明確な区分を平面詳細図で御指示下さい。	外部・外構仕上表 ルーフトレイン・樋欄で内堅樋 北西側150φ・その他100φ、外堅樋 北東側150角・その他100角としてください。
296	A-008他	天井アルミ複合板の下地について	仕上表(1)他に於いて、風除室1他の天井にアルミ複合板三菱ブランテック・アルポリック同等品の指示がありますが、下地のボードが不明です。石膏ボードT12.5を想定いたしますが宜しいですか。	部分詳細図を参照してください。
297	A-008他	巾木高さの指示が無い床材立上げについて	仕上表(1)他に於いて、風除室3他床材立上げに巾木高さが無い部屋があります。特記無き巾木はH=100を想定いたしますが宜しいですか。	特記なき場合はH60です。
298	A-008他	直天の部屋の廻り縁について	仕上表(1)他に於いて、1階<共通>の消火ポンプ室他の直天部に廻り縁の指示がありますが、直天の為、不要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
299	A-008他	二重床の仕様について	下記の項目の同等メーカー・品番が不明です。御指示下さい。 ①1階医事課他床下地 — OAフロア ②2階院内売店他床下地 — 鋼製床組	①三洋工業 サンフロア同等品 ②三洋工業 メタルベース同等品
300	A-8	庇2・3 堅樋のサイズについて、	庇2・3 堅樋のサイズについて、100角と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
301	A-8	バルコニー 堅樋のサイズについて、	バルコニー 堅樋のサイズについて、100角と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
302 A-8 A-305他	EVピットについて	EVピットについて、 A-8図 防塵塗床 A-305他図 塗布防水 とありますが、A-305他図を正と考えてよろしいですか。程度についても併せてご指示下さい。 又、ESCピットについても同様に考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
303 A-8 A-32 A-103	4-7F病棟庇軒天仕上について	4-7F病棟庇軒天仕上について、 A-8図:アクリルシリコン塗装 A-32・103図:外装薄塗材E とありますが、打放面補修 外装薄塗材Eを正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
304 A-8 A-36	庇2 折板の仕様・山高について	庇2 折板の仕様・山高について、 A-8図:長尺耐酸被覆鋼板t0.8 H100 A-36図:フッ素ガルバリウム鋼板t0.8 H200 とありますが、A-36図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
305 A-8 A-36	庇2・3軒天について、	庇2・3軒天について、 A-8図:FK-D t6.0+6.0 外装薄塗材E A-36図:軒天無し とありますが、A-36図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
306 A-8 A-36	4・5F下り壁 軒天について	4・5F下り壁 軒天について、 A-8図:FK-D t6.0 A-36図:FK t6.0 とありますが、A-36図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
307 A-8 A-37 A-98	3Fテラス軒天仕上について	3Fテラス軒天仕上について、 A-8図:外装薄塗材E A-37・98図:EP-G とありますが、EP-Gを正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
308 A-8 A-68	南側内部縦樋のサイズについて	南側内部縦樋のサイズについて A-8図:φ100 A-68図φ150 とありますが、φ100を正と考えてよろしいですか。 又、中庭縦樋もφ100と考えてよろしいですか。	南側内部縦樋については全てφ100、中庭縦樋についても全てφ100としてください。
309 A-8 A-68	内部縦樋の仕様について	内部縦樋の仕様について A-8図:配管用鋼管+防露巻 A-68図:VP管 とありますが、A-8図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
310	A-8 A-68	外部堅樋の仕様について	外部堅樋の仕様について A-8図:アルミ角樋 A-68図:ステンレス製角樋 とありますが、A-8図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
311	A-8 A-91	EVホール3天井仕上について	天井仕上について、仕上表ではFK-t6.0+リブボード+EP-Siのみですが、天井伏図では2種類の使い分けとなっています。凡例符号が無い部分はDRt12仕上と考えてよろしいですか。 (2.3F EVホール3も同様)	お見込みの通りです。
312	A-8 A-95 A-36	2～4Fバルコニー1 軒天について	2～4Fバルコニー1 軒天について、 A-8・95図:打放面補修+外装薄塗材E A-36図:FK+EP-G とありますが、A-36図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
313	A-8 G-22	エントランス庇 幕板・軒天 アルミパネルの板厚について	エントランス庇 幕板・軒天 アルミパネルの板厚について、 A-8図:t4.0 フッ素焼付塗装 G-22図:t2.0 A-BE とありますが、t2.0を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
314	A-8～15	天井下地について	天井仕上可燃木パネルについて、下地にGB-Rが必要であればボード厚も併せてご指示下さい。	FK t6下地貼りとします。
315	A-8～15	メーカー程度について	以下について、メーカー程度ご指示下さい。 ・OAフロア H150 ・OAフロア H200 ・OAフロア H300 ・鋼製床組 H300 ・鋼製床組 H800 ・グラスウール形成板 t25	・OAフロア H150 ・OAフロア H200 ・OAフロア H300 ・鋼製床組 H300 ・鋼製床組 H800 →三洋工業同等品 ・グラスウール形成板 t25 →中等品とします。
316	A-8～15 A-91～111	天井リブボードについて	天井リブボードについて、 A-10～15図 FK-t6.0+リブボード+EP-Si GB-Rt12.5+リブボード+EP-Si A-91～111図凡例E GB-Rt9.5リブボード+EP-Si とありますが、A-10～15図を正と考えてよろしいですか。 又、1F中央処置待合のように仕上表に記載がなく天井伏図のみに図示の場合はFK-t6.0+リブボード+EP-Siと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
317	A-009 A-091 A-031	天井高さの相違	1階初療1、ホールの天井高に相違があります。 ・仕上表(2) — CH=2, 700 ・1階天井伏図(1) — CH=2, 700 ・矩計図(1) — CH=2, 500 CH=2, 700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
318	A-009 A-091 A-265	MRI室の天井高相違について	1階MRI室の天井高に相違があります。 ・仕上表(2) — CH=2, 800 ・1階天井伏図(1) — CH=2, 800 ・医療機器詳細図(12) — CH=2, 520 CH=2, 800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
319	A-009 A-092	天井仕上の相違	1階放射線読影室の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(2) — GB-Rt12.5+DRt12 ・1階天井伏図(2) — GB-Dt9.5 GB-Rt12.5+DRt12を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
320	A-009 A-093	天井高さの相違	1階泌尿器科X線TV室の天井高さに相違があります。 ・仕上表(2) — CH=2, 500 ・1階天井伏図(3) — CH=2, 800 CH=2, 500を正と考えて宜しいですか。	CH=2, 800を正としてください。
321	A-009 A-250	筋電図室・脳波検査室の床仕上相違	1階筋電図室・脳波検査室の床仕上に相違があります。 ・仕上表(2) — ビニール床シート(D) ・放射線防護・シールド詳細図(3) — タイルカーペットt6.5 ビニール床シート(D)を正と考えて宜しいですか。	放射線防護・シールド詳細図(3) — タイルカーペットt6.5を正としてください。
322	A-009・093	天井高さの相違	仕上表(2)において、1階放射線スタッフWC7~9の備考欄にスタッフWC8の天井高さはCH=2, 400の指示がありますが、1階天井伏図(2)ではスタッフWC7にCH=2, 400の指示があります。備考欄のスタッフWC8をスタッフWC7に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
323	A-009他 A-093他 A-081他	化粧石膏ボード(スクエア)の厚さ相違	1階待合1他、天井の化粧石膏ボード(スクエア)の厚さに相違があります。 ・仕上表(2)他 — T9.5 ・1階天井伏図(3)他 — T9.5 ・主要展開図(2)他 — T12 T9.5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
324	A-010	天井仕上の範囲	仕上表(3)において、1階放射線治療・核医学の天井仕上にGB-Rt12.5+ビニルクロス、GB-Dt9.5の指示がありますが施工範囲が不明です。それぞれの施工範囲を御指示下さい。	治療室をGB-Rt12.5+ビニルクロス 機械室をGB-Dt9.5としてください。
325	A-010 A-073	仕上の相違について	2階汚物処理室1の壁仕上に相違があります。 ・仕上表(3) — EP-Si ・水廻り展開図(3) — FK-D EP-Siを正と考えて宜しいですか。	水廻り詳細図(3) — FK-Dを正としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
326	A-010 A-093 A-040 A-041	天井高さの相違	1階待合3の天井高に相違があります。 ・仕上表(3) — CH=2, 700 ・1階天井伏図(3) — CH=2, 700 ・矩計図(10) — CH=2, 500 ・矩計図(11) — CH=2, 500 CH=2, 700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
327	A-010 A-093 A-041	天井高さの相違	1階RI待合の天井高に相違があります。 ・仕上表(3) — CH=2, 500 ・1階天井伏図(3) — CH=2, 500 ・矩計図(11) — CH=3, 000 CH=2, 500を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
328	A-010 A-093 A-041	天井高さの相違	1階SPECTの天井高に相違があります。 ・仕上表(3) — CH=2, 700 ・1階天井伏図(3) — CH=2, 700 ・矩計図(11) — CH=3, 000 CH=2, 700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
329	A-010 A-093 A-041	天井高さの相違	1階操作・治療計画室の天井高に相違があります。 ・仕上表(3) — CH=2, 500 ・1階天井伏図(3) — CH=2, 500 ・矩計図(11) — CH=3, 000 CH=2, 500を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
330	A-010 A-093 A-041	天井高さの相違	1階CTシュミレーターの天井高に相違があります。 ・仕上表(3) — CH=2, 700 ・1階天井伏図(3) — CH=2, 700 ・矩計図(11) — CH=3, 000 CH=2, 700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
331	A-010 A-094	天井仕上の相違	2階EVホール3天井のリップボードの下地に相違があります。 ・仕上表(3) — FK-t6 ・2階天井伏図(1) — GB-Rt9. 5 FK-T6を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
332	A-010 A-094	天井仕上の相違	2階外来受付1～3、相談・周診コーナー1～3天井のリップボードの下地に相違があります。 ・仕上表(3) — GB-Rt12. 5 ・2階天井伏図(1) — GB-Rt9. 5 GB-Rt12. 5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
333	A-010 A-096	天井高さの相違	2階化学療法隔離室の天井高に相違があります。 ・仕上表(3) — CH=2, 700 ・2階天井伏図(3) — CH=2, 500 CH=2, 700を正と考えて宜しいですか。	CH=2, 500を正としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
334	A-010 A-096 A-034	天井高さの相違	2階化学療法室の天井高に相違があります。 ・仕上表(3) — CH=2, 500 ・2階天井伏図(3) — CH=2, 500 ・矩計図(4) — CH=2, 700 CH=2, 500を正と考えて宜しいですか。	CH=2, 500を正としてください。
335	A-010 S-103	操作・治療計画室の床下りについて	仕上表(3)に於いて、1階<放射線治療・核医学>の操作・治療計画室の床の躯体レベルにFL-150及びFL-350の指示がありますが、[リニアック棟]1階・2階床伏図ではFL-150のみの指示です。FL-350は該当無しといたしますが宜しいですか。	A-272 医療機器詳細図(20)を参照してください。
336	A-010・219	ユニットシャワーの数量について	ユニットバス詳細図(1)において、JSV0808Lのタイプ表で「3F×2か所、4F×2か所の合計が4か所」とありますが、リニアック棟の1階汚染検査室横のSWにも1か所ある為、合計で5か所と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
337	A-10 A-73	2F HWC4の壁仕上について	2F HWC4の壁仕上について、 A-10図 ビニルクロス A-73図 FK-D2 とありますが、仕上表を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
338	A-011	EVホール5及び廊下4の天井下地について	仕上表(4)に於いて、3階<共通>のEVホール5及び廊下4の天井にビニルクロスの指示がありますが、下地のボードが不明です。石膏ボードT12.5を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
339	A-011 A-095	天井仕上の相違	2階OP手術室の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(4) — FK-T6+NAD ・2階天井伏図(2) — GB-Rt12.5+GB-NCt9.5+EP-Si FK-T6+NADを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
340	A-011 A-097	天井仕上の相違	3階前室3の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(4) — GB-Dt9.5 ・3階天井伏図(1) — GB-Rt12.5+DRt12 GB-Dt9.5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
341	A-011・012・015	電気室の天井下地について	仕上表(4)・(5)・(8)に於いて、3階<共通>の電気室、4階<共通>の空調機器室1～3、8階機械室の天井にグラスウールボードの下地が軽鉄下地の指示ですが、天井高は直天です。軽鉄下地不要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
342	A-012	OPホール・機材スペース・ホールの天井下地について	仕上表(5)に於いて、4階<OP>のOPホール・機材スペース・ホールの天井に不燃メラミン化粧板の指示がありますが、下地のボードが不明です。石膏ボードT12.5を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
343	A-012	天井 不燃メラミン化粧板の下地について	天井 不燃メラミン化粧板の下地について、仕上表(5)のOPホール・機材スペースにはGB-Rt12.5を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
344	-	下り壁の構成について	下り壁の構成について、特記無き限り下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・下地:LGS+GB-Rt12.5 ・仕上:壁仕上に倣う (壁仕上がタイル・化粧ケイカル・メラミン化粧板等の場合はEP-Siとする)	お見込みの通りです。
345	A-012 A-097・098	天井仕上の相違	3階管理メールボックス1・2の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(5) — GB-Dt9.5 ・3階天井伏図(1)(2) — GB-Rt12.5+DRt12 GB-Dt9.5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
346	A-012 A-100	天井仕上の相違	4階EVホール2の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(5) — GB-Dt9.5 ・4階天井伏図(1) — GB-Rt12.5+DRt12 GB-Dt9.5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
347	A-012 A-100	天井高さの相違	4階OP家族待合室2・3の天井高に相違があります。 ・仕上表(5) — CH=2,800 ・4階天井伏図(1) — CH=2,500 CH=2,800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
348	A-012 A-100	天井高さの相違	4階OP前室7の天井高に相違があります。 ・仕上表(5) — CH=2,700 ・4階天井伏図(1) — CH=2,500 CH=2,700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
349	A-012 A-100	天井高さの相違	4階OP前室2・3の天井高に相違があります。 ・仕上表(5) — CH=2,800 ・4階天井伏図(1) — CH=2,500 CH=2,800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
350	A-012 A-100	天井高さの相違	4階OP器材室1の天井高に相違があります。 ・仕上表(5) — CH=2,700 ・4階天井伏図(1) — CH=2,800 CH=2,700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
351	A-012 A-100 A-032	天井高さの相違	4階研修ルームの天井高に相違があります。 ・仕上表(5) — CH=2,800 ・4階天井伏図(1) — CH=2,800 ・矩計図(2) — CH=2,500 CH=2,800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
352	A-012 A-100 A-39	天井高さの相違	4階OPホールの天井高に相違があります。 ・仕上表(5) — CH=2, 800 ・4階天井伏図(1) — CH=2, 800 ・矩計図(9) — CH=2, 700 CH=2, 800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
353	A-012 A-101	天井仕上の相違	4階廊下6の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(5) — GB-Dt9. 5 ・4階天井伏図(2) — GB-Rt12. 5+DRt12 GB-Dt9. 5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
354	A-012 A-115	EVホール3の中木の使い分けについて	仕上表(5)に於いて、4階<共通>のEVホール3の中木にビニル巾木及びステンレス巾木の指示がありますが、それぞれの施工範囲が不明です。4階雑伏図では腰壁の指示が無い為、ステンレス巾木は不要として宜しいですか。	不要です。
355	A-012・100	天井メラミン化粧板の納まりについて	仕上表では直貼、天井伏図では捨貼石膏ボード厚12.5と相違します。天井伏図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	FK t6.0 + 不燃メラミン化粧板としてください。
356	A-013 A-084	前室9・処置・倉庫の中木の使い分けについて	仕上表(6)に於いて、4階<N病棟>前室9・処置・倉庫の中木にビニル巾木及びメラミン巾木の指示がありますが、主要展開図(5)ではメラミン巾木のみ指示です。ビニル巾木は該当無しとして宜しいですか。	お見込みの通りです。
357	A-013 A-100	天井高さの相違	4階OPリカバリー室の天井高に相違があります。 ・仕上表(6) — CH=2, 800 ・4階天井伏図(1) — CH=2, 500 CH=2, 800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
358	A-013 A-100 A-39	天井高さの相違	4階薬品輸血庫の天井高に相違があります。 ・仕上表(6) — CH=2, 500 ・4階天井伏図(1) — CH=2, 500 ・矩計図(9) — CH=2, 700 CH=2, 500を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
359	A-013 A-101	天井仕上の相違	4階コントロール室の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(6) — GB-Rt12. 5+DRt12 ・4階天井伏図(2) — FKt6+NAD GB-Rt12. 5+DRt12を正と考えて宜しいですか。	FKt6+NADを正としてください。
360	A-013 A-101	天井仕上の相違	4階麻酔部長室の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(6) — GB-Dt9. 5 ・4階天井伏図(2) — GB-Rt12. 5+DRt12 GB-Dt9. 5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
361	A-013 A-102	天井仕上の相違	4階麻酔部長室の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(6) — GB-Dt9.5 ・4階天井伏図(3) — GB-Rt12.5+DRt12 GB-Dt9.5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
362	A-013 A-102	天井高さの相違	4階N病棟スタッフWC5の天井高に相違があります。 ・仕上表(6) — CH=2,400 ・4階天井伏図(3) — CH=2,500 CH=2,400を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
363	A-013 A-103	天井仕上の相違	5～7階EVホール2の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(6) — GB-Dt9.5 ・5階天井伏図(1) — GB-Rt12.5+DRt12 GB-Dt9.5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
364	A-013 A116	EVホール3の壁仕上の使い分けについて	仕上表(6)に於いて、5階～7階<共通>のEVホール3の壁に吹付塗装C及び不燃木パネルの指示がありますが、それぞれの施工範囲が不明です。EV-2・3の扉前壁を不燃木パネル、それ以外を吹付塗装Cと想定いたしますが宜しいですか。	展開図を参照してください。
365	A-013 S-029	倉庫1・2の鋼製床組の有無について	仕上表(6)に於いて、4階<N病棟>の倉庫1・2の床に鋼製床組の指示がありますが、躯体レベルはFL-10の指示です。4階床伏図では床下りが無い為、鋼製床組は不要として宜しいですか。	お見込みの通りです。
366	A-13	5F個室Fの壁仕上について	5F個室Fの壁仕上について仕上表にビニルクロス・強化ビニルクロスとありますが、強化ビニルクロスはH1100で全面に見込んでよろしいですか。	A面H1100強化ビニルクロス、上部ビニルクロス B面FK-D3t6 C面ビニルクロス D面ビニルクロス としてください。
367	A-13	断熱材について	仕上表よりオートクレープの備考欄に天井スラブ躯体に断熱材吹付t100とありますが、仕様は発泡ウレタン吹付と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
368	A-13 A-60	5F個室Dの壁仕上について	5F個室Dの壁仕上について、仕上表にビニルクロス・強化ビニルクロス・FK-D3とありますが、FK-D3をM通り面に見込むと見え、他面をビニルクロス及びH1200強化ビニルクロスと考えてよろしいですか。	A-77図に倣ってください。
369	A-13 A-77	個室Eの壁仕上について	個室Eの壁仕上について、ビニルクロス・FK-Dt3の使い分けは、A-77図個室Aに倣ってよろしいですか。 (展開図が無いため)	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
370	A-13 A-77	2床室Aの壁仕上について	2床室Aについて、病院詳細図では見受けられませんが、展開図も含み4床室A・個室Cに倣ってよろしいですか。	お見込みの通りです。
371	A-13 A-85他	病棟廊下巾木について	4F廊下1～5の巾木について、Sとありますが施工範囲の確認ができません。展開図よりMB巾木と読み替えてよろしいですか。必要であれば施工範囲をご指示下さい。	S巾木は有りません。展開図を参照してください。
372	A-13 S-29	4F 倉庫1・2壁仕上について	4F 倉庫1・2について、仕上表 壁仕上にEP-Si・不燃木パネル・強化ビニルクロスとありますがそれぞれの範囲が確認できません。EP-Siのみと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
373	A-13・14・24～26 A-79	5～7F重症個室A・Bの壁仕上について	5～7F重症個室A・Bの壁仕上について、仕上表にスチールパーテーション焼付塗装とありますが、4Fと同様にビニルクロスと読み替えてよろしいですか、スチールパーテーションであれば、納まり及び範囲・程度をご指示下さい。	お見込みの通りです。
374	A-014 A-104	天井仕上の相違	5階前室・面会スペースの天井仕上に相違があります。 ・仕上表(7) — GB-Dt9. 5 ・5階天井伏図(2) — GB-Rt12. 5+DRt12 GB-Dt9. 5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
375	A-014 A-104	天井仕上の相違	5階前室・面会スペースの天井仕上に相違があります。 ・仕上表(7) — GB-Dt9. 5 ・5階天井伏図(2) — GB-Rt12. 5+DRt12 GB-Dt9. 5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
376	A-014 A-104	天井高さの相違	5階調乳室の天井高に相違があります。 ・仕上表(7) — CH=2, 500 ・5階天井伏図(2) — CH=2, 400 CH=2, 500を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
377	A-014 A-106	天井仕上の相違	6階部長コーナー2の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(7) — GB-Rt12. 5+DRt12 ・6階天井伏図(1) — GB-Dt9. 5 GB-Rt12. 5+DRt12を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
378	A-014 A-107	天井仕上の相違	6階言語指導室の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(7) — GB-Dt9. 5 ・6階天井伏図(2) — GB-Rt12. 5+DRt12 GB-Dt9. 5を正と考えて宜しいですか。	GB-Rt12. 5+DRt12を正としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
379	A-014 A-117	リハビリラウンジの巾木の使い分けについて	仕上表(7)に於いて、6階<病棟>のリハビリラウンジの巾木にビニル巾木及びメラミン巾木の指示がありますが、それぞれの施工範囲が不明です。6階雑伏図では腰壁の指示が無い為、メラミン巾木は不要として宜しいですか。	柱部のみ壁面不燃メラミンとし、メラミン巾木としてください。 その他は腰壁強化ビニルクロス、上部ビニルクロスとしてください。
380	A-14 A-104	5F沐浴・授乳室の天井仕上について	5F沐浴・授乳室の天井仕上について、 A-14図 FKt6+NAD A-104図 F(GB-Rt12.5+ビニルクロス) とありますが、A-14図を正と考えてよろしいですか。	F(GB-Rt12.5+ビニルクロスとしてください。)
381	A-14 A-104	5F調乳室の天井高について	5F調乳室の天井高について、 A-14図 H2500 A-104図 H2400 とありますが、A-14図を正と考えてよろしいですか。	H2,400としてください。
382	A-14 A-107	6F言語療法室1の天井高について	6F言語療法室1の天井高について、 A-14図 H2500 A-107図 H2300 とありますが、A-14図を正と考えてよろしいですか。	外壁側のみ折り下げてH2300としています。
383	A-14 A-116	5Fプレイルーム壁仕上について	3F廊下2の壁仕上について、 A-11図 ビニルクロス・不燃メラミン化粧板 A-116図 凡例WG-B とありますが、A-116図を正と考えビニルクロスは不要と考えてよろしいですか。 必要であれば施工範囲をご指示下さい。	WG-Bとしてください。
384	A-015 A-110	天井仕上の相違	7階倉庫の天井仕上に相違があります。 ・仕上表(8) — GB-Dt9.5 ・7階天井伏図(2) — GB-Rt12.5+DRt12 GB-Dt9.5を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
385	A-015 A-111	天井高さの相違	7階EVホール1の天井高に相違があります。 ・仕上表(8) — CH=2,500 ・7階天井伏図(3) — CH=2,400 CH=2,500を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
386	A-015 A-328	車庫の壁・天井仕上相違	車庫の壁・天井の打放補修の程度に相違があります。 ・仕上表(8) — 打放し(B種)補修 ・矩計図 — コンクリート化粧打放し 打放し(B種)補修を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
387	A-015・325	白線引きの仕様について	仕上表(8)において、一般ごみ置場の備考に「白線引きW=100」とありますが、仕様が不明です。白線引きの仕様を御指示下さい。	トラフィックペイントとしてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
388	A-015・327	同等メーカー・品番について	階段1～3 補助手摺φ34 塩ビ樹脂被膜の同等メーカー・品番を御指示下さい。	ナカ工業 O-34タイプとしてください。
389	A-019	湧水槽の仕上について	ピット階平面図に於いて、7～8通り・L～M通りに下部湧水槽の指示がありますが、仕上が不明です。下記と想定いたしますが宜しいですか。 ①床 — 塗膜防水 ②壁 — 塗膜防水 ③天井 — 打放補修素地	A-019 右下 図示の通りです。
390	A-019	湧水槽の仕上について	上記質疑に於いて、塗膜防水のグレードが不明です。同等メーカー・品番などを御指示下さい。	ピット図を参照してください。
391	A-019	免震ピットの免震装置リブレイス 用搬入ルートについて	ピット階平面図において、「免震装置リブレイス用搬入ルート」の斜線図示が見られますが、斜線部分の仕様が不明です。範囲を図示しているだけで、建築の仕上としては、特に対応不要と判断しますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
392	A-019	ピット釜場の防水下地について	ピット階平面図において、釜場の防水下地の仕様が不明です。モルタルの上、塗膜防水と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
393	A-019	ピットの立入禁止サインについて	ピット階平面図において、「立入禁止サイン」の図示がありますが、仕様・形状が不明です。御指示下さい。	サイン図の通りです。
394	A-019	湧水槽MHについて	ピット階平面図の湧水槽で、MHとありますが、凡例が見当たりません。MHの仕様・寸法と併せて御指示下さい。	600φ 鋳鉄製 防水・防臭型としてください。
395	A-019 A-041	ピットの立上げ通気管について	ピット階平面図において、地上部立上げ通気管の図示がありますが、地上立上げ寸法(地盤面から)は、H500と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
396	A-019 S-24	既存救急センターとの接続部について	ピット階平面図において、A通り既存救急センターとの接続部に止水ゴムの指示がありますが、納まりの分かる詳細図がありません。接続部の袖壁・スラブの構造リスト、及び既存壁の解体・改修について分かる詳細図の発行をお願い致します。	既存側躯体に袖壁W180、出寸法200(配筋D16ダブル)、上下スラブ厚み180、出寸法200(配筋D16ダブル)を打設します。その際既存躯体にケミカルアンカーD13@200を四周に施工します。またその際に本体側に止水ゴム:横浜ゴムダイナミックシール Y150CA を打ち込みます。
397	A-019 S-24・216	配管トレンチとの接続部について	上記に続きますが、配管トレンチ、リニアックとの接続部についても詳細を御指示下さい。	止水ゴム:横浜ゴムダイナミックシール Y150CA を打ち込みます。
398	A-019、020	シールド諸室の下部について	免震ピットでシールド諸室の下部エリアに立ち入り禁止措置が必要ないでしょうか。必要な場合は具体的な方法をご指示下さい。	スラブ厚t200以上確保していますので、免震層の立ち入り禁止は無いと考えています。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
399 A-019、020、167、参考数量書P201、353	参考数量書の床点検口600角について	床点検口600角の数量が、下記の様に異なります。 本館・リニアック棟の床点検口600角の数量を棟別に御指示下さい。 *部分詳細図D2-9: 床点検口600角を40か所設置 *ピット階平面図: 本館 床点検口 無し リニアック棟 床点検口 3か所 *1階平面図: 消火ポンプ室(下部消火水槽)に口の図示があります。 *参考数量書(P201)(P353): 本館 床点検口 40か所 リニアック棟 床点検口 無し	本館 床点検口 37か所 リニアック棟 床点検口 3か所
400 A-019、167、参考数量書P201、353	参考数量書のマンホール600φについて	マンホール600φの数量が、下記の様に異なります。本館・リニアック棟のマンホール600φの数量を棟別に御指示下さい。 *部分詳細図D2-10: 数量の記載はありません。 *ピット階平面図: マンホールはありません。 *参考数量書P201、353 本館 6か所 リニアック 1か所	参考内訳書の通りです。 光庭や消火ポンプ室、湧水槽などです。
401 A-019・020	FS下部のEVについて	ピット階平面図において、下記の範囲にEVピットが指示ありますが、上階にはEVシャフトは無くFSとなっています。将来用のピットとして想定いたしますが宜しいですか。 ①B～C通り・1～2通り ②T～U通り・5～6通り ③I～I'通り・12～13通り	お見込みの通りです。
402 A-19・40	地下ピットについて	リニアック棟ピットについて、床・立上りは以下のように考えてよろしいですか。 床:コンクリート金鍍 素地 立上り:打放補修 素地 釜場:H600 ウレタン塗膜防水(X-2) 又、タラップについては、ステンレス製 φ19 @300程度と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。タラップはW400Φ22@350とします。
403 A-19	湧水槽の仕上について	免震ピット内の下部湧水槽については、消火水槽と同様のケイ酸質系防水を6面に見込んでよろしいですか。	A-019 右下 図示の通りです。
404 A-19・31他	免震ピットについて	免震ピットについて、床・立上りは以下のように考えてよろしいですか。 床:コンクリート金鍍 素地 立上り:打放補修 素地 又、天井断熱材についてはSRC梁型にも見込むと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
405 A-19・31他	免震ピットについて	上記質疑に伴い、免震上部基礎については断熱材は不要と考えてよろしいですか。	必要です。範囲はD9-5の通りとします。 硬質ウレタンフォーム吹付t35としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
406	A-020	消火水槽の仕上について	1階平面図に於いて、2～3通り・T～U通りの消火ポンプ室下部に消火水槽の指示がありますが、仕上が不明です。下記と想定いたしますが宜しいですか。 ①床 — 塗膜防水 ②壁 — 塗膜防水 ③天井 — 打放補修素地	A-019 右下 図示の通りです。
407	A-020	消火水槽の仕上について	上記質疑に於いて、塗膜防水の同等メーカー・品番を御指示下さい。	大関化学工業 ケイ酸質系塗布防水同等品としてください。
408	A-20	堅樋の経路について、	堅樋の経路について、A-20図 M通*4通、I通*4通、L通*7通の1FL移行の排水経路をご指示下さい。	ピットに集水し、ポンプアップとします。
409	A-20	堅樋の経路について、	堅樋の経路について、U通*2通、スラブ上を這樋にて横引と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
410	A-020～027 A-166	耐火被覆の仕様について	以下に挙げる柱耐火被覆の仕様を御指示下さい。 ■2階レストラン(職員)の丸柱 ■3階廊下4の丸柱 ■3階副院長室2の丸柱 ■3階電気室の丸柱 ■各階FSで壁に囲まれていない柱・梁 ■各階機械室等で壁に囲まれていない柱・梁	■2階レストラン(職員)の丸柱 ■3階廊下4の丸柱 ■3階副院長室2の丸柱 →耐火シートt3.0(t1.5二重張) ■3階電気室の丸柱 ■各階FSで壁に囲まれていない柱・梁 ■各階機械室等で壁に囲まれていない柱・梁 →セラタイカとし、厚みはA-166図 D1-1を確認ください。
411	A-020・167	1階廻りの堅樋の経路について	1階平面図において、外周廻り外樋の経路が不明です。下記と想定いたしますが宜しいですか。 ①1・D通り他直下が排水溝の箇所 — 1階排水溝へ放流(樋受け無し) ②1・B通り他直下が犬走りの箇所 — 犬走りスラブを貫通し、免震ピット内を横引きし、部分詳細図(2)D2-7A免震ピット受け桝へ放流 ③1・B通りFS2室他屋内樋 — 1階スラブを貫通し、免震ピット内を横引きし、部分詳細図(2)D2-7A免震ピット受け桝へ放流 ④リニアック棟LX1通りLY1通り他免震に関連しない箇所 — 第一桝まで地中埋設管にて排水	①お見込みの通りです。 ②犬走りを貫通せず露出配管で側溝に放流 ③お見込みの通りです。 ④お見込みの通りです。
412	A-021	庇2・3について	庇2・3の堅樋の位置が不明です。御指示下さい。	両端部に設置してください。
413	A-021～027	屋根 排水溝について	各屋根 アスファルト防水(AI-2・DI-2)の排水溝の範囲が平面図・平面詳細図では把握出来ません。範囲及びW寸法を御指示下さい。	AI-2の排水溝は、同部のパラペットにこの長さにて見積もりください。DI-2はございません。
414	A-022	3階屋根について	3階平面図 M通～Q通*10通～12通(平面L型)部の屋根はアスファルト露出防水(DI-2)と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	AI-2となります。仕上げ表の2階屋根2の仕様で見積もりください。
415	A-022・024	屋根 排水溝について	3階テラス・5階光庭 アスファルト保護断熱防水(AI-2)の排水溝は溶接金網 2.6φ-50*50 モルタル塗と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
416	A-22・23	3階 I通*13通 内樋の員数について	3階 I通*13通 内樋の員数について、A-22図 3階 I通*13通 内樋が3本ですが、A-23図の壁樋も合わせ4本と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
417	A-026 A-066	7階屋根2部ルーフドレインについて	7階T-U通り5-6通り屋根2部のルーフドレインのか所数に相違がありません。 ・7階平面図 — 1か所 ・7階平面詳細図(2) — 2か所(ずれて庇に記載があります) 1か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
418	A-026・008	7階屋根について	7階平面図でL'通~M通*11通~13通、T~U通*5通~6通に屋根2の記入がありますが、外部・外構仕上表 部位欄には屋根2は見当りません。防水仕様を御指示下さい。	7階の屋根は8階部とお考えください。
419	A-027	8階外部階段について	8階平面図において、H通りに鉄骨階段の指示がありますが、詳細の指示がありません。下記について御指示下さい。 ①鉄骨階段の部材メンバー ②受け鉄骨の部材メンバー・配置 ③仕上 ④手摺の仕様・部材メンバー	①ササラ:PL-12x300、段板:PL-4.5、ベースプレート:PL-12x120x340、A.BOLT:2-M16 ダブルナット締め、フック付き、埋込長さL=320とします。 ②CGX42とします。 ③溶融亜鉛メッキ ④ヘリポート渡り廊下の手すりと同様の仕様としてください。
420	A-027	8F屋根の鉄骨階段について	8FL屋根 H×5通り鉄骨階段について、仕上・手摺の詳細を御指示下さい。	ヘリポート渡り廊下の手すりと同様の仕様としてください。
421	A-027・008	8階屋根1について	8階平面図で屋根外周囲に屋根1の記入がありますが、外部・外構仕上表 部位欄には見当りません。3・4階屋根1と同仕様と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	8階平面図屋根1は7階屋根1とお考えください。
422	A-027・008	塔屋屋根について	屋根伏図でF通~H通*3通~5通屋根に屋根1の記入がありますが種小口部分の納まりを御指示下さい。又、防水仕様は3・4階屋根1(ウレタン・ゴムアス 複合防水)と同仕様と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-176図の通りとします。
423	A-028	外壁押出成形セメント板の種類について	立面図(1)北側立面図において、4階L'~M通りの凡例がA押出成形セメント板フラットパネル+B押出成形セメント板ダブルカットとありますが、組み合わせの割合が不明です。同じ割合を想定いたしますが宜しいですか。	1:1としてください。
424	A-028・029	外壁押出成形セメント板の種類について	上記において、凡例A+B以外にも凡例B+C他、多数押出成形セメント板の2種類の組み合わせ張りがあり、立面図(2)南側立面図では、凡例A+D+Eの3種類の組み合わせ張りも御座います。凡例○+○(+○)の箇所の押出成形セメント板の組み合わせは、同じ割合を想定いたしますが宜しいですか。	A+D+Eについては着色部分のみA その他はD:E=1:1の割合としてください。
425	A-028	外壁 押出成形セメント板について	光庭 立面図に凡例の記入がありません。全域 A フラットタイプ 親水性樹脂塗料と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
426	A-028 A-029	外壁仕上の凡例について	立面図 外壁仕上の下記について、各凡例の割合は全て1:1と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ①凡例A+B ②凡例B+C ③凡例C+D ④凡例D+E	1:1としてください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
427 A-028・029	外壁押出成形セメント板の種類について	立面図(1)・(2)において、下記の箇所の外壁が凡例A押出成形セメント板フラットパネルとありますが、他の凡例A押出成形セメント板フラットパネルとは異なり、濃色の柄がつけられています。凡例B押出成形セメント板ダブルカットに読替えて宜しいですか。 ①北側立面図1～3階I'～M通り ②北側立面図7階下部O～Q通り ③東側立面図6階7～8通り ④南側立面図1～3階B～C通り ⑤南側立面図1～3階L～M通り ⑥南側立面図5～7通りJ～L通り ⑦西側立面図1～3階1～2通り	フラットパネルです。塗装色の違いを表現しています。
428 A-028・029	外壁押出成形セメント板の種類について	立面図(1)・(2)において、各所サッシ上部や南側立面図4階C通り等の濃色の柄の押出成形セメント板の凡例が不明です。全て凡例B押出成形セメント板ダブルカットを想定いたしますが宜しいですか。	フラットパネルです。塗装色の違いを表現しています。
429 A-028・029 参考数量書P-188	塔屋タラップについて	参考数量書 金属 外部に計上されている塔屋 背カゴ付タラップ 2項目が立面図等には見当たりません。設置場所を御指示下さい。	A-052リニアック棟部、068図EV-7北側です。
430 A-028・29	外壁 押出成形セメント板について	特記仕様書 8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 4.押出成形セメント板 タイルベースパネルに○印がありますが、外部・外構仕上表 外壁1～3階欄では接着張の記入があります。フラットパネル 粗研削加工 全面弾性接着張工法とはならないのでしょうか。御指示下さい。	図面通りとしてください。
431 A-028・29	外壁 押出成形セメント板について	立面図 凡例 B・C・D・E・Fの押出成形セメント板 デザインパネルはノザワ:アスロックNeo同等品と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
432 A-028・29	外壁 押出成形セメント板について	立面図 凡例 A 押出成形セメント板 フラットタイプ厚60親水性フッ素樹脂塗料の表示が白と黒の2種類がありますが、色違いでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
433 A-028・29	外壁 押出成形セメント板について	立面図で凡例 B+C、C+D、D+Eの記入がありますが、立面図では各範囲が把握できません。各範囲区分を御指示下さい。	5Fハッチング部分B+C 6Fハッチング部分C+D 7Fハッチング部分D+Eとしてください。
434 A-028・29 特記仕様書P-21	外壁 押出成形セメント板について	特記仕様書 8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 4.押出成形セメント板 幅欄で600・900に○印がありますが、900 ワイドパネルの範囲が立面図では把握出来ません。使用範囲を御指示下さい。	低層部の幅は基本的に600幅としタイル部分、A+B B+C C+D D+E部分、南側立面図のJ-L通り間の着色部分、病棟の凹凸部分以外の縦長窓部分等としてください。その他の寸法は立面図の通りです。病棟部分については意匠別紙21を参照してください。
435 A-028・29他 特記仕様書P-33	アルミ表面処理について	アルミ型材 表面処理で焼付塗装と記入分は、特記仕様書 金属工事 2 アルミニウム及びアルミニウム合金欄のB-2種 ブラック系と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	特記なき場合は、B2-ブラック系で見積もりください。また、D10-13のアンダールはマットシルバーとします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
436	A-007 特記仕様書P-33	アル表面処理について	アル型材 表面処理が共通特記事項 工事別 塗装工事欄では2次電解着色の記入ですが、上記、特記仕様書を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	二次電解着色のブラックとしてください。
437	A-28	成形板のタイル張(立面凡例G)について	成形板のタイル張(立面凡例G)について、外壁タイルベースパネルの上、タイル張りについては、現場張りでは剥離・落下の恐れがありますので押出成形板の上、タイル張部は全て工場張りと考えてよろしいですか。	現場張りとしてください。
438	A-28	成型板の割合について	成型板の割合について、立面図凡例、A+B、B+C、C+D、D+Eとありますが、割合は50%:50%と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
439	A-28	立面図 黒色部分 凡例Aについて	立面図 黒色部分 凡例Aについて、塗装の塗分けと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
440	A-28 A-174 D9-10	屋上目隠し壁の仕上について	屋上目隠し壁の仕上について、外壁側のみ塗装仕上(内側 成型板 素地)と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
441	A-28 A-32	北立面 3～4F間 B-E通間の外壁仕上について	北立面 3～4F間 B-E通間の外壁仕上について、 A-28図:現場タイル張 A-32図:フッ素樹脂塗装 とありますが、A-28図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
442	A-029	リアック棟 堅樋について	立面図で堅樋仕様がステンレス150角の記入ですが、本館と同様のアルミに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
443	A-029 参考数量書P-350	リアック棟 堅樋について	上記、堅樋の寸法が参考数量書 屋根及びとい 外部では100角、立面図では150角で相違します。御指示下さい。	A-008記載 北東側150φ その他100φとしてください。
444	A-029・032	庇見付アルミ幕板について	立面図(2)西側立面図において、3・4階7～11通りのスラブ小口に凡例IアルミパネルT4、0焼付塗装の指示がありますが、矩計図(2)他より、3・4階のスラブ小口はアルミ型材ボーダーです。凡例IアルミパネルT4、0焼付塗装を凡例Hアルミ型材ボーダーコの字75×150焼付塗装に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
445	A-29	成型板の割合について	成型板の割合について、立面図凡例、A+D+Eとありますが、割合は均等割と考えてよろしいですか。	A+D+Eについては着色部分のみA その他はD:E=1:1の割合としてください。
446	A-29	5～7F 6通 成形板デザインパネルについて	5～7F 6通 成形板デザインパネルについて、5F:A+B、6F:B+C、7F:C+Dとありますが、5FB+C、6F:C+D、7F:D+Eと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
447	A-29	西立面図 3・4F 凡例Iについて	西立面図 3・4F 凡例Iについて、凡例Hと読み替えてよろしいですか。又、4Fの庇先端見切は全て凡例Hと考えてよろしいですか。	4F I'～B 13～3、6通りの間は凡例Hとしてください。
448	A-031	1階廻りアルミ手摺2の詳細について	矩計図(1)において、1階廻りに免震擁壁部にアルミ手すり2の指示がありますが、部材メンバーが不明です。御指示下さい。	参考内訳書の仕様同等とします。
449	A-031	免震ピットの防虫について	免震ピット擁壁天端に防虫ゴムを設けると考えてよろしいでしょうか。	不要とします。
450	A-031	擁壁外防水の仕様について	免震ピット擁壁外防水のゴムアス塗膜防水の仕様はY-1としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
451	A-031	1階外壁立上りの打継部について	1階外周に犬走りコンがない部分の、外壁RC立上りの打継部は塗膜防水(糸巾200程度を施す)としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
452	A-031 S-15	免震装置の耐火被覆について	免震ピット内、1FL鉄骨梁に耐火被覆がありますが、免震装置に耐火被覆は不要でしょうか。必要であれば仕様(メーカー品番等)をご指示ください。	免震装置は耐火被覆は不要です。
453	A-031 建築工事特記仕様書P22	屋上露出断熱アスファルト防水の断熱材の仕様について	屋上露出断熱アスファルト防水の断熱材の仕様に相違があります。 ・矩計図(1) — ポリスチレンフォーム保温板 ・建築工事特記仕様書P22 9章防水工事 — 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号もしくは2号又はA種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号又は2号 ポリスチレンフォーム保温板を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
454	A-031、322	防水の仕様について	屋上防水の仕様が下記のように異なります。矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 * 矩計図: 露出断熱 立上り露出 * ヘリポート部分詳細図: 防水押えコンクリート 立上り保護板	お見込みの通りです。
455	A-031～034・037	スラブ底断熱材について	最上階スラブ底断熱補強硬質ウレタンフォームの厚みが、矩計図1～3・7では50、矩計図4では35と相違します。矩計図1～3・7を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
456	A-031・047 参考数量書P-188	1階犬走り手摺について	矩計図及び1階平面詳細図で免震ピット周囲犬走り手摺がアルミ手摺2の記入ですが、部分詳細図には見当たりません。参考数量書 金属に計上されている。犬走り手摺の仕様に倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
457	A-031・S-30	5～7階4床室の鋼製床組の範囲について	矩計図ではW1295程度、伏図ではW2300程度と相違します。伏図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
458	A-31	免震擁壁～1Fスラブ間のクリアランス50について	免震擁壁～1Fスラブ間のクリアランス50について、免震ゴム等必要な場合、仕様・詳細をご指示下さい。	不要とします。
459	A-032	免震擁壁部のグレーチングについて	矩計図(2)において、免震擁壁部排水溝にステンレスグレーチングW650の指示がありますが、施工範囲が不明確です。免震EXP. J配置部分を除くA'通りA～I通りに必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
460	A-032	アルミ型材ボーダーの取付下地について	矩計図(2)において、4階庇先端にアルミ型材ボーダーの指示がありますが、RC庇先端への取付要領が不明です。御指示下さい。	A-174図 D9-9と同等としてください。
461	A-032	アルミ見切縁について	矩計図(2) 3FL 押出成形セメント板下端 アルミ無アングル 75*75*4は既製品と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
462	A-032	免震ピット外周側溝について	免震ピット外周側溝の立上り壁及び立上り壁天端は塗膜防水(X-2)と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
463	A-032	免震ピット外周側溝について	免震ピット外周側溝の立上り壁の外側(地中部)に塗膜防水は不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	塗膜防水(Y-1)とします。
464	A-032	免震擁壁のスリットについて	免震ピット擁壁天端～犬走りスラブ下端間のスリットH50について、免震スリットカバー等が必要と思われます。仕様・詳細を御指示下さい。	不要とします。
465	A-032～、176	2重パラペットの捨て笠木	2重パラペットの笠木(既製品)の下には、止水対策として、板金+加硫ゴム系ルーフィングの捨て笠木を設けると考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
466	A-032・077	病室AW額縁の仕様について	病室詳細図内展開図に窓枠木調オレフィンシート貼と記入がありますが、材種が不明です。矩計図の4床室樹脂製カーテンボックスより、上・縦窓枠(カーテンボックス)は樹脂製の木調オレフィンシート貼でしょうか。御指示下さい。	樹脂製の木調オレフィンシート貼としてください。
467	A-032・077	病室AW膳板の仕様について	矩計図で4床室のAW膳板に内壁指示仕上と記入がありますが、該当位置の壁仕上は化粧ケイカル板です。上枠カーテンボックスに合せ、樹脂製木調オレフィンシート貼と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	スチール焼付としてください。
468	A-33・217	下り壁の仕様について	1F SIMADAプラザ'他吹抜部I通りの斜め下り壁については、スチール t1.6と考えるとよろしいですか。鉦、同部スクリーンボックスについても同様に考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
469	A-33・80	下り壁について	1F SIMADAプラザ'の吹抜部下り壁 W150xH310については、GB-Rt12.5 1枚張と考えるとよろしいですか。又、上部アルルバーの下地についても、GB-Rt12.5+EP-Sを見込んでよろしいですか。	お見込みの通りです。
470	A-33	下り壁見切について	上記質疑において、同部上端及び下端にスチールFBの見切材が見受けられますが、焼付塗装と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
471	A-033	庇先端アルミについて	外部・外構仕上表 3階庇 鼻先欄 アルミ型材ボーダーコの字 75*150は既製品・加工品の何れでしょうか。又、板厚を併せて御指示下さい。	加工品です。t3.0としてください。
472	A-033 A-008	エントランス庇の仕上について	エントランス庇の仕上の一部に相違があります。 ・矩計図(3) ー 幕板・軒天:アルミT2. 0A-BE 谷樋:スチール防水樋T1. 8 丸柱型:コンクリート杉板本実現し+ 撥水材塗布 ・外装・外構仕上表 ー 幕板・軒天:アルミT4. 0フッ素焼付塗装 谷樋:高耐候性塩ビシート複層板T1. 6 丸柱型:打放し(A種)補修の上フッ素樹脂塗装 矩計図(2)を正と考えると宜しいですか。	幕板・軒天:アルミT2. 0A-BE 谷樋:スチール防水樋T1. 8 丸柱型:打放し(A種)補修の上フッ素樹脂塗装としてください。
473	A-033・008	庇先端アルミについて	矩計図(3) I通側4階庇先端が、3階庇先端と同様のコの字型と思われませんが、外部・外構仕上表では4〜7階庇 アルミ型材でコの字型の記入がありません。矩計図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	4F I'〜B 13〜3、6通りの間は凡例Hとしてください。
474	A-034	サッシ額縁について	サッシ額縁について、建具共通事項で特記無きはスチール製です。スチールt1.6 SOP 180×25で考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。	焼付としてください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
475 A-034～039・041 A-123～133	建具のH寸法の相違について	<p>下記外部建具のH寸法が建具表と短計図で相違します。建具表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>・(符号) (建具表) (短計図)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AW3 H1700 H1600(短計図4 9-10間1F) ・AD5 H1950 H2200(Ya 断面詳細図1F) ・AW11 H2350 H1300(Ya 断面詳細図2F) ・AW11a H2735 H2350(Xa 断面詳細図1・2F) ・AD4 H1950 H2200(Xb 断面詳細図1F) ・AW5 H1700 H1300(Xb 断面詳細図3F) ・AG9 H2350 H2200(Xb 断面詳細図4F) ・AW10a H3050 H2900(Yb 断面詳細図2F) ・AW10 H2650 H2350(Yb 断面詳細図4F) ・AW27 H2500 H2200(Yb 断面詳細図5F) ・AW27 H2500 H2350(Yb 断面詳細図6・7F) ・AW13 H2700 H2550(Yc 断面詳細図2F) ・AW13a H2350 H2200(Yc 断面詳細図3F) ・AW1 H1600 H1500(Yd 断面詳細図1F) ・AW1 H1600 H1300(Yd 断面詳細図3F) ・AW19-1 H2200 H1900(Yd 断面詳細図4F) ・AW35 H1500 H1800(Yd 断面詳細図6F) ・AW31 H2200 H2350(Xd 断面詳細図6・7F) ・AW29a H2200 H2100(Yf 断面詳細図5F) ・PD1 H1900 H2000(Yh 断面詳細図1F) 	PD-1はH2,100としてください。 その他はお見込みの通りです。
476 A-35 A-91	天井ルーバーについて	1F風除室3の天井ルーバーについて、 A-35図 有り A-91図 無し とありますが、A-35図を正と考えてよろしいですか。又、ルーバー(A)と考えてよろしいですか。	無しとしてください。
477 A-036	U通り8FL部底上裏の上裏について	矩計図(6)において、U通り8FL部底の仕上が天端～上裏までウレタン・ゴムアス複合防水となっていますが、B通り側の底同様、天端ウレタン・ゴムアス複合防水、見付アルミ小口金物、上裏外装薄塗材Eに読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
478 A-036	外壁 押出成形セメント板について	バルコニー部軒天垂壁押出成形セメント板が片持スラブ下端より垂下りとなりますが、この部分の取付金物は鉄骨梁型下部のみで宜しいでしょうか。御指示下さい。	耐風梁H-194x150x6x9(SS400)、CG梁との接合部PL-9、ボルト2-M16を見込んでください。
479 A-036	アルミ表面処理について	バルコニー他 アルミ手摺の表面処理に関しても前記 B-2種 ブラック系で宜しいでしょうか。御指示下さい。	シルバー系としてください。
480 A-036	軒天について	軒天 珪酸カルシウム板は底目地貼、廻縁 塩ビ製と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
481	A-036	軒天 見切縁について	軒天部 外壁押出成形セメント板下端役物(既製品)はアルミ製と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
482	A-036	軒天について	庇軒天 外装薄塗材E面のコンクリート増打は厚10mmと解釈して宜しいでしょうか。又、軒天面 誘発目地は@3000 目地のみシーリングは不要と解釈して宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	15mmと解釈ください。お見込みの通りです。
483	A-036 A-008	4・5階下り壁軒天のケイカル板の仕様について	4・5階下り壁軒天のケイカル板の仕様に相違があります。 ・矩計図(6) — FK(ケイカル板) ・外装・外構仕上表 — FK-D(化粧ケイカル板) FK(ケイカル板)を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
484	A-036 A-050	部屋及び間仕切の有無	矩計図(6)において、2階スタッフ通路と産婦人科診察室1の間に間仕切の図示がありますが、2階平面詳細図(1)では、スタッフ通路及び間仕切の指示はありません。スタッフ通路及び間仕切は無しと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
485	A-036 S-08	床増打ちコンクリートの配筋について	矩計図(6)において、免震ピット及びバルコニー床に増打ちの図示がありますが、配筋要領が不明です。鉄筋コンクリート構造配筋標準図(8)7-1増打補強(4)壁に倣い、増打し厚さ50mm以上の場合にD10@250程度縦横を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
486	A-036・037	庇2・3について	矩計図(6)B通 庇2、矩計図(7)13通 庇3にトップライト ポリカボネード、採光体 網入りガラスの記入がありますが、平面図には記入がなく平面寸法・配置が不明です。御指示下さい。	A-328図を参照ください。
487	A-036・037	庇2・3について	上記、トップライト ポリカボネード、採光体 網入りガラスの枠材等の詳細が不明です。断面詳細図を御提示下さい。	A-328図を参照ください。
488	A-036・037 参考数量書P-185・186	庇2・3について	庇2・3 谷樋仕様が外部・外構仕上表では耐酸被覆鋼板、参考数量書 屋根及び樋 外部では高耐候性塩ビシート複層板で相違します。参考数量書を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
489	A-36	外壁下端役物の仕様について	外壁下端役物の仕様・メーカー程度をご指示下さい。	中等品と アルミ製、底目地タイプとします。
490	A-36	庇2 折板 トップライトについて	庇2 折板 トップライトについて、W500XD6000 8か所と考えてよろしいですか。又、メーカー程度をご指示下さい。	お見込みの通りです。 元旦ビューティ A-328図参照
491	A-36 A-100	4F 空調機械室1～3ブライントボックスについて	4F 空調機械室1～3について、天井伏図にブライントボックスの図示が見受けられませんが、矩計図には見受けられません。直天・機械室につきブライントボックスは不要と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
492	A-37	テラスアルミ手摺について	テラスアルミ手摺について、仕上・詳細をご指示下さい。	手摺子@100 三協立山アルミ:71型同等品とします。
493	A-37	庇3 折板 トップライトについて	庇3 折板 トップライトについて、W500XD8500 9か所と考えてよろしいですか。又、メーカー程度をご指示下さい。	お見込みの通りです。 元旦ビューティ A-328図参照

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
494	A-037	庇折板の納まりについて	矩計図(7)において、庇3折板葺きに「タイトフレーム受けC-100×50×20×2.3@606」とありますが、タイトフレームの一般的な配置@3,000前後より大幅に密に配置されています。タイトフレーム受けの配置の見直しをされる場合、ピッチをご指示ください。	見直しは行いません。
495	A-037	庇折板のトップライトについて	矩計図(7)において、庇3折板葺きにトップライト:ポリカーボネート@2,400とありますが、平面図に配置の図示が無く、納まり詳細も不明な為、積算できません。下記について庇2・3共に御指示下さい。 ①形状・寸法・配置 ②折板フッ素ガルバリウム鋼板との納まり詳細	A-328図に記載しています。
496	A-037	庇折板の採光体について	矩計図(7)において、庇3折板葺きに「採光体:網入りガラスT6.8」とありますが、平面図に配置の図示が無く、納まり詳細も不明な為、積算できません。下記について庇2・3共に御指示下さい。 ①形状・寸法・配置 ②枠の仕様 ③折板フッ素ガルバリウム鋼板との納まり詳細	A-328図に記載しています。
497	A-037	3階テラスの植栽について	矩計図(7)において、3階テラスに「植栽:クチナシ」とありますが、植栽リストが不明です。御指示下さい。	W0.3m H0.5m 6本/m ² とします。
498	A-037	3階テラス手摺について	矩計図(7) 3階テラスに記入のアルミ手摺の部材詳細を御指示下さい。	手摺子@100 三協立山アルミ:71型同等品とします。
499	A-037	3Fテラスの植栽について	3Fテラスの植栽について、クチナシの数量・寸法を御指示下さい。	W0.3m H0.5m 6本/m ² とします。
500	A-037 A-008	救急・サービスヤード庇の仕様について	庇2・3の仕様に相違があります。 ・矩計図(7) — フッ素ガルバリウム鋼板 山高200 軒天井無し ・仕上表(1) — 長尺耐酸被覆鋼板 H=100 軒天井:FK-Dt6+t6 外装薄塗材E フッ素ガルバリウム鋼板・山高200・軒天井無しを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
501	A-037 A-132	建具形状の相違について	AW27の形状が建具表で上部にガラリがありますが、短計図(7) Yb 断面詳細図5~7Fで記入がなく相違します。建具表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
502	A-038	アスファルト防水立上り 水切アゴについて	矩計図(8) 4階 8通部 アスファルト防水立上りに水切アゴの記入がありませんが、3階 10通部と同様に水切アゴが必要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	アルミ防水押え金物です。
503	A-038 A-131	建具形状の相違について	AW18の形状が建具表で2段Fix窓、短計図(8) Y d断面詳細図5Fで上部にガラリの記入があり相違します。建具表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
504	A-039	5階光庭の植栽について	矩計図(9)において、5階光庭に「植栽:アオダモ」とありますが、植栽リストが不明です。御指示下さい。	W0.5m H2.0m 計2本 とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
505	A-039	5F光庭(W)の植栽について	5F光庭(W)の植栽について、アオガモの寸法・支柱の有無を御指示下さい。	W0.5m H2.0m 計2本 とします。
506	A-039 A-132	建具形状の相違について	AW31の形状が建具表で上部にガリがありますが、短計図(9)Xd 断面詳細図5～7Fで記入がなく相違します。建具表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
507	A-039 S-30	二重スラブの排水設備について	5階床伏図において、I～I' 通り・2～4通り間光庭(W)及びL'～M通り・2～4通り間光庭(E)の下部が二重スラブとなっており、短計図(9)より内部に塗膜防水を施工していますが、排水設備が必要な場合、排水方法・排水経路・排水箇所数を御指示下さい。	铸铁製ドレーン2箇所、VP管65φ 防露巻き、近くの雑排水に接続とします。
508	A-39	植込立上り天端見付の仕上について	植込立上り天端見付の仕上について、塗膜防水X-2と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
509	A-040	リニアック棟外周廻り防水について	短計図(10)において、リニアック棟のGLが1FLより高くなっていますが、外周廻りに地下防水(塗膜防水)の指示がありません。図面通り不要といたしますが、宜しいですか。	塗膜防水を見込んでください。
510	A-040 A-041	地中部の外壁について	地中部の外壁について、1FL～GL迄の範囲に塗膜防水Y-2が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
511	A-042他	階段の壁付き手摺の仕様について	階段1～3詳細図及びスタッフ階段詳細図において、壁付き手摺の下記について御指示下さい。 ①仕様については、中央手摺の中段手摺と同様の、ビニルハンドレールφ34と考えて宜しいですか。 ②同上、ブラケット金物の仕様・形状・取付け@を御指示下さい。 ③壁内下地補強の仕様を御指示下さい。	①お見込みの通りです。 ②ナカ工業の標準仕様程度とします。 ③廊下手摺補強と同等とします。
512	A-042他 S-73 S-02	鉄骨階段踏面の溶接金網相違	鉄骨階段の踏面モルタル内溶接金網の形状に相違があります。 ・意匠図 階段1詳細図他 — φ3.2-75×75 ・構造図 階段詳細図(1) — φ6-50×50 ・構造関係特記仕様書(1) — φ6-100×100 φ3.2-75×75を正と考えて宜しいですか。	構造図 階段詳細図(1) — φ6-50×50 正としてください。
513	A-044 S-26	吊材を受ける鉄骨梁のメンバーについて	階段3詳細図において、免震階段の吊材:H-150×150×7×10の指示がありますが、1階床伏図より受け梁の指示がなく、不明です。受け梁の部材メンバーを御指示下さい。	S-74図によります。
514	A-045	外壁 押出成形セメント板 梁型貫通部について	外壁 押出成形セメント板面 外部階段 鉄骨梁型貫通部の幕板等の詳細図を御提示下さい、	意匠別紙19を参照ください。
515	A-45 A-166 A-320	外部の耐火被覆について	階段4、ヘリポート等、外部鉄骨に耐火被覆、耐火塗料は不要と考えてよろしいですか。 必要な場合は、施工範囲をご指示下さい。	特記なき箇所は不要とします。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
516 A-047 A-071	間仕切仕様の相違	1階G通り・6通りMWC1・HWC1～中央処置待合間の間仕切壁凡例に相違があります。 ・1階平面詳細図(1) — WT-2G ・水廻り詳細図(1) — WT-1 WT-2Gを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
517 A-047、参考数量書P305	参考数量書の1F中央処置待合・受付1・2ガラスパーティションについて	参考数量書P305で、1F中央処置待合・受付1・2 ガラスパーティションが3か所ありますが、1階平面詳細図(1)の中央処置待合付近で、ガラスパーティションが見当たりません。必要な場合は、ガラスパーティションの設置場所及び仕様詳細・寸法を御指示下さい。	SW107 SW211です。
518 A-047～070	壁下地の仕様について	外壁側及び鉄骨柱廻りの壁下地はLGS65とし、天井までと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	柱廻りはお見込みの通りです。但し、LGSは柱から支持すること。外壁は標準仕様書の通りとします。
519 A-047～070・166・300～310	エレベーターシャフト廻り壁の相違について	エレベーターシャフト廻り壁がエレベーター詳細図ではコンクリート壁の様記載となっておりますが、平面詳細図・部分詳細図(1)では乾式壁の表記となっております。コンクリート壁ではなく、乾式壁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。違う場合は、意匠図変更図、構造伏図変更図、壁リスト、壁符号等詳細を御指示下さい。	S-02 6章2節 コンクリートの種類1番とし、配筋は縦筋D13@200ダブル、横筋D10@200ダブルとしS-71図によります。
520 A-047・166	間仕切仕様について	1階平面詳細図(1)他において、F通り・5通り中央処置室内袖壁凡例に「W-1G」と指示がありますが、部分詳細図(1)にW-1Gの詳細はありません。壁凡例をW-2Gに読み替えるとして宜しいですか。	お見込みの通りです。
521 A-047他 A-166	間仕切仕様について	1階平面詳細図(1)他において、J通り・6通りに壁凡例「WT-1a」と指示がありますが、部分詳細図(1)に「WT-1a」の指示がありません。壁凡例「WT-1」と同様として想定いたしますが宜しいですか。	J通り・6通り記載は W-1a です。
522 A-47	南側 H通 設備基礎の仕上について、	南側 H通 設備基礎の仕上について、コンクリート面金鍍仕上と考えてよろしいですか。	D9-3の通りとします。
523 A-47	間仕切壁符号について	1階中央処置室～注射コーナー間がW-1Gとなっておりますが、W-1Gは壁符号に無い為、W-1と考えてよろしいですか。	前述の通り。
524 A-47 A-174 D9-12	1F南側 I通付近 小階段の仕上について	1F南側 I通付近 小階段の仕上について、A-174 D9-12図に倣うと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。但し、サイズ調整すること。
525 A-47 A-32	北側 FB手摺について	北側 FB手摺について、 A-47図:FB手摺 A-32図:アルミ手摺2 とありますが、FB手摺を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
526	A-47 A-49 A-167他 特記)仕様書50/61	視覚障害者誘導用床材について	視覚障害者誘導用床材についてA-167図D2-12に「石・コンクリート用」とありますが、以下の床仕上の場合も同程度と考えてよろしいですか。違うのであれば仕様及びメーカー程度を「誘導用」「注意喚起用」それぞれにご指示下さい。 ①タイル ②ビニル床タイル 又、特記仕様書では塩化ビニル製のあります。塩化ビニル製を見込むのであれば、施工範囲及びメーカー程度をご指示下さい。	お見込みの通りです。
527	A-47・171 参考数量書P199	防護衣掛けについて	部分詳細図(6)D6-8防護衣掛け2とは1F CT室等のプロテクター掛けのことと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
528	A-47・48 参考数量書P305	ガラスパテーションについて	参考数量書について、ガラスパテーションが1F中央処置待合他に取り付くようですが平面詳細図では見当たりません。必要でしたら仕様をご指示下さい。	SW107 SW211です。
529	A-47他	耐火被覆について	1通りE～R通りの柱型は凡例S(耐火被覆 左官仕上+EP-Si)となっていますが、左官仕上の仕様が不明です。仕様・詳細をご指示下さい。	平滑としてください(端部曲面)
530	A-048	犬走り部階段の仕上について	1階平面詳細図(2)に於いて、U通り7通りの犬走り部階段の仕上が不明です。下記と想定いたしますが宜しいですか。 ①段部 — モルタル下地+塗膜防水 ②段鼻 — ノンスリップタイル ③手摺 — 1階外周廻り同様のアルミ手摺2	お見込みの通りです。
531	A-048	犬走り部階段の仕上について	上記に於いて、階段の1段目のみ犬走りと縁切りされた踏み台のような図示となっておりますが、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	コンクリート鍔押え+塗膜防水(X-2)としてください。
532	A-048	1階RC階段の手摺について	1階平面詳細図(2) U×1・7通りRC階段の手摺について、仕様・H寸法を御指示下さい。	不要です。外構図を正としてください。
533	A-048 A-071	間仕切仕様の相違	1階S～U通り・6～7通りMWC2・HWC2・WWC2～センターストリート間の間仕切壁凡例に相違があります。 ・1階平面詳細図(2) — WT-2G ・水廻り詳細図(1) — W-2G WT-2Gを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
534	A-048 S-26	免震犬走りの階段リストについて	1階平面詳細図(2)において、U・7通りに階段の図示がありますが、RC階段のリスト(配筋)が不明です。御指示下さい。	段差部はイヌマ筋D10@200, 角部に1-D13の配筋としてください。床版部はCDS20とします。
535	A-048・G-071	鋼製ステップの手摺・門扉について	1階平面詳細図(2)に於いて、U通り1通り階段4南側の鋼製ステップに手摺・門扉の指示がありますが、外構図部分詳細図(4)D-48鋼製ステップ詳細図に指示がありません。鋼製ステップ部手摺・門扉の仕様・部材メンバー・詳細図の発行をお願い致します。	門扉、手摺はなしです。 外構図を正としてください。
536	A-048・G-071 A-045	階段4南側の渡りの仕様について	階段4南側の渡りの仕様に相違があります。 ・1階平面詳細図(2)・外構図部分詳細図(4) — 鋼製ステップ ・階段4詳細図 — 免震EXP. J金物のような図示 鋼製ステップを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
537	A-045	階段4南側の渡りの仕様について	上記に於いて、免震EXP. J金物が正の場合、免震EXP. J金物の詳細を御指示下さい。	鋼製ステップを正とします。
538	A-48 A-166他	間仕切壁符号について	1階多目的室3の柱廻り等、WT-1aとなっていますが、WT-1aは壁符号に無い為、WT-3の片面耐火と置き換えてよろしいですか。	W-4aとします。
539	A-48 A-45 A-209	屋外階段 床EXP・Jについて	屋外階段 床EXP・Jについて、A-209図に凡例がありません。仕様・詳細をご指示下さい。 又、設置範囲がA-48図とA-45図で相違します。併せてご指示下さい。	A-48図を正として、G-071 D-48 鋼製ステップ図としてください。
540	A-48 A-71	間仕切壁符号について	1階WC2～廊下間の間仕切壁符号について A-48図 WT-2G A-71図 W-2G とありますが、A-48図を正と考えてよろしいですか。 又、他にも平面詳細図と水廻り詳細図で相違がある場合は、平面詳細図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
541	A-049 A-129	SS-1について	SS-1について、下記について御指示下さい。 ■三方枠はスチール1.6 250×25で考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
542	A-050 A-073	間仕切仕様の相違	2階A～B通り・6通り理美容室～患者ラウンジ間の間仕切壁凡例に相違があります。 ・2階平面詳細図(1) — WT-1 ・水廻り詳細図(3) — WT-2G WT-1を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
543	A-050～067 S-27～32	FS室の床開口範囲について	2～7階FS1～3室の床開口範囲に相違があります。 ・2～7階平面詳細図 — 室の半分程度開口 ・2～7階床伏図 — 全面開口 何れが正か御指示下さい。	平面詳細図の範囲は、床開口範囲でなくEVシャフトの寸法を記載しています。床開口範囲は床伏図を正としてください。
544	A-052	基礎の高さについて	2階平面詳細図(3)において、屋根2に基礎「0.8×1.5×0.15及び2.0×1.0×0.15」の指示がありますが、屋根2が露出アスファルト防水であり、防水立上がりは納まりません。屋根2に設置の他の基礎同様、高さ0.15を0.5に読替えといたしますが、宜しいですか。	お見込みの通りです。
545	A-052	基礎の高さについて	上記において、高さ0.15のままの場合、防水巻込み納まり及び緩衝材にて屋根と絶縁して設置の何れかになると思われれます。何れか御指示下さい。	高さを0.5とします。
546	A-052 A-073	間仕切仕様の相違	2階O通り・10～11通り汚物処理室1～薬局員室間の間仕切壁凡例に相違があります。 ・2階平面詳細図(3) — W-4 ・水廻り詳細図(3) — WT-1 W-4を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
547	A-52 A-40		A-52図 屋根2とありますが、A-40図より屋根(DI-2)と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
548	A-53・54	パーテーションについて	3F平面詳細図でスタッフ commons にPTとありますが、仕様をご指示下さい。	A-216図の通りです。
549	A-053 A-074	間仕切仕様の相違	3階G通り・4～6通りMWC1・WWC1～廊下6間の間仕切壁凡例に相違があります。 ・3階平面詳細図(3) — WT-2G ・水廻り詳細図(4) — W-2G WT-2Gを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
550	A-055 A-068 A-174	屋上の小階段について	下記範囲の小階段について、部分詳細図(9)<D9-12>内部・外部RC階段詳細図に倣って宜しいでしょうか。 ①3階平面詳細図(3) M×11通り(洗濯室出入口) ②8階平面詳細図(1) J～L×5～6通り(EVホール1出入口)	お見込みの通りです。
551	A-055・169	天井裏防水パンについて	又、鉄骨階段の場合及び手摺が必要な場合は仕様・詳細を御指示下さい 3階廊下4の天井裏防水パンからの堅樋は1本とし、階段1横デッドスペース内の堅樋に接続と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
552	A-55	3階 設備スペース 目隠し壁の扉について	3階 設備スペース 目隠し壁の扉について、仕様・サイズをご指示下さい。	スチール戸H2000×W600としてください。
553	A-056 A-166	曲面壁の仕様について	4階平面詳細図(1)において、物品庫・研修ルーム1～3内の柱型に曲面壁の指示がありますが、壁凡例が不明です。部分詳細図(1)の壁凡例W-6が該当すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
554	A-58	階段1F通の外壁について	階段1F通の外壁について、成形板 フラットパネルと考えてよろしいですか。	4F A+B 5F B+C 6F C+D 7F D+Eとしてください。
555	A-59 A-62	間仕切壁符号について	5F個室A W512～513間、W516～517間、W518～519間の壁符号について、個室間はW-2Gですが、WC間はWT-2Gの耐火壁となっています。個室と同じW-2Gと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
556	A-059	光庭の排水溝仕上について	5階平面詳細図(1)において、5階光庭(E・W)排水溝の指示がありますが、仕上が不明です。モルタル仕上を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
557	A-059他	曲面壁の仕様について	5階平面詳細図(1)他において、C～D通り・2通りコミュニケーションカウンターの天井裏にWT-1(1時間耐火間仕切)の指示があり一部曲面となりますが、WT-1の仕様は曲面施工ができないと思われます。WT-1に替わる仕様を御指示下さい。	多角として施工してください。
558	A-60	機械浴室の手摺について	機械浴室の「SUS手すり」については、φ38 HL 壁付と考えてよろしいですか。	ステンレスI 型 φ34 H700としてください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
559 A-60 A-63	洗面カウンターについて	平面詳細図で以下の部屋に洗面カウンターのような図示が有りますが、破線表示となっています。衛生器具表ではカウンター一体型ですが設備工事ですか。仕様をご指示下さい。 ■5F個室C(E515) ■6F個室D(E614)	設備工事です。 TOTO MV45同等品としてください。
560 A-062	防音仕様の病室について	平面詳細図で個室・4床室の一部に防音と記入がありますが、一般病室と仕様は異なるのでしょうか。御指示下さい。	扉をSATとしています。
561 A-062、参考数量書P305	参考数量書の6F SS2 可動式パネルについて	参考数量書P305で、6F SS2 可動式パネルが、合計3か所ありますが、6階平面詳細図(1)のSS2で可動式パネルが見当たりません。必要な場合は、可動式パネルの設置場所及び仕様詳細・寸法を御指示下さい。	7F SS2です。 イトーキメディアパネル同等品としてください。(壁固定×2、可動式×1)
562 A-62 参考数量書P305	可動式パネルについて	参考数量書について可動式パネルが6F SS2に取り付くようですが平面詳細図では見当たりません。必要でしたら仕様をご指示下さい。	7F SS2です。 イトーキメディアパネル同等品としてください。(壁固定×2、可動式×1)
563 A-66	病室外壁凸部成形板のサイズについて	病室外壁凸部成形板のサイズについて、寸法割付835、700部分はW900のパネルをカットと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。詳細は意匠別紙21を参照してください。
564 A-067	建築図について	建築図PDFデータでA-066(7階平面詳細図(2))とA-068(8階平面詳細図(1))の間の図面がA-059 7階平面詳細図(1)です。図面リストよりA-067 7階平面詳細図(3)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
565 A-067	設計図書確認	配布データではA-059となっており、067の番号誤りですか。	お見込みの通りです。
566 A-068	屋上の階段について	8階平面詳細図1EVホール2H通りに階段が有りますが、詳細が不明です。御指示下さい。	鉄骨造とします。手摺は前述の通り。
567 A-68	8F屋上排水溝について	8F屋上排水溝について、アスファルト露出断熱防水(DI-2) 水下部分に排水溝 アスファルト露出防水 モルタル下地 W300を見込むと考えるとよろしいですか。	排水溝は不要とし、ドレーンに向かって勾配とします。
568 A-68	アスファルト防水立上り 水切アゴについて	8階屋上アスファルト防水立上りで、塔屋外壁部は水切アゴ付 塗膜防水 X-2と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-176図の通りです。
569 A-68	アスファルト防水立上り 水切アゴについて	上記、水切アゴと外壁 押出成形セメント板下端取合部の納まりを御指示下さい。	A-176図の通りです。
570 A-069	8階屋根設備基礎について	8階平面詳細図(2)で6通～7通*L通～M通間の設備基礎2か所の寸法記入がありません。御指示下さい。	1200×2500×500 1000×1850×500としてください。
571 A-70	設備基礎H300 防水納めについて	設備基礎H300 防水納めについて、露出アスファルト防水屋根にアスファルト防水増張を見込むと考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
572 A-70	設備基礎H300の仕上について	設備基礎H300の仕上について、天端:コンクリート面金鍍仕上、立上り:打放面補修仕上と考えるとよろしいですか。	D9-3の通りとします。
573 A-071～076・129～165	水廻りの展開図と建具の相違について	水廻り詳細図と建具表で姿図の相違が多数あります。全て建具表を正と考えると宜しいですか。	質疑No.582,737,856,857,877,885,801等を参照してください。 その他は建具表を正としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
574	A-080～090・121～165	主要展開図と建具の相違について	主要展開図と建具符号案内図・建具表で有無と姿図に相違が多数あります。全て建具配置図・建具表を正と考えて宜しいですか。	質疑No.651～936を参照してください。 その他は建具表を正としてください。
575	A-071・073 P-103	HWCのトイレバックについて	水廻り平面詳細図(1)及び(3)に於いて、1階HWC6・HWC7及び2階HWC3が衛生器具表(2)では「オストメイトバック」となっていますが、1階HWC5同様の図示となっていますので、多機能トイレバックと思われます。1階HWC6・HWC7及び2階HWC3は1階HWC5同様に多機能トイレバックと想定して宜しいですか。	衛生器具表の通りとし、それ以外は、在来とします。
576	A-71 A-171	洗面カウンターについて	2F平面詳細図でレストラン(一般)(職員)に洗面カウンターのような図示がありますが、仕様は部分詳細図(6)D6-14のアクリル系人工大理石と考えてよろしいですか。	CERA TRADING AU17302同等品としてください。
577	A-075	ライニングの仕様について	水廻り詳細図(5)に於いて、4階機械浴室にライニングの図示がありますが、ライニングの下地が不明です。押えコンクリートを想定いたしますが宜しいですか。	CB積としてください。A種t120とし、配筋は建築工事監理指針H.28 P737表8.3.2としてください。
578	A-075	ライニングの仕様について	上記質疑に関連しますが、押えコンクリート内に鉄筋が必要と思われるですが、鉄筋要領が不明です。御指示下さい。	CB積としてください。A種t120とし、配筋は建築工事監理指針H.28 P737表8.3.2としてください。
579	A-075	機械浴室の壁付手摺について	機械浴室の壁付手摺の詳細図を御指示下さい。	ステンレスI型 Φ34 H700としてください。
580	A-075	機械浴室ライニングについて	機械浴室ライニング仕上は立上りと同じ床タイル+CB100、面台をステンレSt1.5HLと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
581	A-075・076	機械浴室の手摺の仕様について	水廻り詳細図(5)及び(6)において、各階機械浴室及び前室(1)の平面詳細図・展開図に「SUS手すり」とありますが、仕様・形状及び納まり詳細が不明です。御指示下さい。	ステンレスI型 Φ34 H700としてください。
582	A-076 A-154	TB-402の範囲について	TB-402において、トイレブース配置に相違があります。 ・水廻り詳細図(6) — トイレブースL型+SKブースL型+隔てブース ・4階建具表(4) — 仕切り2枚付きブース+隔てブース トイレブースL型+SKブースL型+隔てブースを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
583	A-077	4床室コンソール横の納まりについて	病室詳細図内展開図で4床室の病室コンソール～ロッカー(F-28)間のFL+1600に実線の記入がありますが、納まりが不明です。断面図を御指示下さい。	意匠別紙2を参照ください。
584	A-077・078	4床室化粧ケイカル板の範囲について	病室詳細図内平面詳細図で4床室A(N404・W501)の洗面前に化粧ケイカル板の記入はありませんが、4床室A(N407)と同様に必要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
585	A-77	各病室の壁仕上について	各病室の壁仕上について、A-77図の平面詳細図にFK-D6とありますが、展開図のFK-D3を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
586	A-77	ロールスクリーンについて	病室詳細図(1)でロールカーテンが有りますが、別途工事と考えてよろしいですか。建築工事の場合は仕様と高さをご指示下さい。	ニチベイ ソフィー同等 1500×2500手動タイプとしてください。
587	A-77	ベッドガードについて	病室詳細図(1)でベッドガードが有りますが、程度をご指示下さい。	ナカ工業 NS-150V同等品
588	A-77 A-221	無菌個室の各仕上について	無菌個室の壁・巾木仕上について、A-77図 病院詳細図(1)とA-221図 4階無菌個室ユニット 詳細図(1)とで相違しています。床・天井仕上も含めA-221図を正と考えてよろしいですか。	A-221図 4階無菌個室ユニット 詳細図(1)を正としてください。
589	A-77～79 参考数量書P309	棚板について	参考数量書について棚板が取り付けようですが病室詳細図では見当たりません。必要でしたら詳細をご指示下さい。	意匠別紙2を参照ください。
590	A-77・78 A-120	病室の窓枠について	病室の窓枠について、病室詳細図(1)(2)の展開図で窓廻りに木調オレフィンシート貼りの窓枠がありますが、材種はMDF、サイズは80x25と考えてよろしいですか。	樹脂製の木調オレフィンシート貼としてください。
591	A-79 A-244他	各重症室について	各重症室のカウンター部について、A-79図に壁符号W-1aの記載がありますが、カウンターユニット詳細図とでは相違しています。いずれを正と考えればよろしいですか。	カウンターユニット詳細図を正としてください。
592	A-080 A-135	SS-103の相違について	SS-103のH寸法の相違があります。 ・主要展開図(1) — H2, 700 ・1階建具表(1) — H2, 500 H2, 700を正として宜しいですか。	H2700としてください。
593	A-80 A-112 他	壁出隅ジョイナーについて	1F SIMADAプラザの壁出隅ジョイナーについて、A-80図 アルミ製 A-112図 ステンレス製 とありますが、A-168図D3-10よりA-112図を正と考えてよろしいですか。(他室も同様)	お見込みの通りです。
594	A-80 A-171	円柱仕上について	1F中央処置待合の円柱の仕上げについて、A-80図 耐火シートの上 EP-Si A-171 D6-13図 SOP とありますが、A-80図を正と考えてよろしいですか。 (2Fセンターストリートも同様)	お見込みの通りです。
595	A-81 A-96	天井間接照明ボックスについて	主要展開図(2)において、2Fイートインスペースの天井段差部分に間接照明が見受けられますが、A-172図 D7-4 L-1と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
596	A-84 A-115 A-168 D3-2	4F 前室9腰壁について	4F 前室9 腰壁WG-Aについて A-163 D3-2図 H1000 A-84図 H800 とありますが、A163 D3-2図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
597	A-84他	壁不燃木パネル見切材について	5F廊下1他の一部壁に不燃木パネルが見受られますが、取合見切材が必要であれば仕様・断面寸法をご指示下さい。	アルミ見切りとします。
598	A085～087 A-013	廊下5～16の中木の相違	5階～7階<共通>の廊下5～16の中木に相違があります。 ・主要展開図(6)～(8) — ビニル中木・木中木 ・仕上表(6) — ビニル中木・ステンレス中木 ビニル中木・木中木を正と考えて宜しいですか。ビニル中木・ステンレス中木が正の場合、ステンレス中木の範囲が不明です。御指示下さい。	ビニル中木、木中木としてください。 不燃木パネル部分は中木なしとしてください。
599	A-091～111 建築工事特記仕様書P52	病室以外のカーテンレールの仕様について	各階天井伏図において、病室以外の各室にカーテンレールがありますが、下記を御指示下さい。 ①天井付き・吊下げ式の何れですか ②吊下げ式の場合、吊り下げ高さ ③仕様	①天井吊とし、設備等をまたぐ場合のみ、吊り下げ式 ②500程度 ③TOSOステンレス製消音タイプ同等品
600	A-091～111・169	天井点検口の数量について	部分詳細図(4)のD4-16天井点検口(アルミ)において、各階の数量指示がありますが、天井伏図より450×450と600×600の2種類がありますが、下記を御指示下さい。 ①サイズ毎の振分け数量 ②本館・リアック棟各々の振分け数量 ③メーカー・品番など	すべて600角とし、振り分けは部分詳細図を参照ください。 ナカ工業 ハイハッチMMⅡf同等品としてください。
601	A-91	天井アートについて	天井伏図 1F中央処置待合他に「アート CH3000」の図示がありますが、詳細をご指示下さい。	アート工事はA-171 D6-15及び特記仕様書を参照ください。
602	A-91 A-253	天井アンカーについて	1F天井伏図について、初療1・2には無影灯とシーリングペンダントが有りますが、医療機器詳細図(1)ではシーリングペンダントのみです。医療機器詳細図(1)を正と考えてよろしいですか。	天井伏図を正としてください。
603	A-91～111 A-169	吊物補強について	部分詳細図(4)D4-13吊物補強が天井伏図に見当たりません。取付場所をご指示下さい。	不要とします。
604	A-91～111 A-253	天井アンカーについて	天井アンカーとは無影灯又はシーリング用架台のことと考えてよろしいですか。	無影灯、シーリング等を示します。医療機器図を参照してください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
605 A-91~111・170	病室以外のカーテンレールについて	カーテンレールについて、A-170 D5-2図に病室のカーテンレールの詳細がありますが、病室以外のカーテンレールについても倣ってよろしいですか。違うのであれば、詳細・程度をご指示下さい。	お見込みの通りです。
606 A-093 A-008	天井仕上の相違	1階寝台車庫の天井仕上に相違があります。 ・1階天井伏図(3) — SOP ・仕上表(1) — NAD SOPを正と考えて宜しいですか。	NADを正としてください。
607 A-093・094・095	待合の下り壁について	1階天井伏図(3)他において、1階待合1・2・2階待合1~5の天井に下り壁が必要と思われますが、仕上が不明です。仕上げを御指示下さい。	部分詳細図(7) D7-4 L-7 です。仕上Ep-siです。
608 A-93	天井異種仕上見切について	1F天井伏図 待合室1・2において、異種天井仕上が取合ますが、塩ビ製見切材を見込んでよろしいでしょうか。(他室も同様)	タモ不燃木45×90 EP-Si仕上としてください。
609 A-94	2FセンターストリートD-5-10 L-8について	2F天井伏図(1) センターストリートに「D 5 10」の図示がありますが、誤記と考えてよろしいですか。 又、EVホール3との取合に「L-8」とありますが施工範囲が不明です。ご指示下さい。	不要とします。L-8の施工範囲は近接して天井高が高くなっている範囲です。
610 A-96 A-171	メンテナンスフロアについて	1階通りのメンテナンスフロアについては、A-171 D6-9図のキャットウォークと考えてよろしいですか。違うのであれば、仕様・詳細をご指示下さい。 又、各部材について、塗装等仕上が必要であればご指示下さい。	お見込みの通りです。
611 A-106・108 A-014	天井仕上の相違	6階事務室1、2の天井仕上に相違があります。 ・6階天井伏図(1)(3) — GB-Dt9.5 ・仕上表(7) — GB-Dt9.5+ビニルクロス GB-Dt9.5を正と考えて宜しいですか。	GB-Dt9.5+ビニルクロスを正としてください。
612 A-107 A-014	天井仕上の相違	6階事務室3の天井仕上に相違があります。 ・6階天井伏図(2) — GB-Rt12.5+DRt12 ・仕上表(7) — GB-Dt9.5+ビニルクロス GB-Rt12.5+DRt12を正と考えて宜しいですか。	GB-Dt9.5+ビニルクロスを正としてください。
613 A-11 A-114	3F EVホール1 壁仕上について	3FEVホール1の壁仕上について、 A-11図 腰壁無し A-114図 凡例WG-E 腰壁シート有り とありますが、A-114図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
614	A-11 A-114 A-168	3F EVホール4 壁仕上について	3FEVホール4の壁仕上について、 A-11図 ESI A-114図 凡例WG-D FK-D とありますが、A-11図を正と考えてよろしいですか。	A-114図を正とします。
615	A-11 A-54 A-114 A-168	3F 廊下2 壁仕上について	3F廊下2の壁仕上について、 A-11図 ビニルクロス A-114図 凡例WG-D FK-D とありますが、A-54図の壁符号も含め、A-11図を正と考えてよろしいですか。	A-114図を正とします。
616	A-11 A-99	3F廊下3 天井仕上について	3廊下3の天井仕上について、 A-11図 GB-Rt12.5+ビニルクロス A-99図 GB-D t9.5 とありますが、A-11図を正と考えてよろしいですか。	GB-D t9.5としてください。
617	A-110	天井仕上について	7階天井伏図(2)において、T～U通り1～2通りの片持ちスラブより内側(建物側)の天井・梁型に凡例J打放し補修外装薄塗材Eの指示がありますが、該当する天井はフラットデッキ、梁型は鉄骨梁となります。該当箇所の仕上を再度御指示下さい。	フラットデッキ:フッ素樹脂エナメル塗り 鉄骨梁:耐火塗料としてください。
618	A-112 A-168	ウォールガード WG-Eについて	ウォールガード WG-Eの腰壁について A-112図 H1000 A-168図 H800とありますが、A-168図を正と考えてよろしいですか。	H1,000としてください。
619	A-112～119	TT-1縦型手摺の有無について	1～8階雑伏図の凡例において、「TT-1 縦型手摺(SUS304 34φH700)」とありますが、施工場所及び同等メーカー・品番が不明です。「TT-1 縦型手摺(SUS304 34φH700)」の施工場所及び同等メーカー・品番を御指示下さい。	5FSW1,2,3,4 6FSW1,2 7FSW1,2,3,4に見込んでください。 中等品とします。
620	A-112～119	コーナーガードについて	雑伏図内凡例欄外に※コーナー部にはすべてコーナーガードを設置する。と記入がありますが、部屋の用途(ホール・待合・廊下・病室など)に関係なく必要となるのでしょうか。御指示下さい。	すべて見込んでください。
621		下り壁の仕上について	下り壁の仕上は天井同材と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図を参照してください。
622	A-12 A-115	4F OPホールの壁仕上について	4F OPホールの壁仕上について、4階雑伏図において、壁凡例がWG-Aとなっておりますが、仕上表よりWG-Bに読み替えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
623	A-12 A-115 A-168 D3-2	4F 前室3について	4F 前室3の中木・壁仕上について、 A-12図 中木 ビニル中木H60・壁 EP-Si A-115図 WG-A 中木 不燃マミン化粧板・壁 不燃マミン化粧板H1000 とありますが、A-12を正と考えてよろしいですか。	A-115図を正とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
624	A-12 A-115 A-168 D3-2	4F 前室4巾木・壁仕上について	4F 前室4の巾木・壁仕上について、 A-12図 巾木 床材立上げH100・壁 FKt6+NAD A-115図 WG-A 巾木 不燃メラミン化粧板・壁 不燃メラミン化粧板H1000 とありますが、A-12を正と考えてよろしいですか。	A-115図を正とします。
625	A-120	スチール建具の塗装について	建具共通事項において、鋼製建具は「特記にて現場塗装の際はFEとする。」とありますが、建具表で2-FUEやSOPで相違があります。建具表にある塗装を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
626	A-120	アルミサッシの膳板・額縁について	建具共通事項において、アルミサッシの膳板・額縁はスチール(建具と同仕上)とありますが、アルミサッシはアルミB-2種のため、スチール焼付け塗装と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
627	A-120・135・142	膳板・額縁の厚さ・仕様について	上記質疑に関連して、仕様毎の額縁・膳板の厚さは下記の通りで想定いたしますが宜しいですか。 ①スチール — T1.6 焼付け塗装 ②アルミ — T2.0 建具と同仕上 ③ステンレス — T1.5 建具と同仕上	お見込みの通りです。
628	A-120	化粧シート張りの建具について	建具符号凡例において、化粧シート張りの建具は枠も化粧シート張りとして想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
629	A-120	ガラの防鳥網について	ガラの防鳥網について、建具共通事項で「#16x10mm」と「1.5φ15mmピッチ」の2種類指示がありますが、後者を正と考えてよろしいですか。	すべてステンレス製防虫網としSUS316としてください。
630	-	外部建具枠廻りシーリングの種類について	外部建具枠廻りシーリングの種類について2成分変性シリコン系と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
631	A-120	建具符号のFB指示について	建具符号のFB指示について、建具の符号と図面表示欄で、「FB:フラットバー」とありますが、枠がFB枠であるという意味と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
632	A-120	ダケ外接続部材の塗装について	ダケ外接続部材の塗装について、建具共通事項 ガラに記載のダケ外接続枠及びダケ外接続用フランジに於いて仕上塗装の記述がありませんが、共に工場塗装と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
633 A-120	建具符号と図面表示について	建具共通仕様書 建具符号と図面表示について、各種図示がありますが、下記を御指示下さい。 ①建具キープランに図示のあるSAT・FB等の図示は、建具表に記載なくとも建具キープラン通り見込むと考慮して宜しいでしょうか。 ②逆に建具キープランに図示なくとも、建具表に図示のある電気錠等は全て建具表通り見込むと考慮して宜しいでしょうか。 ③凡例に化粧シートとありますが、扉枠共片面に見込むものと考えて宜しいでしょうか。	①お見込みの通りです。 ②キープランを正としてください。 ③お見込みの通りです。
634 A-120	建具シーリングについて	外部建具廻りのシーリングですが、2重シーリング20×10、変成シリコン系と考慮して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
635 A-120 A-002	電気錠制御盤について	電気錠制御盤について、下記の様に相違します。 ・建具共通仕様書 建築工事 ・工事区分表-1 電気工事 電気錠制御盤については、建築工事と考慮して宜しいでしょうか。又、制御盤の数量等詳細を併せて御指示下さい。	電気設備工事とします。
636 A-120 A-129	外部SDの欄間ガラリについて	外部SDの欄間ガラリについて、建具共通事項:ガラリで「外部SDはアルミニウム製」とありますが、建具表ではSD-3a・4の材質欄にその様な記載がありません。ガラリもスチール焼付塗装と考慮してよろしいですか。	共通事項を正としてください。
637 A-120 A-137他	LDのガラリについて	LDのガラリについて、建具共通事項 ガラリに「屋内SDのガラリはスチール製、戸と同色仕上」とありますが、LDも同様に考慮してよろしいですか。又、仕上が建具符号案内図により化粧シート貼りとなる場合は、ガラリも化粧シート貼りと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
638 A-120 A-175	外部建具枠廻りについて	外部建具枠廻りは、下記仕様としてよろしいでしょうか。 ■建具廻りシーリング:ポリサルファイド系 シーリング20×10+20×10 ■水切シール:ポリサルファイド系 20×10 ■押出成形セメント板廻り:ロックウール充填	下記仕様としてください。 ■建具廻りシーリング:変成シリコン系(ノンブリーズタイプ) シーリング20×10+20×10 ■水切シール:変成シリコン系 20×10(ノンブリーズタイプ) ■押出成形セメント板廻り:防水モルタル充填
639 A-120 A-276・288	衝突防止表示の仕様について	衝突防止表示の仕様について、 A-120図:ステンレスφ30両面 @450内外 A-276・288図:シート貼 とありますが、A-276・288図を正と考慮してよろしいですか。	サイン図を正としてください。
640 A-120 A-7	飛散防止フィルムの程度について	飛散防止フィルムの程度について、 A-120図:住友3M クラウド同等品 A-7図:3M スコッチテイト同等品 とありますが、建具については全てA-120図を正と考慮してよろしいですか。	クラウド同等品としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
641	A-120 E-275・277	電気錠制御盤の 工事区分について	電気錠制御盤の工事区分について、建具共通事項で「電気錠制御盤はすべて建築工事とする」とありますが、電気設備図では電気及び防犯設備工事になっています。電気錠のみ建築工事、制御盤及びカートリダーは電気・防犯設備工事と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
642	A-120～128	PSの点検口の有無につい て	建具共通仕様書・標準詳細図において、共通事項の点検口に「全てのPSに点検口を設置すること」とありますが、仕様・形状及び同等メーカー・品番が不明です。建具符号の付かないPSに点検口が必要な場合、下記を御指示下さい。 ①仕様・形状 ②同等メーカー・品番	ナカ工業 450×450 ウォールハッチWHA 受注生産色 同等としてください。
643	A-120・129	ガラの仕様について	建具共通事項において、ガラリに外部SDのガラリはアルミ製とありますが、欄間のガラリがアルミ製と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
644	A-120・137他	ガラの仕様について	軽量鋼製建具のガラの仕様が不明です。スチール製と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
645	A-120・139他	固定防煙垂壁のガラスにつ いて	建具表において、固定防煙垂壁のガラス仕様がNP-6. 8とありますが、ガラス凡例がありません。線入り磨き板ガラスT6. 8と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
646	A-121	シャッターの化粧シート張り について	1階建具符号案内図において、シャッターに化粧シート張りの指示ですが、袖扉に必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
647	A-121 A-129	STD-1の電気錠有無につい て	STD-1の電気錠有無について、建具表に電気錠(パニックオープン)とありますが、建具符号案内図では符号にE・P指示がありません。建具表通り電気錠有りと考えてよろしいですか。	パニックオープンのみとしてください。
648	A-121 A-136	SW-101の防火性能につい て	SW-101の防火性能について、建具符号案内図では特防指示がありませんが、建具表では特定防火設備となっています。建具表を正と考えてよろしいですか。他にも同様の相違(案内図になく建具表に記載あり)のあるものは、建具表の記載を正と考えてよろしいですか。	特定防火設備ではありません。 キーブランを正としてください。
649	A-121 A-138	LSD-102の防火性能につい て	LSD-102の防火性能について、建具符号案内図では6ヶ所中4ヶ所に特防指示がありませんが、建具表では特定防火設備とあります。又、特定防火設備とありますが、ガラスはT5です。4ヶ所は防火なし、特定防火設備のもののみ耐熱ガラスとしてよろしいですか。又、他の建具にもあれば同様の考え方でよろしいですか。	整形外科処置室のみ特定防火設備です。 耐熱ガラスとしてください。
650	A-121 A-140	建具 PbD102・PbSD102 設置場所について	PbD102の数量が建具表で1か所、建具符号案内図で0か所。PbSD102の数量が建具表で2か所、建具符号案内図で3か所と相違します。設置場所、形状よりPbSD102の1か所をPbD102と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
651 A-121~165	建具数量の相違について	建具符号案内図と建具表で数量の相違があります。全て、建具配置案内図を正と考えて宜しいですか。 建具配置案内図 建具表 SS-104 ー 0か所 1か所 LD-103a ー 8か所 9か所 PbD-104 ー 2か所 1か所 SD-213 ー 0か所 1か所 LD-308 ー 43か所 45か所 LD-314 ー 3か所 4か所	PbD104 - 1か所 その他お見込みの通りです。
652 A-121~165	建具数量について	下記建具の数量が建具表と建具符号案内図で相違します。建具符号案内図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・(符号) (建具表) (建具符号案内図) ・AW18 10か所 4か所 ・AW18a 4か所 10か所 ・SS104 1か所 0か所 ・SD106 1か所 2か所 ・LD103a 9か所 8か所 ・LSD113 41か所 42か所(◎含む) ・SD213 1か所 0か所 ・LD203a 3か所 2か所 ・LD308 45か所 43か所 ・LD314 4か所 3か所 ・SD407 1か所 2か所 ・LSD510 12か所 11か所 ・SW606 1か所 0か所 ・LSD710b 13か所 9か所	AW18 - 10か所 AW18a - 4か所 LD203a - 3か所 SW606 - 1か所(理学療法室のカウンター廊下1側の建具) その他お見込みの通りです。
653 A-121・137	1階廃棄物保管庫の扉について	1階建具符号案内図において、N~P通り1~2通り廃棄物保管庫に片開きの図示ですが、建具符号がありません。LD-110で想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
654 A-121・140	1階CT2救急の建具について	1階建具符号案内図において、H通り2~3通りCT(救急)にPbSD-102の指示ですが、建具表より、PbD-102に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
655 A-122	SD-205の化粧シートについて	2階建具符号案内図において、Q~R通り7通りSD-205に化粧シートとありますが、外部建具のため、不要で宜しいですか。	お見込みの通りです。
656 A-122	SD-205の仕上について	SD-205の仕上について、SD-205は建具符号案内図で外部に取り付いていますが、化粧シート貼の指示があります。外部扉でも指示通り化粧シート貼でよろしいですか。	不要としてください。
657 A-122 A-142	SW-211のFB指示について	SW-211のFB指示について、建具符号案内図で3ヶ所中2ヶ所にFB指示がありますが、同様の場所に付くため3ヶ所全てFB枠と考えてよろしいですか。	FB表記はLSD214に対してです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
658	A-122 A-142	建具 SW207'について	建具符号案内図でSW207'の記入がありますが、建具表で見当たりません。建具表でSW207とSW208の間にあるSW211をSW207'と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
659	A-122 A-142 A-51	2階細菌検査室SW-207について	2階細菌検査室SW-207について、建具表と平面詳細図とで形状が相違しています。SW-211と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
660	A-122、142	建具の仕様・寸法について	2階建具符号案内図、L通り/2-3通り部にSW-207'の建具符号がありますが、建具表にて不明です。SW-207'の仕様・寸法を御指示下さい。	SW-211の仕様と寸法です。
661	A-122・142	細菌検査室の建具について	2階建具符号案内図において、L通り2~3通りSW-207とありますが、建具表より、SW-211(建具表3段目)と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。建具番号をSW-207'としてください。
662	A-123~132	建具形状の相違について	下記外部建具の形状が建具表形式欄と建具表姿図で相違します。姿図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 (符号) (形式欄) (姿図) ・AW10 Fix窓 Fix窓+ガラリ ・AW10a Fix窓 Fix窓+ガラリ ・AW11 Fix窓+ガラリ Fix窓 ・AW13 Fix窓 Fix窓+ガラリ ・AW17b 縦スベリ+Fix窓+ガラリ 縦スベリ+Fix窓 ・AW27 Fix窓+排煙窓 Fix窓+排煙窓+ガラリ ・AW30a Fix窓+排煙窓 Fix窓+排煙窓+片開き窓 ・AW31 Fix窓 Fix窓+ガラリ ・AW38 縦スベリ+Fix窓 縦スベリ+Fix窓+ガラリ	お見込みの通りです。
663	A-124 A-152	建具 SW404について	建具符号案内図でSW404の記入がありますが、建具表で見当たりません。建具表でSW408の次にあるSW401をSW404と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
664	A-124 A-153	建具 LSD119・119'設置場所について	建具表でLSD119・119'とありますが、建具符号案内図で分かれていません。重症個室A-N423(透析)をLSD119'と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
665	A-124 A-153・154	建具 LSD424設置場所について	4階建具表(3)と(4)でLSD424の記入がありますが、建具表で設置場所(組織払出室)が不明のため、4階建具表(4)のLSD424を不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	4階建具表(3)LSD424は不要とし、4階建具表(4)のLSD424を採用してください。
666	A-124 A-57	4階廊下6:L~M間のSD-407について	4階廊下6:L~M間のSD-407について、建具符号案内図に符号がありますが、平面詳細図に該当する扉がないため不要と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
667	A-124、152	建具符号について	4階建具符号案内図、D-L通り/1通り部OP室にSW-404の建具符号がありますが、建具表にて不明です。建具表、取付場所のOP2~6×5のSW-401をSW-404へ読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
668	A-124・151	廊下6の建具について	4階建具符号案内図において、L~M通り6~7a通り廊下6にSD-407とありますが、建具の図示がありません。不要で宜しいですか。	お見込みの通りです。
669	A-125	5階処置室3の建具について	5階建具符号案内図において、P~Q通り5通りにLSD-506aとありますが、建具表がありません。建具表の発行をお願い致します。	LSD510としてください。丸窓Φ150としてください。
670	A-125 A-157	5階処置室3の扉について	5階処置室3の扉について、建具符号案内図でLSD-506aとありますが、建具表でその建具が×になっています。建具表内容を活かし、1ヶ所計上してよろしいですか。	LSD510としてください。丸窓Φ150としてください。
671	A-125 A-157	建具 LSD506a・LSD510 数量について	建具符号案内図でLSD506aが1か所ありますが、建具表になく仕様が不明です。建具表の設置場所よりLSD510に倣うと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	LSD510としてください。丸窓Φ150としてください。
672	A-125 A-157	建具 LSD706f・LSD710b 数量について	建具符号案内図でLSD706fが4か所ありますが、建具表になく仕様が不明です。建具表の設置場所よりLSD710bに倣うと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
673	A-125、155	建具符号について	5階建具符号案内図、J通り/1-2通り部、ランドリー左PSの片開き戸の建具符号が不明です。SD-510を1か所追加と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
674	A-125、155	建具符号について	5階建具符号案内図、T-U通り/1-2通り部、屋外階段上PSの片開き戸の建具符号が不明です。SD-510を1か所追加と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
675	A-125、157	建具符号について	5階建具符号案内図、Q通り/5通り部、処置室3にLSD-506aの建具符号がありますが、建具表にて不明です。建具表の取付場所よりLSD-510へ読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	LSD510としてください。丸窓Φ150としてください。
676	A-125、158	建具符号について	5階建具符号案内図、J-L通り/8通り部、重症個室A、N517にSD-517の建具符号がありますが、建具表にて不明です。建具表の取付場所よりLSD-517'へ読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
677	A-125~127 A-155・159・162	5~7階 符号のないPS扉について	5~7階 符号のないPS扉について、建具符号案内図でT~U・①~②間PS及び病棟ラウンジPSに符号がありません。各階のPS扉(SD-510・610・708)にて見込んでよろしいですか(よって何れも11→13ヶ所となります)。	お見込みの通りです。
678	A-125・126 A-157・160	建具符号について	下記建具は建具表で◎で囲まれた符号が建具符号案内図で見当たらないものです。必要な場合は、設置場所を御指示下さい。 ・LSD516 ・LSD613	LSD516 処置室1,2を丸窓Φ150としてください。 LSD613 処置室1を丸窓Φ150としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
679	A-125・126 A-336	押出成形セメント板 開口補強 金物について	押出成形セメント板開口補強図で光庭部分の凡例の記入がありません。 AW28・AW29・AW29a・AW30・AW30a・AW31・AW32・AW33・AW33a・ AW34の各 開口補強凡例を御指示下さい。	意匠別紙5を参照ください。
680	A-125・155	5階PSの建具について	5階建具符号案内図において、T～U通り1～2通りPSの片開きの建具符 号が不明です。SD-510で想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
681	A-126 A-130～132	6階言語療法室1の窓につい て	6階言語療法室1の窓について、建具符号案内図でAW-18dとありますが、 建具表にありません。使用箇所指示により、AW-38と読み替えてよろしいで すか。	お見込みの通りです。
682	A-126 A-132	建具 AW18d・AW38につい て	6階建具符号案内図でAW18dの記入がありますが、建具表で見当たりませ ん。建具表の設置場所より、AW38と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下 さい。	お見込みの通りです。
683	A-126、131、132	建具符号について	6階建具符号案内図、Q通り／6通り部にAW-18dの建具符号がありま すが、建具表にて不明です。建具表の取付場所より6F言語療法室1のA W-38の事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
684	A-126、159	建具符号について	6階建具符号案内図、J通り／1-2通り部、ランドリー左PSの片開き戸の 建具符号が不明です。SD-610を1か所追加と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	お見込みの通りです。
685	A-126、159	建具符号について	6階建具符号案内図、T-U通り／1-2通り部、屋外階段上PSの片開き 戸の建具符号が不明です。SD-610を1か所追加と考えて宜しいでしょ うか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
686	A-126・132	6階言語療法室1サッシにつ いて	6階建具符号案内図において、Q通り6～7通り言語療法室1にAW-18 dの指示ですが、建具表にありません。AW-38に読替えて宜しいです か。	お見込みの通りです。
687	A-126・159	6階PSの建具について	6階建具符号案内図において、T～U通り1～2通りPSの片開きの建具符 号が不明です。SD-610で想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
688	A-127 A-163 A-164	7階多目的室1～4の扉につ いて	7階多目的室1～4の扉について、建具符号案内図でLSD-706fとありませ ん。建具表でその建具が×になっています。LSD-710bの取付場所指示に 多目的室1～4とあるため、案内図の符号をLSD-710bに置き換えてよろし いでしょうか。	お見込みの通りです。
689	A-127、162	建具符号について	7階建具符号案内図、J通り／1-2通り部、ランドリー左PSの片開き戸の 建具符号が不明です。SD-708を1か所追加と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	お見込みの通りです。
690	A-127、162	建具符号について	7階建具符号案内図、T-U通り／1-2通り部、屋外階段上PSの片開き 戸の建具符号が不明です。SD-708を1か所追加と考えて宜しいでしょ うか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
691	A-127、163、164	建具符号について	7階建具符号案内図、I-M通り/1-2通り部、多目的室1~4にLSD-706fの建具符号がありますが、建具表にて不明です。建具表の取付場所よりLSD-710bへ読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
692	A-127・162	7階PSの建具について	7階建具符号案内図において、T~U通り1~2通りPSの片開きの建具符号が不明です。SD-708と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
693	A-127・164	7階多目的室の建具について	7階建具符号案内図において、I~M通り1~2通り多目的室にLSD-706fとありますが、建具表がありません。建具表より、LSD-710bと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
694	A-128 A-335・336	押出成形セメント板 開口補強金物について	押出成形セメント板開口補強図で塔屋部分の凡例が不明です。SDR02・SDR03・SDR06・SDR07・AWR01・AGR01・AGR02の各 開口補強凡例を御指示下さい。	意匠別紙5を参照ください。
695	A-129	外部SD建具の枠見込について	外部SD建具の枠見込について、建具表で枠見込は100ですが、大枠W250で考えてよろしいでしょうか。額縁が必要な場合はスチール1.6で仕上は枠に同じで考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
696	A-129 ~134	アル製建具の性能について	アル製建具の性能について、下記の性能考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■耐風圧性:S-5 ■気密性:A-3 ■水密性:W-5	S-5、A-4、W-5としてください。
697	A-129 A-035	AD-5の寸法について	AD-5のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(1) — H1, 950 ・矩計図(5) — H2, 200 H1, 950を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
698	A-129 A-036	AD-4の寸法について	AD-4のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(1) — H1, 950 ・矩計図(6) — H2, 200 H1, 950を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
699	A-129 A-047	AD-6の寸法について	1階B・5通り救命士控室においてAD-6のW寸法に相違があります。 ・外部建具表(1) — W1, 200 ・1階平面詳細図(1) — W1, 230 W1, 200を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
700	A-129 A-047	AD-4の寸法について	1階B~C・3~4通り前室1においてAD-4のW寸法に相違があります。 ・外部建具表(1) — W2, 000 ・1階平面詳細図(1) — W2, 100 W2, 000を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
701	A-129 A-047	STD-2の寸法について	1階B～C・2通り風除室4においてSTD-2のW寸法に相違があります。 ・外部建具表(1) — W3, 500 ・1階平面詳細図(1) — W3, 450(B通り) ・1階平面詳細図(1) — W3, 300(C通り) W3, 500を正と考えて宜しいですか。	W3,300としてください。
702	A-129 A-047	SD-4の寸法について	1階I～J・1通りスタップ通路においてSD-4のW寸法に相違があります。 ・外部建具表(1) — W1, 200 ・1階平面詳細図(1) — W1, 100 W1, 200を正と考えて宜しいですか。	W1,100としてください。
703	A-129 A-049	SD-10の寸法・形状について	1階I・13通り車椅子置場においてSD-10のW寸法・形状に相違があります。 ・外部建具表(1) — W1, 250(片引き) ・1階平面詳細図(3) — W1, 800(引分け) W1, 250(片引き)を正と考えて宜しいですか。	W1,800としてください。
704	A-129 A-121	電気錠指示の有無について	電気錠指示の有無について、SD-1は建具表には電気錠の指示がありませんが、建具符号案内図では符号にE・P指示があります。建具符号案内図の指示を正と考えてよろしいですか。又、他に同様の相違がある場合もその様に考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
705	A-129 A-121 A-47	SD-4のW寸法について	SD-4のW寸法について、建具表でW1200とありますが、姿図上部の子扉・親扉合計ではW1100となり相違しています。平面詳細図より、W1100を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
706	A-129 A-133 A-141	スチール建具枠の仕上について	スチール建具枠の仕上について、SD3～10・PD-1・2の仕上は焼付塗装ですが、他スチール建具と同じく枠も焼付塗装で考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
707	A-129 A-172	SS-1の仕様について	SS-1オーバースライダーの仕様に相違があります。 ・外部建具表(1) — スチール焼付け塗装 ・部分詳細図(7) — アルミ スチール焼付け塗装を正と考えて宜しいですか。	アルミとしてください。
708	A-129 A-172	SS-1の仕様について	SS-1の仕様について、建具表でスチール焼付塗装とありますが、部分詳細図ではアルミパネルとFRPパネルの2種類記載があります。3種類のうち建具表のスチール焼付塗装を正と考えてよろしいですか。	部分詳細図を正としてください。
709	A-129 A-175 A-31他	外部SDの枠見込について	外部SDの枠見込について、建具表で100とありますが、壁厚を考慮し260と考えてよろしいですか。	250としてください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
710 A-129 A-28	SD-6の姿図について	SD-6の姿図について、 A-129図:額無しフラッシュ戸 A-28図:額入りフラッシュ戸 とありますが、A-129図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
711 A-129 A-37 A-172	SS-1の形式について	SS-1の形式について、建具表に「オーバーライドドア」とありますが、矩計図では一般的なシャッターの納まりになっています。部分詳細図より、オーバーライドドアであると考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
712 A-129 A-49 A-37	SS-1の三方枠について	SS-1の三方枠について、建具表には指示がありませんが、平面詳細図・矩計図より三方枠が必要と考え、スチール 焼付塗装 D230で見込んでよろしいですか。	三方枠はスチールt1.6 250×25としてください。
713 A-129・131他	ガラの接続フランジについて	外部建具表において、SD-3a・AW-18b等の欄間ガラに接続用フランジの指示がありません。指示の無い部分は不要で宜しいですか。	必要です。
714 A-130	アルミサッシガラの有無について②	アルミサッシガラの有無について、下記建具の姿図にガラがありませんが、形式にガラの記載が御座います。姿図を正とし、ガラは不要としてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■AW-11・36	お見込みの通りです。
715 A-130	網戸について	網戸について、サランネットと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	ステンレス網戸としてください。
716 A-130	AWの接続用フランジについて	外部建具表(2)において、AW-2・11に接続用フランジとありますが、ガラが無いため、不要で宜しいですが。	不要です。
717 A-130 ～131	アルミサッシガラの有無について①	アルミサッシガラの有無について、下記建具の姿図にガラがありますが、形式に記載がありません。姿図を正としガラ有りと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■AW-8a・10・10a・13 ■AW-13・18b・18c・27・31・38(接続用フランジも必要)	お見込みの通りです。
718 A-130 A-035	AW-11の寸法について	AW-11のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — H2, 350 ・矩計図(5) — H1, 300 H2, 350を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
719 A-130 A-035	AW-11aの形状について	AW-11aのガラの有無に相違があります。 ・外部建具表(2) — ガラ有り ・矩計図(5) — ガラ無し ガラ有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
720 A-130 A-036	AW-5の寸法について	AW-5のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — H1, 700 ・矩計図(6) — H1, 300 H1, 700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
721	A-130 A-037	AW-10aの寸法について	AW-10aのH寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — H2, 350 ・矩計図(7) — H2, 200 H2, 350を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
722	A-130 A-037	AW-14の寸法について	AW-14のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — H2, 500 ・矩計図(7) — H2, 270 H2, 500を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
723	A-130 A-037	AW-10の形状について	AW-10のガラの有無に相違があります。 ・外部建具表(2) — ガラ有り ・矩計図(7) — ガラ無し ガラ有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
724	A-130 A-037	AW-13の寸法について	AW-13のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — H2, 350 ・矩計図(7) — H2, 200 H2, 350を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
725	A-130 A-037	AW-13aの寸法について	AW-13aのH寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — H2, 350 ・矩計図(7) — H2, 200 H2, 350を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
726	A-130 A-041	AW-4の寸法について	AW-4のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — H1, 300 ・矩計図(11) — H1, 860 H1, 300を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
727	A-130 A-051	AW-3aの寸法について	2階U・3～5通り視力検査室においてAW-3aのW寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — W1, 100 ・2階平面詳細図(2) — W1, 700 W1, 100を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
728	A-130 A-052	AW-1aの寸法について	2階Q・8～11通り化学療法室においてAW-1aのW寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — W1, 700 ・2階平面詳細図(3) — W1, 100 W1, 100を正と考えて宜しいですか。	W1,700としてください。
729	A-130 A-055	AW-7の寸法について	3階I・7～11通り廊下4においてAW-7のW寸法に相違があります。 ・外部建具表(2) — W1, 800 ・3階平面詳細図(3) — W1, 700 W1, 800を正と考えて宜しいですか。	W1,700としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
730	A-130 A-7	AW-5b ガラスのフィルム貼について	AW-5b ガラスのフィルム貼について、産婦人科窓のため材料表の住友3M ファサラ同等品と考えてよろしいですか。又、他にもガラス欄に「フィルム貼」とある場合、同じファサラ同等品と考えてよろしいですか。	3Mクラウド同等品としてください。
731	A-130～132	AWの欄間ガラリについて	AWの欄間ガラリについて、ダクト接続用フランジの記入のないものがありますが、欄間ガラリは全てダクト接続と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
732	A-131	AWの網戸について	外部建具表(3)において、AW-18a・18a-1に網戸の指示がありませんが、ブリーツ網戸が必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
733	A-131	AW-18bの網戸について	外部建具表(3)において、AW-18bにブリーツ網戸の指示ですが、嵌殺しのため、不要で宜しいですか。	お見込みの通りです。
734	A-131	Low-E複層ガラスの構成について	Low-E複層ガラスの構成について、AW-17L等で「Low-eガラス:上部FL5.0+A6.0+FL5.0、下部T8.0+A6.0+FL5.0」とありますが、下記のように考えてよろしいですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・FL5.0+A6.0+FL5.0→Low-E5.0+A6.0+FL5.0 ・T8.0+A6.0+FL5.0→Low-e5.0+A6.0+T8.0 	お見込みの通りです。
735	A-131 A-052・055・058・061・064・059	AW-17bの寸法について	2～7階I～I'・13通り階段においてAW-17bのW寸法に相違があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部建具表(3) — W910 ・2階平面詳細図(3)他 — W800 W910を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
736	A-131 A-054	AW-15aの寸法について	3階U・2～3通り廊下7においてAW-15aのW寸法に相違があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部建具表(3) — W2, 300 ・3階平面詳細図(2) — W2, 250 W2, 300を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
737	A-131 A-076	AW-18の寸法について	AW-18のH寸法に相違があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部建具表(3) — H2, 350 ・水廻り詳細図(6) — H2, 005 H2, 350を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
738	A-131 A-218	AW-19について	AW-19について、建具表では2重サッシの記載になっておりませんが、建具詳細図(2)では2重サッシとなっております。詳細図を正と考えてよろしいでしょうか。 又、建具表を正とする場合は、納まりを併せて御指示下さい。	詳細図を正としてください。
739	A-131 A-218	AW-19・19-1について	AW-19・19-1について、下記のように考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 ■「ブライント」内臓とは、外部サッシと内部樹脂サッシ間に「ブライント」が設置されているということでしょうか。 ■「ブライント」は建具工事としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。 中等品としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
740	A-131 A-218	AW-19-1の額縁について	AW-19-1の額縁について、同上質疑でスチールの額縁で質疑しておりますが、建具詳細図(2)で二重サッシ部は木製の表現です。AW-19-1の二重サッシのみオレフィンシート貼で考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	スチール焼付としてください。
741	A-131 A-218	AW-19-1の寸法について	AW-19-1のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(3) — H2, 200 ・建具詳細図(2) — H2, 400 H2, 200を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
742	A-131 A-218	建具のH寸法の相違について	AW19-1嵌殺し窓部のH寸法が建具表でH1900、建具詳細図でH2180と相違します。建具表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
743	A-131 A-218	ガラスの仕様について	AW19-1の上部ガラスが建具表でFL5+A6+FL4、建具詳細図でFL5+A6+FL5と相違します。建具表を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	FL5+A6+FL5としてください。
744	A-132 A-036	AW-26の寸法について	AW-26のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(4) — H2, 400 ・矩計図(6) — H2, 460 H2, 400を正と考えて宜しいですか。	H=2,500としてください。
745	A-132 A-037	AW-27の形状について	AW-27のガラの有無に相違があります。 ・外部建具表(4) — ガラ有り ・矩計図(7) — ガラ無し ガラ有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
746	A-132 A-039	AW-31の形状について	AW-31のガラの有無に相違があります。 ・外部建具表(4) — ガラ有り ・矩計図(9) — ガラ無し ガラ有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
747	A-132 A-039	AW-31の寸法について	AW-31のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(4) — H2, 200 ・矩計図(9) — H2, 350 H2, 200を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
748	A-132 A-039	AW-29aの寸法について	AW-29aのH寸法に相違があります。 ・外部建具表(4) — H2, 200 ・矩計図(9) — H2, 100 H2, 200を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
749	A-132等	吹抜や庇のない外壁のサッシガラスについて	外部床からの高さが4mを超える複層ガラスの外部側が強化ガラスの場合、自然破壊の懸念がありますので、飛散防止フィルム貼りとしてよろしいでしょうか。	不要とします。
750	A-133	トップライトのガラスについて	トップライトのガラスについて、建具表にNP6.8とありますが、網入磨ガラスのことと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
751	A-133 A-036	AG-9の寸法について	AG-9のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(5) — H2, 350 ・矩計図(6) — H2, 200 H2, 350を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
752	A-133 A-041 A-249	PD-1の寸法について	PD-1のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(5) — H1, 900 ・矩計図(11) — H2, 000 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — H2, 100 H1, 900を正と考えて宜しいですか。	H2,100としてください。
753	A-133 A-249	PD-2の寸法について	PD-2のH寸法に相違があります。 ・外部建具表(5) — H1, 600 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — H2, 100 H1, 600を正と考えて宜しいですか。	H1,600としてください。
754	A-134	カーテンウォールの性能について	カーテンウォールの性能について、同上アルミ建具と同じで考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
755	A-134	ACW-1のW寸法について	ACW-1のW寸法について、建具表姿図 サッシュ芯より右のW52800部分について、方立と窓の合計ではW52860となり相違しています。W52860を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
756	A-134 A-217	ACW-1のガラスについて	ACW-1のガラス仕様の相違があります。 ・外部建具表(6) — FL8+A6+FL8・Low-E8+A6+FL8・自動ドア部:強化ガラスT8 ・建具詳細図(1) — FL8+12+FL8 外部建具表(6)を正と考えて宜しいですか。	建具詳細図を正としてください。
757	A-134 A-217~218	カーテンウォールの複層ガラス空気層について	カーテンウォールの複層ガラス空気層について、 A-134図:A6 A-217~218図:A12 とありますが、A-217~218図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
758	A-135	STHD-101のガラリについて	STHD-101のガラリについて、仕様は扉同材・同仕上と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
759	A-135 A-047	STD-106の寸法について	1階J~L・5~6通りEVホール2においてSTD-106のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(1) — W3, 245 ・1階平面詳細図(1) — W3, 385 W3, 245を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
760	A-135 A-047	MSD-2の寸法について	1階H~J・1~2通り操作室においてMSD-2のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(1) — W700 ・1階平面詳細図(1) — W900 W700を正と考えて宜しいですか。	W900としてください。
761	A-135 A-048	SS-110の寸法について	1階Q~R・6通り生理検査受付においてSS-110のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(1) — W1, 400 ・1階平面詳細図(2) — W1, 000 W1, 400を正と考えて宜しいですか。	W1,000としてください。
762	A-135 A-121	SS-104の取付位置について	SS-104の取付位置について、建具表に寝台車とありますが、建具符号案内図にありません。不要と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
763	A-135 A-137	衝突防止金物について	衝突防止金物について、STD-102~107・AD-102に記載がありますが、仕様・詳細を御指示下さい。	不要です。
764	A-135他	シャッターボックスの仕上について	建具表において、シャッターボックスの仕上が不明です。焼付け塗装と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
765	A-135他	ステンレス自動ドアの形式について	ステンレス自動ドアの形式について、自動ドアは全て框戸タイプと考えてよろしいですか。	框戸とし、フルテック スマートレール同等品としてください。
766	A-135他	内部シャッターの枠について	内部シャッターの枠について、内部シャッターは全て三方枠が付くと考え、見込は建具表より60、スチール 焼付塗装で見込んでよろしいですか。	お見込みの通りです。
767	A-135他 A-121他	内部シャッターの仕上について	内部シャッターの仕上について、建具符号案内図で符号に「化」と付いている場合、袖扉だけでなくシャッターのスラットも化粧シート貼と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
768	A-135他 建築工事特記仕様書P40	軽量シャッターの操作方式について	軽量シャッターの操作方式の相違があります。 ・1階建具表(1)他 — 手動 ・建築工事特記仕様書P43 — 電動 手動を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
769	A-136 A-047	SW-101の寸法について	1階B・6~7通り防災センターにおいてSW-101のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(2) — W2, 000 ・1階平面詳細図(1) — W1, 980 W2, 000を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
770	A-136 A-047	SD-115の寸法について	1階I・7~8通りATMメンテナンス室においてSD-115のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(2) — W600 ・1階平面詳細図(1) — W700 W600を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
771	A-136 A-048	SD-106の寸法について	1階U・2～3通り消火ポンプ室においてSD-106のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(2) — W1, 800 ・1階平面詳細図(2) — W1, 700 W1, 800を正と考えて宜しいですか。	W1,700としてください。
772	A-136 A-049	SD-106bの寸法について	1階L'～M・13通り機械室1においてSD-106bのW寸法に相違があります。 ・1階建具表(2) — W1, 800 ・1階平面詳細図(3) — W1, 700 W1, 800を正と考えて宜しいですか。	W1,700としてください。
773	A-136 A-121	SD-106の数量について	SD-106の数量について、 A-136図:1ヶ所 A-121図:2ヶ所 とありますが、A-121図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
774	A-136・121	SW-101・102の防火性能について	1階建具表(2)において、SW-101・102に特定防火設備の指示ですが、引違い窓では特定防火設備の認定が取れません。また、建具符号案内図より、防火シャッターが併設されているため、一般仕様と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
775	A-136・121	SW-101・102のガラスについて	上記質疑において、SW-101・102のガラス仕様は強化ガラスT5に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
776	A-137	建具符号の二重丸囲みについて	建具符号の二重丸囲みについて、例えばLD-104の様に、二重丸囲みの1種類のみの場合、二重丸は何を意味していますか。	丸窓を示しています。
777	A-137	建具 LD105の小窓形状について	建具表でLD105の姿図で小窓部が丸窓150φですが、○LD105は□150でしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
778	A-137 A-047	LD-105の寸法について	1階C～D・1～2通り休憩カンファレンスルームにおいてLD-105のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(3) — W800 ・1階平面詳細図(1) — W900 W800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
779	A-137 A-048	LD-103aの寸法・形状について	1階M～N・5通り技局においてLD-103aのW寸法に相違があります。 ・1階建具表(3) — W900(片開き) ・1階平面詳細図(2) — W1, 200(親子開き) W900(片開き)を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
780	A-137 A-048	LD-103の寸法について	1階S～T・2～3通り器材室3においてLD-103のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(3) — W900 ・1階平面詳細図(2) — W800 W900を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
781	A-137 A-121	LD-103aの数量について	LD-103aの数量について、 A-137図:9ヶ所 A-121図:8ヶ所 とありますが、A-121図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
782	A-137 建築工事特記仕様書	AD-102の表面仕上について	AD-102の表面仕上について、建具表に記載がありませんが、建築工事特記仕様書37/61よりC-1種と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
783	A-138	LSD-113bのガラスについて	1階建具表(4)において、LSD-113bのガラス欄に強化ガラスの指示がありますが、姿図はフラッシュドアのため、ガラスは不要で宜しいですか。	お見込みの通りです。
784	A-138	建具 LSD113bの形状について	建具表でLSD113bのガラス欄に記入がありますが、姿図で記入がなく相違します。不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
785	A-138 A-047	LSD-122の寸法について	1階F・2～3通り中央処置室(WC2)においてLSD-122のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 030 ・1階平面詳細図(1) — W1, 213 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	W1,213としてください。
786	A-138 A-047	LSD-112の寸法について	1階G・3通り倉庫1においてLSD-112のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 030 ・1階平面詳細図(1) — W980 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
787	A-138 A-048	LSD-112の寸法について	1階K・7通りスタッフ通路1においてLSD-112のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 030 ・1階平面詳細図(2) — W830 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	W830としてください。
788	A-138 A-048	LSD-109の寸法について	1階N～O・7～8通り消化器内科診察室においてLSD-109のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 030 ・1階平面詳細図(2) — W1, 130 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	W1,130としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
789	A-138 A-048	LSD-110の寸法について	1階P～Q・3通りエコー室においてLSD-110のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 130 ・1階平面詳細図(2) — W1, 330 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	エコー室1のみW1,330としてください。
790	A-138 A-048	LSD-110の寸法について	1階R・6通り肺機能検査室においてLSD-110のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 130 ・1階平面詳細図(2) — W1, 330 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	LSD105としてください。
791	A-138 A-048	LSD-110の寸法について	1階Q・4～5通り多目的室2においてLSD-110のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 130 ・1階平面詳細図(2) — W1, 030 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
792	A-138 A-048	LSD-110の寸法について	1階Q・5通り多目的室1においてLSD-110のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 130 ・1階平面詳細図(2) — W1, 330 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	LSD105としてください。
793	A-138 A-048	LSD-110の寸法について	1階S・4～5通り多目的室4においてLSD-110のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 130 ・1階平面詳細図(2) — W1, 155 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
794	A-138 A-048	LSD-106の寸法において	1階R～S・2～3通り前処置室においてLSD-106のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 330 ・1階平面詳細図(2) — W1, 130 W1, 330を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
795	A-138 A-049	LSD-105の寸法について	1階P～Q・10通り前室4においてLSD-105のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 330 ・1階平面詳細図(3) — W1, 130 W1, 330を正と考えて宜しいですか。	W1,130としてください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
796 A-138 A-049	LSD-110の寸法について	1階P～Q・9～10通り呼吸器内科外科処置室においてLSD-110のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 130 ・1階平面詳細図(3) — W1, 330 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
797 A-138 A-049	LSD-113の寸法について	1階N～O・8～9通り消化器内科2・3においてLSD-113のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 030 ・1階平面詳細図(3) — W1, 130 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
798 A-138 A-049	LSD-102の寸法について	1階LX1～2・LY2～3通りRI待合においてLSD-102のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 630 ・1階平面詳細図(3) — W1, 730 W1, 630を正と考えて宜しいですか。	W1,730としてください。
799 A-138 A-049	LSD-122の寸法について	1階LX1・LY2通りHWC6においてLSD-122のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 030 ・1階平面詳細図(3) — W1, 113 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	W1,113としてください。
800 A-138 A-071 A-047	LSD-108の寸法について	LSD-108のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 130 ・水廻り詳細図(1) — W1, 030 ・1階平面詳細図(1) — W1, 030 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	HWC1はW1,030としてください。
801 A-138 A-071 A-047	LSD-117の寸法について	LSD-117のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W880 ・水廻り詳細図(1) — W930 ・1階平面詳細図(1) — W1, 030 W880を正と考えて宜しいですか。	MWC1,WWC1はW930 MWC2,WWC2はW880としてください。
802 A-138 A-071 A-048	LSD-111の寸法について	LSD-111のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(4) — W1, 030 ・水廻り詳細図(1) — W1, 130 ・1階平面詳細図(2) — W1, 130 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	W1,130としてください。
803 A-138 A-121	LSD-113の数量について	LSD-113の数量について、 A-138図:41ヶ所 A-121図:42ヶ所 とありますが、A-121図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
804	A-138 A-137	丸窓のフィルムについて	丸窓のフィルムについて、LSD-101の様にガラス欄に飛散防止フィルム貼とあっても、丸窓(FL5)の場合のフィルムはLD-105と同程度のフィルム貼でよろしいですか。	お見込みの通りです。
805	A-139	TS-113・208のH寸法について	建具表において、TS-113・208のH寸法が不明です。H500と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
806	A-139	TB-105のW寸法について	TB-105のW寸法について、建具表姿図 右側プースの扉がW500とありますが、両サドと扉の合計でW580となっており、全体W680と相違しています。扉をW600と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
807	A-139	建具H寸法について	1階建具表(5)、TS-113のH寸法が不明です。TS-112に倣い、H500と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
808	A-139 A-047	LSD-130の寸法について	1階H・2通り前室3においてLSD-130のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(5) — W1, 480 ・1階平面詳細図(1) — W1, 630 W1, 480を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
809	A-139 A-047	LSD-126の寸法について	1階J・1～2通り血管室においてLSD-126のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(5) — W4, 250 ・1階平面詳細図(1) — 4, 590 W4, 250を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
810	A-139 A-121	TB-101～106の数量について	TB-101～106の数量について、建具表に記載がありませんが、1階建具符号案内図より各1ヶ所と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
811	A-139 A-145	TS-113・208のH寸法について	TS-113・208のH寸法について、建具表に記載がありませんが、何れも他のTS同様H500と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
812	A-139 A-145	建具 TS113・208のH寸法について	TS113・208のH寸法が不明です。その他TSに倣い、H500と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
813	A-139 A-145 A-150 A-154	防煙垂壁について	防煙垂壁について、下記防煙垂壁で天井内補強が必要な場合は詳細を御指示下さい。 ■巻取式防煙パネル ■固定ガラス垂壁	意匠別紙2を参照ください。
814	A-139他	可動防煙垂壁の取付下地について	可動防煙垂壁において、天井内に取付下地補強鉄骨が必要と思われるのですが、部材メンバー等の詳細が不明です。詳細図の発行をお願い致します。	意匠別紙2を参照ください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
815	A-139他	固定防煙垂壁の仕様について	建具表において、TS-102等に可動防煙垂壁と一緒に姿図にガラス固定防煙垂壁の記載がありますが、枠の仕様不明です。TF-101等と同様にアルミ枠と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
816	A-139他 A-171 建築工事特記仕様書P50	トイレブースのエッジについて	トイレブースのエッジ仕様の相違があります。 ・1階建具表(5)他 — ステンレスRエッジ ・部分詳細図(6) — ポリウレタン樹脂エナメル塗装 ・建築工事特記仕様書P50 — 表面材と同材 ステンレスRエッジを正と考えて宜しいですか。	部分詳細図を正としてください。
817	A-140	PbDのガラスについて	1階建具表(6)において、PbD-101・103のガラス仕様不明です。鉛ガラスT14を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
818	A-140	PbSD-104の姿図について	1階建具表(6)において、PbSD-104の姿図がありません。図面の発行をお願い致します。	PbSD104は不要です。
819	A-140 A-047	PbW-101の寸法について	1階H~I・3~5通りCT室においてPbW-101のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 170 ・1階平面詳細図(1) — W1, 200 W1, 170を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
820	A-140 A-047	PbW-101の寸法について	1階I~L・3~5通り一般撮影室(1~3)においてPbW-101のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 170 ・1階平面詳細図(1) — W1, 200 W1, 170を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
821	A-140 A-047 A-048	PbW-103の寸法について	1階J~L・1~2通り血管室においてPbW103のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 570 ・1階平面詳細図(1) — W1, 515 ・1階平面詳細図(2) — W1, 500 W1, 570を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
822	A-140 A-048	PbW-101の寸法について	1階K~L・4通り一般撮影室4においてPbW-101のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 170 ・1階平面詳細図(2) — W1, 100 W1, 170を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
823	A-140 A-048	PbW-102の寸法について	1階M・3～4通り骨密度検査室においてPbW-102のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W970 ・1階平面詳細図(2) — W1, 000 W970を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
824	A-140 A-048	PbW-101の寸法について	1階N～P・4通り乳房撮影室においてPbW-103のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 170 ・1階平面詳細図(2) — W1, 200 W1, 170を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
825	A-140 A-048	PbW-103の寸法について	1階N～P・4～5通りX線TV室1・2においてPbW-103のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 570 ・1階平面詳細図(2) — 1, 600 W1, 570を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
826	A-140 A-048	PbW-103の寸法について	1階L～N・1～2通り心カテ室においてPbW-103のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 570 ・1階平面詳細図(2) — W1, 600 W1, 570を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
827	A-140 A-049	PbW-101の寸法について	1階N・9～10通り結石破碎室・泌尿器科X線TV室においてPbW-101のW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 170 ・1階平面詳細図(3) — W1, 200 W1, 170を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
828	A-140 A-121	PbD-104の数量について	PbD-104の数量について、 A-140図:1ヶ所 A-121図:2ヶ所 とありますが、A-121図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
829	A-140 A-248	PbSD-105の寸法について	PbSD-105のWH寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 030×H2, 000 ・放射線防護・シールド詳細図(1) — W1, 330×H2, 100 W1, 030×H2, 000を正と考えて宜しいですか。	W1,330×H2,100としてください。
830	A-140 A-248	PbSD-104の寸法について	PbSD-104のH寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — H2, 000 ・放射線防護・シールド詳細図(1) — H2, 100 H2, 000を正と考えて宜しいですか。	H2,100としてください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
831 A-140 A-249	放射線遮蔽戸について	放射線遮蔽戸について、下記について御指示下さい。 ■ 建具表で枠・扉共に焼付塗装ですが放射線防護・シールド詳細図(2)ではSOPです。焼付塗装で考えてよろしいでしょうか。 ■ 建具表で枠見込が160で大枠ですが、放射線防護・シールド詳細図(2)で額縁付です。建具表の大枠で考えてよろしいでしょうか。額縁付の場合、額縁の仕上は枠に準じると考えてよろしいでしょうか。	焼付としてください。
832 A-140 A-249	PbSD-105の寸法について	PbSD-105のH寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — H2, 000 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — H2, 100 H2, 000を正と考えると宜しいですか。	W1,430としてください。
833 A-140 A-249 A-049	PbSD-101aの寸法について	PbSD-101aのW寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 930 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — W1, 430 ・1階平面詳細図(3) — W1,430 W1, 930を正と考えると宜しいですか。	W1,430としてください。
834 A-140 A-249 A-049	PbSD-106の寸法について	PbSD-106のWH寸法に相違があります。 ・1階建具表(6) — W1, 630×H2, 000 ・放射線防護・シールド詳細図(2) — W1, 730×H2, 100 ・1階平面詳細図(3) — W1, 730 W1, 630×H2, 000を正と考えると宜しいですか。	W1,730としてください。
835 A-140 A-252	PbSD-107の仕上について	PbSD-107の仕上に相違があります。 ・1階建具表(6) — 焼付け塗装 ・放射線防護・シールド詳細図(5) — SOP 焼付け塗装を正と考えると宜しいですか。	お見込みの通りです。
836 A-140・250	PbW-104の仕様について	1階建具表(6)において、PdW-104に鉛:t2. 0当量の指示ですが、防音シールド工事の窓ですが、鉛は必要で宜しいのでしょうか。御指示下さい。	不要です。
837 A-140他	TF(固定ガラス垂壁)のガラスについて	TF(固定ガラス垂壁)のガラスについて、建具本体に共計上(ガラス工事ではない)と考えてよろしいですか。	ガラス工事です。
838 A-142	SW-209の額縁について	SW-209の額縁について、建具表でSW-209に「スチール額縁(焼付塗装)」と記載がありますが、枠見込160で壁厚との納まりがつかため額縁不要と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
839 A-142 A-050	SD-211の寸法について	2階J・5通り抗酸菌室(陰圧)においてSD-211のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(2) — W600 ・2階平面詳細図(1) — W700 W600を正と考えると宜しいですか。	お見込みの通りです。
840 A-142 A-122	SD-213の取付位置について	SD-213の取付位置について、建具表に患者ラウンジとありますが、建具符号案内図にありません。不要と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
841	A-142 A-122・50	SW-205の形状について	SW-205の形状について、建具表姿図では片袖FIX付片開戸ですが、平面詳細図では親子開戸になっています。建具表姿図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
842	A-143	LD-203の仕様について	2階建具表(3)において、LD-203厨房～倉庫3が特定防火設備とあるため、ガラス:耐熱強化ガラスT5、ガラリ:FD付きと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
843	A-143	LSD-202の形式について	2階建具表(3)において、LSD-202の姿図にガラスとありますが、框ドア形式でガラスが必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
844	A-143 A-050	LD-205の寸法について	2階D～E・1通りWC3・4においてLD-205のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W600 ・2階平面詳細図(1) — W700 W600を正と考えて宜しいですか。	W700としてください。
845	A-143 A-050	LD-203aの寸法について	2階D～E・1～2通り歯科機械室においてLD-203aのW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W900 ・2階平面詳細図(1) — W800 W900を正と考えて宜しいですか。	W800としてください。
846	A-143 A-050	LSD-207の寸法について	2階F～G・1通り点滴室においてLSD-207のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W1, 130 ・2階平面詳細図(1) — W1, 090	お見込みの通りです。
847	A-143 A-050	LSD-207の寸法について	2階I・5通り隔離待合室においてLSD-207のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W1, 130 ・2階平面詳細図(1) — W1, 030 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	LSD213としてください。
848	A-143 A-050	LD-203の寸法について	2階J・1～2通り倉庫2においてLD-203のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W900 ・2階平面詳細図(1) — W800 W900を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
849	A-143 A-051	LD-205の寸法について	2階Q・1通りWC5・6においてLD-205のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W600 ・2階平面詳細図(2) — W700 W600を正と考えて宜しいですか。	W700としてください。
850	A-143 A-051	LSD-210の寸法について	2階R・5～6通り皮膚科診察室1においてLSD-210のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W1, 130 ・2階平面詳細図(2) — W1, 030 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
851	A-143 A-051	LSD-207の寸法について	2階R・4～5通り皮膚科診察室2においてLSD-207のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W1, 130 ・2階平面詳細図(2) — W1, 030 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
852	A-143 A-052	LD-203の寸法について	2階L'・12通りMR室においてLD-203のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W900 ・2階平面詳細図(3) — W800 W900を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
853	A-143 A-052	LD-205の寸法について	2階K~L'・9~10通りWC1・2においてLD-205のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W600 ・2階平面詳細図(3) — W700 W600を正と考えて宜しいですか。	W700としてください。
854	A-143 A-052	LD-203の寸法について	2階O~Q・12通りWC7においてLD-203のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W900 ・2階平面詳細図(3) — 800 W900を正と考えて宜しいですか。	W800としてください。
855	A-143 A-052	LSD-212の寸法について	2階O~Q・10~11通りHWC2においてLSD-212のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W1, 030 ・2階平面詳細図(3) — W1, 130 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
856	A-143 A-073	LSD-206の寸法について	LSD-206のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W1, 130 ・水廻り詳細図(3) — W1, 230 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	W1,130としてください。
857	A-143 A-073	LSD-212の寸法について	LSD-212のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(3) — W1, 030 ・水廻り詳細図(3) — W1, 130 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
858	A-143 A-122 A-50~52	LD-205のW寸法について	LD-205のW寸法について、建具表でW600(700)とありますが、使い分けが不明です。平面詳細図で6ヶ所ともW700のため、W700のみ適用と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
859	A-143 A-152	LD-201・203・204・402・404・410・701~704の扉・窓・ガラ H寸法について、 建具表で扉:H2000、窓:H850、ガラ:H600とありますが、姿図の窓+ガラ+扉の合計がH1900となり、全体H2000と相違しています。記載通り扉:H2000、窓:H850、ガラ:H600と考えてよろしいですか。		ガラスをH950としてください。
860	A-144	LSD-221のガラスについて	LSD-221のガラスについて、基本的に他の扉の150x150のガラスはFL5 フィルム貼ですが、LSD-221はT5 飛散防止フィルムとなっています。指示の通りでよろしいですか。又、他に同様のものがある場合も指示の通りでよろしいですか。	LSD221はW730×H800と大きいためT5としています。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
861	A-144	建具 LSD221の小窓形状について	建具表でLSD221の姿図で小窓があるような記入がありますが、形状が不明です。□150と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面に記載同様、W730×H800です。
862	A-144 A-051	LSD-214の寸法について	2階P～Q・7～8通り面談室においてLSD-214のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(4) — W1, 030 ・2階平面詳細図(2) — W930 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
863	A-144 A-051	LSD-214bの寸法について	2階P～Q・7～8通り面談室においてLSD-214bのW寸法に相違があります。 ・2階建具表(4) — W1, 030 ・2階平面詳細図(2) — W930 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
864	A-144 A-052	LSD-215の寸法について	2階L'・11～12通り医薬品情報室においてLSD-215のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(4) — W930 ・2階平面詳細図(3) — W830 W930を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
865	A-144 A-052	LSD-223の寸法について	2階O～Q・11～12通り隔離室8においてLSD-223のW寸法に相違があります。 ・2階建具表(4) — W1, 430 ・2階平面詳細図(3) — W1, 480 W1, 430を正と考えて宜しいですか。	W1,480としてください。
866	A-145	建具H寸法について	2階建具表(5)、TS-208のH寸法が不明です。TS-206に倣い、H500と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
867	A-146	SHSの枠について	SHSの枠について、仕様はスチール焼付塗装と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
868	A-146	建具 STD301の防火性能について	建具表でSTD301の防火戸の種類欄に特定防火施設とありますが、仕様不明です。御指示下さい。	特定防火設備です。
869	A-146 A-053	SD-310の寸法について	3階B・6～7通り電気室においてSD-310のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(1) — W2, 400 ・3階平面詳細図(1) — W2, 500 W2, 400を正と考えて宜しいですか。	W2,300としてください。
870	A-146他	スクリーンシャッターの操作方式について	建具表において、SHS-301等のスクリーンシャッターの操作方式が不明です。電動式と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
871	A-147	SW-303 扉・連窓連結部方立のW寸法について	SW-303 扉・連窓連結部方立のW寸法について、姿図に記載がありませんが、W100と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
872	A-147 A-054	AW-308の寸法について	3階P～Q・6～7通り盛付室においてAW-308のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(2) — W750 ・3階平面詳細図(2) — W700 W750を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
873	A-147 A-054	LD-302の寸法について	3階R～S・6通りサーバー室においてLD-302のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(2) — W1, 500 ・3階平面詳細図(2) — W1, 800 W1, 500を正と考えて宜しいですか。	W1,800としてください。
874	A-147 A-054	LSD-312の寸法について	3階R～S・2～3通り脱衣室においてLSD-312のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(2) — W700 ・3階平面詳細図(2) — W730 W700を正と考えて宜しいですか。	W730としてください。
875	A-147 A-055	LD-313の寸法について	3階K・11通りWC1・2においてLD-313のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(2) — W700 ・3階平面詳細図(3) — W600 W700を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
876	A-147 A-055	AW-302の寸法について	3階M～O・8～9通り委託事務室においてAW-302のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(2) — W1, 000 ・3階平面詳細図(3) — W1, 200 W1, 000を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
877	A-147 A-074 A-054	LD-307の寸法について	LD-307のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(2) — W900 ・水廻り詳細図(4) — W800 ・3階平面詳細図(2) — W800 W900を正と考えて宜しいですか。	W800としてください。
878	A-147 A-123	LD-308の数量について	LD-308の数量について、 A-147図:45ヶ所 A-123図:43ヶ所 とありますが、A-123図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
879	A-147 A-123	LD-314の数量について	LD-314の数量について、 A-147図:4ヶ所 A-123図:3ヶ所 とありますが、A-123図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
880	A-148	3階建具表(3)ハンガー戸の引残し巾について	3階建具表(3)ハンガー戸の引き残し巾について、明記されていない場合は全てW130と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
881	A-148	建具 引き残し寸法について	3階建具表(3)でLSD307・308a311・312を除く引き戸の引き残し寸法が不明です。その他引き戸に倣い、W130と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
882	A-148 A-055	LSD-308の寸法について	3階I~I'・10通りスタップ室においてLSD-308のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(3) — W900 ・3階平面詳細図(3) — W1, 130 W900を正と考えて宜しいですか。	W1,030としてください。
883	A-148 A-055	LSD-304の寸法について	3階I~J'・11~12通り前室1においてLSD-304のW寸法に相違があります。 ・3階建具表(3) — W1, 200 ・3階平面詳細図(3) — W1, 430 W1, 200を正と考えて宜しいですか。	W1,430としてください。
884	A-148他	LSDのW寸法について	建具表において、LSD-301等が有効寸法の表示となっていますが、引き残し寸法が不明です。原則引き残し130と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
885	A-149 A-074	TB-305の範囲について	TB-305において、SK~洗面間仕切りの仕様に相違があります。 ・3階建具表(4) — トイレブース ・水廻り詳細図(4) — LGS間仕切 トイレブースを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
886	A-151 A-226	STD-413の寸法について	STD-413(ATDX)のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(1) — W1, 800 ・手術室仕様書 — W1, 500 W1, 800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
887	A-151 A-226	STD-412の寸法について	STD-412(AD4)のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(1) — W880 ・手術室仕様書 — W900(引残し含まず) W880を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
888	A-151・242	手術室の建具について	手術室器具図(1)において、AD1~4で自動ドアの詳細がありますが、建具表のSTD-409・411・412・413と姿図・ガラス仕様で相違があります。建具表と正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
889	A-151	STD-413のガラスについて	上記質疑に関連して、STD-413が建具表でフロートガラスの指示ですが、放射線防護のため、鉛入りガラスになると思われます。鉛入りガラスの厚さを御指示下さい。	鉛ガラスt14とし、鉛t2.0mm当量としてください。
890	A-152	SW-401について	4階建具表(2)において、2段目にSW-401の建具符号がありますが、建具符号案内図より、SW-404に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
891	A-152 A-057	SW-408の寸法について	4階S~T・5通り免疫染色室においてSW-408のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(2) — W2, 400 ・4階平面詳細図(2) — W2, 500 W2, 400を正と考えて宜しいですか。	W2,500としてください。
892	A-152 A-057	SW-407の寸法について	4階S~T・1~2通り組織切出室においてSW-407のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(2) — W1, 180 ・4階平面詳細図(2) — W1, 000 W1, 180を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
893	A-152 A-058	LD-408の寸法について	4階K・10通り医療廃棄物庫においてLD-408のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(2) — W700 ・4階平面詳細図(3) — W600 W700を正と考えて宜しいですか。	W600としてください。
894	A-152 A-077	SW-401の寸法について	SW-401のH寸法に相違があります。 ・4階建具表(2) — H1, 050 ・病室詳細図(1) — H800 H1, 050を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
895	A-152 A-124	SW-401の重複について	SW-401の重複について、建具表にSW-401が2種類ありますが、後者(取付場所:OP2~6x5ヶ所の方)は建具符号案内図よりSW-404と読み替えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
896	A-153	LSD-419・419'・420の袖FIX高さについて	LSD-419・419'・420の袖FIX高さについて、建具表に記載がありませんが、何れもH1900と考えてよろしいですか。	H1800としてください。
897	A-153	建具H寸法について	4階建具表(3)、LSD-419、419'、420の袖FIX部のH寸法が不明です。袖FIX部のH寸法はH1700と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	H1800としてください。
898	A-153 A-056	LSD-403aの寸法について	4階J~L・7~8通り重症個室AにおいてLSD-403aのW寸法に相違があります。 ・4階建具表(3) — W1, 480 ・4階平面詳細図(1) — W1, 680 W1, 480を正と考えて宜しいですか。	W1,630としてください。
899	A-153 A-056	LSD-413の寸法について	4階J~L・4通り麻酔科診察室においてLSD-413のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(3) — W1, 030 ・4階平面詳細図(1) — W930 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	W1,030としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
900	A-153 A-057	LSD-408bの寸法について	4階N～P・2～3通り既滅菌室においてLSD-408bのW寸法に相違があります。 ・4階建具表(3) — W1, 330 ・4階平面詳細図(2) — W1, 630 W1, 330を正と考えて宜しいですか。	W1,630としてください。
901	A-153 A-057	LSD-416の寸法について	4階Q～R・1通り前室10においてLSD-416のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(3) — W1, 030 ・4階平面詳細図(2) — W950 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
902	A-153 A-058	LSD-419の寸法について	4階I'～L'・8通り重症個室AにおいてLSD-419のW寸法に相違があります。 ・4階建具表(3) — W2, 200 ・4階平面詳細図(3) — W2, 090 W2, 200を正と考えて宜しいですか。	W2,090としてください。
903	A-153 A-124	LSD-411の二重丸囲みについて	LSD-411の二重丸囲みについて、建具表ではLSD-411が一重丸囲みと二重丸囲みの2種類となっていますが、建具符号案内図では2ヶ所共一重丸囲みのため、二重丸囲みは無しと考えてよろしいですか。	麻酔科診察室は丸窓Φ150としてください。
904	A-153、154	建具重複について	4階建具表(3)と4階建具表(4)にて、LSD-424が重複しています。4階建具表(3)のLSD-424は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	4階建具表(3)LSD424は不要とし、4階建具表(4)のLSD424を採用してください。
905	A-154・124	LSD-424について	4階建具表(4)において、LSD-424の指示がありますが、建具符号案内図にありません。不要で宜しいですか。(建具表(3)のLSD-424は有り)	4階建具表(3)LSD424は不要とし、4階建具表(4)のLSD424を採用してください。
906	A-153・154 A-124	LSD-424の重複について	LSD-424の重複について、4階建具表(3)・(4)にLSD-424が2種類ありますが、建具符号案内図では組織切出室に1ヶ所のみのため、取付位置の一致している建具表(3)の方のみ適用、建具表(4)の方は不要と考えてよろしいですか。	4階建具表(3)LSD424は不要とし、4階建具表(4)のLSD424を採用してください。
907	A-154 A-124	LSD-422の数量について	LSD-422の数量について、建具表に数量の記入がありませんが、建具符号案内図より1ヶ所と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
908	A-154 A-124 A-57	TF-404のW寸法について	TF-404のW寸法について、建具表にW4460とありますが、平面詳細図よりW1360と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
909	A-155 A-061	STD-505の寸法について	5階L・11～12通りEVホール1においてSTD-505のW寸法に相違があります。 ・5階建具表(1) — W2, 440 ・5階平面詳細図(3) — W2, 400 W2, 440を正と考えて宜しいですか。	W2,400としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
910	A-156 A-061	LD-503bの寸法について	5階L'・8通り器材室4においてLD-503bのW寸法に相違があります。 ・5階建具表(2) — W800 ・5階平面詳細図(3) — W900 W800を正と考えて宜しいですか。	W900としてください。
911	A-157 A-060	LSD-516の寸法について	5階L～M・7～7'通り前室においてLSD-516のW寸法に相違があります。 ・5階建具表(3) — W1, 330 ・5階平面詳細図(2) — W1, 130 W1, 330を正と考えて宜しいですか。	W1,130としてください。
912	A-157 A-060	LSD-500の寸法について	5階Q～R・4通り廊下15においてLSD-500のW寸法に相違があります。 ・5階建具表(3) — W1, 930 ・5階平面詳細図(2) — W2, 060 W1, 930を正と考えて宜しいですか。	W2,060としてください。
913	A-157 A-060	LSD-505の寸法について	5階T～U・1～2通り個室AにおいてLSD-505のW寸法に相違があります。 ・5階建具表(3) — W1, 330 ・5階平面詳細図(2) — W1, 030 W1, 330を正と考えて宜しいですか。	W1,330としてください。
914	A-157 A-061	LSD-513の寸法について	5階K～L・11～12通り仮眠室1においてLSD-513のW寸法に相違があります。 ・5階建具表(3) — W830 ・5階平面詳細図(3) — W1, 030 W830を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
915	A-157 A-125	LSD-510の数量について	LSD-510の数量について、 A-157図:12ヶ所 A-125図:11ヶ所 とありますが、A-125図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
916	A-158 A-079 A-060	LSD-521の寸法について	LSD-521のW寸法に相違があります。 ・5階建具表(4) — W5, 015 ・病室詳細図(3) — W4, 270 ・5階平面詳細図(2) — W4, 270 W5, 015を正と考えて宜しいですか。	W4,270としてください。
917	A-158 A-161 A-164	LSD-521・522・522'・621・78の 窓下部について	LSD-521・522・522'・621・78の窓下部について、姿図で堅枠が床まであるため、壁ではなく扉同材同仕上のフラッシュパネルと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
918	A-159 A-126 A-63	SW-606の取付位置について	SW-606の取付位置について、建具符号案内図に符号がありませんが、建具表取付場所指示により、理学療法室入口STD-602の左横に付くと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
919	A-160	LSD-602の使い分けについて	6階建具表(2)において、LD-602のW寸法に(800)の指示がありますが、使い分けが不明です。W800が必要でしたら、施工位置・数量を御指示下さい。	お見込みの通りです。
920	A-160 A-062	LSD-606の寸法について	6階E~F・4通り処置室2においてLSD-606のW寸法に相違があります。 ・6階建具表(2) — W1, 130 ・6階平面詳細図(1) — W1, 330 W1, 130を正と考えて宜しいですか。	W1,330としてください。また、病棟処置室についてはすべて丸窓Φ150としてください。
921	A-160 A-062	LSD-608の寸法について	6階I~J・1~2通り多目的室1・2においてLSD-608のW寸法に相違があります。 ・6階建具表(2) — W1, 030 ・6階平面詳細図(1) — W1, 330 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
922	A-160 A-064	LSD-611fの寸法について	6階K~L'・11~12通り仮眠室1においてLSD-611fのW寸法に相違があります。 ・6階建具表(2) — W830 ・6階平面詳細図(3) — W1, 030 W830を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
923	A-160 A-126	LSD-613の二重丸囲みについて	LSD-613の二重丸囲みについて、建具表ではLSD-613が一重丸囲みと二重丸囲みの2種類となっていますが、建具符号案内図では4ヶ所共一重丸囲みのため、二重丸囲みは無しと考えてよろしいですか。	処置室1は丸窓Φ150としてください。
924	A-160 A-126 A-62~64	LD-602のW寸法について	LD-602のW寸法について、建具表でW900(800)とありますが、使い分けが不明です。平面詳細図で8ヶ所ともW900のため、W900のみ適用と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
925	A-161 A-062	LSD-621の寸法について	6階J~L'・7~8通り重症個室AにおいてLSD-621のW寸法に相違があります。 ・6階建具表(3) — W5, 015 ・6階平面詳細図(1) — W4, 270 W5, 015を正と考えて宜しいですか。	W4,270としてください。
926	A-161 A-062	STD-601の寸法について	6階J~L・5~6通りEVホール2においてSTD-601のW寸法に相違があります。 ・6階建具表(3) — W3, 245 ・6階平面詳細図(1) — W3, 585 W3, 245を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
927	A-161 A-064	STD-605の寸法について	6階K~L'・12通りEVホール1においてSTD-605のW寸法に相違があります。 ・6階建具表(3) — W2, 340 ・6階平面詳細図(3) — W2, 400 W2, 340を正と考えて宜しいですか。	W2,400としてください。
928	A-162 A-065	STD-705の寸法について	7階K~L'・11~12通りEVホール1においてSTD-705のW寸法に相違があります。 ・7階建具表(1) — W2, 340 ・7階平面詳細図(1) — W2, 400 W2, 340を正と考えて宜しいですか。	W2,400としてください。
929	A-162 A-066	SW-701の寸法について	7階S~T・5通り個室AにおいてSW-701のW寸法に相違があります。 ・7階建具表(1) — W700 ・7階平面詳細図(2) — W500 W700を正と考えて宜しいですか。	W500としてください。
930	A-163 A-065	LD-701の寸法について	7階F・3~4通り器材室2においてLD-701のW寸法に相違があります。 ・7階建具表(2) — W900 ・7階平面詳細図(1) — W935 W900を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
931	A-163 A-066	LSD-701aの寸法について	7階S~T・4~5通り前室(陰圧)においてLSD-701aのW寸法に相違があります。 ・7階建具表(2) — W2, 060 ・7階平面詳細図(2) — W2, 836 W2, 060を正と考えて宜しいですか。	W2,836としてください。
932	A-164 A-065	LSD-710bの寸法について	7階J・3~4通りサテライトファーマシーにおいてLSD-710bのW寸法に相違があります。 ・7階建具表(3) — W1, 030 ・7階平面詳細図(1) — W990 W1, 030を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
933	A-164 A-065	LSD-713の寸法について	7階J~L・1~2通り下膳室においてLSD-713のW寸法に相違があります。 ・7階建具表(3) — W830 ・7階平面詳細図(1) — W1, 030 W830を正と考えて宜しいですか。	W1,030としてください。
934	A-164 A-065	LSD-718の寸法について	7階J~L・7~8通り重症個室AにおいてLSD-718のW寸法に相違があります。 ・7階建具表(3) — W5, 015 ・7階平面詳細図(1) — W4, 270 W5, 015を正と考えて宜しいですか。	W4,270としてください。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
935 A-165 A-068	AW-R01の寸法について	8階G～H・3～5通りEVホール2においてAW-R01のW寸法に相違があります。 ・8階建具表(1) — W1, 800 ・8階平面詳細図(1) — W1, 700 W1, 800を正と考えて宜しいですか。	W1,700としてください。
936 A-165 A-068	SD-R06の寸法について	8階H・5通りEVホール2においてSD-R01のW寸法に相違があります。 ・8階建具表(1) — W800 ・8階平面詳細図(1) — W850 W800を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
937 A-166	耐火塗料・耐火シートの厚みについて	部分詳細図(1) D1-2柱・梁耐火被覆詳細図において、耐火塗料及び耐火シートの厚み指定がありますが、鉄骨部材メンバーによって厚みが変わります。図面に記載の厚みは最低厚さとし、部材メンバーによっては変更可能と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
938 A-166	間仕切仕様について	部分詳細図(1)において、壁凡例W-2Gの間仕切仕様同等品に「吉野石膏:ハイパーウォールZT(FP060NP-0200・SOI-0112)」と指示がありますが、軽鉄間仕切(一般壁)の為、同等品は該当無しと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
939 A-166	WC室内のGB-Sについて	壁凡例 W-1・W-1a・W-2・W-2a・W-2Gについて、WC室内に面する箇所はGB-St12.5を利用するとありますが、GB-Ht9.5+GB-Rt12.5のGB-Rt12.5をGB-St12.5に置き換えると解釈してよろしいですか。 又、W-3～W4aについては、GB-Rt12.5の2枚共GB-St12.5に置き換えると解釈してよろしいですか。	お見込みの通りです。
940 A-166	WC室内のGB-Sについて	上記質疑に伴い、耐火間仕切ボード面は、GB-St12.5の増貼と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
941 A-166	間仕切壁の仕様について	部分詳細図1より、壁符号W-2Gは軽鉄間仕切壁(一般壁)となっていますが、概要欄では吉野石膏ハイパーウォールZT(耐火壁)となっています。 W-2にグラスウールを充填したものがW-2Gと考え、一般壁を正と考えてよろしいですか。 又、図示の通り、スタッドは千鳥配置でよろしいですか。	お見込みの通りです。
942 A-166	WC壁耐水石膏ボードの納まりについて	軽鉄間仕切壁詳細図でWC室内に面する箇所は耐水石膏ボードを使用すると記入がありますが、一般壁(W-3・4)は上張石膏ボードを耐水石膏ボードと読み替えと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	水を使用する部屋及び部分(WC、SW、浴室、機械浴室、水治療、シンクの水槽背面及び側面)は下地の上張りを耐水石膏ボードとしてください。 耐火間仕切が面する場合は、耐水PBt12.5を増張してください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
943	A-166	WC壁耐水石膏ボードの納まりについて	軽鉄間仕切壁詳細図でWC室内に面する箇所は耐水石膏ボードを使用すると記入がありますが、一般壁(W-1・2)、遮音壁(W-2G)の上張ボードが硬質石膏ボードの範囲も耐水石膏ボードは必要でしょうか。必要とする場合、上張硬質石膏ボードを耐水石膏ボードへ読み替えと解釈して宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	水を使用する部屋及び部分(WC、SW、浴室、機械浴室、水治療、シンクの水槽背面及び側面)は下地の上張りを耐水石膏ボードとしてください。(遮音壁も同じ)耐火間仕切が面する場合は、耐水PBt12.5を増張してください。
944	A-166	間仕切(W-2G)の仕様について	軽鉄間仕切壁詳細図で参考品名がハイパーウォールZT、認定番号はハイパーウォールZ・WIと相違しています。又、壁ボードの仕様が硬質石膏ボード厚9.5+石膏ボード厚12.5(又は耐水石膏ボード厚12.5)ですが、ハイパーウォールZT、ハイパーウォールZ・WIとは一致していないため、参考品名・認定番号は適用外と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	適応外としないでください。ハイパーウォールZ-WIとしてください、認定番号SOI-0112としてください。
945	A-166	間仕切凡例W-5について	W-5軽鉄間仕切壁詳細図内でケイカル板下のボードの仕様が断面では耐水石膏ボード、平面では石膏ボードと相違します。断面を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
946	A-166	軽鉄間仕切り壁のスタッド巾について	軽鉄間仕切(WT1・2・W-2・4)詳細図でH4.2を超える間仕切はLGS100と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
947	A-166	壁下地の耐水PBについて	壁下地の耐水PBについて、部分詳細図(1) D1-4に「WC室内に面する箇所はGB-St12.5を使用する」とありますが、WC以外で耐水PBが必要な部屋があれば御指示下さい。 又、耐水PBが必要な部屋に耐火間仕切が面する場合は、耐水PBt12.5を増張と考えて宜しいでしょうか。	水を使用する部屋及び部分(WC、SW、浴室、機械浴室、水治療、シンクの水槽背面及び側面)は下地の上張りを耐水石膏ボードとしてください。耐火間仕切が面する場合は、耐水PBt12.5を増張してください。
948	A-166	壁符号W-2G 軽鉄間仕切壁(一般壁) について	壁符号W-2G 軽鉄間仕切壁(一般壁)について、部分詳細図(1) D1-4の備考欄に吉野石膏:ハイパーウォールZT(耐火遮音間仕切)と記載がありますが、在来工法(一般遮音間仕切)と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、吉野石膏カタログより、ハイパーウォールZTには間仕切内グラスウールが無い為、図の納まりと相違しています。W-2Gの納まり・メーカー・品番を改めて御指示下さい。	適応外としないでください。ハイパーウォールZ-WIとしてください、認定番号SOI-0112としてください。
949	A-166	壁符号 WT-1・WT-2G・W-2G・W-4 のスタッド巾について	壁符号WT-1・WT-2G・W-2G・W-4のスタッド巾について、部分詳細図(1)に表がありますが、高さ4.2mを超える場合はスタッド巾は100と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
950	A-166	耐火塗料の 表面仕上について	耐火塗料の表面仕上について、部分詳細図(1) D1-2.柱・梁耐火被覆詳細図より、指示が無い為、不要と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、表面仕上を御指示下さい。	フッ素樹脂系(SK耐火コート中塗り材F、SK耐火コート上塗り材F エアレススプレー塗り同等)としてください。
951	A-166	鉄骨梁貫通部の 耐火被覆について	鉄骨梁貫通部の耐火被覆について、仕様を御指示下さい。	A-166 部分詳細図(1) D1-2 の通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
952 A-166 A-047他	間仕切仕様について	部分詳細図(1)において、壁凡例WT-3軽鉄間仕切(性能壁)の施工範囲に「EVシャフト・階段室・PS・EPS等の片面ボード張り部分」と指示がありますが、各階平面詳細図にWT-3の指示がありません。WT-3は該当無しと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
953 A-166 A-168	壁タイルの下地について	壁タイルの下地について、部分詳細図(3) D3-3.タイル張り(内装タイル)にFKt6+6とありますが、部分詳細図(1)の壁凡例には無い為該当無しとし、各壁凡例に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	内壁タイル張り部分は、部分詳細図(3)を正としてください。
954 A-166 A-312~313	梁型の耐火塗料について	エスカレーター詳細図に耐火塗料の指示がありません。施工範囲を御指示下さい。	仕様はA166 D1-1の図示の通りとし、範囲は、エスカレーターに接続する1F2Fの大梁とします。
955 A-166 A-313	耐火塗料の施工範囲について	部分詳細図1より、梁の耐火塗料はエスカレーター詳細図とありますが、詳細図では※耐火被覆無しと記載があります。耐火塗料の明確な範囲をご指示下さい。	エスカレーターの受け鉄骨部とします。
956 A-166・033	梁型耐火塗料の仕様範囲について	部分詳細図(1) D1-2柱・梁耐火被覆詳細図において、「梁耐火塗料t3.7 エスカレーター詳細図」の指示がありますが、エスカレーター部(SHIMADAプラザ)の梁は天井フタコロ内の為、該当しないと思われまます。梁耐火塗料t3.7の使用場所がありましたら範囲図の発行をお願い致します。	エスカレーターが接続する大梁となります。A-313図をご確認ください。
957 A-167	免震ピット受け桝の詳細について	部分詳細図(2)において、D2-7A免震ピット受樋の配置が不明です。免震ピット内の横引き樋の箇所に必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
958 A-167	免震ピット受け桝の詳細について	部分詳細図(2)において、D2-7A免震ピット受樋の寸法が不明です。400角の箱型と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
959 A-167	免震ピット受け桝の詳細について	部分詳細図(2)において、D2-7A免震ピット受樋に下地:木織セメント板とありますが、厚さが不明です。御指示下さい。	t=20としてください。
960 A-167	医療各室のピット蓋について	上記質疑に関連致しますが、上記で宜しい場合、配線ピット「蓋」のメーカー・品番を御指示下さい。	中等品とします。
961 A-167	配線ピット蓋について	配線ピット蓋について、D2-11詳細図内で ・蓋:CPL-4.5 OP塗 ・蓋:底板+長尺シート等 ・エッジ金物:FB-30x4.5 EP塗 ・エッジ金物:FB-30x4.5 OP塗 とありますが、底板PL-2.3+長尺シート・エッジ金物FB-30x4.5 OP塗と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
962 A-167	床面 増打について	部分詳細図(2) DS-1・2・3に床面厚10mmの増打の記入がありますが、屋根アスファルト防水下面にも増打10mmが必要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
963	A-167 D2-7A	免震ピット受け樋のサイズについて	免震ピット受け樋のサイズについてW400XD400と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
964	A-167 D2-7A	免震ピット受け樋の取付場所について	免震ピット受け樋の取付場所について、A-19図に設置場所をご指示下さい。	12,13通り、I通り左の免震擁壁に取り付きます。
965	A-167 A-256	配線ピット内部 分割板について	配線ピット内部 分割板について A-167 D2-11図 記載無し A-256図 記載有り とありますが、各室全てA-167 D2-11図を正と考えてよろしいですか。使い分けがあれば範囲・分割板の仕様・詳細をご指示下さい。	お見込みの通りです。
966	A-167～177	メーカー程度について	以下について、メーカー程度ご指示下さい。 ・床下点検口 600角 ・マンホール ・視覚障害者誘導表示(石・コンクリート用) ・コーナーガード(その他) ・ピクチャーレール ・点滴レール、点滴用フック	・床下点検口 600角 → SUS製同材仕上 ナカ工業同等品 ・マンホール → 中等品とします。 ・視覚障害者誘導表示(石・コンクリート用) → 中等品とします。 ・コーナーガード(その他) → ナカ工業同等品 ・ピクチャーレール → TOSO同等品 ・点滴レール、点滴用フック → TOSO同等品
967	A-167・007	床タイルA・Bの伸縮目地について	床用磁気タイル張り詳細図で目地共100*100、125*125、150*150程度の場合、10m2毎に伸縮目地を設けると記入がありますが、タイルA・Bの600*300、300*300、600*150にも10m2毎に伸縮目地は必要でしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。詳細は現場指示によります。
968	A-167・008～015	OAフロア・鋼製床組の納まりについて	部分詳細図でOAフロア・鋼製床組下に増打コンクリートの図示がありますが、スラブ下りと床組の高さが同一のため、床組下の増打コンクリートは不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
969	A-168	腰壁見切りについて	部分詳細図(3) D3-2 WG-Eについて、見切り材の仕様をご指示下さい。	アルミ製とします。
970	A-168 A-013	オートクレープの床高の相違	4階<中材>のオートクレープの仕上レベルに相違があります。 ・部分詳細図(3) — FL-150 ・仕上表(6) — FL±0 FL-150を正と考えて宜しいですか。FL±0が正の場合、嵩上げ方法を御指示下さい。	FL-150を正としてください。
971	A-168 A-013	オートクレープの床下地の相違	4階<中材>のオートクレープの床下地に相違があります。 ・部分詳細図(3) — モルタル金鏝 ・仕上表(6) — コンクリート金鏝 モルタル金鏝を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
972 A-168 A-013	オートクレープの天井スラブ 下断熱材の厚さの相違	4階<中材>のオートクレープの天井スラブ下断熱材の厚さに相違があります。 ・部分詳細図(3) — T50 ・仕上表(6) — T100 T50を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
973 A-168・112～119	腰壁シートについて	腰壁シートのH寸法が、部分詳細図では800、雑伏図では1000と相違します。部分詳細図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	H1,000としてください。
974 A-168・166	タイル下の壁下地について	タイル張り(内装タイル)詳細図でケイカル板6+6下地とありますが、間仕切凡例に該当する下地は見当たりません。使用場所を御指示下さい。	仕上表、展開図のタイル張り部分を参照してください。
975 A-168他	LGS補強について	間仕切LGSについて、H5000以上があれば以下のように考えてよろしいですか。」 部材:C-100X50X2.3 タテピッチ:@3000 ヨコ:上下2本	今回は階高5000以上の箇所はございません。
976 A-169	天井点検口の数量について	部分詳細図(4)D4-16において、天井点検口が記載されておりますが、300角・450角・600角 それぞれの数量を御指示下さい。	全て600角とします。 総数は図面を正としてください。
977 A-169	天井点検口の仕様について	部分詳細図(4)D4-16 天井点検口において、1・2階廊下・ホールのみ目地タイプと記載されておりますが、建設工事特記仕様書52/61では仕様は目地タイプのみと相違しています。部分詳細図(4)を正とし、1・2階廊下・ホールのみ目地タイプと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	すべて目地タイプとします。
978 A-169	天井点検口の数量について	上記質疑が正の場合、1・2階廊下・ホールの天井点検口の大きさ毎の数量を御指示下さい。	上記質疑において全て目地タイプとしてください。
979 A-169	防水パンの範囲について	部分詳細図(4)D4-9において、B1F機械室に天井防水パンが記載されておりますが、B1F機械室が無い為、不要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	機械室の記載は誤記です。 A-055図等平面詳細図、天井伏図に図示しています。
980 A-169	スクリーンボックスの範囲について	部分詳細図(4)D4-17において、スクリーンボックスが12か所記載されておりますが、天井伏図等では記載されておられません。取付場所及びそれぞれの長さを御指示下さい。	A-103～110図に図示の通りです。
981 A-169	防水パンの施工範囲について	部分詳細図(4)において、D4-9防水パンの詳細がありますが、施工範囲が不明です。施工範囲図の発行をお願い致します。	A-055図等平面詳細図、天井伏図に図示しています。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
982	A-169	下り壁見切について	D4-1に記載の下り壁見切りについては、ステンス HL t0.8 20x20と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
983	A-169	天井モニターハンガーについて	部分詳細図(4)D4-2モニターハンガーは既製品ですか。程度をご指示下さい。	製作ものです。
984	A-169	防水パンについて	部分詳細図(4)D4-9防水パンが見当たりません。取付場所をご指示下さい。	A-055図等平面詳細図、天井伏図に図示しています。
985	A-169	機械浴室天井結露受けについて	機械浴室天井結露受けの詳細を御指示下さい。	創建アルミ製結露受けt2.0同等とし、穴あけ10Φ2か所とします。
986	A-169	天井点検口について	天井点検口の寸法が不明です(特記仕様書では450角、600角に適用印があります)。御指示下さい。	600角です。
987	A-169	天井点検口について	部分詳細図注意事項に1・2階廊下、ホールの天井点検口のみ目地タイプと記入がありますが、特記仕様書より全て目地タイプと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
988		天井点検口について	上記、質疑で部分詳細図注意事項を優先し、1・2階廊下、ホールの天井点検口のみ目地タイプとする場合、1・2階廊下、ホールの点検口のか所数、1・2階廊下、ホール以外の仕様を御指示下さい。	上記質疑より全て目地タイプとしてください。
989	A-169	内部天井 吊ボルトの間隔が900mmを超える場合の補強について	内部天井 吊ボルトの間隔が900mmを超える場合の補強について、部分詳細図(4)D4-3より図示がありますが、範囲が不明です。該当無しと考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合は範囲を御指示下さい。	設備機器、配管等により、吊ボルトの間隔が900mmを超える部分とします。
990	A-169	天井点検口について	部分詳細図D4-16の天井点検口で、1、2階廊下・ホールのみ目地タイプとありますが、数量が不明です。目地タイプ天井点検口の数量を本館・リニアック棟別に御指示下さい。	すべて目地タイプとします。
991	A-169	天井点検口について	部分詳細図D4-16の天井点検口で、特記なき天井点検口は額縁タイプと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	すべて目地タイプとします。
992	A-169 A-091~111	吊物補強の施工場所について	部分詳細図(4)において、D4-13吊物補強の詳細があり、使用場所が「天井伏図による」とありますが、天井伏図に図示がありません。D4-13吊物補強の施工場所を御指示下さい。	不要とします。
993	A-169 A-091~111	心疾患リハビリ用吊りフックの施工場所について	部分詳細図(4)において、D4-14心疾患リハビリ用吊りフックの詳細があり、使用場所が「天井伏図による」とありますが、天井伏図に図示がありません。D4-14心疾患リハビリ用吊りフックの施工場所を御指示下さい。	A-107図 6階天井伏図(2)に図示の通り。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
994	A-169 A-091~111	リハビリ用ポールの施工場所について	部分詳細図(4)において、D4-15リハビリ用ポールの詳細があり、使用場所が「天井伏図による」とありますが、天井伏図に図示がありません。D4-15リハビリ用ポールの施工場所を御指示下さい。	A-107図 6階天井伏図(2)に図示の通り。
995	A-169 A-170	同等メーカー・品番について	下記の同等メーカー・品番を御指示下さい。 ①ピクチャーレール ②点滴レール	①ピクチャーレール →TOSO TC10同等品とします。 ②点滴レール →TOSO同等品とします。
996	A-169 A-71 参考数量書P309	化粧鏡について	部分詳細図(4)D4-5化粧台鏡間接照明の施工場所はMWC1等の大型鏡部分と思われますが、参考数量書では小型の鏡しか計上されていません。又、衛生器具表ではMWC1等も含め全て設備工事の様に思われます。工事区分も含め使い分けをご指示下さい。	水廻り詳細図の通りとしてください。
997	A-169 R-008・009	天井点検口について	部分詳細図(4)のD4-16天井点検口(アルミ)において、救急棟の各階の数量指示がありますが、下記を御指示下さい。 ①点検口のサイズ・仕様 ②両方のサイズがある場合の振分け数量	600角とします。アルミ製、アルミ枠共。同材仕上としてください。
998	A-169 参考数量書P199	リハビリ用吊ポールについて	リハビリ用吊ポールのポールの材種と径は参考数量書よりステンレス製 φ70と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
999	A-169、参考数量書P201、353	参考数量書の天井点検口について	部分詳細図D4-16で、新棟の天井点検口は1840か所とありますが、棟別の数量が不明です。下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 *参考数量書P201:本館 1810か所 *参考数量書P353:リニアック棟 30か所	お見込みの通りです。
1000	A-170	消火器ボックスの大きさについて	部分詳細図(5)D5-17において、消火器ボックスが記載されておりますが、大きさが図示とメーカー品番で相違しています。メーカー品番の大きさを正と考えてよろしいでしょうか。図示が正の場合、改めてメーカー品番を御指示下さい。 ■図示:W250×D200×H541 ■ユニオン UFB-1F-2720:W288×D192×H693	メーカー品番を正としてください。
1001	A-170	AEDボックスの仕様について	部分詳細図(5)D5-19において、AEDボックスが記載されておりますが、仕様及び奥行を御指示下さい。	GB-Ht9.5+仕上げとし、仕上は設置個所の壁面仕上としてください。また、奥行165mmにて見積もりください。但し、現場にて施主が選定するAED(別途)の形状確認の上、施工図を作成してください。
1002	A-170	非接触カードリーダーボックスの仕様について	部分詳細図(5)D5-21において、非接触カードリーダーボックスが記載されておりますが、表面の仕上が耐摩耗化粧合板 t=3・メラミン化粧板 t=3・ビニルクロス巻込 プラベニヤt9の3種類記載されておりますが、108か所全て耐摩耗化粧合板 t=3と考えてよろしいでしょうか。メラミン化粧板 t=3及びビニルクロスの場合、それぞれの数量を御指示下さい。	壁仕上げに合わせて計上ください。
1003	A-170	天井内横走り管支持金物の範囲について	部分詳細図(5)D5-3において、天井内横走り支持金物が記載されておりますが、範囲又は数量及び吊高さを御指示下さい。	横引雨水配管のみ適用としてください。場所は平面詳細図を参照してください。高さは平均H800とし、水勾配は現場調整としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1004	A-170	吊り会所柵の仕様について	部分詳細図(5)D5-10において、ケイ酸カルシウム板t45と記載されておりますが、図示ではRC造 t=150と相違しています。ケイ酸カルシウム板t45は不要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1005	A-170	流し台前 面台について	D5-5 流し台前の面台について、仕様をご指示下さい。	D5-4同様とします。
1006	A-170	天井内横走り管支持金物について	D5-3 天井内横走り管支持金物について、施工範囲もしくは必要数量をご指示下さい。	建築工事としては横引雨水配管において適用としてください。場所は平面詳細図を参照してください。
1007	A-170	ライニングについて	D5-4各ライニングについて、トイレ以外は最右の詳細とし、それ以外はトイレと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1008	A-170	天井内横走り管支持金物について	部分詳細図(5)D5-3天井内横走り管支持金物の長さ及び場所が不明です。範囲をご指示下さい。	建築工事としては横引雨水配管において適用としてください。場所は平面詳細図を参照してください。
1009	A-170	AEDボックスについて	部分詳細図(5)D5-19 AEDボックスの程度について御指示下さい。	GB-Ht9.5+仕上げとし、仕上は設置個所の壁面仕上としてください。また、奥行165mmにて見積もりください。但し、現場にて施主が選定するAED(別途)の形状確認の上、施工図を作成してください。
1010	A-170	ライニングの納まりについて	ライニング詳細図内のA部詳細図ではライニング壁マリン化粧板+ケイカル板、C-60×30×10×2.3下地、面台ポストフォーム(ケイカル板下地)ライニング拡大図ではライニング壁EP-G又はNED+耐水石膏ボード2枚貼、LGS65下地、面台マリンポストフォームと相違します。A部詳細図を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	A部詳細図を正としてください。
1011	A-170 建築工事特記仕様書P52	病室カーテンレールの材質について	病室カーテンレールの材質に相違があります。 ・部分詳細図(5) — ステンレス ・建築工事特記仕様書 — アルミ ステンレスを正と考えて宜しいですか。	部分詳細図(5)→病室内のプライバシー用のカーテンレール→ステンレス製 特記仕様書→カーテンボックス内のカーテンレール →アルミ製 とお考えください。
1012	—	病室のカーテンレールについて	上記に関連しますが、病室カーテンレールの材質が何れの場合も同等メーカー・品番を御指示下さい。	TOSO 消音タイプ同等品とします。
1013	A-170 参考数量書P205	消火器ボックス・消火栓ボックス下地について	参考数量書において消火器ボックス及び消火栓ボックス下地の表記が有りますが部分詳細図(5)では記載が有りません。必要であれば参考数量書の仕様・数量を見込んでよろしいですか。	お見込みの通りです。
1014	A-170 参考数量書P206～208	衛生器具取付下地補強について	参考数量書の各種衛生器具下地補強の数量について衛生器具表(壁掛型)と数量に相違が有りますが、全て衛生器具表の数量を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1015	A-170 参考数量書P309	SK棚板について	参考数量書についてSK棚板が取り付けようですが部分詳細図では見当たりません。必要でしたら詳細をご指示下さい。	意匠別紙2を参照ください。 モップ掛けフックはLXL K F-28同等品としてください。
1016	A-170、参考数量書P210	参考数量書の天井内横走り管支持金物について	部分詳細図D5-3の天井内横走り管支持金物は、参考数量書P210で、13か所とありますが、設置場所が不明です。御指示下さい。	横引雨水配管のみ適用としてください。場所は平面詳細図を参照してください。
1017	A-170・171 参考数量書P207～208	洗面カウンター取付下地補強について	参考数量書 洗面カウンター取付下地補強の仕様は衛生器具のもので。部分詳細図D6-14のブラケットを正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1018	A-171	キャットウォークの範囲について	部分詳細図(6)D6-9において、キャットウォークが記載されておりますが、範囲が不明ですので御指示下さい。	A-096図に図示の通りです。
1019	A-171	防護衣掛け2の設置場所について	部分詳細図(6)において、D6-8防護衣掛け(3枚掛け用)の詳細があり、他図に見当たりません。D6-8防護衣掛け(3枚掛け用)の設置場所を御指示下さい。	1F操作・観察ホール1・2など7か所です。 平面詳細図、医療機器図等を参照してください。
1020	A-171	アートワークについて	部分詳細図D6-15のアートワークの詳細が不明です。御指示下さい。	特記仕様書にてアート想定金額をご確認ください。内容は今後作家等決定の上、詳細決定いたします。
1021	A-171・096	キャットウォークの施工場所について	部分詳細図(6)において、D6-9キャットウォークの詳細がありますが、下記を御指示下さい。 ①2階天井伏図(3)のI' 通りにあるメンテナンスフォローが該当するかと考えて宜しいですか。 ②キャットウォーク階段(図示により階段がある場合)とありますが、今物件は該当なしと想定いたしますが宜しいですか。	①お見込みの通りです。 ②1箇所とします。
1022	A-172	間接照明ボックスについて	部分詳細図(7)D7-4 L-1・4において、台座部はスチール製t=1.6焼付塗装と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1023	A-172	間接照明ボックスについて	部分詳細図(7)D7-4 L-7において、ST-PL焼付塗装が記載されておりますが、厚み及び大きさを御指示下さい。	意匠別紙2参照ください。
1024	A-172	間接照明ボックスについて	部分詳細図(7)D7-4 L-8において、アルL型型材 0.8×300×300が記載されておりますが、0.8×30×30と読み替えるかと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1025	A-172	間接照明の下り壁の仕上について	部分詳細図(7)、D7-4に於いて、間接照明の詳細が指示ありますが、L-1・L-3・L-4・L-5・L-8の下り壁部分の仕上が不明です。間接照明の天井部と同様の仕上とし、ボードは図示通りの枚数(1枚の場合と2枚場合あり)と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1026	A-172	間接照明の下り壁の仕上について	部分詳細図(7)、D7-4に於いて、間接照明の詳細が指示ありますが、L-2の下り壁の仕上が不明です。EP+PB12. 5+LGSと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1027	A-172	SS-1の枠について	SS-1の枠について、詳細図に「PL-1.6 錆止め塗装まで」とありますが、オーバードア仕様書にはアルミとあります。スチール製と考えてよろしいですか。又、錆止めまでとありますが、他の鋼製建具同様表面仕上は焼付塗装と考えてよろしいですか。	ステンレス製としてください。
1028	A-172・161	PT-603の防音仕様について	6階建具表(3)において、PT-603に防音仕様の記載がありませんが、部分詳細図(7)より、防音仕様と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1029	A-173	LGS壁内蔵引戸(フラットバー使用)詳細図について	部分詳細図(8) LGS壁内蔵引戸(フラットバー使用)詳細図について、詳細が3種類ありますが、使い分けを御指示下さい。	両側FBタイプは不要。SAT仕様でFBタイプは中央の詳細図を参照します。
1030	A-173	D10-1詳細について(押出成形セメント板用サッシ枠)	部分詳細図(10) D10-1詳細について、押出成形セメント板用サッシ枠の場合を示すとあり、ガasket(工場取付)の図示があります。全て二重シーリング納まりと考えて宜しいでしょうか。 又、押出成形セメント板用サッシ枠となる建具がある場合、建具符号を御指示下さい。	二重シーリング納まりとしてください。 押出成形セメント板用サッシ枠は外部サッシ全てです。
1031	A-174	防水押えコン内のアスファルトフェルトについて	部分詳細図(9) D9-1伸縮目地(断熱防水の場合)において、押えコンクリート内にアスファルトフェルト940の指示がありますが、不要といたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1032	A-174	外部RC階段の詳細について	部分詳細図(9) D9-12内部・外部RC階段詳細図において、RC階段の設置場所が屋根露出アスファルト防水に設置する箇所の下部にアスファルト防水との緩衝材やアスファルトルーフィング増張り等が必要と思われる。露出アスファルト防水設置部の納まり詳細図の発行をお願い致します。	アスファルト防水の上D9-12の階段を施工すること。緩衝材及びアスファルト防水の増し張りを適切に行ってください。
1033	A-174	アルミ底について	部分詳細図(9) D9-8 既製アルミ底8の設置場所が平面図には見当たりません。設置場所を御指示下さい。	浄化槽棟に設置となります。
1034	A-174	庇先端アルミについて	部分詳細図(9) D9-9 庇先端アルミの板厚・表面処理が不明です。御指示下さい。	t2 シルバーマットとします。
1035	A-031・174	アルミ小口金物について	矩計図に記入の床小口部 アルミ小口金物が部分詳細図には見当たりません。上記、庇先端アルミが該当と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1036	A-174	8階屋根 目隠し壁について	部分詳細図(9) D9-10 PH階目隠し壁の鉄骨下地面は溶融亜鉛メッキ素地、現場塗装は不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1037	A-174	塔屋屋根について	塔屋屋根はアスファルト露出断熱防水(DI-1)と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-176図の通りとします。
1038	A-174	目隠し壁の仕上について	部分詳細図(9)<D9-10>PH階目隠し壁詳細について、押出成形セメント板はフラットパネルとし、片面親水性フッ素樹脂塗装仕上・片面素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1039	A-174	屋上の設備架台について	屋上の設備架台について、部分詳細図9(D9-3)において、設備架台H鋼+無収縮モルタル+アンカーボルトM16は設備工事と考えて宜しいでしょうか。 又、建築工事の場合は設置位置を御指示下さい。	建築工事とします。 8階平面詳細図を参照ください。
1040	A-174 D9-10	屋上目隠し壁の鉄骨仕上について	屋上目隠し壁の鉄骨仕上について、溶融亜鉛メッキ仕上と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1041	A-174 D9-12	RC小階段 防水納めについて	RC小階段 防水納めについて、露出アスファルト防水屋根に防水増張を見込むと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1042	A-174 参考数量書P-188	バルコニー手摺について	部分詳細図(9) D9-4 バルコニー手摺の仕様がアルミルーバー手摺ですが、矩計図(6)では堅格子手摺と思われます。参考数量書 金属工事 外部の項目により矩計図を正とし、部材詳細は参考数量書に記入分を採用して宜しいでしょうか。御指示下さい。	部材詳細はD9-4を正とします。
1043	A-174・031～041・069	屋上手摺について	部分詳細図(9) D9-4a 屋上手摺が矩計図には見当たりません。8階平面詳細図(2)の吹抜に記入のD9-4gが該当でしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1044	A-174・047	1階犬走り手摺について	部分詳細図(9)D9-4b EXP.J 転落防止柵の設置範囲は1階平面詳細図(1)の7通側に記入の範囲のみと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
1045	A-175	押出成形セメント板取付金物の耐火被覆について	部分詳細図(10)D10-2外壁押出成形セメント板(縦張り、横目地・縦目地部)において、仕様にパネル取付金物及び下地金物共耐火被覆を施すこと。とありますが、仕様が不明です。ロックウール吹付を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1046	A-175	押出成形セメント板下部水切りの仕様について	部分詳細図(10)D10-6外壁押出成形セメント板(一階基礎部分)において、水切り金物の指示がありますが、仕様が不明です。御指示下さい。	水切金物はステンス厚1.0加工 HLとしてください。
1047	A-175	外壁 成形板 水抜パイプのピッチについて	外壁 成形板 水抜パイプのピッチについて、ピッチ1200と考えてよろしいですか。	1800とお考えください。
1048	A-175	アスロック取付クリップについて	ECP工事A-175図 部分詳細図(10)アスロック取付クリップがLZ金物と一般Z型金物の2種類表記がありますが、一般Z型金物として考えてよろしいでしょうか	指定は致しません。
1049	A-175	扉上部水切の仕様について	扉上部水切の仕様について、部分詳細図D10-3に記載の水切はステンス t1.5 HLと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1050	A-175	アルミ笠木について	部分詳細図(2) D10-4 外壁押出成形セメント板でパラペット天端 アルミ笠木下に、捨て笠木の記入がありませんが不要でしょうか。必要な場合、仕様を御指示下さい。	必要とし、メーカー標準仕様とします。
1051	A-175	外壁 押出成形セメント板について	外壁 親水性フッ素樹脂塗料面の押出成形セメント板 の出隅コーナーはコーナーパネルではなくカット加工と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1052	A-175	外壁 押出成形セメント板 下端水切について	部分詳細図(10) D10-6に記入の水切金物はステンス厚1.0加工 HLと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1053	A-175	外壁 押出成形セメント板 下端水抜パイプについて	部分詳細図(10) D10-6 外壁押出成形セメント板に記入の水抜きパイプ8φはステンス製 @1800と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1054	A-175	外壁 押出成形セメント板 サッシュ部 水抜パイプについて	部分詳細図(10) D10-1・D10-3に記入のステンス水抜きパイプはサッシュ両端に設置と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1055	A-175	ECPの出隅について	外壁 押出成形セメント板について、塗装仕上範囲の出隅納まりが不明です。45° コーナー留加工と考えて宜しいでしょうか。 又、既製品コーナーパネルの場合はL寸法を御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1056	A-175	ECPの水抜きパイプについて	押出成形セメント板の最下部水抜きパイプについて、ステンレス@1800と考えて宜しいでしょうか。 又、サッシ上部の水抜きパイプはサッシ両端部に設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1057	A-175	層間塞ぎのロックールについて	層間塞ぎのロックールについて、部分詳細図(10)に図示あるものは下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・外壁取合部:寸法-W30×H150、 密度-24kg/m3 ・パラペット部:寸法-W75×H150、 密度-24kg/m3	お見込みの通りです。但し、外壁取り合い部の幅は、部位による。
1058	A-175 D10-6 A-175 D10-5 A-176 D11-1	成形板 足元水切について	成形板 足元水切について、1Fのみ(A-175 D10-5、パラペット部等は不要)必要と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1059	A-175 D10-9 A-31	1通側 RFLスラブ部について	1通側 RFLスラブ部について、7FL、6FLも同様の取付金物と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1060	A-175他	建具廻りシーリングサイズについて	建具廻りシーリングサイズについて、詳細図等に図示無き限り20×10+20×10と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	下記仕様としてください。 ■建具廻りシーリング:変成シリコン系(ノンブリースタイプ) シーリング20×10+20×10
1061	A-176	植栽土留め内の配筋について	部分詳細図(11)D11-3 3Fテラス詳細図において、植栽土留めRC立上り内の配筋が不明です。D10@100シングルと想定いたしますが宜しいですか。	D10@150シングルとします。
1062	A-176 D11-1 A-323	ペントハウス階段の仕様について	ペントハウス階段の仕様について、床面・ササ桁等は溶融亜鉛メッキ仕上と考えてよろしいですか。 又、階段手摺はレポートフリッジ手摺に倣うと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1063	A-177	ロールスクリーンボックスの仕様について	部分詳細図(12)D12-1において、ロールスクリーンボックスが記載されておりますが、仕様はアルミ製と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	A-217図に図示の通りです。 (スチール焼付塗装t1.6)
1064	A-177	壁付ルーバーの下地補強について	部分詳細図(12)D12-3において、内壁固定下地が記載されておりますが、仕様詳細を御指示下さい。	C-65型とします。
1065	A-181 A-056	薬品・輸血庫の家具の有無について	4階薬品・輸血庫の作業台F-2-35の有無に相違があります。 ・4階家具キープラン — 有り ・4階平面詳細図(1) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。 (F-20bとしてお答えします)

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1066	A-182 A-060	個室C:E515の家具の有無について	5階M~N通り・2~4通り間の個室C:E515(陣痛)のロッカーF-8cの有無に相違があります。 ・5階家具キープラン — 有り ・5階平面詳細図(2) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1067	A-182 A-060	5階個室D:E516・517の家具の有無について	5階M~N通り・2~4通り間の個室D:E516(透析)・個室D:E517(透析)のロッカーF-28bの有無に相違があります。 ・5階家具キープラン — 有り ・5階平面詳細図(2) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1068	A-182・183	コミュニケーションカウンターの家具について	5・6階家具キープランにおいて、D~E通り間・2通りのコミュニケーションカウンターでF-36家具とF-35b家具の間に2人掛け×3連の家具と思われる図示がありますが、家具符号・詳細共にありません。本工事の場合、家具図の発行をお願い致します。	備品とします。
1069	A-183 A-063	6階個室D:E614の家具の有無について	6階M~N通り・2~3通間個室D:E614のロッカーF-28bの有無に相違があります。 ・5階家具キープラン — 有り ・5階平面詳細図(2) — 無し 有りを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1070	A-184	建築図について	建築図PDFデータでA-183(6階家具キープラン)とA-185(家具図(1))の間の図面が図名・図番共 空欄です。図面リストよりA-184 7階家具キープランと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1071	A-184	設計図書確認	配布データではA-(ブランク)となっており、184の番号漏れですか。	お見込みの通りです。
1072	A-186	家具F-4CのW寸法について	家具図(2)において、F-4家具の流し台のCタイプが姿図ではW2, 400ですが、リスト表よりW2, 100を正(形状は姿図のまま)と想定いたしますが宜しいですか。	W2100が正で、姿図はそのままです。
1073	A-189	家具F-14の吊ボルトについて	家具図(5)において、F-14家具の吊戸棚のcタイプとdタイプの吊ボルトの本数が不明です。Cタイプは中央に2本、dタイプは両側合計で4本必要と想定いたしますが宜しいですか。	吊りボルトは、Cタイプは3ヶ所、Dタイプは8ヶ所を想定して頂けますでしょうか。 意匠別紙9を参照ください。
1074	A-192	総合カウンターの天板仕様について	家具図(8)において、F-30家具の総合カウンターに、「上天板:メラミンポストフォーム(特注品)」と記載がありますが、どのような仕様程度を示すのか不明です。御指示下さい。	ポストフォームの特注品については、両側がポストフォーム形状になり、また組み合わせタイプのポストフォームとなる為、特注仕様となります。
1075	A-192・202・203	各カウンター付きのスイング扉について	家具図(8)において、F-30家具に「スイング扉(T20)」の指示がありますが、仕様が不明です。(他にも、F-58・59・62の各所カウンターにもスイング扉の設置が見られます。)御指示下さい。	スイング扉の仕様は、メラミン化粧板(フラッシュ構造)です。 また、スイング扉の金物(F310)資料添付します。 意匠別紙10を参照ください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1076	A-193・194 A-280	外来カウンターのモニターガード等の工事範囲について	家具図(9)(10)において、F-31・32の外来カウンターに「サイン表示・モニター・モニターガード」の図示があり、「家具工事外」とありますが、サインプロット図や部分詳細図等に見当たらず、工事範囲が不明です。建築工事の場合は、それぞれの仕様・詳細を御指示下さい。	SW107,211を参照してください。
1077	A-194・195・196	病棟カウンターの腰壁タイルについて	家具図(10)～(12)において、F-33等の病棟カウンターの腰壁仕上の「タイル」(四半張り状、合板面に付き接着張り)の仕様・メーカー・品番が不明です。御指示下さい。	タイル(D)です。
1078	A-199	配膳台の厨房側腰壁仕上について	家具図(15)において、F-47配膳・下げ膳カウンターの厨房側腰壁の仕様が不明です。仕上・下地・巾木の仕様を併せて御指示下さい。	SUS304t1.0貼りとします。
1079	A-205	窓下収納ユニットについて	家具図F-65詳細について、腰壁の仕上がマラン化粧板貼となっていますが、注記に地場産材木シート貼りとも有ります。いずれが正かご指示下さい。又、地場産材木シート貼りが正の場合は程度をご指示下さい。	仕上は地場産材木シート貼りとしてください。 イトーキ同等品としてください。
1080	A-209	EXP・J金物について	内部EXP・J金物について、床・壁・天井それぞれのメーカー程度があればご指示下さい。	UACJ同等品とします。
1081	A-210	手摺EXP・J部 固定手摺の仕様について	手摺EXP・J部 固定手摺の仕様について、アルミ手摺2と考えてよろしいですか。	EXP・J平面図(1)の固定手摺はアルミ手摺2とし、EXP・J平面図(2)の固定手摺はFB手摺とします。
1082	A-210 A-49	M通+3000*13通+2500付近の固定手摺について	M通+3000*13通+2500付近の固定手摺について、A-48図より無しと考えてよろしいですか。	アルミ手摺2とします。
1083	A-212	EXP・J金物の鉄骨下地について	EXP・J詳細図(3)において、R1屋根EXP・J金物に鉄骨下地(別途工事)とありますが、部材メンバーが不明です。[-300×90×9×13と想定いたしますが宜しいですか。	BT-300x100x4.5x6@500 BPL-9x350x150 中ボルト 4-M12とします。
1084	A-212	EXP・J金物の鉄骨下地について	EXP・J詳細図(3)において、O1外壁EXP・J金物・S1内壁EXP・J金物に鉄骨下地の指示がありますが、部材メンバーが不明です。□-100×100×3.2と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1085	A-212	EXP・Jの取付下地について	EXP・J詳細図(3)に於いて、C1天井EXP・J(KFC-Nタイプ)の詳細で、天井内にEXP・Jを取付ける為の下地鉄骨がありますが、部材メンバー及び構成が不明です。部材メンバー及び構成を御指示下さい。	束材、控え材共に(振れ止め)L-65x65x6@1000とします。
1086	A-212	EXP・Jの取付下地について	EXP・J詳細図(3)に於いて、S1内壁EXP・J(SWタイプ)の詳細で、壁EXP・Jを取付ける為の下地鉄骨が6通り側ありますが、部材メンバー及び構成が不明です。部材メンバー及び構成を御指示下さい。	□-100x100x3.2とします。
1087	A-213	EXP・Jの取付下地について	EXP・J詳細図(4)に於いて、C2天井EXP・J(KFC-Nタイプ)の詳細で、天井内にEXP・Jを取付ける為の下地鉄骨がありますが、部材メンバー及び構成が不明です。部材メンバー及び構成を御指示下さい。	束材、控え材共に(振れ止め)L-65x65x6@1000とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1088	A-213	EXP. Jの取付下地について	EXP. J詳細図(4)に於いて、S2内壁EXP. J(SWタイプ)の詳細で、壁EXP. Jを取付ける為の下地鉄骨が本館側ありますが、部材メンバー及び構成が不明です。部材メンバー及び構成を御指示下さい。	□-100x100x3.2とします。
1089	A-216	パーテーションについて	3F部長個室のパーテーション詳細図においてV319部分は建具PT301となっております。いずれが正かご指示下さい。	V319を正としてください。
1090	A-217	ACW-1のファスナー取付け鉄骨について	建具詳細図において、上部鉄骨梁への取付け部分にCW取付下地鋼材の指示ですが、部材メンバーが不明です。御指示下さい。	意匠別紙14を参照ください。
1091	A-217 建築工事特記仕様書	カーテンウォールの性能等級について	カーテンウォールの性能等級について、 A-217図:設計風圧力P=2500Pa・A-5・W-4 建築工事特記仕様書42/61:耐風圧性能1.15倍の風圧力対応・A-3・W-4とありますが、建築工事特記仕様書を正と考えてよろしいですか。	S-5、A-4、W-5としてください。
1092	A-217・218・134	ACW-1の方立てについて	建具詳細図において、FB方立てがFB-40×220とFB-40×100の2種類ありますが、7～11通りがFB-40×220、A～I通りをFB-40×100と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1093	A-218	カーテンウォールの額縁について	カーテンウォールの額縁について、建具詳細図(2)でSt1.6tですが、SOPで考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	焼付としてください。
1094	A-218	AW-19・19-1の膳板・額縁について	建具詳細図(2)において、AW-19・19-1の額縁が木製のような図示ですが、材種・樹種・仕上が不明です。御指示下さい。	スチール焼付としてください。
1095	A-218 A-120	AW-19・19-1の額縁について	AW-19・19-1の額縁について、建具詳細図で木製になっていますが、建具共通事項にある通り、他のAW同様スチール焼付塗装と考えてよろしいですか。	スチール焼付としてください。
1096	A-218 A-131	AW-19の樹脂サッシの有無について	AW-19の樹脂サッシの有無の相違があります。 ・建具詳細図(2) — あり ・外部建具表(3) — なし ありを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1097	A-218・131	AW-19・19-1の樹脂サッシのガラス仕様について	建具詳細図(2)において、AW-19・19-1の樹脂サッシのガラス仕様・厚さが不明です。御指示下さい。	図示の通り、FL3+A6+FL3としてください。
1098	A-221	無菌個室の長尺塩ビシートの仕様について	4階無菌個室ユニット詳細図(1)に於いて、4階無菌個室の床・巾木に長尺塩ビシートT2.0の指示がありますが、同等メーカー・品番が不明です。御指示下さい。	他病室と同様としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1099	A221,A224 M-340	4F無菌個室工事区分について	4Fの無菌個室4室についてですが建築図に記載のあります無菌個室ユニット工事の工事範囲及び無菌個室ユニット図と4階ダクト平面図の空調ダクト及び換気ダクトが異なっております。 4階ダクト平面図を優先いたしますがよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1100	A-221、A-224 M-340	4F無菌個室工事区分について	4Fの無菌個室4室についてですが建築図に記載のあります無菌個室ユニット工事の工事範囲及び無菌個室ユニット図と4階ダクト平面図の空調ダクト及び換気ダクトが異なっております。 4階ダクト平面図を優先と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1101	A224,M-127,340	4F無菌室 FFU401について	機器表に記載のありますFFU-401については4階平面図に図示が御座いません。 平面図を優先としてFFU-401については無菌病室ユニット工事(建築工事)としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1102	A-224、M-127、M-340	4F無菌室 FFU401について	機器表に記載のありますFFU-401については4階平面図に図示が御座いません。 平面図を優先としてFFU-401については無菌病室ユニット工事(建築工事)としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1103	A-226	手術室床長尺塩ビシートの仕様について	手術室仕様書に於いて、手術室の床・巾木に耐荷重性長尺塩ビシートT2.0の指示がありますが、グレードが不明です。同等メーカー・品番を御指示下さい。	特に指定はございません。監督員に了承を得てください。
1104	A-226	手術室内装について	手術室仕様書のリストについて、採光窓室内側四方枠に電動ロールスクリーン組み込みとありますが、程度をご指示下さい。	ニチベイ シルバースクリーン同等品としてください。
1105	A-248	壁鉛ボードについて	壁鉛ボードについて、耐火間仕切ボード面は鉛ボードを増張するものと考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1106	A-248・249	放射線防護の納まりについて	放射線防護・シールド詳細図(1)(2)に於いて、放射線防護の鉛ボードの入隅部に鉛板L型の指示がありますが、コーナー部の出隅及び壁～スラブ間及び建具取合いに指示が無く、鉛板等が入るか不明です。必要でしたら詳細を御指示下さい。	コーナー部の出隅及び壁～スラブ間、鉛板L型としてください。建具取合いは建具詳細を確認ください。
1107	A-248・249・010	放射線防護の納まりについて	放射線防護・シールド詳細図(1)(2)に於いて、D-6・10に鉛ボードが天井までの詳細図が指示ありますが、仕上表(3)では該当となるSRCT室の天井には鉛ボードの指示が無く、放射線防護にならない為、天井に鉛ボードが必要と思われます。仕様を御指示下さい。	屋根スラブt200で放射線防護を考えています。
1108	A-254	配線ピット 壁下貫通処理について	配線ピット 壁下貫通処理について、詳細をご指示下さい。	意匠別紙11を参照ください。
1109	A-254~274 A-167	医療各室の床ピットの仕様について	各医療機器詳細図において、CT室等の医療各室の「床ピット」の仕様が不明です。部分詳細図(2)のD2-11「配線ピット、配管ピット」の通りと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
1110	A-167	医療各室のピット蓋の仕様について	上記質疑に関連致しますが、部分詳細図(2)のD2-11「配線ピット、配管ピット」において、蓋の仕様が「CPL-4. 5、SOP」と、「アルミ押し型材枠、表面長尺シート張り等」の2種類記載がありますが、医療各室は全て「アルミ押し型材枠、表面長尺シート張り等」を採用と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1111	A-254・258	各CT室の配線用壁開口の仕様について	医療機器詳細図(2)・(6)において、各CT室の「配線用床開口」は床ピットの壁貫通部分を示すとし、開口のみと考えて宜しいですか。枠・接続部の処理などが必要な場合は、仕様を御指示下さい。	意匠別紙11を参照ください。
1112	A-256	X線TV室の配線ピット内の分割板の仕様について	医療機器詳細図(4)において、X線TV室1・2・5の配線ピット内の「分割板(シールド用)」の仕様・材厚が不明です。御指示下さい。	鉛当量t2.0相当とします。
1113	A-259・262	血管室・心カテ室の床箱抜きについて	医療機器詳細図(7)及び(10)において、血管撮影室・心カテ室の建築工事区分中の「A08:床ベースプレート埋め込み部の箱抜き」(要否は条件によって異なるとの事)の、深さ寸法の記載がありません。御指示下さい。	右下詳細図より確認ください。
1114	A-260・263	血管室・心カテ室の装置天井架台について	医療機器詳細図(8)及び(11)において、血管撮影室・心カテ室の「装置天井架台」の、下記について御指示下さい。 ①凡例の*4、「ボス-150×150×36」は何を示しますか。 ②同図中の「A04:②③ボス詳細図」のどの部分を示しますか。該当する部材リストを御指示下さい。	医療機器詳細図(7)及び(10)の建築工事区分A-004及びA-005にて、ボスの制作取付、精度確認は別途工事とします。
1115	A-265～268	MRIの建築雑物関連工事について	医療機器詳細図(13)以降のMRI検査室において、天井点検口の図示以外は建築関連の雑物(例:配管ピット、開口枠、アンカー、架台など)の記載がありません。必要な場合は、仕様・形状・詳細・数量を御指示下さい。	A-265 床プレート詳細図等図示以外は別途とします。
1116	A-265・009	MRI室の建築工事について	医療機器詳細図(12)の欄外に於いて、「MRI撮影室電磁シールド工事は別途工事とする。原則、MRI撮影室は躯体渡しとし、詳細は医療機器メーカーと調整を行うこと」とありますが、仕上表(2)では仕上が指示あります。仕上表に指示あるものは建築工事で見込むと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1117	A-269	結石破壊室他の建築関連工事について	医療機器詳細図(17)の結石破壊・骨密度・乳房撮影室において、工事負担表の建築関連のNo.4に「流し台」と記載がありますが、図中のどの部分を示しますか。流し台の仕様・形状・数量を御指示下さい。	図示無き場合は、不要とします。
1118	A-269・169	結石破壊室他の建築関連工事について	医療機器詳細図(17)の結石破壊・骨密度・乳房撮影室において、工事区分表に記載があります下記のものについて御指示下さい。 ①No.4「天井点検口」について、部分詳細図(4)D4-16にある指示数量に含まれていない場合、仕様・形状及び設置数を御指示下さい。 ②No.5「コンソールパネル壁取付け補強板(鉄板:材工共)」の設置図示が無く、また材厚・形状が不明です。	①天井伏図に記載なき天井点検口は部分詳細図リスト数に含まれていません。 ②スチールプレートt1.6 640×1,000

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
1119	A-270・169・178	SPECT室の建築雑物について	医療機器詳細図(18)のSPECT室において、工事区分表に記載がありますNo.4「天井点検口」について、部分詳細図(4)D4-16にある指示数量に含まれている場合は含まれている数量を、含まれていない場合は仕様・形状及び設置数を御指示下さい。	含まれており、数量は参考内訳書の通りです。
1120	A-270・178	SPECT室の建築雑物について	医療機器詳細図(18)のSPECT室において、工事区分表に記載がありますNo.3「配線埋め込み工事」の具体的な内容(例:配線ピットを施設するなど)及び、仕様・詳細を御指示下さい。	専用分電盤から⑦収集コンソールまで、天井内で100Φの空配管1本を見込んでください。
1121	A-270・178	SPECT室の建築雑物について	医療機器詳細図(18)のSPECT室において、工事区分表に記載がありますNo.5「コンソールパネル壁取付け補強板(鉄板:材工共)」について、設置図示が無く、また材厚・形状が不明です。御指示下さい。	スチールプレートt1.6 640×1,000としてください。
1122	A-270・178	SPECT室の建築雑物について	医療機器詳細図(18)のSPECT室において、工事区分表に記載がありますNo.6「流し台(設置する場合)」について、SPECT平面図の準備室に図示があります流し台(1階家具キープランより、F-2-⑨)を示すと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1123	A-272	リニアック室の天井点検口について	医療機器詳細図(20)リニアック室において、No.17天井点検口(数量・形状の指示あり)の仕様を御指示下さい。	部分詳細図(4)D4-16にある指示数量に含まれます。
1124	A-272 A-052	リニアック室の冷水装置用基礎について	医療機器詳細図(20)リニアック室において、No.16冷水装置用コンクリートベースが屋外設置とあり、「設置場所は打合せによる」とありますが、2階平面詳細図(3)よりリニアック棟の屋根2にありますが「0.8×1.5×0.15」の事を示すと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1125	A-272・178 P-103	リニアック室の流し台の工事範囲について	医療機器詳細図(20)リニアック室において、No.11に「流し台(衛生工事)」とありますが、衛生器具表(2)では上記の該当工事は混合水栓のみであることから、1階家具キープランのとおり、「家具F-2-⑦」の流し台と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1126	A-274・048	一般撮影室の配線ピットの範囲について	医療機器詳細図(22)の一般撮影室において、平面図のL通り+2,700以降の設置範囲が不明です。1階平面詳細図(2)でも同様の図示のようで不明ですが、L通り+2,700で止まりと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1127	A-274・169	一般撮影室の天井点検口について	医療機器詳細図(22)の一般撮影室の標準工事区分表において、建築範囲で天井点検口の指示がありますが、部分詳細図(4)D4-16にある指示数量に含まれていない場合、仕様・形状及び設置数を御指示下さい。	アル製600角同材仕上げとし、設置数はA-169の数量の通りです。
1128	A-276	サインについて	IS-47 案内スタンドサインはサインプロット図には記入がありませんが、リスト通りのか所数と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	3か所として考えてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1129	A-276	外構サイン基礎について	外構サイン基礎について、以下の様に考えて宜しいでしょうか。 ①配筋:D10@200 端部D13 ②捨てコンクリートt50 ③砕石:RC-40t150 又、違う場合は、各仕様・寸法を御指示下さい。	お見込みの通りです。
1130	A-276	サインについて	サイン工事特記仕様書の各サイン数量表のNOTE欄に+2見込むなどの数量の指示がありますが、本館に見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1131	A-276	サインについて	サインIS-24:検査室スタッフ用注意書(計35か所)がサインプロット図で見当たりません。サインIS-24(計35か所)は、本館に設置と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1132	A-276 A-280	サインIS-22について	サインIS-22の数量について リスト表:1F-29か所 プロット図:1F-37か所 とありますが、プロット図を正と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1133	A-276 A-280	サインIS-28について	サインIS-28の数量について リスト表:1F-5か所 プロット図:1F-6か所 とありますが、プロット図を正と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1134	A-276 A-280~286	サインB-1について	サインB-1の数量について リスト表:494か所 プロット図:512か所 とありますが、プロット図を正と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1135	A-276 A-280~286	サインB-3について	サインB-3の数量について リスト表:158か所 プロット図:174か所 とありますが、プロット図を正と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1136	A-276 A-280・281・283	サインIS-32について	サインIS-32の数量について リスト表:1F-15か所 2F-17 4F-9か所 プロット図:1F-17か所 2F-18 4F-10か所 とありますが、プロット図を正と考えるとよろしいですか。	リスト表を正としてください。
1137	A-276 A-280・283	サインIS-20について	サインIS-20の数量について リスト表:1F-6か所 4F-1か所 プロット図:1F-4か所 4F-2か所 とありますが、プロット図を正と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1138	A-276 A-281	サインIS-34について	サインIS-34の数量について リスト表:2F-1か所 プロット図:2F-2か所 とありますが、プロット図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1139	A-276 A-281・283	サインIS-18について	サインIS-18の数量について リスト表:2F-1か所 4F-0か所 プロット図:2F-2か所 4F-1か所 とありますが、プロット図を正と考えてよろしいですか。	リスト表を正としてください。
1140	A-276 A-282	サインIS-25について	サインIS-25の数量について リスト表:3F-2か所 プロット図:3F-1か所 とありますが、プロット図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1141	A-276 A-282	サインIS-37について	サインIS-37の数量について リスト表:3F-1か所 プロット図:3F-2か所 とありますが、プロット図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1142	A-276 A-282	サインB-2について	サインB-2の数量について リスト表:3F-27か所 プロット図:3F-22か所 とありますが、プロット図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1143	A-276 A-282	サインB-5について	サインB-5の数量について リスト表:3F-21か所 プロット図:3F-20か所 とありますが、プロット図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1144	A-276 A-284	サインIS-26について	サインIS-26の数量について リスト表:5F-11か所 プロット図:5F-20か所 とありまうが、プロット図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答																																																						
1145	A-276～292	サインについて	下記サインのか所数が、サインプロット図とリストで相違します。キープランを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>キープラン</th> <th>リスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・O-1 館名サインA</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>・IS-15 外来受付サイン</td><td>22</td><td>21</td></tr> <tr><td>・IS-18 受付窓口サイン</td><td>12</td><td>9</td></tr> <tr><td>・IS-20 情報ボード</td><td>11</td><td>10</td></tr> <tr><td>・IS-22 検査室サイン</td><td>38</td><td>32</td></tr> <tr><td>・IS-25 室名サインA</td><td>12</td><td>11</td></tr> <tr><td>・IS-26 室名サインB</td><td>53</td><td>44</td></tr> <tr><td>・IS-28 ビオ外サインA</td><td>17</td><td>13</td></tr> <tr><td>・IS-32 ビオ外サインE</td><td>106</td><td>92</td></tr> <tr><td>・IS-34 誘導サイン</td><td>10</td><td>9</td></tr> <tr><td>・B-1 BY室名サインA</td><td>511</td><td>494</td></tr> <tr><td>・B-2 BY室名サインB</td><td>26</td><td>31</td></tr> <tr><td>・B-3 BY室名サインC</td><td>173</td><td>158</td></tr> <tr><td>・B-5 BYビオ外サイン</td><td>67</td><td>68</td></tr> <tr><td>・B-6 搬送用EV案内サイン</td><td>45</td><td>47</td></tr> <tr><td>・B-7 階段室階数表示</td><td>39</td><td>38</td></tr> <tr><td>・B-8 避難経路図</td><td>37</td><td>38</td></tr> </tbody> </table>	キープラン	リスト	・O-1 館名サインA	1	2	・IS-15 外来受付サイン	22	21	・IS-18 受付窓口サイン	12	9	・IS-20 情報ボード	11	10	・IS-22 検査室サイン	38	32	・IS-25 室名サインA	12	11	・IS-26 室名サインB	53	44	・IS-28 ビオ外サインA	17	13	・IS-32 ビオ外サインE	106	92	・IS-34 誘導サイン	10	9	・B-1 BY室名サインA	511	494	・B-2 BY室名サインB	26	31	・B-3 BY室名サインC	173	158	・B-5 BYビオ外サイン	67	68	・B-6 搬送用EV案内サイン	45	47	・B-7 階段室階数表示	39	38	・B-8 避難経路図	37	38	お見込みの通りです。 リストの備考にある+の見込みは、加算して計上してください。
キープラン	リスト																																																								
・O-1 館名サインA	1	2																																																							
・IS-15 外来受付サイン	22	21																																																							
・IS-18 受付窓口サイン	12	9																																																							
・IS-20 情報ボード	11	10																																																							
・IS-22 検査室サイン	38	32																																																							
・IS-25 室名サインA	12	11																																																							
・IS-26 室名サインB	53	44																																																							
・IS-28 ビオ外サインA	17	13																																																							
・IS-32 ビオ外サインE	106	92																																																							
・IS-34 誘導サイン	10	9																																																							
・B-1 BY室名サインA	511	494																																																							
・B-2 BY室名サインB	26	31																																																							
・B-3 BY室名サインC	173	158																																																							
・B-5 BYビオ外サイン	67	68																																																							
・B-6 搬送用EV案内サイン	45	47																																																							
・B-7 階段室階数表示	39	38																																																							
・B-8 避難経路図	37	38																																																							
1146		外部 仕様程度について	下記項目の仕様程度(メーカー名・品名・品番)を御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・バルコニー他 ウレタン・ゴムアス複合防水 ・外壁 せっ器質タイル 190*140 ・外壁 親水性フッ素樹脂塗料 ・救急・サービスヤード底 完全かん合式折版 ・3階テラス、5階光庭 ウッドデッキ ・3階テラス、5階光庭 屋上緑化システム ・垂直式救助袋 ・免震ピット外周 側溝 ステンレス W650 歩行用 粗目 	<ul style="list-style-type: none"> ・エフワンエヌ同等品 ・仕上表を参照してください。 ・ノザワ カラーフロン同等品 ・製作ものです。 ・ハンディウッド同等品 ・東邦レオ同等品 ・石川商工 セフティ垂直降下方式救助袋(WA型)同等品 ・カネソウ SMGプレーンタイプ同等品 																																																					
1147	A-276・280	サインB-01の数量について	サイン工事特記仕様書において、BACKYARD SIGNSリストの「B-01 BY室名サインA」のTOTAL数量・1階数量には、1階サインプロット図の右上に記載のある浄化槽棟の数量は含まれていないと想定いたしますが宜しいですか。	浄化槽棟も含めての数量ですので想定してください。																																																					
1148	A-276・282	サインについて	IS-12 診療科受付サインのか所数が、リストでは1階8か所、2階4か所、3階1か所 合計13か所ですが、3階には外来受付がないため12か所と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	12カ所として考えてください。																																																					
1149	A-278	サインO-1Aのか所数について	外構サイン詳細図(1)において、O-1Aのか所数が2か所とありますが、立面配置図に1か所しかありません。設置箇所不明ですが、2か所必要を想定いたしますが宜しいですか。	1か所としてください。																																																					
1150	A-278	サインO-1Aの受け下地について	外構サイン詳細図(1)において、O-1A館名サインの裏面に角パイプのような受け下地鉄骨の指示がありますが、部材メンバー・割付が不明です。御指示下さい。	1文字ごとの裏側にボルトを浮かすための補強となります。ボルトの本数分をLアングル等補強すると考えてください。																																																					

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1151	A-278	サインO1-Aについて	サイン詳細についてO1-Aの数量が2か所とありますが、立面図では1か所しか有りません。1か所を正と考えてよろしいですか。	1か所としてください。
1152	A-278	サインについて	O-8 免震サインがサインプロット図には記入がありませんが、リスト通りのか所と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	3か所として考えてください。
1153	A-278 G-071	サインの基礎について	O-4: 館名サインの基礎断面に相違があります。 ・外構サイン詳細図(1):実測 — 2,700×500×H400程度 ・部分詳細図(4):D-46サイン用基礎 — 基礎A:2500×900×H400 2,700×500×H400程度を正と考えて宜しいですか。	2500×900×H400とします。
1154	A-278 G-071	サインの基礎について	O-6: 名称案内サインの基礎断面に相違があります。 ・外構サイン詳細図(1):実測 — 600×500×H300程度 ・部分詳細図(4):D-46サイン用基礎 — 基礎D:700×600×H400 600×500×H300程度を正と考えて宜しいですか。	700×600×H400とします。
1155	A-278 G-071	サインの基礎について	O-10: 防火水槽サインの基礎断面に相違があります。 ・外構サイン詳細図(1):実測 — 600×600×H400程度 ・部分詳細図(4):D-46サイン用基礎 — 基礎D:700×600×H400 600×600×H400程度を正と考えて宜しいですか。	700×600×H400とします。
1156	A-278・279 G-071	サイン基礎の配筋について	サイン基礎の配筋要領に相違があります。 ・外構サイン詳細図(1)・(2) — ベース筋・ハカマ筋共D10@200カゴ状 ・部分詳細図(4):D-46サイン用基礎 — D13@150タテヨコ ベース筋・ハカマ筋共D10@200カゴ状を正と考えて宜しいですか。	D13@150とします。
1157	A-280	サインについて	1階待合2、呼吸器内科外科診察室2のサイン符号がIS-37ですが、IS-37はEV前案内サインのため不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1158	A-280 A-276	サインIS-10の数量について	サインIS-10 総合受付カウンターサインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:2か所 ・サインリスト — 1階:6か所 1階:2か所を正と考えて宜しいですか。	サインリストの1階:6か所を正としてください。
1159	A-280 A-276	サインIS-22の数量について	サインIS-22 検査室サインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:36か所 ・サインリスト — 1階:29か所 1階:36か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1160	A-280 A-276	サインIS-28の数量について	サインIS-28 ピクトグラムサインAの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:9か所 ・サインリスト — 1階:5か所 1階:9か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1161	A-280～286	7階階段2部サインB-01の有無について	7階サインプロット図に於いて、循環器内科の階段2入口にサインB-01の指示がありませんが、1～6階サインプロット図同様にサインB-01が必要と想定して宜しいですか。	7階の階段入口には、B-03を想定してください。 また、1F～6Fは、B-03を想定してください。
1162	A-280・281 A-276	サインIS-15の数量について	サインIS-15 外来受付サインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:3か所、2階:5か所 ・サインリスト — 1階:8か所、2階:13か所 1階:3か所、2階:5か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1163	A-280・281・283 A-276	サインIS-18の数量について	サインIS-18 受付窓口サインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:9か所、2階:2か所、4階:1か所 ・サインリスト — 1階:8か所、2階:1か所、4階:0か所 1階:9か所、2階:2か所、4階:1か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1164	A-280・282 A-276	サインIS-37の数量について	サインIS-37 EV前案内サインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:5か所、3階:2か所 ・サインリスト — 1階:4か所、3階:1か所 1階:5か所、3階:2か所を正と考えて宜しいですか。	1階:4か所、3階:1か所を正としてください。
1165	A-280・282・283・284 A-276	サインB-03の数量について	サインB-03 BY室名サインCの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:29か所、3階:22か所、4階:28か所、5階:18か所 ・サインリスト — 1階:27か所、3階:19か所、4階:22か所、5階:15か所 各階サインプロット図を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1166	A-280・283 A-276	サインIS-32の数量について	サインIS-32 ビクトサインEの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:17か所、4階:10か所 ・サインリスト — 1階:15か所、4階:9か所 1階:17か所、4階:10か所を正と考えて宜しいですか。	1階:15か所、4階:9か所を正としてください。
1167	A-280・289	サインについて	1階 IS-16のか所数が、リストで2か所の記入ですが、サインプロット図では1か所と思われる。1か所と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1168	A-281 A-276	サインIS-34の数量について	サインIS-34 誘導サインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 2階:2か所 ・サインリスト — 2階:1か所 2階:2か所を正と考えて宜しいですか。	2階:1か所を正としてください。
1169	A-281～286	7階機械室サインB-01について	7階サインプロット図に於いて、循環器内科の階段2横機械室にサインB-01の指示がありますが、2～6階サインプロット図同様にサインB-01をサインB-03に読み替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1170	A-281・282・283・284・286 A-276	サインB-01の数量について	サインB-01 BY室名サインAの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 2階:131か所、3階:84か所、4階:59か所、5階:29か所、7階:30か所 ・サインリスト — 2階:120か所、3階:75か所、4階:61か所、5階:31か所、7階:27か所 各サインプロット図を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1171	A-282 A-276	サインB-02の数量について	サインB-02 BY室名サインBの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 3階:22か所 ・サインリスト — 3階:27か所 3階:22か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1172	A-282 A-276	サインB-08の数量について	サインB-08 避難経路図の数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 1階:5か所、3階:6か所、4階:5か所 ・サインリスト — 1階:6か所、3階:5か所、4階:6か所 1階:5か所、3階:5か所、4階:6か所を正と考えて宜しいですか。	1階:5か所、3階:6か所、4階:5か所を正としてください。
1173	A-282 A-276	サインIS-25の数量について	サインIS-25 室名サインAの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 3階:1か所 ・サインリスト — 3階:2か所 1階:2か所を正と考えて宜しいですか。	3階:1か所を正としてください。
1174	A-282 A-276	サインB-05の数量について	サインB-05 BYビクトサインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 3階:21か所 ・サインリスト — 3階:20か所 3階:21か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1175	A-282 A-276	サインB-06の数量について	サインB-06 搬送用EV案内サインの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 3階:9か所 ・サインリスト — 3階:5か所 3階:9か所を正と考えて宜しいですか。	3階:5か所を正としてください。
1176	A-282 A-276	サインB-07の数量について	サインB-07 階段室階数表示の数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 3階:6か所 ・サインリスト — 3階:5か所 3階:6か所を正と考えて宜しいですか。	3階:5か所を正としてください。
1177	A-284 A-276	サインIS-20の数量について	サインIS-20 情報ボードの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 5階:2か所 ・サインリスト — 5階:1か所 5階:2か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1178	A-284 A-276	サインIS-26の数量について	サインIS-26 室名サインBの数量に相違があります。 ・各階サインプロット図 — 5階:20か所 ・サインリスト — 5階:11か所 5階:20か所を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1179	A-288	サインIS-11のベース(壁)について	サイン詳細図(1)において、IS-11サイン詳細図に「2. ベースクロス張分(内装工事)」とありますが、ベースクロスの仕様及び施工範囲(具体的な寸法)が不明です。御指示下さい。	施工範囲は、2.ベースクロス張分と図示された壁の範囲で、仕様はクロスでなく吹付塗装Bとします。
1180	A-288・289	サインIS-2・3の範囲について	サイン詳細図(2)において、IS-17サインの姿図中にサイン符号の無い衝突防止マーク及び自動扉注意表示の図示がありますが、IS-2の衝突防止サインとIS-3の自動扉注意表示の事と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1181	A-288他	サインIS-2・3の内容について	サイン詳細図(1)において、IS-2・3サイン詳細図の右下に「窓約8mm分」と記載がありますが、どのような内容を示しますか。御指示下さい。	不要とします。
1182	A-288他 A-120	建具面の衝突防止マークについて	建具面の衝突防止マークの仕様・形状に相違があります。 ・サイン詳細図(1)他 — W5×H200、塩ビシート2列で@200 ・建具共通仕様書・標準詳細図(共通事項) — ステンレスφ30両面接着張りで@450内外 サイン詳細図(1)他を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1183	A-289	サインIS-15の寸法について	サイン詳細図(2)において、IS-15サインの内容欄の1・2・3に「ベース建築工事」とありますが、具体的な寸法が不明です。御指示下さい。	11/6(月)の追加質疑にて詳細は回答します。
1184	A-289	サインIS-15の内容について	サイン詳細図(2)において、IS-15サインの内容欄に「ガラス両面:デザイン張り」とありますが、どの部分を示しますか。具体的な施工場所及び寸法を御指示下さい。	11/6(月)の追加質疑にて詳細は回答します。
1185	A-290	サインIS-38の寸法について	サイン詳細図(3)において、IS-38サインの全体寸法が不明です。また、網掛け部分は何を示しますか。併せて御指示下さい。	11/6(月)の追加質疑にて詳細は回答します。
1186	A-291	サインIS-41のW寸法について	サイン詳細図(4)において、IS-41スタッフフッステーションサインのW寸法が不明です。御指示下さい。	W3,771です。
1187	A-298	エレベータ仕様書について	エレベータ6号機以外にてオプション盤付と記載されていますが、エレベーターメーカー各社が、対応が可能な機能でしょうか。内容について、御指示下さい。	EVメーカー各社対応可能で、制御盤の増設のことです。
1188	A-305~310・176 S-71	EV廻りRC壁について	雑配筋詳細図及びエレベーター詳細図において、EV周囲の壁がRC壁の指示ですが、配筋が不明です。ハト小屋に倣い、縦筋D13@200、横筋D10@200ダブルと想定いたしますが宜しいですか。	縦横共D13@200ダブルとします。
1189	S-65	EV廻りRC壁~鉄骨梁の取合いについて	上記に続きますが、RC壁と鉄骨梁側面の取合いは、スラブリストの7階将来対応スラブに倣い、頭付きスタッドが必要と想定いたしますが宜しいですか。	S-65の将来対応スラブと同様、φ16,h=200,タテヨコ共@300です。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1190	A-305他 A-008	EVピットの仕上の相違	EVピットの仕上に相違があります。 ・NO4・5エレベーター詳細図(2)他 — 塗布防水 ・仕上表(1) — 防塵塗装 塗布防水を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1191	—	エスカレータピットの仕上について	上記質疑に関連しますが、エスカレーターピットの仕上はEVピットと同様を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1192	A-311	小荷物専用昇降機の点検口について	小荷物専用昇降機詳細図(1)に於いて、機械室入口に「点検口(鋼製施錠付)W700×H700」とありますが、表面仕上、防火種別が不明です。御指示下さい。	特定防火設備、遮煙、SOP塗装とします。
1193	A-315～319	気送管の2階既存廊下撤去範囲について	大口径気送管設備図において、工事区分表のNo.14に「2階既存廊下の気送管撤去時の天井取外し・復旧工事」とありますが、図示が無く範囲が不明です。御指示下さい。	救急センター改修図面に見込んでおります。
1194	A-315・169	天井点検口について	大口径気送管設備用の天井点検口(450角 7か所、600角 1か所)は部分詳細図の天井点検口総数(新館1840か所、救急棟80か所)とは別に必要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1195	A-320 A-322	ヘリポート階段踏板について	ヘリポート階段踏板について、 A-320図:縞鋼板t3.2 溶融亜鉛メッキ仕上 A-323図:グレーチング とありますが、グレーチング 溶融亜鉛メッキ仕上と考えてよろしいですか。 又、アルミメッキ渡り板はアルミ縞鋼板t4.5と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1196	A-320～322	屋上のヘリポートについて	屋上のヘリポートについて、下記項目を御指示下さい。 ①巾木H=70の仕様・詳細 ②脱落防止床内側の巾木H=70は内側全周と考えて宜しいでしょうか。 ③油水分離槽・排水管VP125は建築工事と考えて宜しいでしょうか。 ④軒天:ファインフロア(ヘリポート軒裏全面)の部材寸法	①SUS304 t3.0 ②巾木範囲は平面詳細図A-320記載 ③お見込みの通りです。 ④W250H60t2.0としてください。
1197	A-323	ヘリポートの連絡ブリッジについて	ヘリポートの連絡ブリッジについて、下記項目を御指示下さい。 ①床 長尺塩ビシートの厚み・メーカー・品番 ②手摺はスチール 溶融亜鉛メッキ仕上と考えて宜しいでしょうか。 ③EXP・J金物 アルミ鋼板のW寸法・メーカー・品番	①中等品t2.0 ②お見込みの通りです。 ③中等品
1198	A-323 A-323	ヘリポート連携ブリッジ仕上について	ヘリポート連携ブリッジ仕上について、鉄骨面・手摺の仕上はA-320図より溶融亜鉛メッキ仕上と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1199	---	丸環について	屋上丸環は無しと考えてよろしいですか。 必要な場合、仕様・サイズ及び員数をご指示下さい。	お見込みの通りです。
1200	A-324	モデルルームの周辺廊下について	モデルルームの周辺廊下について、モデルルーム詳細図より、施工範囲に指示がありますが、周辺廊下の具体的な範囲を御指示下さい。	前面廊下までお願いします。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
1201	A-325	メッシュフェンスの詳細について	1階平面図において、オイルギアポンプ廻りにメッシュフェンスの指示がありますが、下記の不明点を御指示下さい。 ①仕様 ②高さ ③扉の形状・寸法 ④基礎の寸法・割付	①四国化成 LMF10型同等 ②H1200 ③片開き W800 ④W150×H300 無筋
1202	A-325	ステップの高さについて	浄化槽棟 1階平面図に於いて、外周廻りのステップの高さが不明です。GLから設備機器置場のパラベットまで高さがH600ありますので、H300程度と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1203	A-325	側溝グレーチング内の仕上について	浄化槽棟 1階平面図に於いて、側溝ステンレスグレーチング内の仕上が不明です。モルタル仕上と想定いたしますが宜しいですか。	モルタル金ゴテの上ウレタン系塗膜防水仕上とします。
1204	A-325	RI処理室の釜場の仕上について	浄化槽棟各階平面図の地下1階平面図において、RI処理室に釜場がありますが、下記を御指示下さい。 ①平面寸法:800×800 ②内部仕上げ:防水モルタル	お見込みの通りです。
1205	A-325	マシンハッチの仕様について	浄化槽棟各階平面図の1階平面図において、汚泥搬出室の外部側に「アルミ製マシンハッチ1, 500×2, 500」とありますが、下記を御指示下さい。 ①仕様・詳細 ②受け鉄骨など	①D7-2に準ずる。 ②3分割し、D7-2に準ずる。
1206	A-325	設備基礎の図示について	浄化槽棟各階平面図の1階平面図において、汚泥搬出室に「基礎L900×D900×200H」とあり、引出し線の指している場所がアルミ製マシンハッチとなっていますが、汚泥搬出室内にある基礎2か所が該当すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1207	A-325	汚泥搬出室の図示について	浄化槽棟各階平面図の1階平面図において、汚泥搬出室に□に×印の図示がありますが、何を示すか不明です。建築にて見込むものがあれば、仕様・形状及び納まり詳細を御指示下さい。	床開口です。ダクトが通ります。
1208	A-325	浄化槽棟 マシンハッチ	1階屋根 アルミ製マシンハッチの仕様程度を御指示下さい。	D7-2に準じてください。
1209	A-325	メッシュフェンスの仕様について	オイルギアポンプ廻り メッシュフェンスの仕様・H寸法及びメーカー・品番を御指示下さい。	・四国化成 LMF10型同等 ・H1200 ・片開き W800 ・W150×H300 無筋
1210	A-325	B1Fメンテナンススペースのライニングについて	B1Fメンテナンススペースのライニングについて、浄化槽棟 地下1階平面図より、X1-3/Y1-2通にライニングの図示がありますが、詳細を御指示下さい。	エポキシ系ライニング防水 大関化学工業:パラテックスEP-GSX-C工法同等品としてください。
1211	A-325 A-331	シャッター三方枠について	シャッター三方枠について、スチール1.6 300×25 焼付塗装で考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1212	A-325 S-206・207	地下タンク関連詳細について	重油地下タンク置場にて、タンク枕基礎等がありませんが不要なのでしょうが。必要でしたら配筋を含め詳細を御指示下さい。 又、乾燥砂、砂下防湿シート、X5通り側、外部側への油漏洩防止処理方法等建築見積上必要な詳細を図示にて御指示下さい。	・乾燥砂ありとしP-172～174図を参照ください。 ・構造別図5の配筋要領としてください。
1213	A-325 S-207	RI処理室上部のマシンハッチの有無について	浄化槽棟各階平面図の地下1階平面図において、RI処理室の中ほどに「アルミ製マシンハッチ1, 500×2, 500」とありますが、1階平面図に図示がなく、また[浄化槽棟]B1階・1階床伏図の1階床伏図にも開口の図示がありません。必要な場合、下記を御指示下さい。 ①仕様・断面形状 ②周囲の枠の納まり詳細 ③同等メーカー・品番	不要です。
1214	A-325 S-207	地下タンク置き場について	A重油地下タンク置き場の断面詳細を御指示下さい。	構造図参照ください。
1215	A-325・167	水槽内タラップの仕様について	浄化槽棟各階平面図の地下浄化槽平面図において、総合排水消毒槽及び合併浄化槽消毒槽にタラップがありますが、仕様が不明です。部分詳細図(2)のD2-9床点検口・ステンスタラップに記載のあるタラップを適用すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1216	A-325・329・330	壁開口(通気口)について	浄化槽棟各階平面図の地下浄化槽平面図及び浄化槽棟断面展開図に於いて、壁開口(通気口)の図示がありますが、構造の開口補強筋以外で見込む必要があるものがあればご指示下さい。	ありません。
1217	A-327	階段1～3のノンスリップの仕様について	浄化槽棟断面詳細図のX2断面図において、「段鼻ノンスリップ金物(ゴム付)」がありますが、材質はステンレスと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1218	A-327	トレンチの塗膜防水について	配管トレンチ天端の塗膜防水はY-1と考えて宜しいでしょうか。 又、配管トレンチ外壁面も塗膜防水Y-1が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1219	A-327 S-216	配管トレンチの仕上について	配管トレンチの仕上が不明です。下記を想定いたしますが宜しいですか。 ①床 — コンクリート金鏝 素地 ②壁 — 打放補修 素地 ③天井 — 打放補修 素地	お見込みの通りです。
1220	A-328	浄化槽水槽ビット水勾配について	浄化槽水槽躯体図において、浄化槽FLのハンチ増打ち部分の仕様・配筋が不明です。無筋コンクリートと想定いたしますが宜しいですか。	S-206図によります。
1221	A-328	二重折板葺の仕様について	浄化槽棟 矩計図において、マニホールド室二重折板屋根がカラーガルバリウム鋼板TO. 8とありますが、下弦材の仕様が不明です。下弦材に関しても上弦材同様、カラーガルバリウム鋼板TO. 8を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1222	A-328	地下防水の施工範囲について	浄化槽棟 矩計図において、Y1通り地中部分の塗膜防水の範囲がB1FL-100程度までの指示となっておりますが、図面通りB1FL-100より下部は不要といたしますが、宜しいですか。	お見込みの通りです。
1223	A-328	地下防水の施工範囲について	上記において、B1FL-100下部にも地下防水が必要な場合、破線書きで山留めが必要な図示となっておりますので、塗膜防水は施工できず、山留め面先やり工法の防水になると思われます。下記について御指示下さい。 ①防水の仕様・メーカー・品番 ②塗膜防水との取合い防水仕舞	壁面より500離し、防水工事可能な設置としてください。 ①塗膜防水(Y-1)します。 ②周辺GLより-100の位置にRCアゴ100×100に取り合うものとしてください。
1224	A-328	勾配コンクリートの配筋について	勾配コンクリートの配筋について、浄化槽棟 矩計図より、合併浄化槽流量調整槽・汚泥濃縮槽等に図示がありますが、配筋はD10、m3当たり100kg程度と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合は配筋を御指示下さい。	お見込みの通りです。
1225	A-328 参考数量書P-98	水槽内コンクリート増打について	参考数量書P98 各水槽内の勾配増打コンクリートが鉄筋コンクリートに含まれていると思われます。構造体の強度(Fc=27N)で宜しいでしょうか。又、増打内補強配筋はタテヨコD10@300程度が必要と解釈して宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	S-206図によります。
1226	A-331	建具枠廻りについて	建具枠廻りについて、ポリサルファイト系シーリング15×10で考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	公共建築工事標準仕様書の通りとしてください。
1227	A-331	SS-01の仕上について	SS-01において、シャッターケースがスチールの指示ですが、仕上が不明です。焼付け塗装と想定いたしますが宜しいですか。	不要です。
1228	A-331	LSDの仕上について	LSD-01・02において、仕上が不明です。LD-01と同様に枠:SOP/扉:焼付け塗装と想定いたしますが宜しいですか。	不要です。
1229	A-331 A-332	SD-02のW寸法について	SD-02のW寸法の相違があります。 ・建具表 — W900 ・設備基礎伏図 — W930 W900を正と考えて宜しいですか。	不要です。
1230	A-332・325	地下1階階段室建具について	設備基礎伏図において、階段室(3か所)に片開きドアの図示ですが、平面図にはありません。建具が必要な場合、建具符号を御指示下さい。	不要です。
1231	A-334	タンクローリーの路面表示について	医療ガス設備供給装置室詳細図において、工事区分に「タンクローリー停止位置、コンクリート舗装及び表示」とありますが、停止位置・表示内容が不明です。御指示下さい。	停止位置はコンクリート舗装部分です。表示は不要です。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1232	A-335	押出成形セメント板の開口補強について	押出成形セメント板開口補強図(1)において、凡例③の横材が、L-50×50×9とありますが、L型鋼にL-50×50×9はありません。L-50×50×6に読替えいたしますが、宜しいですか。	L-50×50×6を正としてください。
1233	A-335・336	押出成形セメント板の開口補強について	押出成形セメント板開口補強図(1)・(2)において、下記の建具に凡例の指示がありません。凡例番号を御指示下さい。 ①8階のサッシ・ガラー・扉 ②4～7階光庭吹抜け窓	意匠別紙5を参照ください。
1234	A-336	押出成形セメント板 開口補強金物について	押出成形セメント板開口補強図 凡例で⑥と⑦が縦材・横材共同じ部材ですが、記入通りで宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1235	R-001	1階の撤去・改修について	撤去改修仕上表-1において、1階TELコーナーが既存のままの色分けですが、改修前と改修後の床仕上が変わっています。床仕上は撤去・改修するか御指示下さい。	撤去、改修とします。
1236	R-001	1階の撤去・改修について	撤去改修仕上表-1において、1階MWC3・WWC3・HWCが既存のままの色分けになっていますが、改修後の壁仕上に磁器質タイルが追加されています。既存のままでは無く、撤去改修するのか不明です。御指示下さい。	撤去、改修とします。
1237	R-001	1階の撤去・改修について	撤去改修仕上表-1において、改修後の人工透析室等、仕上新設 一部下地調整の上仕上新設の色分けになっている部屋で、改修前の部屋が仕上・下地共撤去になっている範囲があります。撤去が仕上・下地共の範囲については、改修も仕上・下地共新設に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1238	R-001・006	1階の撤去・改修について	撤去改修仕上表-1において、1階倉庫4・TELコーナー・MWC3・WWC3・HWCが既存のままの色分けになっていますが、改修前と改修後の天井仕上が違います。平面詳細図-1では上階工事に伴う天井撤去・復旧工事の範囲となっている為、天井は撤去・改修すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1239	R-004	既存救急センター棟の詳細図について	改修前 立面図 北側立面図で詳細図Aの記入がありますが、見当たりません。御指示下さい。	詳細図Aは、R-015 既存庇(B) 撤去断面詳細図です。
1240	R-004・005	建物解体後の外壁補修方法について	改修前立面図において、現病院接続渡り廊下・庇・風除室撤去・解体撤去の上、外壁仕上補修とありますが、外壁仕上補修は、既存押出成形セメント板面に外壁仕上げの復旧程度と思われる。下記の不明点を御指示下さい。 ①既存OW-1磁器質タイル45角張りのメーカー・品番 ②既存OW-2せっ質二丁掛タイルのメーカー・品番 ③既存OW-1・2タイル張りの張り方(工法)	メーカー品番不明です。意匠別紙6,7にて写真を添付いたします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1241	R-004・005・007	現病院接続渡り廊下部の外壁改修について	平面詳細図-2 2階平面詳細図(撤去図)において、階段東側の壁が撤去となり、改修後に外壁押出成形セメント板の復旧が必要になりますが、改修後立面図東側立面図では、他の既存外壁と同列の図面表記になっていて、外壁押出成形セメント板の復旧範囲が不明確です。外壁押出成形セメント板の復旧範囲を立面図に図示をお願い致します。	階段東側壁は残置してください。
1242	R-004・016	建物解体後の外壁補修方法について	改修前立面図において、現病院接続渡り廊下・庇・風除室撤去・解体の上、外壁仕上補修とありますが、改修方法が不明です。既存庇キャンピー改修断面詳細図より、各所共に既存押出成形セメント板面に外壁仕上げ(OW-1・2)復旧を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1243	R-004・016	建物解体後の外壁補修方法について	上記において、外壁タイル張替えの下記の不明点を御指示下さい。 ①既存OW-1磁器質タイル45角張りのメーカー・品番 ②既存OW-2せっ質二丁掛タイルのメーカー・品番 ③既存OW-1・2タイル張りの張り方(工法)	メーカー品番不明です。意匠別紙6,7にて写真を添付いたします。
1244	【昇降機】R-017	改造内容	改造内容にて④共用部レールブラケット取替はメーカー詳細確認の結果、現在のブラケットで適合と確認が取れました。よって、④は除外とさせて頂いてよろしいでしょうか。	図示の通りです。
1245	R-005	外壁新設部の下地について	改修後立面図東側立面図において、1階Y2通りに外壁新設の上OW-2とありますが、下地が不明です。押出成形セメント板横張りT60を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1246	R-005	外壁新設部の納まりについて	上記において、外壁新設の上OW-2と既存外壁との取合い納まり詳細が不明です。足元・縦方向・頂部毎に御指示下さい。	R-016 既存キャンピー(C)撤去後 改修 断面詳細図 参照 内部現場発泡ウレタンt20吹付けとしてください。詳細は、11/6(月)追加質疑での追加資料として添付します。
1247	R-005	外壁新設部の納まりについて	上記において、外壁新設の上OW-2部押出成形セメント板は、既存鉄骨に設置するとし、補強鉄骨等、新規に設置する鉄骨は不要として宜しいですか。	原則、既存鉄骨に取り付けることとします。既存鉄骨に取り付けるための鉄骨は本工事とします。詳細は、11/6(月)追加質疑での追加資料として添付します。
1248	R-005・009	立面図のサッシ改修について	改修後立面図において、水色でサッシ改修(開閉不可)の指示がありますが、建具表の改修後と撤去ともにAW-9・13に該当すると思われませんが、どちらも同じ建具表になっており、改修内容の詳細が不明です。御指示下さい。	クレセントを外して開閉不可としてください。
1249	R-006	防波堤の立上り壁リストについて	1階平面詳細図(改修後)において、X3~4通りY3~4通り間に「防波堤H500×W150新設」の指示がありますが、コンクリート仕様、配筋、既存床取合いアンカー)が不明です。御指示下さい。	差筋アンカーD10×450 @200、配筋D10-@200ヨコ、D13-@150タテ ダブル、Fc24N/mm2, S=21cm

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1250	R-006	風除室前ポーチの撤去仕様について	平面詳細図-1 1階平面詳細図(撤去図)において、1階X4通りY2通りの風除2前ポーチの仕上撤去が必要と思われるのですが、既存仕上が不明です。下記を御指示下さい。 ①床仕上 ②天井仕上	①床仕上げ 磁器質タイル ②木製ルーバー 一部 EP 下地GB です。
1251	R-006	撤去・改修の凡例について	平面詳細図-1において、1階の白抜き部分の外壁及び外壁付き柱型が斜線の図示がありますが、凡例では斜線は上階工事に伴う天井撤去・復旧工事になりますが、内容が違うと思われます。外壁及び外壁付き柱型の撤去・改修内容を御指示下さい。	外壁及び外壁付柱型斜線凡例について、他に図示なき場合は、不要としてください。
1252	R-006	コーナーガードの撤去について	平面詳細図-1(現況・撤去、改修後)の1階平面詳細図(撤去図)において、各所出隅にある○印について、下記を御指示下さい。 ①コーナーガードと想定してよろしいですか。 ②コーナーガードは、床～天井までの範囲にあると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1253	R-006	HRの内容について	平面詳細図-1(現況・撤去、改修後)の1階平面詳細図(撤去図)において、EV前待合～診察前待合の撤去する壁際に「HR」とありますが、何を指すのか不明です。壁付手摺を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1254	R-006	X線の配管ピットについて	平面詳細図-1(現況・撤去、改修後)の1階平面詳細図(撤去図)において、X線に配線ピットと思われる図示がありますが、詳細が不明です。配線ピットの下記を御指示下さい。 ①断面寸法 ②配線ピット内の仕上	A-167 D2-11 としてください。W450
1255	R-006	X線の配管ピットについて	平面詳細図-1(現況・撤去、改修後)の1階平面詳細図(改修図)において、X線の配線ピット撤去後の改修方法が不明です。御指示下さい。	配線ピット枠撤去の上、コンクリート塞ぎとしてください。
1256	R-006	CTの配管ピットについて	平面詳細図-1(現況・撤去、改修後)の1階平面詳細図(撤去図)において、CTに配線ピットと思われる図示がありますが、詳細が不明です。配線ピットの下記を御指示下さい。 ①断面寸法 ②配線ピット内の仕上	A-167 D2-11 としてください。W450としてください。
1257	R-006	CTの配管ピットについて	平面詳細図-1(現況・撤去、改修後)の1階平面詳細図(改修図)において、CTの配線ピット撤去後の改修方法が不明です。御指示下さい。	配線ピット枠撤去の上、コンクリート塞ぎとしてください。
1258	R-006	既存救急センター棟の防煙垂壁の仕様について	防煙垂壁の仕様が不明です。新館に倣うと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1259	R-006・007	既存間仕切について	平面詳細図-1・2(撤去図)において、間仕切の撤去が指示ありますが、間仕切仕様が不明です。撤去する範囲の間仕切の仕様が解る図面の発行をお願い致します。	GB-R12.5+GB-H9.5とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1260	R-006・007	既存救急センター棟の撤去範囲について	既存間仕切撤去はスラブ下まで撤去と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1261	R-006・007	既存救急センター棟の撤去範囲について	天井インサートは既存再利用と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。必要に応じて追加してください。
1262	R-006・007	既存救急センター棟の改修範囲について	既存AW額縁の改修内容が不明です。御指示下さい。	撤去の上新設してください。
1263	R-006・007 A-170	カーテンレールの仕様について	平面詳細図-1(現況・撤去、改修後)及び平面詳細図-2(現況・撤去、改修後)の各階平面詳細図(改修後)において、「天井付CR」とありますが、仕様が不明です。本館の部分詳細図(5)のD5-2病室カーテンレール(天井直付)を適用すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1264	R-006・007・001・002	撤去・改修の凡例について	平面詳細図-1・2において、白抜き部分の凡例が指示無く不明です。撤去改修仕上表-1・2より、全面撤去・改修と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1265	R-007	2階外壁面撤去・改修について	上記質疑に関連しますが、平面詳細図-2において、白抜き部分の撤去・改修範囲の部屋の外壁面及び柱型部分の撤去・改修範囲がボードまでか、復壁のLGSまでか不明です。御指示下さい。	再利用はなしです。すべて撤去し、新設してください。
1266	R-006・008	1階PSのSD-13について	1階平面詳細図(撤去)において、X3~4通りY1通りPSにSD-13の指示がありますが、建具表に無く、改修後平面図では、既存のままと思われます。改修が必要であれば、建具表と改修内容を御指示下さい。	既存のままです。
1267	R-006・008	1階清リネン室建具について	1階平面詳細図(撤去)において、X3~4通りY1~2通り清リネン室建具の建具符号がありません。建具表より、LD-11と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1268	R-006・008	1階アラーム弁室建具について	1階平面詳細図(撤去)において、X3~4通りY2通りアラーム弁室に建具符号がありません。建具表より、SD-2と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1269	R-006・008	平面詳細図と建具表の数量について	1階平面詳細図(撤去)と建具表の数量が下記のように相違があります。全て平面詳細図を正と考えて宜しいですか。 1階平面詳細図 建具表 ・AW-7 — 0か所 5か所 ・SSD-5B — 1か所 3か所 ・LHD-4 — 1か所 11か所 ・LHD-10 — 2か所 1か所	お見込みの通りです。
1270	R-007	建物解体に伴う現病院の改修について	平面詳細図-2 2階平面詳細図(撤去図)において、渡り廊下の解体の指示がありますが、撤去に伴う現病院の外壁補修の指示がありません。補修が必要な場合は、積算できる図面の発行をお願い致します。	R-013 渡り廊下詳細図に記載しています。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1271	R-007	脱衣の床について	平面詳細図-2(現況・撤去、改修後)の2階平面詳細図(撤去図)において、脱衣入り口部分にL型の二重線がありますが、何を示すか不明です。L型の二重線の内容を御指示下さい。	上がり框です。
1272	R-007 A-219	2階SWの仕様について	平面詳細図-2(現況・撤去、改修後)の2階平面詳細図(改修図)において、2階脱衣室横にSWがありますが、仕様が不明です。2階平面詳細図のスケールアップ800×1, 200程度の為、本館のユニットバス詳細図(1)にある「JSV0812L」を適用すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1273	R-007、E-329、330、P-703~705、 M-603、604	既存救急センター改修範囲 について	建築改修図にて既存救急センター棟の内装解体範囲が示されていますが、電気・衛生・空調設備の改修範囲と違って、再度御指示下さい。	図示の通りとします。建築改修図に電気、衛生、空調の範囲を付け加えた範囲がすべての改修範囲となります。
1274	R-007・009	2階廊下4の建具について	2階平面詳細図(改修後)において、X4通りY3~4通り廊下4にSSD-4の指示ですが、建具表にありません。SSD-2に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1275	R-007・011	建具の有無について	展開図-2において、廊下1B面のY4~5通り間に2枚引込みドアの図示ですが、平面詳細図にありません。必要でしたら、建具符号を御指示下さい。	無しです。
1276	R-007・013・014	仮設渡り廊下接続部の建具 について	仮設渡り廊下2階改修後平面図において、仮設渡り廊下撤去後、AD-14を新設とありますが、R-007図の改修後建具AW-2に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1277	R-007・014	仮設渡り廊下接続部の建具 について	仮設渡り廊下撤去建具AD-14とR-007図の撤去建具AW-14が重複しています。R-007図の撤去建具AW-14のみ必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1278	R-008	LHDの仕上について	改修後建具表-1において、LHD-1・2・3の備考欄に化粧シート張りがありますが、仕上欄にSOPの指示もあります。扉を化粧シート張り・枠をSOP塗装と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1279	R-008 R-010	SSD-1の形式について	SSD-1の形式の相違があります。 ・建具表-1 ー 袖嵌殺し片引ドア ・展開図-1 ー 両袖嵌殺し引分ドア 袖嵌殺し片引ドアを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1280	R-008・010	SSD-1の形式について	上記質疑において、展開図が正の場合、建具表の発行をお願い致します。	建具表が正です。
1281	R-008~012	建具姿図の相違について	展開図と建具表でLD・LHDのガラスの有無で多数相違があります。全て、建具表を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1282	R-008・009	撤去建具沓摺について、	撤去建具表において、ドアの沓摺の有無が不明です。沓摺は有りかと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。軽量鋼製ハンガー戸は沓摺無しです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1283	R-008・009 A-091他	ブラインドボックスの仕様について	撤去改修天井伏せ図建具表-1・2において、「BB」とありますが、仕様が不明です。本館の各階天井伏図の凡例にあるブラインドボックスの仕様を適用すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1284	R-009	建具表のサッシについて	撤去建具表において、AW-16・17・18・AG-4・ACW-1・2・3が建具表にありますが、他図に指示がありません。渡り廊下の解体範囲に建具表の数量分が必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1285	R-009	SSD-2のガラス仕様について	改修後建具表-2において、SSD-2が特定防火設備ですが、ガラスが強化ガラスです。認定が通らないため、耐熱強化ガラスT8と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1286	R-009	AW-1のガラス構成について	改修後建具表-2において、AW-1のブラインド内蔵ガラスの厚さ・仕様・構成・ブラインドの仕様が不明です。詳細(フロートガラスT〇〇+A6+強化ガラスT5等)・同等メーカー・品番を御指示下さい。	不二サッシ FP-AT同等としてください。
1287	R-009	AW-1の形式について	改修後建具表-2において、AW-1の姿図が3連嵌殺しのような図示ですが、ガラスの斜線と凡例「F」が1つしかありません。ブラインドが3分割されているとし、1連嵌殺し窓と想定いたしますが宜しいですか。	サッシを3分割としてください。
1288	R-009 R-011	LHD-5の形式について	LHD-5の形式の相違があります。 ・建具表-2 — 引分けドア ・展開図-2 — 2枚引込みドア 引分けドアを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1289	R-013	EXP. J金物の受け鉄骨について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(1)EXP. J部分納まりにおいて、EXP. J金物下部にC型鋼の受け鉄骨の指示がありますが、部材メンバー及び縦材の割付が不明です。御指示下さい。	縦材、頭つなぎ材共にC-100x50x20x2.3とし、縦材ピッチは450mmとします。
1290	R-013	外部軒天の仕様について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(1)において、外部天井に軒天用DBとありますが、共通特記事項・材料表の凡例にDBがありません。DR(ロックウール化粧吸音板)に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1291	R-013	柱脚根巻きの撥水材塗布について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(1)において、渡り廊下柱脚根巻きに撥水材塗布の指示がありますが、下地はコンクリート化粧打放しを想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1292	R-013	EXP. J金物のメーカー・品番について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(1)において、既存建物取合いにEXP. J金物の指示がありますが、メーカー・品番が不明です。外部・内部・各部位毎に御指示下さい。	以下の通りとし、厚み等は意匠別紙16を参照ください。 ●共通:変位量100mmX,Y共 W=200mm ●床:SUS304 2B仕上 同材仕上 ●外壁、内壁、天井、屋根 :アルミ製アルマイト
1293	R-013	仮設渡り廊下の接続改修について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(1)において、渡り廊下～既存建物取合いEXP. J金物設置に伴う既存外壁の改修は不要といたしますが、宜しいですか。	外壁改修は必要です。
1294	R-013	仮設渡り廊下の接続改修について	上記において、改修が必要でしたら、改修図の発行をお願い致します。	EXP. J金物と取り合う外壁面の周囲1mの範囲は既存タイルを撤去し、新設してください。タイルはOW-1とします。(参考として取付詳細図を添付します。意匠別紙22)
1295	R-013	仮設渡り廊下の接続改修について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(1)において、2階SD-2A部に「仮設渡り廊下撤去後、AD-14及び既設壁仕様を新設」とありますが、外壁側は、既存外壁タイル張替えW100程度を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1296	R-013	軽鉄下地折版部受け鉄骨について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(1)に於いて、仮設渡り廊下の天井GB-Dの軽鉄下地が折版面となる為、受け鉄骨が必要と思われる。部材メンバー・ピッチを御指示下さい。	C-100x50x20x2.3@、接合部:GPL-4.5 中ボルト 2-M12とします。部材ピッチは とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1297	R-013・14	仮設渡り廊下のサッシについて	仮設渡り廊下2階改修後平面図において、AW-2Aが4か所指示ありますが、建具表にありません。AW-101に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1298	R-014	本館腰壁の仕様について	感染症病棟 渡り廊下詳細図(2) 2階撤去渡り廊下 撤去平面図において、本館建物に「アルミサッシ・腰壁撤去」の指示がありますが、既存腰壁の仕様・高さが不明です。御指示下さい。	PC板タイル打ち込み H1,050です。
1299	R-014	本館腰壁撤去部の補修について	上記において、腰壁撤去後の本館建物外壁に補修が必要と思われます。補修方法を御指示下さい。	腰壁撤去部分より外壁面の周囲1mの範囲は吹付塗装とします。(複層塗材Eとしてください。)
1300	R-014	既存渡り廊下撤去後の仮設ALCの仕上について	感染症病棟渡り廊下詳細図(2)において、2階既存渡り廊下撤去後のX4通りに、仮設ALCt100新設及び撤去の指示がありますが、仕上をするか不明です。内部側及び外部側共、仕上は不要として宜しいですか。	外壁→R004 立面図参照 内壁→LGS+GB-Rt12.5+GB-Ht9.5とします。
1301	R-014	仮設渡り廊下撤去建具について	仮設渡り廊下2階撤去平面図において、AD-1イの指示ですが、建具表がありません。建具表の発行をお願い致します。	不要とします。
1302	R-014	仮設渡り廊下撤去建具について	撤去建具表において、SD-201の指示ですが、どこの撤去建具か不明です。位置を御指示下さい。	不要とします。仮設渡り廊下撤去時、SD2Aを撤去とします。
1303	R-014・007	既存渡り廊下接続部の壁について	平面詳細図-2及び感染症病棟渡り廊下詳細図(2)において、2階の既存渡り廊下取合い部のX4通り階段部分の間仕切の撤去・改修が指示ありますが、間仕切仕様が不明です。既存渡り廊下解体時に仮外壁で塞ぐ事となりますので、工事STEPを考慮した、内容を御指示下さい。	既存救急センター渡り廊下解体時に階段部分X4通り間仕切りを解体。仮設外壁はALCt100とし、階段部分X4通り新設壁はOW-1(既存壁合わせ)としてください。
1304	R-015	キャンピ撤去の範囲について	既存 庇 キャンピ撤去断面詳細図において、軒天アルミスパンドレル撤去の指示がありますが、下地天井軽鉄下地まで撤去を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1305	R-015	キャンピ撤去の範囲について	既存 庇 キャンピ撤去断面詳細図において、幕板アルミT2加工フッ素樹脂焼付塗装撤去の指示がありますが、下地鉄骨は撤去不要といたしますが、宜しいですか。	お見込みの通りです。
1306	R-015	既存救急センター棟の図面について	既存 庇 キャンピ撤去断面詳細図の通り芯名がA・B通の記入ですが、平面図ではX・Y通で相違します。御指示下さい。	A→X、B→Y、と読み替えてください。既存庇(A)撤去断面詳細図のX8は削除、既存庇(A)撤去断面詳細図のY-3は削除ください。
1307	R-015・006・007	既存救急センター棟の撤去場所・範囲について	上記、既存 庇 キャンピ撤去断面詳細図に記入の既存庇(A)・既存庇(B)・既存キャンピ(C・D)の撤去範囲が改修前平面図が無いため把握できません。既存意匠図を御提示下さい。	R-007 右側が改修前平面図です。平面西側(既存庇A)、平面東側(既存庇C・D)、北側(既存庇B)は、仮設の渡り廊下新設のため先行撤去します。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1308	R-015 参考数量書P-409～437	既存救急センター棟の撤去について	既存庇(A)・既存庇(B)・既存キャピロー(C・D)の撤去の躯体撤去の項目が参考数量書には見当たりません。計上場所を御指示下さい。	既存庇(A)既存救急センター改修工事・既存庇(B)インフラ切回し工事・既存キャピロー(C・D)既存病院解体工事です。
1309	R-015・006・007	既存救急センター棟の撤去場所・範囲について	既存 庇 キャピロー撤去断面詳細図に記入の既存庇(A)・既存庇(B)・既存キャピロー(C・D)の躯体関連の詳細が不明です。既存構造図を御指示下さい。	意匠別紙17を参照ください。
1310	R-016	キャピロー幕板アルミパネルの下地について	既存 庇 キャピロー改修断面詳細図において、幕板アルミT2加工フッ素樹脂焼付塗装撤去の指示がありますが、既存C-100×50×20面にL型鋼等の下地が必要と思われるが、部材メンバー・割付が不明です。御指示下さい。	意匠別紙8を参照ください。
1311	R-017	改修内容について	改造内容にて④共用部レールブラケット取替はメーカー詳細確認の結果、現在のブラケットで適合と確認が取れました。よって、④は除外と想定いたしますが宜しいですか。	現行法に対応させてください。(設計時日立ビルシステムの調査により現行法対応のため④も必要との見解を得ています。)
1312	R-017	エレベーター耐震改修について	エレベーターの耐震改修について、改造内容にて④共用部レールブラケット取替が現在のブラケットで適合と確認が取れました。(日立ビルシステム)よって、④は除外とさせていただいてよろしいですか。	現行法に対応させてください。(設計時日立ビルシステムの調査により現行法対応のため④も必要との見解を得ています。)
1313	R-017	既存昇降機の改修について	エレベーター耐震改修の改造内容において、「④共用側レールブラケット取替」についてメーカー詳細確認の上「適合」となる場合は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	現行法に適合するよう対応ください。
1314	R-017	エレベーター耐震改修について	健診センター棟改修工事にて、エレベータ10号機の改修工事が計画されていますが、既設メーカーでしか行えない改修工事となっています。改修及びエレベータ入替のいずれかの選択にて見積で宜しいでしょうか。	救急センター棟改修工事です。提案によりEV入れ替えでもかまいません。
1315	R-018	既存外壁の仕様について	風除室 改修詳細図において、正面自動ドア及び側面ガラスブロックの上部既存外壁の仕様が不明です。外壁に関しても、外部鉄骨梁囲い部に指示のあるアルミパネルを想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1316	R-018	既存外壁の補修方法について	風除室 改修詳細図において、既存庇8(D9-8)設置部分の壁が元々屋根が設置されていて、屋根を撤去する事により、屋外に露出し外壁になる為、外壁に補修が必要と思われます。改修範囲・改修方法を御指示下さい。	屋根撤去部分 既存仕上復旧としてください。
1317	R-018	既存縦樋の仕様について	風除室 改修詳細図において、既存屋根の縦樋の仕様・径が不明です。御指示下さい。	SUS縦樋100φです。
1318	R-018	新設アルミパネル幕板の下地について	風除室 改修詳細図において、新設ステンレス自動ドア上部にアルミパネルT2.0電解着色の指示がありますが、本体鉄骨や外壁へ接続する為の下地が必要と思われます。アルミパネルの本体への接続方法・下地詳細を御指示下さい。	本体鉄骨に[-100×50×5×7.5@600 + L-50×50×6(通し)]により接続
1319	R-018	風除室の床仕上について	風除室 改修詳細図において、風除室の床仕上の撤去が指示ありますが、仕上が不明です。風除室内も外部と同様150角タイルを想定いたしますが宜しいですか。	A-007 タイル(B)としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1320	R-018	風除室の折上天井下り壁について	風除室 改修詳細図、断面詳細図において、風除室の折上天井がRブリブ付の図示ですが、下り壁の仕上が不明です。下り壁もRブリブ付を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1321	R-018	既存建具について	撤去詳細図において、既存建具の自動ドアと周囲ガラスブロック・片開きドアの建具表がありません。建具表の発行をお願い致します。	意匠別紙15を参照ください。
1322	R-018	既存健診センター棟の撤去について	風除室撤去の躯体関連の詳細が不明です。既存構造図を御指示下さい。	風除室構造図が現在ないため意匠図を参考として添付します。意匠別紙18参照ください。
1323	G-001 A-005	外構範囲の現況地盤高さについて	外構範囲の現況地盤高さについて、高さを御指示下さい。	G-002参照ください。
1324	G-001・071	免震アコーディオンパーテーションの設置位置について	部分詳細図(4)において、D-40免震アコーディオンパーテーションの指示がありますが、配置が不明です。施設平面図の新病院とリニアック棟の間にある門扉の事と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。計2か所です。
1325	G-003	舗装範囲について	アスファルト舗装のオーバーレイの範囲は、既存健診センター西側のW1500の範囲のみと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1326	G-003 G-028	新病院南側の舗装について	新病院南側の舗装仕様の相違があります。 ・舗装仕上別図 — 舗装E:コンクリート舗装 ・擁壁断面詳細図(4):H-I-I-I断面 — アスファルト舗装 舗装E:コンクリート舗装を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1327	G-003 G-065	アスファルト舗装の耐油仕様について	舗装仕上別図の凡例Gより、アスファルト舗装(耐油仕様)の記載が御座いますが部分詳細図(1)に舗装断面の記載が御座いません。舗装断面は凡例Aのアスファルト舗装 車道(T20)に倣うと考えてよろしいでしょうか。また、凡例Dのアスファルト混合物の色の指示をお願いします。	お見込みの通りです。色:グレー
1328	G-003・068	舗装Gの舗装断面について	舗装仕上別図において、凡例に舗装G:アスファルト舗装車道(T20)(耐油仕様)がありますが、部分詳細図(1)には、舗装断面は見当たりません。舗装G:アスファルト舗装車道(T20)(耐油仕様)の舗装断面を御指示下さい。	お見込みの通りです。色:グレー
1329	G-004 G-071	鋼製防護柵について	縁石・囲障別図、部分詳細図(4)より、鋼製防護柵の詳細の記載が御座いますが、参考メーカー品番が四国化成のSGJ2型とSCJ2型と相違します。SGJ2型を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1330	G-004 G-071	浄化槽廻りの目隠しフェンス扉について	部分詳細図(4)より目隠しフェンス扉の両開き戸の詳細の記載が御座いますが、縁石・囲障別図より扉は親子扉と相違します。部分詳細図(4)に記載の有る両開き扉は不要とし親子扉W1200が必要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	両開きが正です。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1331	G-005	花壇について	植栽計画図より、花壇20.0m2の記載が御座いますが、樹種の記載が御座いません。花壇には現状、植栽は不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は樹種詳細を御指示下さい。	植栽は不要です。
1332	G-005	壁面緑化について	植栽計画図より、壁面緑化5mの記載が御座いますが、樹種の記載が御座いません。緑化用登攀金物には現状、植栽は不要と考えてよろしいでしょうか。必要な場合は樹種詳細を御指示下さい。	植栽は不要です。
1333	G-005	客土について	植栽計画図より、客土厚150の記載が御座いますが、客土の仕様の記載が御座いません。客土仕様は黒土と考えてよろしいでしょうか。また、芝張り、低木範囲の客土の厚みは厚150とし高木部分の客土の厚みは高さH=2000の一般的な根鉢深さよりH=560程度と考えてよろしいでしょうか。併せて御指示下さい。	お見込みの通りです。
1334	G-005 建築工事特記仕様書P57	高木・低木の植栽土について	植栽計画図において、高木・低木がありますが、植栽土の仕様は、建築工事特記仕様書P57 23章植栽及び屋上緑化工事の2植栽基盤の整備より、「A種、樹高3m未満○50」を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1335	G-005	植栽範囲の灌水装置について	植栽計画図より、灌水装置の記載が御座いません。今回工事には灌水装置は不要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	設備工事に入っています。
1336	G-005	新病院の壁面緑化について	植栽計画図において、新病院南西部に「新設花壇20m2＋壁面緑化5m」とありますが、壁面緑化の図面が見当たりません。新設花壇の植栽リスト、壁面緑化の仕様・断面詳細、新病院外壁への割付け等の詳細図の発行をお願い致します。	植栽不要です。
1337	G-005	植栽範囲について	新病院南西部に、壁面緑化の記入がありますが、樹木等の記入がありません。不要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1338	G-005	壁面緑化について	壁面緑化について、植栽計画図に、南側に壁面緑化5mとありますが、仕様・寸法・詳細・メーカー品番等を御指示下さい。	Asanoワイヤーブラケットシステム WB-Sです 植栽は無しです。
1339	G-006 G-022 G-070	駐車、駐輪番号表示について	標識等別図より駐車区画、駐輪区画での番号表示の記載が御座いません。今回工事には不要と考えてよろしいでしょうか。また、路面表示の「タクシー」「バス」等の文字書きのサイズを御指示下さい。	お見込みの通りです。 W=150 路面標示1文字1,500×1,500とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1340	G-006 G-070	白線引き、路面標示について	標識等別図、部分詳細図(3)より、白線引きや路面標示の記載が御座いますが、仕様はトラフィックペイントと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1341	G-007	塩ビ小口径樹の断面について	雨水排水平面図において、凡例に「塩ビ小口径樹」とありますが、仕様・断面詳細が不明です。下記の項目について御指示下さい。 ①塩ビ小口径樹(4か所)の各口径・深さ・蓋仕様 ②塩ビ小口径樹からの排水管の管材・管径	①150×150-300 SUS蓋 ②塩ビ φ100 としてください。
1342	G-007、008	雨水排水について	排水管の最終が直接放流とありますが、下水道本管に接続すると考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1343	G-007・066	排水管範囲について	洗い場のVP管φ100は、最寄樹までと記入がありますが、B-13-01の集水樹までと解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1344	G-008・009	集水樹:C-10-01の集水樹タイプについて	雨水排水系統図において、集水樹:C-10-01がありますが、集水樹リストには見当たりません。集水樹:C-10-01のタイプ(W×D×H)を御指示下さい。	タイプ500Hとします。
1345	G-008・009 G-021・022・023・024	集水樹・排水管の各相違について	雨水排水系統図・雨水樹リストにおいて、各番号毎に集水樹・排水管の仕様・断面がありますが、調整池兼広場詳細図・ロータリー回り詳細図(1)・(2)・駐輪場回り詳細図に記載ある集水樹・排水管と相違している箇所が多々あります。集水樹・排水管は、雨水排水系統図・雨水樹リストを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1346	G-008・009 G-028・029・030	新病院南側の排水溝について	新病院南側の排水溝の仕様の相違があります。 ・雨水排水系統図、雨水樹リスト:直接放流1-AA-3樹 — G-300A(S-3:L=104.00m) ・擁壁断面詳細図(4)・(5)・(6):H-H-I-I-J-J-K-K-L-L断面 — U-180 G-300A(S-3:L=104.00m)を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1347	G-008・009・007	側溝タイプS-5のL型側溝について	雨水排水系統図において、集水樹B-12の上流側に「S-5:300×300」とありますが、雨水樹リストの側溝サイズ凡例では、S-5:L型側溝耐重蓋付となっています。雨水排水系統図のS-5:300×300は何を示しているのか不明です。御指示下さい。 ※雨水排水平面図ではL型側溝樹も確認は出来ません。	L型側溝です。(S-5:300×300は誤記です)
1348	G-009	各集水樹について	雨水樹リストより現場打ちの集水樹の記載が御座いますが、配筋の記載が御座いません。D13@200と考えてよろしいでしょうか。また、樹底、立上りの仕上の記載が御座いません。防水モルタル金鍍仕上と考えてよろしいでしょうか。併せて御指示下さい。	共にお見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1349	G-009	側溝の180について	雨水柵リストより凡例S-6に180の側溝の記載が御座いますが現場打ち、既製品等の詳細の記載が御座いません。詳細を御指示下さい。	U型側溝のことです。
1350	G-009	組立900の深さについて	雨水柵リストにおいて、B-17:集水柵(組立900:組立マンホール内径900)の深さが不明です。御指示下さい。	H=1770以上とします。
1351	G-009	集水柵のタラップについて	雨水柵リストにおいて、集水柵のタラップの有無が不明です。タラップが必要な場合は、下記の項目について御指示下さい。 ①タラップの仕様・詳細 ②タラップが必要となる柵サイズ(深さ)	組立マンホール以外は不要です。
1352	G-009	集水柵 配筋について	集水柵:500×400×400・1000×1000・800×800の配筋が不明です。御指示下さい。	D10@200としてください。
1353	G-009	集水柵 簡易山留範囲について、	B-17・18:集水柵に簡易山留の記入がありますが、柵の四周に必要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1354	G-009	集水柵 簡易山留範囲について、	C-13・14・15:集水柵に簡易山留の記入がありますが、道路側(東側)のみ必要と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	四周に設けます。
1355	G-009	雨水柵の蓋について	流域B-11・15・16・19に化粧蓋の記入がありますが、仕様が不明です。御指示下さい。	スリット化粧蓋 D-16に準じてください。
1356	G-009	集水柵について	集水柵詳細図で、集水柵に鉄筋の図示がありませんが、鉄筋は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、配筋を御指示下さい。	D10@200としてください。
1357	G-009・071	マンホール仕様について	B-17:集水柵のタイプは、組立900*と記入がありますが、G-071図D-050の雨水マンホールと解釈して宜しいでしょうか。マンホールの高さと併せて御指示下さい。	お見込みの通りです。H1,800 h2,000としてください。
1358	G-010	3号擁壁-4の延長について	3号擁壁-4の延長の相違があります。 ・擁壁位置図:図面上 — 19.18m(10.88m+8.30m) ・擁壁位置図:リスト — 14.14m 19.18m(10.88m+8.30m)を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1359	G-010	11号擁壁の延長について	11号擁壁の延長の相違があります。 ・擁壁位置図:図面上 — 23.25m ・擁壁位置図:リスト — 47.43m 23.25mを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1360	G-010・035・036・038・039・040~062	擁壁の仕上げについて	擁壁位置図において、各擁壁類の天端・壁仕上げが不明です。各擁壁断面に仕上げの記載がない場合、天端:鍍押し・壁:打放しを想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1361	G-016	駐車場A調整池の門扉について	調整池構造図(1)において、外周フェンスに門扉が見当たりませんが、必要と思います。門扉の施工範囲・仕様・詳細等の詳細図の発行をお願い致します。	2号擁壁-2の入口・メッシュフェンス・W=1800 H=1800 D-41詳細図に準ずる。
1362	G-016	調整池床の水抜きについて	調整池構造図(1)において、図面左下の断面図に「水抜きφ75」とありますが、仕様が不明です。VP管φ75を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1363	G-016	調整池東側余水吐部の排水溝の断面詳細について	調整池東側余水吐部の排水溝(W500、5.2m程度)の断面詳細が不明です、御指示下さい。 (調整池構造図(1)、調整池A平面図)	G-027 E-E断面参照(外構別紙を参照)ください。
1364	G-018	単独調整池の門扉について	調整池構造図(3)において、外周フェンスに門扉が見当たりませんが、必要と思います。門扉の施工範囲・仕様・詳細等の詳細図の発行をお願い致します。	スロープ入口・メッシュフェンス・W2400 H=1800 D-41に準ずる。
1365	G-018	調整池導水路について	調整池導水路について、調整池構造図(3)、独立調整池に、導水路の仕様・断面詳細が不明です、御指示下さい。	G-018参照(外構別紙参照)ください。
1366	G-018・019	調整池下 地盤改良の仕様について	調整池下に地盤改良の記入がありますが、改良材の仕様が不明です。御指示下さい。	六価クロム溶出対策型・添加量:0.12t/m3としてください。
1367	G-019	単独調整池の地盤改良について	調整池構造図(4)において、地盤改良の添加材・添加量が不明です。御指示下さい。	六価クロム溶出対策型・添加量:0.12t/m3としてください。
1368	G-021	調整池兼広場の緑化ブロックについて	調整池兼広場の緑化ブロックについて、緑化率は何パーセントの材料を使用しますか。	66%(日本コンクリート 美緑ブロック同等)です
1369	G-021	調整池兼広場のタイルについて	調整池兼広場詳細図において、タイルのメーカー・品番が不明です。下記のタイルについて御指示下さい。 ①磁器質タイル150角 ②スロープ用磁器質タイル150角 ③天然石風タイル乱形貼	①LIXIL ベイシス同等 ②LIXIL ベイシス同等 ③LIXIL 乱形 ダイヤモンドホワイト同等としてください。
1370	G-021	緑化ブロックの舗装断面について	調整池兼広場詳細図において、調整池(広場)内に「緑化ブロック」とありますが、舗装断面・メーカー品番が不明です。御指示下さい。	日本コンクリート 美緑ブロック同等としてください。
1371	G-021	調整池天然石風タイル乱形貼について	調整池天然石風タイル乱形貼について、厚み・メーカー品番等を御指示下さい。	LIXIL 乱形 ダイヤモンドホワイト同等品としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1372	G-021	調整池階段用磁器質タイル150角について	調整池階段用磁器質タイル150角について、厚み・メーカー品番等を御指示下さい。	LIXIL ベイシス同等品としてください。
1373	G-022	シュルターB全体配置について	シュルターB全体配置について、ロータリー廻り詳細図に、シュルターBがありますが、全体配置図がありません。各シュルターBの寸法・か所数を御指示下さい。	ロータリー西側:39.5m ロータリー東側:27.7m ロータリー南側:53.3m 新透析センター北側:32.8mとしてください。
1374	G-023	目隠し壁の断面詳細について	ロータリー廻り詳細図(2)において、E・F断面詳細図に「※配筋は構造による」とありますが、図面が見当たりません。E・F断面詳細の配筋要領を御指示下さい。	構造別図4を参照してください。
1375	G-023	目隠し壁の断面詳細について	ロータリー廻り詳細図(2)において、E・F断面詳細図に下記の仕上げがありますが、仕様・メーカー・品番が不明です。御指示下さい。 ①壁:撥水材塗布 ②天端:塗膜防水	①大同塗料 アクアシール ②ダイフレックス ミエカシステム同等としてください。
1376	G-023	液酸タンクのコンクリートスラブについて	ロータリー廻り詳細図(2)において、液酸タンク南側に「コンクリートスラブ」とありますが、舗装断面が不明です。御指示下さい。	D-05詳細に準ずる。
1377	G-024	駐輪場上屋の基礎について	駐輪場廻り詳細図において、X1・X2・Y-Y断面図に「駐輪場屋根基礎(土留め壁と一体化)」とありますが、配筋要領が不明です。御指示下さい。	D13@200 ダブル配筋 端部補強:D13としてください。
1378	G-024	駐輪場上屋の基礎について	駐輪場廻り詳細図において、駐輪場屋根基礎の配筋要領が不明です。下記の基礎について御指示下さい。 ①片流れ屋根:700×1, 200×H700 ②片流れ屋根:900×1, 600×H700 ③合掌屋根:700×1, 400×H700 ④合掌屋根:900×1, 700×H700	D-10@200 カゴ状としてください。
1379	G-025~039	擁壁の断面寸法(形状)について	擁壁の断面寸法(形状)について、以下の擁壁が不明です、御指示下さい。 ①1号擁壁-2 ②3号擁壁-2 ③3号擁壁-4 ④3号擁壁-5 ⑤9号擁壁-2 ⑥12号擁壁	①G-042参照(外構別紙参照) ②~④3号擁壁一覽参考(外構別紙参照)ただし、3号擁壁-2は3号擁壁-1と同じとしてください。 ⑤G-60.61参照 ⑥G-021参照(外構別紙参照)
1380	G-025~039	止壁の断面寸法(形状)について	止壁の断面寸法(形状)について、以下の止壁が不明です、御指示下さい。 ①1号止壁 ②2号止壁	前後の擁壁の延長(取り合い)とし構造はその擁壁と同等としてください。
1381	G-030	フェンスBの基礎について	擁壁断面詳細図(6)において、L-L断面に「フェンスB」とありますが、基礎タイプが不明です。独立基礎を想定いたしますが宜しいですか。	D10@200 シングル配筋 としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1382	G-033・034・007	U字溝の施工範囲について	擁壁断面詳細図(9)・(10)において、R-R・S-S断面に「U-180」がありますが、雨水排水平面図には見当たりません。U-180が必要な場合は、施工範囲図の発行をお願い致します。	U型側溝のことです。
1383	G-034・035 G-004	メッシュフェンスの施工範囲について	メッシュフェンスの施工範囲の相違があります。 ・擁壁断面詳細図(10)・(11):T-T・U-U断面 — メッシュフェンス無し ・縁石・囲障別図 — メッシュフェンス有り メッシュフェンス無しを正と考えて宜しいですか。	縁石・囲障別図を正としてください。
1384	G-035	外構L型擁壁の切欠き及び補強	6号擁壁-2の底盤は、浄化槽躯体と干渉します。L型擁壁底盤を切り欠くと考えてよろしいですか。また、切欠き寸法について、浄化槽躯体からの離れ寸法等ご指示願います。また、切り欠いた部分の補強、鉄筋の処理等ご指示願います。	L型擁壁底盤を切り欠きます。浄化槽躯体とのクリアランスは100mmです。端部補強2-D16
1385	G-035・007	U字溝の施工範囲について	擁壁断面詳細図(11)において、U-U・V-V断面に「U-180」がありますが、雨水排水平面図には見当たりません。U-180が必要な場合は、施工範囲図の発行をお願い致します。	U型側溝のことです。
1386	G-035・036・038・039	擁壁の配筋について	擁壁断面詳細図(11)・(12)・(14)・(15)において、各断面に下記の擁壁がありますが、配筋要領が不明です。御指示下さい。 ①Z-Z断面:3号見切壁-1 ②b-b断面:3号見切壁-2 ③h-h・i-i・j-j断面:4号見切壁 ④k-k・l-l断面:5号見切壁 ⑤m-m断面:3号擁壁-1 ⑥Y-Y・a-a断面:3号擁壁-3	①～④見切り壁構造図参照ください。(外構別紙参照) ⑤⑥3号擁壁一覧参考(外構別紙参照)
1387	G-010	擁壁の断面詳細について	上記以外に、擁壁位置図のリストより、擁壁断面詳細図に断面詳細が記載無い擁壁がありますが、下記の擁壁の断面詳細・配筋要領が不明です。御指示下さい。 ①3号擁壁-2 ②3号擁壁-4 ③3号擁壁-5 ④10号擁壁-2 ⑤1号止壁 ⑥2号止壁	①～③3号擁壁一覧参考(外構別紙参照)ただし、3号擁壁-2は3号擁壁-1と同じとしてください。 ④外構別紙を参照ください。 ⑤⑥ 前後の擁壁の延長(取り合い)とし構造はその擁壁と同等としてください。
1388	G-040	擁壁の構造について	擁壁の構造について、水抜きパイプ呑口側の止水コンクリート及び排水材の記載が見当たりません。詳細を御指示下さい。	外構別紙を参照ください。
1389	G-040	擁壁の仕上について	現場打ち擁壁の仕上げは、天端:コンクリート金縷、壁:打放補修と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1390	G-063	ブロック積様壁 配筋について	ブロック積様壁の基礎コンクリート・天端コンクリートは、無筋と解釈して宜しいでしょうか。有筋の場合は、配筋を御指示下さい。	無筋です。
1391	G-065	カラーアスファルト舗装について	部分詳細図(1)より、カラーアスファルト舗装の記載が御座いますが、カラー舗装材は加熱系アスファルト混合物とし路盤材は再生砕石(RC-40)と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1392	G-065	コンクリート舗装の表層仕上について	部分詳細図(1)より、コンクリート舗装の記載が御座いますが、コンクリート舗装の表層の仕上はコンクリート金鍍仕上と考えてよろしいでしょうか。また、伸縮目地 杉板2等 厚9.0 @3000で必要と考えてよろしいでしょうか。併せて御指示下さい。	お見込みの通りです。
1393	G-065	各縁石の均しモルタルについて	部分詳細図(1)より、各縁石の記載が御座いますが、均しモルタルの厚みの記載が御座いません。厚みは厚10と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1394	G-065	現場打ち水路の土被りについて	歩道改良図(2)において、水路詳細図に「現場打水路(A)」・「現場打水路(B)」がありますが、地盤面までの土被りが不明です。御指示下さい。	約1000mmです。
1395	G-065	D-17(A): 自転車置場廻り集水桝 配筋について	D-17(A): 自転車置場廻り集水桝において、基礎コンクリート・調整コンクリートは、無筋と解釈して宜しいでしょうか。有筋の場合は、配筋を御指示下さい。	お見込みの通りです。
1396	G-065	D-12:L型側溝のコンクリート部配筋について	D-12:L型側溝のコンクリート部は、無筋と解釈して宜しいでしょうか。有筋の場合は、配筋を御指示下さい。	お見込みの通りです。
1397	G-065	外構 側溝・集水桝 コンクリート強度について	排水工事の下記分のコンクリート強度・スランプ値が不明です。下記の解釈で宜しいでしょうか。御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・D-17:L型側溝 捨てコンクリート Fc-18 S-15 基礎コンクリート Fc-21 S-18 ・D-17(A): 自転車置場廻り集水桝 基礎コンクリート Fc-18 S-15 調整コンクリート Fc-18 S-15 	お見込みの通りです。
1398	G-066	洗い場について	部分詳細図(2)より洗い場の記載が御座いますが、配筋の記載が御座いません。配筋はD13 @200と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1399	G-066	防火水槽について	防火水槽詳細図において、耐震性貯水槽40m3型のメーカー・品番が不明です。御指示下さい。	朝日コンクリート 耐震性貯水槽と同等としてください。
1400	G-066	洗い場について	洗い場詳細図で、洗い場に鉄筋の図示がありませんが、鉄筋は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合、配筋を御指示下さい。	洗い場:D10@200 シングル配筋

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1401	G-066・67・071	洗い場・シェルターの配筋について	下記の配筋が不明です。御指示下さい。 ・D-24: 洗い場 ・シェルターA 基礎	洗い場:D10@200 シングル配筋 シェルター:D10@200 カゴ状
1402		外構 仕様程度について	下記項目の仕様程度(メーカー名・品名・品番)を御指示下さい。 ・舗装F 磁器質タイル ・調整池 階段用磁器質タイル ・調整池 スロープ用磁器質タイル ・調整池 緑化ブロック ・撥水材塗布 ・ロータリー廻りスロープ 手摺 ・車止めブロック	・舗装F 磁器質タイル 名古屋モザイクタイル アルファヒルズ ・調整池 階段用磁器質タイル LIXIL ベイシス同等 ・調整池 スロープ用磁器質タイル LIXIL ベイシス同等 ・調整池 緑化ブロック 日本コンクリート 美緑ブロック同等 ・撥水材塗布 大同塗料 アクアシール同等 ・ロータリー廻りスロープ 手摺 製作金物 ・車止めブロック 四国化成 サインストップパー同等
1403	G-066・67・071	外構 工作物 コンクリート強度について	下記のコンクリート強度・スランプ値が不明です。Fc-21 S-18と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・D-24: 洗い場 ・D-44: 鋼製防護柵 下部基礎 ・D-51: サイクルストップパー ・防火水槽 基礎コンクリート ・シェルターA 基礎コンクリート	お見込みの通りです。
1404	G-067	シェルターの基礎について	シェルター詳細図において、B側立面図の基礎(700×700×H550、900×1,700×H700)が重複しています。基礎は一体化900×2,000×H700を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1405	G-067	シェルターの基礎について	シェルター詳細図において、シェルターの各基礎の配筋要領が不明です。御指示下さい。 ①700×700×H550 ②1,400×1,400×H700 ③900×2,000×H700	D-10@200 カゴ状としてください。
1406	G-068	コンクリート舗装の仕上げについて	部分詳細図(1)において、舗装E:コンクリート舗装の表面仕上げが不明です。コン鍍押えを想定いたしますが宜しいですか。	刷毛引きとします。
1407	G-068	舗装D カラーアスファルト舗装の路盤について	部分詳細図(1)で、路盤材(再生クラッシュラン、クラッシュラン又はクラッシュラン鉄鋼スラグ)と記入がありますが、再生クラッシュランを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1408	G-068	縁石Eについて	基礎碎石に(再生クラッシュラン、切込砂利又は切込碎石)と記入がありますが、再生クラッシュランを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1409	G-068 G-023	L型側溝の仕様について	L型側溝の仕様の相違があります。 ・部分詳細図(1):D-12 — 現場打ち ・ロータリー回り詳細図(2):E・F部断面詳細図 — 鉄筋コンクリート製 現場打ちを正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1410 G-068 G-038	舗装Aの舗装断面について	舗装A:アスファルト舗装車道(T20)の舗装断面の相違があります。 ・部分詳細図(1) — 再生密粒度アスコン(13):T50+粒度調整碎石M-30:T250 ・擁壁断面詳細図(14):h-h-i-i-j-j断面 — 密粒度アスコン:T50+粗粒度アスコン:T50+粒調碎石:T150+再生下層路盤材:T200 再生密粒度アスコン(13):T50+粒度調整碎石M-30:T250を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1411 G-068 G-038	舗装Dの舗装材について	舗装D:カラーアスファルト舗装(歩道)の表層材の相違があります。 ・部分詳細図(1) — カラー舗装材:T30 ・擁壁断面詳細図(14):h-h-i-i-j-j断面 — 再生細粒度アスコン:T30(透水性) カラー舗装材:T30を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1412 G-068 G-039	舗装Bの舗装断面について	舗装B:アスファルト舗装車道(T14)の舗装断面の相違があります。 ・部分詳細図(1) — 再生密粒度アスコン(13):T50+粒度調整碎石M-30:T150 ・擁壁断面詳細図(15):k-k-l-l断面 — 密粒度アスコン:T50+粒調碎石:T150+再生下層路盤材:T200 再生密粒度アスコン(13):T50+粒度調整碎石M-30:T150を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1413 G-068・008・009	自転車置場廻り集水柵の施工範囲について	部分詳細図(1)において、D-17(A):自転車置場廻り集水柵400×400×500d(グレーチング蓋)詳細図がありますが、自転車置場の集水柵は、雨水排水系統図・雨水柵リストより、400D・E・Fタイプ(H500・H550・H600)となっています。自転車置場廻り集水柵400×400×500d(グレーチング蓋)が必要な場合は、施工範囲図の発行をお願い致します。	400D・E・Fタイプ(H500・H550・H600)とします。
1414 G-069	洗い場の配筋について	部分詳細図(2)において、D-24:洗い場詳細図がありますが、配筋要領が不明です。御指示下さい。	D-10@200 カゴ状としてください。
1415 G-069・008・009	U型側溝用集水柵の施工範囲について	部分詳細図(2)において、D-18:U型側溝用集水柵詳細図がありますが、雨水排水系統図・雨水柵リストには見当たりません。U型側溝用集水柵が必要な場合は、施工範囲図の発行をお願い致します。	G-007図 雨水排水平面図 C-10 C-11間にあるL型側溝部です。
1416 G-070	ロードペイント(横断歩道)の幅・間隔について	部分詳細図(3)D-31で、幅45cm・間隔45cmと記入がありますが、図示では幅・間隔共に30cmの記入で相違します。それぞれ45cmを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	図示の巾40cm、間隔40cmとします。
1417 G-006・070	ロードペイント(横断歩道)の長さについて	上記質疑図面で長さが3mと記入がありますが、標識等別図からの測定で1.5m・2m・3mに区分して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1418	G-070 建築工事特記仕様書P57	駐車ラインの幅について	駐車ラインの幅に相違があります。 ・部分詳細図(3) — W150 ・建築工事特記仕様書P57 9路面表示用塗料 — W100 W150を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1419	G-071	雨水マンホールの地業について	基礎砕石について、(再生クラッシュラン、切込砂利又は切込砕石)と記入がありますが、再生クラッシュランを解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	G-65 スリット化粧蓋を参照してください。
1420	G-073	撤去工の寸法について	撤去工の寸法について、構造物の下地基礎、均しコンクリートの撤去寸法をお教え下さい。	下地基礎不明ですが、均しコンクリート厚:100としてください。
1421	G-073 K-001	防火水槽撤去後埋戻し深さについて	外構撤去図1、既存救急センター西側ロータリー部の下部防火水槽撤去について、撤去は別途とし、埋戻しのみ本工事とありますが、埋戻し深さが不明です、御指示下さい。	詳細は不明ですが、深さ3000としてください。
1422	G-073～075	外構撤去の舗装厚さについて	外構撤去図(1)・(2)・(3)において、凡例の外構舗装の撤去厚さが不明です。下記と想定いたしますが宜しいですか。 ①アスファルト舗装撤去 — T100 ②コンクリート舗装撤去 — T150	お見込みの通りです。
1423	G-074	水路ボックスカルバートの撤去範囲について	水路ボックスカルバートの撤去範囲について、外構撤去図2、撤去範囲が不明です、御指示下さい。	南北通路の下部です。総延長85mです。
1424	G-077	雨水埋設管の撤去について	雨水埋設管の撤去について、外構撤去図5、範囲が不明です。範囲又は、1期～4期別・径別の数量を御指示下さい。	雨水配管と汚水配管の種別は不明です。合わせた数量が参考内訳書に記載されています。
1425	G-077	会所桝の撤去について	会所桝の撤去について、外構撤去図5、撤去する会所桝範囲が不明です。範囲又は、1期～4期別・寸法別の数量を御指示下さい。	1800×900×H900 1期2か所 2期8か所 1350×1000×H900 1期1か所 2期2か所 4期2か所 1350×1000×H950 1期3か所 2期10か所 3期1か所 4期3か所
1426	G-078	サンドドレーンについて	サンドドレーンについて、「設置期間6カ月」と記載がありますが、6カ月経過後もサンドドレーンの撤去の必要はなく残置と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1427	G-079	地盤沈下対策について	建物南側及び東側の地盤沈下対策ですが、2m盛土部分の対策をお考えでしょうか。それとも、地山部分をお考えでしょうか。又、仮設山留は指定仮設でしょうか。御指示下さい。	2mの盛土部分です。山留は地盤沈下対策の指定仮設です。
1428	G-079図他	既存電柱について	病院敷地内にある電柱は残したままでしょうか。山留めと干渉すると思われるますが、どのような処置をお考えでしょうか。	病院敷地内にある電柱は、敷地外に移設します。移設は別途工事です。
1429	C-001 A-047 A-166	間仕切仕様について	1階 法規チェック図において、A～B通り・5～6通り防災センター～仮眠室・救命士控室の間仕切が防火区画の指示ですが、1階平面詳細図(1)では、壁凡例:W-2G・W-1より軽鉄間仕切(一般壁)です。部分詳細図(1)より「WT-2G」及び「WT-1」に読み替えて宜しいですか。	WT-2Gとしてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1430	C-001 R-008	SSD-3の防火性能について	SSD-3の防火性能に相違があります。 ・1階法規チェック図 — 特定防火設備 ・建具表-1 — 一般仕様 特定防火設備を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1431	R-008	SSD-3のガラス仕様について	上記質疑において、特定防火設備の場合、ガラス仕様を耐熱ガラスT8で想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1432	C-001・A-136	SS-116の防火性能について	1階建具表(2)において、SS-116に特定防火設備の指示ですが、仕様が軽量シャッター・法規チェック図でも区画では無いため、一般仕様と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1433	C-001・A-138	LSD-102の防火性能について	1階建具表(4)において、LSD-102に特定防火設備とありますが、法規チェック図で防火区画となる範囲に設置されないため、一般仕様と想定いたしますが宜しいですか。	整形外科処置室のLSD102は防火区画の範囲となるので特定防火設備です。
1434	C-001他 A-049他 A-166	間仕切仕様について	1階 法規チェック図他において、L～M通り・11通りDW周囲が防火区画の指示ですが、1階平面詳細図(3)他では、壁凡例:W-1・W-3より軽鉄間仕切(一般壁)です。部分詳細図(1)より「WT-1」に読み替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1435	C-002 A-051 A-166	間仕切仕様について	2階 法規チェック図において、L～M通り・5通りEPS・PS周囲が防火区画の指示ですが、2階平面詳細図(2)より壁凡例:W-4より軽鉄間仕切(一般壁)です。部分詳細図(1)より「WT-1」に読み替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1436	C-002 R-009	SSD-2の防火性能について	SSD-2の防火性能に相違があります。 ・2階法規チェック図 — 特定防火設備 ・建具表-2 — 一般仕様 特定防火設備を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1437	R-009	SSD-2のガラス仕様について	上記質疑において、特定防火設備の場合、ガラス仕様を耐熱ガラスT8で想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1438	C-002・A-122・143	LSD-207の防火性能・ガラス仕様について	2階法規チェック図において、2階L～M通り8通りイートインイベントスペースLSD-207が特定防火設備の指示ですが、ガラス仕様が強化ガラスT5です。耐熱強化ガラスT5に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1439	C-002・A-122・144	LSD-213の防火性能・ガラス仕様について	2階法規チェック図において、2階M～N通り7～8通り払出室LSD-213が特定防火設備の指示ですが、ガラス仕様が強化ガラスT5です。耐熱強化ガラスT5に読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1440	C-004・A-124・151	PSのSD-405について	4階法規チェック図において、J～L通り9通りPSのSD-405が防火区画のため、特定防火設備になると思われます。SD-405bへ読替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1441	C-004・A-124・152	前室のLD-402について	4階法規チェック図において、M～N通り6通り前室のLD-402が防火区画のため、特定防火設備になると思われます。仕様を特定防火設備、ガラス:耐熱強化ガラスT5、ガラリ:FD付きと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1442	C-004・A-151	STD-408の防火性能について	4階建具表(1)において、STD-408が特定防火設備の指示ですが、4階J～L通り3通りのSTD-408は防火区画等ではないため、一般仕様とし、ガラスを強化ガラスT8で想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1443	C-004他 A-058他 A-166	間仕切仕様について	4階 法規チェック図他において、I～I'通り・12通りFS1の周囲が防火区画の指示ですが、4階平面詳細図(3)では、壁凡例:W-2Gより軽鉄間仕切(一般壁)です。部分詳細図(1)より「WT-2G」に読み替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1444	C-004他 A-058他 A-166	間仕切仕様について	4階 法規チェック図他において、I'～K通り・9～10通りPS周囲が防火区画の指示ですが、4階平面詳細図(3)では、壁凡例:W-4a・W-3・W-2Gより軽鉄間仕切(一般壁)です。部分詳細図(1)より「WT-1」、HWC1前は「WT-2G」に読み替えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1445	C-006・A-107	理学療法室・作業療法室の防煙垂壁について	6階法規チェック図・6階天井伏図(2)において、理学療法室・作業療法室に防煙垂壁が3か所分の指示ですが、法規チェック図と天井伏図で仕様の相違があります。下記について御指示下さい。 ①正しい仕様を御指示下さい。 ②W寸法をそれぞれ御指示下さい。	天井伏せ図を正としてください。 W8,483 W8,580 W8,283
1446	C-027	工事ステップの駐輪場について	工事ステップ図(1)において、STEP③・④の敷地西側に「駐輪場」とありますが、駐輪場の工事区分が不明です。外構工事にて見込む工作物がある場合は、仕様・断面等の詳細図の発行をお願い致します。	駐輪場の表記はスペースの確保を示しています。本工事外です。
1447	C-027 STEP③	駐輪場	敷地西側に駐輪場が記載されています。設置の場合仕様をご指示下さい。	駐輪場スペースを示しています。本工事外です。
1448	C-027 解体図 浄化槽(S52) 図番402	排水処理1号施設について	C-027に記載されている「排水処理1号施設」について、解体図の浄化槽(S52)配置図の、「浄化槽」、「RI貯留槽」、「薬液貯留槽」の3つの構造物と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1449	C-027,C-028工事ステップ図	工事完了引き渡しについて	ステップごとでの工事完了引き渡しを行うと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	ステップごとでの中間検査を行い、工事完了部分の部分引渡しを受けることを考えています。なお、対象部分は協議によります。
1450	C-027,STEP③既存浄化槽解体 C-037既存浄化槽解体山留計画図	既存浄化槽配置について	既存浄化槽は2か所と考えて、山留も必要か所を見込むと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	既存浄化槽は2ヶ所です。西側の浄化槽は救急車両スペース確保のため、山留が必須と考え指定仮設としています。図示以外の山留は任意でご提案ください。
1451	C-027、029	山留工事について	C-027、029図に於きまして、準備工事期間(H30.11～H31.1)に新棟杭工事とありますが、新棟山留工事期間も包含されていると考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1452	C-027・028 G-003・004・005・006・007・010	工事ステップの外構工事について	工事ステップ図(1)・(2)において、STEP①～STEP⑥にて工事手順の区分がありますが、外構図の各平面関係(舗装・囲障・排水・植栽・擁壁)では、STEP①～STEP⑥の区分がありません。STEP⑥にて「外構整備(調整池工事含む)」とありますが、STEP①～STEP⑤までに外構工事が必要な場合は、外構図のSTEP図の発行をお願い致します。	STEP②浄化槽新設のサービスヤードの外構は、仮設で整備し、本節はSTEP⑥と考えています。 他、STEP⑤の新棟建設に際し南側外構が整備されていることが望ましいと考えています。他はSTEP⑥と考えています。
1453	C-027・S-213	杭納期について	浄化槽施工期間が、H30/4～10と記載されています。山留から地下躯体工事などを考慮すると、着工後すぐに杭打設の工程になりますが、杭納期が通常3.5か月必要です。しかし、開札後の契約締結がH30/3上旬と予定されていますので、施工者からの発注では間に合いません。発注者からの支給材料にしていだけないでしょうか。または、2/6の業者決定通知により、契約前発注(先行手配)してよろしいでしょうか。	発注者は関与しません。また材料支給等も行いません。
1454	C-028,STEP⑤本館、東館解体	解体前土壌汚染調査について	土壌汚染調査における使用履歴を開示願います。調査における汚染状況による工期変更費用清算は協議と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	土壌汚染調査は実施済みです。調査結果については基準値以下です。既存病院下部については解体時に別途調査します。原則として工期変更は考えておりません。汚染が確認された場合の処分費用負担は別途協議とします。
1455	C-030	山留について	指定仮設で山留が記載されていますが、新病院の一部分のみ山留が指示されています。指示の無い部位は、任意で別に計上してよろしいでしょうか。御指示下さい。	山留において指定のない部位は、任意で別計上をお願い致します。
1456	C-030	山留めについて	C-030の「CASE-4」の山留めについて、これは工事中の仮設調整池のための山留めと考えて宜しいですか。その場合、必要な設置期間について御指示ください。	調整地の建設着手までとしてください。
1457	C-030 A-032	山留めの位置について	新病院山留計画図において、CASE-1北西面のE～H通り7～13通りの山留めの設置位置が擁壁面に設置となっていますが、擁壁外面に塗膜防水が必要になる為、現状の設置位置では、擁壁外面への塗膜防水の施工ができません。CASE-1の山留めの位置を再度御指示下さい。	壁面より500離し、防水工事可能な設置としてください。
1458	C-035	山留めの位置について	上記において、浄化槽棟山留計画図(1)の配置についても、地下外壁面への塗膜防水の施工ができませんので、山留めの位置の見直しを再度御指示下さい。	壁面より500離し、防水工事可能な設置としてください。塗膜防水(Y-1)します。
1459	C-030、G-078	山留めについて	C-030の「CASE-3」の山留めについて、G-078に記載されている「仮設山留」と同じものと思われませんが、平面的な設置範囲に相違があります。G-078の範囲を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1460	C-030、G-079	独立(仮設)調整池について	C-030図独立調整池、G-079図仮設調整池は、開発行為等には該当しますか。	該当します。仮設調整池については、協議済です。
1461	C-030～C-037	山留めについて	山留めが指定仮設である場合、芯材の「残置」、「引抜き」の条件について御指示ください。	浄化槽解体山留「残置」、新設浄化槽SMW「残置」、CASE-1「残置」、CASE-2「引抜き」、CASE-3「残置」、CASE-4「引抜き」としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1462	C-030～C-037	指定仮設について	C-030～C-037の山留計画図にて、「原則山留は指定仮設とする」とありますが、VE提案の対象と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1463	C-030図～037図 建築工事特記仕様書 P.9	山留の指定仮設の御確認	新病院山留計画図等の山留関連図に、“原則山留は指定仮設とする”と記載ありますが、建築工事特記仕様書の3 土工事の5 山留工事に、“指定仮設”と記載あり、若干の表現の相違がありますが、建築特記仕様書の方を正とし、山留は“指定仮設”としてよろしいでしょうか。	図示の山留は指定仮設としてください。図示無き山留は任意で提案ください。
1464	C-031～034	構台について	構台は、指定仮設でしょうか。その場合、今後の打合せにより実施と異なった場合、清算頂けると考えてよろしいでしょうか。それとも、任意に計画してよろしいでしょうか。御指示下さい。	構台は指定仮設ではありません。参考図としてください。
1465	C-033	構台計画について	C-033の構台スロープ部分において、「※現状の位置だと、乗入れに必要な勾配の確保が厳しい」とコメントの記載がありますが、この図を指定仮設として見積して宜しいですか。	構台は指定仮設ではありません。26.4m確保スロープ勾配12.5%確保してください。
1466	C-033	1FLとGLの設定について	C-033図では1FL=GL+1800とありますが、設計図A-019図等記載の1FL=GL+50の他、MFL等の設定値も設計図を正として宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1467	C-037	既存浄化槽の解体山留計画について	既存浄化槽の解体山留計画について、「浄化槽」の範囲のみを考慮しており、隣接する「薬液貯留槽」や「RI貯留槽」の解体山留めが考慮していないように思われます。山留めを南側に拡張する必要があると考えますが、御指示下さい。	提案願います。浄化槽解体の山留は救急車両の寄り付き確保を考慮しています。
1468	C-037	既存浄化槽の解体山留計画について	既存浄化槽の解体山留の仕様が「親杭」で計画されており、遮水工法となっておりません。釜場排水程度で解体工事が可能である前提での指定仮設と考えて宜しいですか。	提案願います。浄化槽解体の山留は救急車両の寄り付き確保を考慮しています。
1469	工事ステップ図②～④	工事車両動線について	工事車両はH30.4からH32.12まで敷地外周道路を使用可能としてよいでしょうか	使用可能です。病院関係者及び近隣住民、通学路のため学校関係者と協議の上、工事車両動線、来院者通路を決定してください。
1470	K-001、K-003	東館底の解体について	東館底の解体について、K-001では「平成30年8月から解体」となっていますが、K-003の短計図では、既存底の解体が平成31年4月解体、共同溝の解体が平成33年7月解体となっており、相違があります。また、既存底の解体前に、下部の共同溝の解体となっており、施工手順が不明です。何れが正か御指示ください。	K-003 共同溝解体は、K-001 08既存病院解体同様平成33年8月～既存底解体はK-001 03東館底解体同様平成30年8月～としてください。
1471	既存基礎解体範囲 K-001、004	解体深さについて	既存基礎躯体の解体深さは、排水処理1号施設、2号施設を除き、K-004図に示されている高さ範囲にならってよいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1472	K006解体工事特記仕様書・解体アスベスト範囲図・参考設計書	既存建物有害物使用建材調査について	特記仕様書に『調査により含有する場合は除去』、解体図面に疑わしい部位がマーキングされており、更に、参考設計書摘要欄にも『アスベスト含有』と記載されています。既存建物有害物質(PCB,アスベスト含有建材、フロン、ハロン、水銀、鉛、ダイオキシン等)の調査結果はありますでしょうか。又は今回入札に当たり、調査のみを計上し、実施数量で精算いただけるとしてよろしいでしょうか。合わせて、調査個所の指示下さい。	アスベスト調査結果は別紙にて添付します。ただし現場にてアスベストは再調査を行うこと。(設備図記載)。PCBについては解体特記仕様書に記載。フロン、ハロン、水銀、鉛、ダイオキシン等については設備図より計上ください。
1473	K解体図	アスベストについて	解体、改修対象既存建屋に 外壁:吹付タイル、吹付リシン、内装壁・天井:吹付タイルが見受けられますが、アスベスト分析調査は実施されたいうえで混入無しということでしょうか。 さらに設備配管保温材なども同様ですが、もし、分析調査未実施の場合、見積条件を分析調査一別途 アスベスト混入一図示以外は無し という見積上の条件と設定してよろしいでしょうか。	アスベスト調査は行っております。見積条件はお見込みの通りです。
1474	K解体図	現地調査について	既存建屋内部にアスベスト混入の結果が出ておりますが、各所立ち入り調査は可能でしょうか。 その際、日時条件、申し込み方法をご教示願います。	アスベスト調査に関する立ち入り調査は不可とします。既存建物のアスベストについては、調査結果をお知らせしますので、それを以ってご確認ください。
1475	解体建物図402配置図、 K-001解体手順図	RI貯留槽、薬品貯留槽解体について	配置図402には排水処理1号施設横にRI貯留槽、薬液貯留槽がありますが、解体するので解体見込む場合残留物処理は実施済みと致します。また土壌汚染調査は実施済みでしょうか。御指示下さい。	排水処理槽における残留物処理は本工事に含まれます。 土壌汚染調査は実施済みです。調査結果については基準値以下です。 既存病院下部については解体時に別途調査します。
1476	解体工事	既存建物及び工作物の事前処理について	解体前に、病院備品および浄化槽などの汚物処理等は全て終了しているとしてよろしいでしょうか。御指示下さい。	病院備品の処理は終了しているとお考えください。浄化槽の汚泥処理は本工事に含まれます。
1477	解体手順図A1	既存解体	解体手順図(1)において、「08トレンチ封鎖 平成33年8月から」と指示がありますが、以下の不明点をご指示下さい。 ①封鎖方法 ②工事STEP	①コンクリートによる封鎖 ②K-001 08既存病院解体同様平成33年8月～としてください。
1478	解体手順図A1	既存解体	解体手順図(3)排水ビット平面図において、「コンクリート壁新設(建築工事)」とありますが、納まり詳細が不明です。御指示下さい。	W150 タテD13-@150 ヨコD10-@200としてください。
1479	解体図 浄化槽(S52) 図番402 解体図 浄化槽(S52) 図番451	薬品処理設備について	図番451の「薬品処理設備」と記載のある図面は、図番402の配置図中の「薬液貯留槽」と同じと考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1480	参考設計書	解体について	参考設計書に、煙突などのダイオキシン除去の項目がありません。既存建物は、そのまま解体しても問題ないと解釈してよろしいでしょうか。御指示下さい。	ダイオキシンについては考慮しなくて結構です。
1481	S-01	鉄筋の種類について	一般共通事項でD38の基礎梁の鉄筋:D38ha、機械式継手。定着プレートの記入がありますが、鉄筋はねじ鉄筋と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1482	S-01	鉄筋の継手について	鉄筋継手について、機械式継手採用範囲はプレート定着と同じ基礎梁範囲と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1483	S-01~02 S-60	1階SRC梁について	コンクリート仕様は1階床版と同様のコンクリート番号2と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1484	S-01・48~49・60	剪断補強筋加工W-1形の使用範囲について	スターラップ形状にW-1形が記されておりますが、使用範囲の記載が無い様に思われます。該当範囲を御指示下さい。	スターラップに特に指定はしていません。
1485	S-02	1階SRC梁のコンクリート仕様について	構造関係特記仕様書(1) 6章コンクリート工事中において、6.2.1コンクリートの種類に新病院棟の1階SRC梁について記載がありません。新病院棟:床スラブ(1FL)1同様にFC24N、S18(混和剤等も倣う)をと判断して宜しいですか。	お見込みの通りです。
1486	S-02	コンクリートの計画供用期間について	コンクリートの計画供用期間の扱いは【標準】 $F_d=24N/mm^2$ と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1487	S-02	高性能AE減水剤について	上記質疑に関連してコンクリートは全て高性能AE減水剤使用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1488	S-02	コンクリートの単位セメント量、水セメント比について	コンクリート 単位セメント量最小値、水セメントについて、 F_c27 未満は $c \geq 270$ 、 $w/c60\%$ 以下、 F_c27N/mm^2 以上は $c \geq 290$ 、 $w/c55\%$ 以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1489	S-02	高流動コンクリートの仕様について	免震装置下部基礎、高流動コンクリートは大臣認定品と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1490	S-02	コンクリートの使用場所について	コンクリートの種類表 番号3の使用箇所が新病院棟:基礎・基礎梁の記載がありますが土に接する範囲の地下外壁、地下外壁に接続する土間スラブも番号3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1491	S-02	コンクリートの気乾単位容積質量について	コンクリートの気乾単位容積質量は $2.3t/m^3$ 程度と考えて宜しいでしょうか。2.3t以上が必要となる範囲があればご指示ください。その場合、重量コンクリートを見込むと考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1492	S-02 建築工事特記仕様書P9	載荷試験について	杭および地盤の載荷試験が特記仕様書で行う、構造特記仕様書で行わないと相違します。行わないものと考えてよろしいでしょうか。行う場合は詳細を御指示下さい。	構造特記仕様書を正としてください。
1493	S-2 S-101 S-107~111	溶接閉鎖型せん断補強筋について	S-101図 使用材料に「D13 H形、W-1形:スターラップ・フープ」とありますが、W-1形の範囲は下記の様に考えてよろしいですか。 ・柱 フープ ・大梁・小梁 スターラップ (いずれも中子筋はH形)	柱フープ(一般部)のみとします。
1494	S-2 S-3	高性能AE減水剤について	使用箇所は F_c27N 以上に見込むと考えてよろしいですか。	F_c21 以上に見込んでください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1495	S-2・3	基礎・基礎梁のスランプ値について	基礎・基礎梁のコンクリートスランプ値が構造図6章2節ではS21、13節マスコンクリートではS15又は18で相違します。S21を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	本体基礎，基礎梁のスランプ値は18cmとします。
1496	S-2・3	基礎・基礎梁のセメントの種類について	上記質疑の基礎・基礎梁コンクリートのセメントの種類が構造図6章3節では高炉セメントB種、13節マスコンクリートでは中庸熱ポルトランドセメントで相違します。中庸熱ポルトランドセメントを正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1497	S-02～03	コンクリートの混和剤について	AE減水剤と高性能AE減水剤の2種類があります。コンクリート番号1～5は全て高性能AE減水剤と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1498	S-02～03	セメントの種類について	コンクリート番号4は普通ポルトランドセメントと高炉セメントB種の両方が適用されていますが普通ポルトランドセメントと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1499	S-02・03	マスコンクリートのスランプ値について	マスコンクリートのスランプ値が15cmと記載されておりますが、該当範囲は21cmです。スランプ値は21cmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	S18cmとします。
1500	S-02・03	マスコンクリート スランプ値について	マスコンクリートのスランプ値が15cm・18cmと2種類記載されておりますが、コンクリート種類表の該当範囲は18cmです。スランプ値は18cmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1501	S-02・109	リニアック棟 溶接閉鎖型せん断補強筋について	構造関係特記仕様書(1) 鉄筋工事 溶接閉鎖型せん断補強筋にリニアック棟と記入がありますが、適用範囲が不明です。柱フープ(中子筋、仕口部は除く)に適用すると解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1502	S-02・19	溶接閉鎖形の使用場所について	構造関係特記仕様書(1) 5章鉄筋工事において、6節 帯筋の組立てに「H形」と「溶接閉鎖型」の2種類指示がありますが、使い分けが不明です。溶接閉鎖型はリニアックの柱一般部のみで使用すると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1503	S-02・79・80	鉄骨梁貫通スリーブについて	鉄骨梁貫通スリーブについて補強方法は全て既製品対応と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1504	S-03	鉄骨工事建方について	鉄骨建方において、ブロック毎に1節、2節、3節と進めることは可能でしょうか。それとも、節毎に階毎に纏めていかないといけないでしょうか。	建方精度に問題がないことが明らかであれば、ブロック毎でも可とします。
1505	S-03	鉄骨仮組について	仮組の部位をお示し下さい。	CLB上部～0節までの柱梁仕口部まわり，積層ゴム支承上部～0節までの柱梁仕口部まわり，ロータリー底架構，ヘリポート架構の一部，等を考えて
1506	S-03	コンクリート混和剤の仕様について	構造関係特記仕様書(2) 6章コンクリート工事において、6. 3. 1コンクリートの材料に「AE減水剤」と「高性能AE減水剤」の2種類指示がありますが、入札条件としての使い分けが不明です。6. 2. 1. コンクリート種別の配合番号のうち、2・3・4に「高性能AE減水剤」を適用するものと判断して宜しいですか。(Fe24以上のJIS A 5308に該当する仕様)	1～5全て高性能AE減水剤としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1507	S-03	無筋コンクリートの仕様について	構造関係特記仕様書(2) 6章コンクリート工事において、6. 14. 1一般事項に無筋コンクリートの使用箇所に防水押え、嵩上げコンの指示がありません。防水押え、嵩上げコンの仕様は全て軽量コンクリート(FC18N、S18)を想定いたしますが宜しいですか。	3階電気室の押えコンクリートは、軽量コンクリート(Fc18、S18)でよろしいです。それ以外は捨てコンクリート仕様と同じとします。
1508	S-03	軽量コンクリートの仕様について	上記に続きますが、軽量コンクリートの種類(1種or2種)が不明です。御指示下さい。	1種とします。
1509	S-03	膨張剤の仕様について	膨張剤の添加量、参考メーカー品番等を御指示下さい。	添加量は20kg/m3とします。デンカパワーCSAタイプS同等品としてください。
1510	S-03	セメントの種類について	セメント種類にてコンクリート番号4が普通ポルトランドセメントと高炉セメントB種に両方に記載されておりますが、普通ポルトランドセメントと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1511	S-03	雑立上りコンクリートの仕様について	構造図にない意匠図より算出可能な雑立上り、基礎コンクリート仕様は接地する躯体の強度・スランプ値と同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1512	S-03	鉄骨仮組の対象範囲について	鉄骨仮組について行うとありますが、対象範囲を御指示下さい。	CLB上部～0節までの柱梁仕口部まわり、積層ゴム支承上部～0節までの柱梁仕口部まわり、ロータリー底架構、ヘリポート架構の一部、等を考えています。
1513	S-03	鉄骨錆止めの範囲について	錆止め塗装について工場2回塗りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。ただし、現場タッチアップは含みます。
1514	S-03	膨張材の使用範囲について	新病院棟地下外壁の膨張材の使用範囲が図示されていません。ご指示ください。	地下外壁(土圧壁)全てとしてください。
1515	S-03	3節、工作一般の仮組について	3節、工作一般の仮組について、「行う」と指定されていますが、仮組を行う範囲をご指示ください。	CLB上部～0節までの柱梁仕口部まわり、積層ゴム支承上部～0節までの柱梁仕口部まわり、ロータリー底架構、ヘリポート架構の一部、等を考えています。
1516	S-03	免震層耐火被覆部の錆止塗装有無について	S-03図7章9節に耐火被覆部の錆止塗装はなしとありますが、免震部においては、外部となるため、耐火被覆部でも錆止塗装ありと考えてよろしいでしょうか。ご指示ください。	免震ピット内は錆止め塗装のみとします。
1517	マスコンクリート範囲 S-03	中庸熟セメント範囲について	リニアック棟の中庸熟ポルトランドセメント使用範囲は、遮蔽壁の1FL打継より上部のみと考えてよいでしょうか。	遮蔽壁を受ける基礎梁も含みます。
1518	S-03 S-104	リニアック棟のマスコン範囲について	構造特記仕様書で該当範囲は遮蔽壁とありますが軸組図で同範囲は膨張剤入りコンクリートです。マスコンクリートではなく膨張剤入りコンクリートと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	特記仕様書を正としてください。
1519	S-03 S-50	病院棟のマスコン範囲について	構造特記仕様書で該当範囲は基礎・基礎梁とありますがピット床となるFS35の厚さ分は含まれないものと考えてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1520	S-03 建築工事特記仕様書P15	マスコンクリートの仕様について	混和剤とスランプの仕様が2種類ずつ記載されております。高性能AE減水剤、S18と考えてよろしいでしょうか。また特記仕様書よりセメントの種類は中庸熟ポルトランドセメントと考えてよろしいでしょうか。併せて御指示下さい。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1521 S-03・23・24・112	マスコンクリートの適用場所について	構造関係特記仕様書(2) 6章コンクリート工事において、6. 13. 1一般事項にマスコンクリートの適用場所が指示ありますが、具体的な範囲が不明です。下記を想定いたしますが宜しいですか。 ①新病院棟 — 基礎伏図に記載基礎・基礎梁 ②上記①に耐圧版FS35(K~M・7~8間)、免震層伏図のスラブFS35(全面)、バットレスRW20は含まれない ②リニアック — 遮蔽壁 ③上記②に屋根スラブ(T1, 500)は含まれる ④上記②に基礎梁は含まれない	①お見込みの通りです。 ②いずれもマスコンクリートでは考えていません。 ②お見込みの通りです。 ③お見込みの通りです。 ④遮蔽壁に取り付く基礎梁はマスコンクリートとします。
1522 S-03・35~45	混和材の使用範囲について	混和材の膨張材について使用箇所は軸組図に示すと記載されておりますが、記載が無い様に思われます。地下外周壁部分に採用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1523 S-03・35~45・50・51	コンクリート膨張剤の使用箇所について	構造関係特記仕様書(2) 6章コンクリート工事において、6. 3. 1コンクリートの材料に膨張剤の指示があり、「新病院棟の地下外壁に採用(使用箇所は軸組図に示す)」と指示がありますが、新病院棟の軸組図に範囲を示されていません。記載の通り、新病院棟の地下外壁に採用とし、範囲は下記を想定いたしますが宜しいですか。 ①擁壁リスト(1)・(2)にて、MFL-100より上部のRW35 ②RW35上部の免震EXP. J下スラブ及び立上りも含む	お見込みの通りです。
1524 S-03	コンクリート膨張剤の仕様について	上記に続きますが、膨張剤の仕様が不明です。御指示下さい。	添加量は20kg/m3とします。デンカパワーCSAタイプS同等品としてください。
1525 S-03・77・78 特記仕様書P43	鉄骨錆止め塗装の塗装回数について	鉄鋼面錆止め塗装2回塗りについて、仕様が不明です。工場2回塗りを想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。ただし、現場におけるタッチアップは含みます。
1526 S-4	鉄筋の重ね継手及び定着の長さについて	コンクリート強度Fc42における鉄筋の重ね継手及び定着の長さについて、Fc36と同様に考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1527 S-08	梁貫通孔補強(H形)の配筋について	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)7-4に「表7-1-1 H形配筋」が記載ありますが、配筋種別H1~H7の使い分けが不明です。配筋種別が判断出来る資料の発行をお願い致します。	梁貫通孔補強は既製品とします。構造別図1を参照してください。
1528 S-8 S-24 A-19	釜場の配筋について	釜場の配筋について、寸法が2000角とありますが、構造配筋標準図の基礎スラブピット(1000以内)に倣うと考えてよろしいですか。異なる場合は詳細をご指示下さい。	お見込みの通りです。
1529 S-08・24	土間コンクリート誘発目地の有無について	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5) 7-2土間コンクリートにおいて、誘発目地要領の指示がありますが、新病院棟は構造スラブの為、該当場所無しと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1530	S-09～12	梁継手部・柱廻りデッキ受けの仕様について	鉄骨構造基準(1)～(4)において、梁継手部・柱廻りデッキ受けの指示がありません。仕様を御指示下さい。	S-65図によります。
1531	S-11・69・70	鉄骨柱仕口ダイヤフラムについて	鋼管・角形鋼管柱仕口ダイヤフラムについて詳細が不明です。下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕口最上下:通しダイヤフラム 梁フランジ2UP又柱厚以上 C材 ・仕口中間:内ダイヤフラム 梁フランジ2UP B材	S-10,69の要領としてください。
1532	S-12、S-69、70	鉄骨梁継手工法	鉄骨梁2G～8Gの鉄骨梁継手工法は、S-12図のノンブラケットタイプ梁継手標準と考えると宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1533	S-12・35～45	大梁継手について	2～8FL大梁継手についてCG梁以外の梁は全てノンブラケット継手と考えて宜しいでしょうか。 またノンブラケット継手標準図よりノンブラケットGPL厚は全てPL-16と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1534	S-18	F.T.PILE杭頭処理について	FTキャップ仕様採用に当たり、大成建設からの『施工指導・品質管理支援』と記載してありますが、具体的にはどのような内容になるのでしょうか。又、その費用につきましては、見積にどのように反映すればよろしいでしょうか。御指示下さい。	施工体制図は構造評定委員会の指示により掲載したものです。施工体制図右側のFTPile構法既製杭協会会員会社による施工であれば、大成建設とのやり取りは特に必要ありません。したがって、見積に反映する必要は特にありません。
1535	S-18	FTキャップの採用について	大成建設の大臣認定品のため、同等品で見積もってよろしいでしょうか。	設計図の通りとしてください。
1536	S-22・102・206	試験杭の試験内容について	既製コンクリート杭における、根固め部ソイルセメントの未固結状態の材料の、直接採取による圧縮強度試験の指示がありません。必要と判断いたしますが、宜しいですか。	お見込みの通りですが、大臣認定取得条件による品質管理試験は考慮してください。
1537	S-22・S-47	杭長さについて	浄化槽及び病院の杭長さが記載されていますが、事前調査や試験杭などによる調整などは考えなくてもよろしいでしょうか。調整する場合、費用精算頂けるとしてよろしいでしょうか。御指示下さい。	杭長さは図面に記載された長さを正として見積をしてください。施工段階において調整が必要となった場合は別途協議とします。なお、参考数量書においては、20%の杭本数に対して杭頭カットを見込んでいます。
1538	S-23 A-31	耐圧スラブのレベルについて	耐圧スラブの下端レベルについて S-23図 GL-4600 (特記なき) A-31図 GL-3250 (GL-2900 + t350) とありますが、A-31図を正と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1539	S-24 S-55	免震下部基礎について	免震下部基礎リストMF21とMF22が伏図に記載がありません。不要と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1540	S-26 S-65	CDS20の型枠について	合板型枠と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1541		免震ピットの耐火被覆について	免震装置廻りおよび1階鉄骨梁には不要と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。	必要です。
1542	S-26,S-60	SRC部鉄骨大梁の継手仕様について	1F部のSRC大梁は、ブラケット方式ですが、継手リストがありません。継手リストをご提示ください。	S-13図によります。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1543	S-26～32・65	スラブ段差補強の適用範囲外について	1～7階伏図において、床段差は最大H400迄ありますが、スラブ納まり要領図のスラブ段差ではH200迄の指示しかありません。H200を超えた場合、7階将来対応スラブの納まり(スタッドボルトは無し)を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。ただし、H250～400は頭付きスタッドφ16@200を設けます。
1544	S-26～33・65・66・77・78	ニューフェローデッキの採用について	1～8階床伏図及びスラブリストにおいて、スラブは全面型枠デッキの指示ですが、ニューフェローデッキの指示もあり、何れを採用するか不明です。入札条件は下記の何れか御指示下さい。 ①1～8階床全て型枠デッキ ②ニューフェローデッキ配置図(1)・(2)にて指示がある範囲は、ニューフェローデッキにて見込む	②とします。
1545	S-26～34、77、78	スラブ仕様について	各階伏図とフェローデッキ配置図でスラブの使用が異なります。スラブ配置はフェローデッキ配置図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1546	S-26～34・77・78	地上階の在来スラブについて	ニューフェローデッキ配置図で、白抜き部分が在来スラブと記入がありますが、これは1～R階床伏図で特記除きで記載のあるDS15及びDS20と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1547	S-26他	長大建物のため床ひび割れ及び免震装置の水平変形抑制について	建物が長い床スラブのひび割れリスク、免震装置の水平変形のリスクが大きいですと考えます。7通、I通及びQ通に後打ち帯(幅50cm:膨張剤Con)を設けるとしてよろしいでしょうか。(1F-5F)及び(6F以上は6通及びL通の2ヶ所)	お見込みの通りです。
1548	S-27～33 S-65 A-34	片持ち床版 補強について	片持ち床版の補強について、1階CSD20及び2～8階CSD15他の片持ち床は外部に面する為、デッキスラブではなく在来型枠と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1549	S-27他	大梁パネル変形が卓越する床スラブのひび割れ防止について	長尺シートなどひび割れに敏感な仕上げが多いため、スパン15-12mの大梁パネル部分のDS15スラブは配力筋方向の大梁上部でのひび割れのリスク大きいと考えます。配力筋(大梁上L=1.5m)にひび割れ補強筋D10@200を追加すると考えてよろしいでしょうか。(各階共通)	設計図の通りとします。
1550	S-29	4F 二重床について	I-M、⑦-⑬の範囲が二重床になっている意図をご教示ください。	将来可変のためです。
1551	S-30～32	5～7階外壁下受け梁の用途について	5～7階床伏図において、I通り12～13通り間に小梁SB40の指示がありますが、何用の鉄骨か不明です。外壁受けの小梁と想定し、5～8階の1通り・6通り・I通り・U通りの持出し部分に必要といたしますが、宜しいですか。	床スラブ受け用小梁です。各階伏図の通りとしてください。
1552	S-32	7F 二重床について	各病棟の中央部が二重床になっている意図をご教示ください。	将来可変のためです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1553	S-33 A-110	スラブ底型枠について	8階床伏図T-U、1-2間の一部で S-33図 DS15(フラットデッキ) A-110図 (J)打放補修 外装薄塗材E とありますが、A-110図を正とし在来型枠と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1554	S-33 A-34 A-110	スラブ底型枠について	床伏図外周片持ちスラブについて S-33図 CDS15(フラットデッキ) A-34・110図 (J)打放補修 外装薄塗材E とありますが、A-34・110図を正とし在来型枠と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1555	S-35～46 S-61～63	鉄骨大梁の継手形式と 仕様について	軸組図より、大梁はノンブラケット工法に見受けられますが、ウェブの継手 仕様が不明です。継手仕様をご指示ください。また、ブラケット形式の場 合、フランジとウェブの継手リストを併せてご指示ください。	S-12図によります。 ブラケット形式の継手リストはS-13図によります。
1556	S-35図～45図	鉄骨梁端部継手位置	各軸組図の鉄骨大梁について、スパンが長い大梁は中央部分に継手位置 の指示はありますが、鉄骨大梁端部の継手位置が記載ありません。継手 位置を御指示下さい。	S-12, § 13によります。
1557	S-37	ロングスパンノンブラケット梁の 中間継手について	7通り(I-K間)GX5他、ロングスパンノンブラケット梁の中間継手についてフランジ・ ウェブ共にプレートタイプと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1558	S-38・39・27・28	片持ち梁の符号について	11・12通り軸組図において、2・3階I通り側の片持ち梁符号が不明です。 2・3階床伏図よりCGX2を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1559	S-39・26	梁の符号について	12通り軸組図において、1階I～K通り間の梁符号が不明です。1階床伏 図よりGX5を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1560	S-44・27～29	片持ち梁の符号について	R通り軸組図において、2～4階1通り側の片持ち梁符号が不明です。2～ 4階床伏図よりCGY2を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1561	S-50-51	地表面に出るスラブの ひび割れ防止について	ひび割れ防止のため、誘発目地をピッチ@3.0m程度で設置すると考えて よろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1562	S-52他	免震装置の鉄部について	積層ゴムのフランジ・ボルト・ベースPL、および直動すべり支承・減衰コマのベ ースPL・エントPL・ボルトは垂鉛メッキ仕様と考えてよろしいでしょうか。	S-16,17図によります。
1563	S-54	免震装置下部のアンカーボ ルト用補強筋について	免震装置基礎リスト(1)において、MF1～MF12の免震装置下部にアン カーボルト用補強筋の指示がありますが、鉄筋径及び長さが不明です。 御指示下さい。	S-52図によります。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1564	S-54	免震装置下部の基礎 配筋について	免震基礎リストで免震装置下部の基礎にアンカーボルト用補強筋の記入がありますが、径・長さが不明です。御指示下さい。	S-52図によります。
1565	S-55	免震下部基礎の配筋について	免震下部基礎MF24の配筋について、 断面 13-D16 B断面下部基礎 11-D16 とありますが、断面13-D16を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1566	S-59	柱エレクションピース詳細について	柱エレクションピース詳細を御指示下さい。	参考数量書においては、①柱側取付けプレート:PL-19(SS400), ②①の添板:2-PL-12(SS400), ③内ダイアフラム:PL-19(SN490B), ④ボルト:6-M20(F10T)/1面 を、各柱継手4面に見込んでいます。
1567	S-60	定着方法の確認	1FのSRC大梁のMF基礎取合い部分の梁主筋はRC被覆内にアンカー(鉄骨手前アンカー)納まりとしてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1568	S-65	1階SRC梁～床取合について	フラットデッキおよびニューフェローデッキの掛り代として梁側面に厚10の打ち増しがあるものと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	増打ち無しとしてください。
1569	S-65	2重スラブの型枠種別について	上下共に合板型枠と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	消火水槽上部スラブは合板型枠としますが、それ以外はフラットデッキ型枠とします。
1570	S-65	吊りビットスラブの型枠について	合板型枠と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	フラットデッキ型枠とします。
1571	S-65	フラットデッキプレートの厚みについて	スラブリストにおいて、フラットデッキプレートの厚みが不明です。御指示下さい。	t=1.6mmとします。
1572	S-65	鉄筋～鉄骨梁取合いの取合いについて	スラブ納まり要領図において、5階二重スラブ及び、7階将来対応スラブに鉄骨梁の側面部にD13@200(L=500+500)の指示がありますが、「ウェブ孔明けのうえ通し筋」、「スタッド溶接」の何れか不明です。ウェブ孔明けのうえ通し筋と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1573	S-65	スラブ段差部鉄骨梁側面増打補強について	スラブリストのスラブ納まり要領図において、5階二重スラブの梁側面増打ち配筋が不明です。7階将来対応スラブ同様と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1574	S-65	コンクリートの強度について	スラブ納まり要領図のCDS20について、コンクリート強度はFc24N SL18と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1575 S-65 A-032~038	片持ち床版の型枠について	片持ち床版の型枠材に相違があります。 ・スラブリスト(片持ち床版) — 流れ止めプレート+補強鉄骨 ・矩計図(2)~(8) — RC下地補修+フッ素樹脂塗装 見え隠れ部分は「流れ止めプレート+補強鉄骨」、見え掛り部分は「RC下地補修+フッ素樹脂塗装」を想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1576 S-65 S-77~78	在来スラブについて	フラットデッキは全て厚1.6と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1577 S-66	ニューフェローデッキ連結筋の施工箇所について	ニューフェローデッキ設計標準仕様書(S)において、梁上連結筋の位置が明確ではありません。レ連続梁とはせず、デッキ短辺方向(主筋方向)と直交する大梁上、小梁上の全てに必要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1578 S-68	コンクリートの強度について	デッキスラブに取付く柱脚及び設備基礎等のコンクリート強度はFc21N SL18と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1579 S-69	大梁継手について	1FL大梁ブラケット継手は全てフランジ現場継手と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1580 S-69・70・76	鉄骨柱の現場溶接部エレクトロシボンの仕様について	鉄骨架構詳細図(1)・(2)及びヘリポート・連絡ブリッジ鉄骨詳細図において、柱現場溶接部にエレクトロシボンの指示がなく、仕様が不明です。柱サイズ毎に御指示下さい。	参考数量書においては、①柱側取付けプレート:PL-19(SS400), ②①の添板:2-PL-12(SS400), ③内ダイアフラム:PL-19(SN490B), ④ボルト:6-M20(F10T)/1面 を、各柱継手4面に見込んでいます。
1581 S-73	階段について	階段詳細図(1)のE部詳細図に記載のベースプレートのD寸法についてD=150程度と考えるとよろしいですか。	お見込みの通りです。
1582 S-75	階段4について	階段詳細図 階段4のkp(間柱)について、1階平面図に記載がありませんが、断面図Sec.X1よりkp(間柱)を1か所見込んでよろしいですか。	お見込みの通りです。
1583 S-79	梁貫通孔の構造種別について	梁貫通孔数量図(1)【参考図】において、1階床伏図はS梁とSRC梁の2種類ありますが、数量分けされていません。SRC梁の場合、鉄筋による補強も必要となる為、区分が必要です。S梁とSRC梁それぞれの箇所数を御指示下さい。	それぞれの仕様は構造別図2を参照してください。 梁貫通孔にの数量についてはS梁のみを見込んでください。
1584 S-79	鉄骨梁貫通スリーブについて	1階床伏図梁貫通スリーブについて全てS梁と考えると宜しいでしょうか。SRC梁範囲が御座いましたら対象か所数を御指示下さい。	お見込みの通りです。
1585 S-81	ロータリー底の浅層混合処理工法の仕様について	底1(ロータリー底)鉄骨詳細図(1)において、基礎下浅層混合処理工法の指示がありますが、仕様が不明です。固化材料及び添加量を御指示下さい。	セメント系固化材 添加量60kg/m ³ とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1586	S-81	基礎下の地盤改良について	基礎下の地盤改良について、「改良体下端レベルは既存躯体下端(解体時に地盤を乱した範囲)までとする。」とありますが、H=1000程度を見込むと考えるとよろしいですか。	H=3900mmとします。
1587	S-81	庇1 基礎下地盤改良について	庇1(ロータリー庇)鉄骨詳細図(1) 基礎下に地盤改良の記入がありますが、添加量が不明です。御指示下さい。	セメント系固化材 60kg/m ³ とします。
1588	S-81	庇1 基礎下地盤改良について	上記地盤改良の改良下端レベルは既存躯体下端と記入がありますが、既存躯体の下端レベルが不明です。御指示下さい。	下記の解体図を参照してください。 既存本館:131~148枚目。既存東館:365~377枚目。既存共同溝:289~292, 409~411枚目。追加資料:既存救急センター構造図、構造別図6を参照ください。
1589	S-81 K-004	ロータリー庇基礎の地盤改良下端レベルについて	庇1(ロータリー庇)鉄骨詳細図(1)において、基礎下浅層混合処理工法に「※改良体下端レベルは既存躯体下端(解体時に地盤を乱した範囲)までとする」と指示がありますが、判断出来ません。解体手順図(4)より「既存躯体FL-2, 550以上撤去」と指示がある為、改良体下端レベルは1F L-2, 550と判断して宜しいですか。	改良体下端レベルは、GL-5500とします。
1590	S-82 A-033	ロータリー庇の高さについて	I通り側ロータリー庇の梁天端レベルに相違があります。 ・庇1(ロータリー庇)鉄骨詳細図(2)・(3) — GL+3, 915 ・矩計図(3) — GL+2, 905 GL+3, 915を正として宜しいですか。	お見込みの通りです。
1591	S-101	剪断補強筋加工W-1形使用範囲について	フープ・スターラップ形状にW-1形が記されておりますが、使用範囲の記載が無い様に思われます。該当範囲は柱の一般部帯筋のみ、柱仕口帯筋、基礎梁・梁肋筋はH形と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1592	S-108	基礎梁リストのLFGY11について	基礎梁リストのLFGY11の寸法について、 断面 600x3000 リスト 600x2800 とありますが、断面を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1593	S-113 A-019	梁貫通孔の数量について	梁貫通孔数量図【参考図】において、RC梁貫通孔径毎の指示数量(φ600+φ200+φ100)は、基礎伏図・ピット平面図に指示がある人通口(φ600)+通気管(φ150)+通水管(φ150)の事を示していると想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1594	S-113 A-019	梁貫通孔の数量について	上記に続きますが、梁貫通孔数量図【参考図】と基礎伏図・ピット平面図が同じ部材を示している場合、径とか所数に相違があります。 ・ピット階平面図、基礎伏図 — 人通口φ600:12か所、通気管φ150:26か所、通水管φ150:26か所 ・ピット階平面図 — φ600:13か所、φ200:28か所、φ150:27か所 ピット階平面図、基礎伏図を正と考えて宜しいですか。	ピット階平面図による数量を正としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1595	S-206 S-207	埋め戻しについて	JX5-JX6、JY1-JY3間について S-206図 ピット有 JFS45 (埋戻しの印無し) S-207図 ピット無 JFS30 (下部は埋戻し) とありますが、S-207図を正と考えてよろしいですか。	お見込みの通りです。
1596	S-206 S-207 S-216	配管トレンチの基礎について	配管トレンチ配筋詳細図(1)JY通-8000にある基礎について、配筋をご指示下さい。	構造別図3を参照してください。
1597	S-206・207 A-325～327 E-028	重油地下タンクの納まりについて	1階平面図において、X5～6通り間の重油地下タンク置き場の指示がありますが、断面図等がなく、地下部の意匠が不明です。下記を御指示下さい。 ①発電設備機器姿図に記載の乾燥砂の有無、範囲 ②1階スラブ天端レベル(1FL-830)～マンホール迄のRC立上り ③タンク下のRC基礎詳細	①乾燥砂ありとし、躯体内全てとしてください。 ②RC立上りありとし、GLレベル、躯体レベルにそれぞれマンホール設置とします。 ③構造別図5の配筋要領としてください。
1598	S-206・213・216	配管トレンチ基礎リストについて	配管トレンチ部 基礎D寸法がSec.Aでは800mmと思われませんが基礎リストに該当する基礎リストがありません。御指示下さい。	構造別図3を参照してください。
1599	S-207	土間コンクリートについて	浄化槽と液酸タンク置場の間に土間コンクリートとありますが、下記の項目をご指示下さい。 ・コンクリート強度 ・厚み ・配筋	Fc18、スランプ値は15cmとし、S-07図を参照してください。
1600	S-207	液酸タンク置場について	浄化槽棟 1階床伏図 液酸タンク置場(雑配筋詳細図2参照)の記入がありますが、ますがコンクリート強度は浄化槽強度Fc-27 S-18と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい	Fc24、スランプ値は18cmとします。
1601	S-207	土間コンクリートについて	浄化槽棟 1階床伏図 JY5-6間に土間コンクリートの記入がありますが、コンクリート強度及び断面・配筋等が不明です。Fc-21N S-18、D10@200ダブルクロス程度と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	Fc18、スランプ値15cmとし、S-07図を参照してください。
1602	S-207	土間コンクリート仕様について	土間コンクリートが1階床伏図に配置されておりますが、厚みは150mm、配筋はD10@200シングルクロス、コンクリート仕様は強度補正無しのFc18N/mm2、スランプ値15cmと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	Fc18、S=15cmとし、S-07図を参照してください。
1603	S-207 A-325	断熱材及び防湿シートについて	地下1階平面図X4-X5間のRI処理室のスラブ下に断熱材及び防湿シートを下記の様に見込んでよろしいですか。 ・断熱材 t=25 ・防湿シート ポリエチレンフィルムt=0.15	お見込みの通りです。
1604	S-207・A-327	配管トレンチについて	浄化槽棟配管トレンチ JY1通り～新病棟接続(EXP.J)までの配管トレンチ長さが、B1階床伏図ではL10805ですが、Y3断面図ではL9000と相違しています。L9000を正と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正としてください。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1605	S-216	配管トレンチについて	浄化槽棟雑配筋詳細図1・配管トレンチ 断面の杭頭部～トレンチ底盤までH=500部の配筋が不明です。御指示下さい。	構造別図3を参照してください。
1606	S-216	配管トレンチのコーナー補強について	配管トレンチ部 耐圧・床～壁のコーナー補強筋について継手が発生する場合、重ね継手と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1607	S-217	液酸タンク置場のコンクリート強度について	タンク置場のコンクリート強度は浄化槽に倣ってFc27Nと考えてよろしいですか。	Fc24、スランプ値は18cmとします。
1608	S-301	柱脚コンクリート使用場所について	コンクリートの仕様表 使用箇所に2階床・柱脚と記載がありますが、柱脚の配筋断面等見受けられません。必要な場合、断面・高さ等が判断出来る図面を御指示下さい。	BxD=550x550、高さは1FL+100までとし、配筋D13@200タテヨコとしてください。
1609	S-301～305 R-013	柱脚について	寸法、高さ、配筋等の詳細が記載されておりません。御指示下さい。	BxD=550x550、高さは1FL+100までとし、配筋D13@200縦横共とします。
1610	S-304	合成デッキについて	メッシュ筋φ6-100×100または異形鉄筋D10@200とありますが、異形鉄筋と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1611	S-304	デッキスラブ内の配筋について	スラブリストにおいて、DS1は「メッシュ筋φ6×100×100又はD10-@200」と指示がありますが、何れを採用するか不明です。D10-@200と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1612	S-304	スラブリスト鉄筋種類について	スラブリストDS1にて、メッシュ筋φ6×100x100又はD10-@200と記載があります。見積上はD10-@200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1613	E-003	太陽光発電設備について	太陽光発電設備について、工事区分表-1に「太陽光発電システム機器及び取付下地(アンカーボルト共):電気工事」とありますが、図面に記載がありません。別途工事と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通りです。
1614	E-003	電話機器の工事区分について	構内交換設備において、図面E-003工事区分表では電話機器の配線及び機器設置工事費は本工事ですが、図面E-209の凡例では電話交換機(移設)は別途工事と記載されています。尚、参考数量書566、567では、機内ユニット及び移設工事費が1式と記載されています。工事区分について再度御指示下さい。	電話交換機(移設)は本工事とします。
1615	E-004	情報システム機器の工事区分について	構内情報通信設備において、図面E-004工事区分表では情報システム機器の配線及び機器設置工事費は別途で、配管が本工事で区分けされていますが、図面E-209の凡例には情報モジュラーの仕様が記載があり、参考数量書569では電線1式、情報用アウトレット1式と記載されています。工事区分について再度御指示下さい。	情報用アウトレット及び電線も本工事とします。電線は空配管の導入線を示します。
1616	E-004,E-275	入退室管理設備の工事区分について	E-004の工事区分表では『電気工事』となっていますが、E-275の区分表では『機器納入据付:防犯設備工事』、『配管配線他:電気工事』となっております。『機器納入据付』は別途工事と考えて宜しいでしょうか。	防犯設備工事、電気工事共に全て本工事です。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1617	E-005, E-013	切替図について	切替図について、3、5図は予備回線有の場合に成立するので、参考資料と考えてよろしいでしょうか。(同様の質問複数あり)	切替図については参考図とします。E-005図、E-013図、E-029図に於いて、予備線高圧ケーブル、構内柱、装柱材を本工事で見込んでください。
1618	E-006	コンセントポールについて	屋外構内配電図において、コンセントポールの記載がありますが、仕様が不明です。高さ等の仕様を御指示願います。	パナソニック株式会社WK4602SK+DDP100S同等品としてください。
1619	E-006	PASの仕様について	構内配電線路設備において、高圧受電点区分開閉器(PAS)の仕様になりますが、図面E-006にはPAS7.2KV 300Aと記載ありますが、所内キュービクルの変圧器容量に比べ容量が小さいと思いますがよしいでしょうか。(参考数量書P599は開閉器箱1式としか記載されていません。)	設計図の通りとします。
1620	E-008	受変電設備の予備線について	電力引込工事において、予備線が将来別途工事となっています。上記に伴い、E-009に記載の③、④の予備線の高圧引込盤、予備線高圧受電盤は未実装(函体のみ)と考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	盤内高圧母線、断路器は本工事とします。真空遮断器、計器類、継電器類は将来別途工事としますが、将来、取付可能なよう加工は必要とします。
1621	E-029	受変電設備の予備線について	上記に伴い、E-029の系統図上に記載のあるビット内及び縦幹線の高圧予備線は、無し(空配管対応)と考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	E-005図、E-013図、E-029図に於いて、予備線高圧ケーブル、構内柱、装柱材を本工事で見込んでください。高圧ケーブル、構内柱、装柱材の仕様・寸法・員数はE-029図を参照願います。
1622	E-034	受変電設備の予備線について	上記に合わせE-034の平面図に記載の横引き高圧予備線は、無し(空配管対応)と考えてよろしいでしょうか。	高圧予備線ケーブルは本工事で見込んでください。高圧ケーブルの仕様・寸法・員数はE-029図を参照願います。
1623	E-008	3階電気室変圧器仕様について	変圧器は『トップランナー仕様』と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1624	E-008,011	Trの多層化について	TRの多層化について、3φ500kVAに多相化を実施しなくても宜しいでしょうか。(同様の質問複数あり)	お見込みの通りです。
1625	E-022,025	直流電源装置配電盤の回路構成について	上記の質疑に伴い、E-022の配電盤回路構成が正とした場合、配電盤内の結線は、E-025単線結線図記載の分岐回路結線を基に、『キュービクル操作電源、監視電源以外の回路』については『交流・直流出力』に分類すると考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1626	E-008, E-011	Trの防振装置について	Trの防振装置について、防振や防音対策は実施しなくても良いと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	特記仕様書に記載の耐震施工は必要です。
1627	E-008, E-011	変圧器の多層化について	変圧器において、3φ500kVAは多層化については対象外と考え、多層化は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1628	E-008, E-011	変圧器の防振装置について	変圧器の防振装置について、防振ゴムによる防振や防音対策と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1629	E-010,032他	屋内ケーブルラックの仕様について	幹線設備平面図の強電用ケーブルラックの材質ですが、『Z35(亜鉛メッキ)』の記載がありますが、電気室詳細図では『Z(鋼板製)』の記載があります。屋内ケーブルラックについては、強電用、弱電用共『Z(鋼板製)』と考えて宜しいでしょうか。	屋内ケーブルラックについては、強電用、弱電用共ZM(公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)記載)とします。
1630	E-011	変圧器の容量について	屋上キュービクルの単相変圧器の容量ですが、単線結線図と配電盤名称リストで異なります。単線結線図の容量を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1631	E-011,029	発電機の高圧幹線ケーブル仕様について	E-011図ではFPTケーブルですが、E-029図ではCVTケーブルです。FPTケーブルを正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1632	E-012	基礎の向きについて	屋上キュービクルの基礎の向きですが、側面図を正と考えてよろしいでしょうか	建築図を正とします。
1633	E-013	受変電設備の切替について	電力引込工事において、予備線が将来別途工事となっています。そのため、E-013図の高圧切替のシーケンスは実装不可となります。動作試験や作動確認についてもできないため、本線停電時に予備線切替のシーケンスと予備線停電時のシーケンスは、不要と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	お見込みの通りです。
1634	E-022,025	直流電源装置配電盤の回路構成について	E-025図の単線結線図記載の配電盤回路とE-022直流電源装置の配電盤回路の構成が異なります。E-022の配電盤図の回路構成を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1635	E-026	屋外設置機器の塗装について	発電機設備特記仕様に『屋上に設置の機器について耐塩塗装のこと』と記載がありますが、他の機器については『耐塩塗装』の指定がございません。屋外設置機器については、発電機も含めて耐塩塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。	発電機設備のみ耐塩塗装とします。
1636	E-028	乾燥砂充填について	乾燥砂充填について、不要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	燃料地下タンクは機械設備工事です。
1637	E-028	乾燥砂充填について	乾燥砂充填について、不要と捉えて宜しいでしょうか。	燃料地下タンクは機械設備工事です。
1638	E-029	ケーブルラックサイズについて	幹線系統図において、縦系統のケーブルラックサイズ、仕様が記載されておらず不明です。ケーブルラックサイズを御指示願います。	階段3南側EPS内は1階から7階まで全てZM-1000B×3とします。他の縦系統は全てZM-1000B×1とします。
1639	E-029	強電ケーブルラックのサイズについて	強電用ケーブルラックのサイズについて、縦系統のラックサイズ及び本数の記載がございません。ご指示ください。	階段3南側EPS内は1階から7階まで全てZM-1000B×3とします。他の縦系統は全てZM-1000B×1とします。
1640	E-030,005	接地極種別及び数量について	電力引込図に記載の接地極種別・数量と、接地線系統図の接地極種別・数量の記載内容が異なります。接地線系統図を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1641	E-030,188,202	プルボックス(WP)の材質について	ヘリポート照明設備の凡例にプルボックスWPは『亜鉛メッキ仕上』と記載がありますが、他の設備凡例では全て『防水 SUS製』と記載があります。『防水 SUS製』を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1642	E-030, E-188, E-202	接地について	接地について、一般接地は単独+SPD経由での統合接地及び分電盤函体に構造体より直接接地、医療接地は接地極+構造体よりの接地、避雷設備は接地局より構造体に溶接+屋上避雷針より構造体溶接と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	お見込みの通りです。
1643	E-031,039	ピット,屋外ケーブルラックの仕様について	ピット,屋上設置の強電用ケーブルラックの仕様ですが、『Z35』と『ZAM』が併記されています。『高耐食亜鉛メッキ鋼板製(商品名:ZAM等)』を正と考えて宜しいでしょうか。	Z35を正とします。
1644	E-031,039	ピット,屋外ケーブルラックのカバーについて	ピット,屋上設置の強電用ケーブルラックの屋外カバーですが、ラック上面のみに設置すると考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1645	E-040~046 E-158~172	動力設備の接続について	動力設備平面図において、空調機、換気設備等の天井設置機器が天井付コンセントによる接続となっているように記載されています。電源は機器への直接接続も可と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	病室内ウォールケアユニットは建築工事とします。
1646	E-101~102	照明器具メーカーについて	照明器具姿図の一部にて、メーカー特有の姿図となっています。各照明器具メーカーにて、同様な機種にて代替が可能として宜しいでしょうか。	監督職員の承諾を得て同様な機種にて代替が可能とします。
1647	E-101~103	照明器具の仕様について	照明器具姿図 E-101, 102,103図において、参考型番が記載されておらず見積が困難です。姿図の同等品のメーカー及び参考型番を御提示願います。	東芝ライテック株式会社、パナソニック株式会社、三菱電機照明株式会社、株式会社ヤマギワより見積徴収願います。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1648	E-150	コンセント(発電機回路)の通電表示ランプについて	凡例では、『発電機回路のコンセントは電源表示灯付とする』と記載がありますが、注記10. では『医用コンセントの内、発電機回路のコンセントは通電表示ランプ付』とあります。後者を正とし『医用コンセントの発電機回路』のみ通電表示ランプ付と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1649	E-173	病室内のウォールケアユニットについて	病室内ウォールケアユニットは別途工事と考えて宜しいでしょうか、御指示願います。 本工事となる場合、型番と仕様を御指示願います。	病室内ウォールケアユニットは建築工事を参照してください。
1650	E-184	3階厨房内の手元開閉器仕様について	3階厨房内の手元開閉器について、防水仕様は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1651	E-203, E-204	電話設備について	電話設備について、既設の電話交換機・電話機器メーカーについてメーカー名を御指示下さい。	富士通株式会社です。
1652	E-203, E-204	電話設備について	電話設備について、既設の電話交換機等の機器の移設工事は別途工事と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	本工事とします。
1653	E-204他	構内交換設備の既設メーカーについて	構内交換設備はPBXが既設機器の移設となるため、新設機器についてもメーカーが限定されます。既設納入メーカー及び施工代理店名、担当者及び連絡先をご教授ください。	メーカーは富士通株式会社です。施工代理店は株式会社宇式通信システム(静岡市葵区)伏見氏担当です。
1654	E-204他	構内交換設備の工事区分について	E-027他図面の凡例では『電話交換機(移設品):別途工事』の記載があります。E-024記載の機器の内、既設機移設品の移設設置工事については『別途工事』と考えて宜しいでしょうか。	本工事とします。
1655	E-204他	構内交換設備の工事区分について	上記質疑に伴い、既設機器移設、新設機器設置を含めた『試験調整費用』については、本工事と考えて宜しいでしょうか。	本工事とします。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
1656	E-218	テレビ4k/8K対応について	BS/CSアンテナ及び機器について、4K・8Kの対応について記載がありません。対応無しで宜しいでしょうか。	アンテナ及び機器の仕様は公共建築工事仕様書(電気設備工事編)、公共建築工事標準図(電気設備工事編)によります。
1657	E-275	防犯・入退室管理設備仕様について	E-275に記載内容について、メーカー特有の情報が記載されています。各防犯機器メーカーの同等のものにて代替が可能なものとしての見積りで宜しいでしょうか。 ※センター装置にログイン方法が『キーボードのみ』・『カード+キーボード』のどちらか⇒『キーボードのみ』等	各防犯機器メーカーの相当品とします。
1658	E-275・A-120・002・003	電気錠の制御盤について	建具共通事項・工事区分表において、電気錠制御盤が建築工事の指示ですが、防犯・入退室管理設備で制御盤は防犯設備工事で相違がありません。防犯設備工事を正と考えて宜しいですか。	電気設備工事(防犯・入退室管理設備)とします。
1659	E-275・A-120・002・003	電気錠の制御盤について	上記質疑において、制御盤が建築工事の場合、下記について御指示下さい。 ①制御盤の個数 ②制御盤の設置位置 ③制御盤の機器の同等メーカー・品番	電気設備工事(防犯・入退室管理設備)とします。
1660	E-291、292	火災報知設備受信機仕様について	火災受信機の仕様について、アドレス数が4080と記載されていますが、実装のアドレス数は1784となっています。必要な予備数について、御指示下さい。 アドレス数4080及び履歴機能10分間のトレンドグラフ等の仕様で、メーカーが限られますが、各防災メーカー同等品での代替が可能として宜しいでしょうか。	各防災メーカーの相当品とします。
1661	E-304～307	中央監視メーカーについて	中央監視の保有機能について、メーカー特有の機能が記載されています。各中央監視メーカーにて、同様な機種にて代替が可能として宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1662	E-321	中央監視設備の配線ルートについて	中央監視制御設備においてケーブルラックの記載がありますが、中央監視設備用にケーブルラックを敷設すると考えて宜しいでしょうか、御指示願います。	幹線設備のケーブルラックを兼用するものとします。
1663	E-321他	中央監視光ケーブルの施工について	中央監視設備のRS盤間等に敷設される光ケーブルですが、強電用ケーブルラック上に敷設されております。強電用ケーブルラックにはセパレーターが必要でしょうか。ご指示ください。	セパレーターを必要とします。
1664	E-337	検診センターの盤接続について	検診センターにおいて、既設1P-2に接続すると記載がありますが、盤改造は不要と考えて宜しいでしょうか。もし必要となる場合は改造費を御提示願います。	盤改造は不要とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1665	共通	インフラの切り回しについて	電気工事において、電気図に図示以外のインフラ切り回し工事は発生しないと考えて宜しいでしょうか。もし発生する場合、切り回し内容が分かる図面を御提示願います。	電気図に図示以外のインフラ切り回し工事は発生しないと考えて宜しいです。
1666	E-354～366	既存救急センターの改修工事について	STEP5の既存救急センター改修工事中の既存現病院利用について、現病院の使用部分におけるコンセントの増設やセキュリティ等に関して電気設備の既存改修は特に無いと考えて宜しいでしょうか。もし発生する場合は工事内容が分かる図面を御提示願います。	特に無いと考えてください。
1667	E-354～366	既存救急センターの改修工事について	STEP5の既存救急センター改修工事において、改修期間3か月についての基本料金は別途工事と考えて宜しいでしょうか。ご指示願います。	お見込みの通りです。
1668	M001,002	ダクトの防振について	特記仕様書にダクトの防振について記載が特に御座いません。対象流体、施工区分、防振材料等を具体的に御指示下さい。	特にございません。
1669	M001,002	ダクトのシールについて	特記仕様書にはダクトのシールを行う箇所の記載が特にございません。厨房排気及び特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統、クリーンルーム系統には必要と想定いたしますが宜しいですか。その他必要範囲がございましたら御指示下さい。	ダクトのシールを行う箇所は、厨房排気及び特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統、クリーンルーム系統とします。
1670	M-001,002	ダクトの防振について	特記仕様書にはダクトの防振については特に明記がございませんが不要と判断してよろしいでしょうか。必要な場合は、対象流体、施工区分、防振材料等を具体的に御提示下さい。	特にございません。
1671	M-001,002	ダクトのシールについて	特記仕様書にはダクトのシールを行う箇所の記載が特にございませんが、厨房排気及び特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統、クリーンルーム系統には必要と考えますが宜しいですか。その他必要範囲が御座いましたらご提示下さい。	厨房排気及び特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統、クリーンルーム系統はシールするものとします。その他は不要です。
1672	M001,002	ダクトの保温について	特記仕様書にダクトの保温有無については標準仕様書第2編によると記載がございます。次の通りに想定いたしますが宜しいですか。 外気 OA 全て保温 排気 EA 外壁1.0m保温 全熱交換器系統の保温については外壁より機器までのOA、EA、及び機器より制気口までのOAを保温対象と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1673	M001,002	ダクトの保温について	特殊排気(ステンレス鋼板)ダクトの保温有無も上記の一般排気に準拠するものと想定いたしますが宜しいですか。また保温材質、保温厚に関しても上記の通り標準仕様書に準拠するものと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。

質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答	
1674	M-001,002	ダクトの保温について	特記仕様書にはダクトの保温有無については標準仕様書第2編によると記載がございますが次の通りに判断いたしますがよろしいでしょうか。 外気 OA 全て保温 排気 EA 外壁1.0m保温 全熱交換器系統の保温については外壁より機器までのOA、EA、及び機器より制気口までのOAを保温対象といたしますがよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1675	M-001,002	ダクトの保温について	特殊排気(ステンレス鋼板)ダクトの保温有無も上段の一般排気に準拠するものと考えますが宜しいですか。又、保温材質、保温厚に關しても上段通り標準仕様書に準拠するものと致しますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1676	M001,002,P001,002	配管の保温について	歯科用配管(吸引・エア)、中材配管(純水)について中材配管のみ保温工事が必要と想定いたしますが宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1677	M001,002,P001,002	配管の保温について	特殊排水管の保温有無、保温仕様は汚水、雑排水に準拠するものと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1678	M001,002,P001,002	配管の保温について	地下ピット内の排水管の保温断熱工事は全て不要と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1679	M001,002,P001,002	配管の保温について	蒸気管(還り)、及び医療機器冷却水管の保温工事は不要と想定いたしますが宜しいですか。	蒸気管(還り)の保温工事は不要とします。 医療機器冷却水管の保温工事は必要、冷水管の保温仕様とします。
1680	M001,002,P001,002	配管の保温について	RO水管の保温は給水に準拠するものと想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1681	M-001,002,P-001,002	配管の保温について	特殊排水管の保温有無、保温仕様は汚水、雑排水に準拠するものと考えますが宜しいですか。又、地下ピット内の排水管の保温断熱工事は全て不要と考えますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1682	M-001,002,P-001,002	配管の保温について	蒸気管(還り)、及び医療機器冷却水管の保温工事は不要と考えて宜しいですか。又、RO水管の保温は給水に準拠するものと考えて宜しいですか。	蒸気管(還り)の保温工事は不要とします。 医療機器冷却水管の保温工事は必要、冷水管の保温仕様とします。 RO水管の保温は給水に準拠するものとします。
1683	M001,002,P001,002 参考数量表	配管、ダクト材料について	配管材料が特記M,P-001及び凡例M,P-002、参考数量表に相違があります。配管材料、ダクト材料については何れが正かご指示ください。	図番M-002、P-002の配管凡例・使用材料表を正とします。
1684	M-001,002,P-001,002 参考数量表	配管、ダクト材料について	配管(蒸気管)の配管材料が特記M-001と凡例M-002で異なります。参考数量表を含め配管材料、ダクト材料については何を優先に考えれば宜しいですか。	蒸気配管は、図番M-002の配管凡例・使用材料表を正とします。 配管材料、ダクト材料についても、図番M-002、P-002の配管凡例・使用材料表を正とします。
1685	M001,P001	配管の防振について	特記仕様書には配管の防振については特に明記がございませんが不要と想定いたしますが宜しいでしょうか。必要な場合は、対象流体、施工区分、防振材料等を具体的に御指示下さい。	特にごさいません。
1686	M001,P001	遮音について	特記仕様書には配管及びダクトの遮音工事については特に記載がございませんが不要と想定いたしますが宜しいでしょうか。必要な場合は、対象となる配管、ダクト、及び遮音材料の仕様を御指示下さい。	特にごさいません。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1687	M-001,P001	アスベストについて	既設撤去に伴うアスベスト調査、分析及びアスベストの撤去、処分について詳細が不明です。本工事にて見込む場合は対象材料、対応方法等を具体的に御指示下さい。	全て本工事とします。設計中のアスベスト調査は別紙参照ください。アスベスト調査は解体前に再度行うこと。分析及びアスベストの撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。撤去する、箇所部材は、図番M-703、P-801の表を参照すること。
1688	M-001,P001	工場検査について	製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督員の指示によるとの記載が御座いますが、現状見積時では工場検査費用は不要と想定いたしますが宜しいですか。	機械設備に関しましては工場検査費用は不要とさせていただきます。
1689	M-001,P-001	配管の防振について	特記仕様書には配管の防振については特に明記がございませんが不要と判断してよろしいでしょうか。必要な場合は、対象流体、施工区分、防振材料等を具体的にご提示下さい。	特にございません。
1690	M-001,P-001	遮音について	特記仕様書には配管及びダクトの遮音工事については特に記載がございませんが不要と判断してよろしいでしょうか。必要な場合は、対象となる配管、ダクト、及び遮音材料の仕様をご提示下さい。	特にございません。
1691	M-001,P-001	アスベストについて	既設撤去に伴うアスベスト調査、分析及びアスベストの撤去、処分については該当無し、又は別途工事と考えますが宜しいですか。本工事にて見込む場合は対象材料、対応方法等を具体的にご提示下さい。	全て本工事とします。アスベスト調査、分析及びアスベストの撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。撤去する、箇所部材は、図番M-703、P-801の表を参照すること。
1692	M-001,P-001	工場検査について	製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督員の指示によるとの記載が御座いますが、現状見積時では工場検査費用は不要と考えますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1693	M-001、M-002	ダクトのシールについて	特記仕様書にはダクトのシールを行う箇所の記載が特にございませんが、厨房排気及び特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統、クリーンルーム系統には必要と考えますが宜しいでしょうか。その他必要範囲が御座いましたらご提示下さい。	厨房排気及び特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統、クリーンルーム系統はシールを行うものとします。
1694	M-001、M-002	ダクトの防振について	特記仕様書にはダクトの防振については特に明記がございませんが不要と判断して宜しいでしょうか。必要な場合は、対象流体、施工区分、防振材料等を具体的にご提示下さい。	特にございません。
1695	M-001、M-002	ダクトの保温について	特記仕様書にはダクトの保温有無については標準仕様書第2編によると記載がございますが次の通りに判断して宜しいでしょうか。 外気 OA 全て保温 排気 EA 外壁から1.0m保温 全熱交換器系統の保温については、外壁より機器までのOA、EA、及び機器より制気口までのOAを保温対象といたしますが、宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1696	M-001、M-002	ダクトの保温について	特殊排気(ステンレス鋼板)ダクトの保温有無も一般排気に準拠するものと考えますが、宜しいでしょうか。 また、保温材質、保温厚に関しても標準仕様書に準拠するものと考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1697		クリーンルームについて	クリーンルームに該当する部屋についてご確認ください。 以下の部屋をクリーンルームの該当室と判断いたしますが、宜しいでしょうか。 2F 無菌室、ミキシングルーム 4F 各手術室、無菌室 7F CCU2床室 各階 クリーンエアコン設置室	1F 血管室、心カテ室、4F既滅菌室、5FGCU・未熟児室、分娩室、新生児室もクリーンルーム該当をお願いします。
1698		クリーンルームについて	クリーンルームに該当する部屋についてご確認ください。次の部屋をクリーンルームの該当室と判断いたしますがよろしいでしょうか。 2F 無菌室、ミキシングルーム 4F 各手術室、無菌室 7F CCU2床室 各階 クリーンエアコン設置室	1F 血管室、心カテ室、4F既滅菌室、5FGCU・未熟児室、分娩室、新生児室もクリーンルーム該当をお願いします。
1699		クリーンルームについて	クリーンルームに該当する部屋について下記の通りと想定いたしますが宜しいですか。 2F 無菌室、ミキシングルーム 4F 各手術室、無菌室 7F CCU2床室 各階 クリーンエアコン設置室	1F 血管室、心カテ室、4F既滅菌室、5FGCU・未熟児室、分娩室、新生児室もクリーンルーム該当をお願いします。
1700	M-001、M-002、 P-001、P-002	配管の保温について	蒸気管(還り)、及び医療機器冷却水管の保温工事は不要と考えて宜しいでしょうか。 また、RO水管の保温は給水に準拠するものと考えて宜しいでしょうか。	蒸気管(還り)の保温工事は不要とします。 医療機器冷却水管の保温工事は必要、冷水管の保温仕様とします。 RO水管の保温は給水に準拠するものとします。
1701	M-001、M-002、P-001、P-002 参考数量表	配管、ダクト材料について	配管(蒸気管)の配管材料が特記M-001と凡例M-002で異なります。 参考数量表を含め配管材料、ダクト材料については何を優先に考えれば宜しいでしょうか。	蒸気配管は、図番P-002の配管凡例・使用材料表を正とします。 配管材料、ダクト材料についても、図番M-002、P-002の配管凡例・使用材料表を正とします。
1702	M-001、P-001	工場検査について	製造工場等における材料検査を行う工事材料は監督員の指示によるとの記載が御座いますが、現状見積時では工場検査費用は不要と考えますが宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1703	M-001、P-001	遮音について	特記仕様書には配管及びダクトの遮音工事については特に記載がございませんが不要と判断してよろしいでしょうか。 必要な場合は、対象となる配管、ダクト、及び遮音材料の仕様をご提示下さい。	特にございません。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1704	M-001、P-001	配管の防振について	特記仕様書には配管の防振については特に明記がございませんが不要と判断して宜しいでしょうか。必要な場合は、対象流体、施工区分、防振材料等を具体的にご提示下さい。	特にございませぬ。
1705	M-001、P-001	アスベストについて	既設撤去に伴うアスベスト調査、分析及びアスベストの撤去、処分については該当無し、又は別途工事と考えますが宜しいですか。本工事にて見込む場合は対象材料、対応方法等を具体的にご提示下さい。	全て本工事とします。 アスベスト調査、分析及びアスベストの撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番M-703、P-801の表を参照すること。
1706	M002	排気ダクトの気密対応について	特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統に用いるダンパは、気密対応とする必要であると想定いたしますが、対象ダクトや許容漏洩量を御指示下さい。	気密ダンパーとします。 性能は2m3/1kPa時とします。
1707	M-002	排気ダクトの気密対応について	特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統に用いるダンパは、気密対応とする必要は御座いませんか。 必要な場合は対象ダクト、許容漏洩量をご指示下さい。	気密ダンパーとします。 性能は2m3/1kPa時とします。
1708	M-002	排気ダクトの気密対応について	特殊排気(ステンレス鋼板ダクト)系統に用いるダンパは、気密対応とする必要は御座いませんか。必要な場合は対象ダクト、許容漏洩量のご提示をお願いします。	気密ダンパーとします。 性能は2m3/1kPa時とします。
1709	M002,P002 参考数量表P730	配管材料について	歯科用配管(吸引・エアー)、中材配管(純水)についての配管材料は、参考数量表を正と考えて宜しいですか。	配管材料は、参考数量表を正とします。
1710	M002,P002 参考数量表P730	配管材料について	中材配管(純水)については、参考数量表でステンレス鋼管との記載が御座いますが、この配管に関しては、禁油品の使用、脱脂洗浄等、必要なものがございましたら御指示下さい。	特にございませぬ。
1711	M-002,P-002 参考数量表P-730	配管材料について	歯科用配管(吸引・エアー)、中材配管(純水)についての配管材料は、参考数量表を優先に考えれば宜しいですか。又、中材配管のみ保温工事が必要と考えますが宜しいですか。	配管材料は、参考数量表を正とします。 中材配管のみ保温するものとします。
1712	M-002,P-002 参考数量表P-730	配管材料について	中材配管(純水)については、参考数量表でステンレス鋼管との記載が御座いますが、この配管に関しては、禁油品の使用、脱脂洗浄等、必要なものがございましたらご指示下さい。	特にございませぬ。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1713	M004,337	緊急ヘリウム放出用配管について	工事区分表-2において工事区分表と下段の工事区分図ではクエンチ管の工事区分に相違があります。下段の工事区分図を正と考えて宜しいですか。又、配管はSUS304sch10と見え、末端は金網開放を想定いたしますが宜しいですか。	クエンチ管は、本工事とします。 配管は、配管用ステンレス鋼管SUS304sch10とし、末端は金網開放とします。
1714	M-004,337	緊急ヘリウム放出用配管について	工事区分表-2のに工事区分表と下段の工事区分図ではクエンチ管の工事区分が異なります。下段の工事区分図を優先に本工事と見え平面図記載の範囲を本工事と見えませんが宜しいですか。又、配管はSUS304sch10と見え、末端は金網開放と見えませんが宜しいですか。	クエンチ管は、本工事とします。 配管は、配管用ステンレス鋼管SUS304sch10とし、末端は金網開放とします。
1715	M-004、M-337	緊急ヘリウム放出用配管について	工事区分表-2の工事区分表と下段の工事区分図ではクエンチ管の工事区分が異なります。 下段の工事区分図を優先に本工事と見え平面図記載の範囲を本工事と見えませんが宜しいでしょうか。また、配管はSUS304sch10と見え、末端は金網開放と見えませんが宜しいでしょうか。	クエンチ管は、本工事とします。 配管は、配管用ステンレス鋼管SUS304sch10とし、末端は金網開放とします。
1716	M-100	空冷ヒートポンプチラーの高調波対策について	付属品にアクティブフィルターの記載がありません。換算係数 Ki=1.8を超過していないため、アクティブフィルター設置不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1717	M-100～M128	空調機器メーカーについて	空調機器リストに消費電力が記載されていますが、メーカー特有の数値となります。各空調機器メーカーでの同等機種に代替が可能として宜しいでしょうか。	機械確認各空調機器メーカーでの同等機種に代替が可能です。
1718	M-101、M-510～513、E-048～057	外調機インバータの工事区分について	M-101図では、ACC-2、3、4、20、21、22、23、24のINVは電気工事と記載されていますが、計装図では全ての外調機のINVが機器付属となっています。 また、電気設備図の動力盤リストでは、全ての外調機のINVは電気工事となっています。 電気設備図を正とし、外調機用INVは全て電気工事として宜しいでしょうか。	電気工事とします。
1719	M-102～123	空冷ヒートポンプエアコンの高調波対策について	共通事項 4)に、「インバータ制御機器は、高調波対策を行うこと」とありますが、換算係数 Ki=1.8を超過する機器がないので、アクティブフィルターは不要と考えて宜しいでしょうか。	アクティブフィルターを設置すること。
1720	M124,M337	1F FS1～3排気ファンFE-139について	1F FS1～3排気ファンFE-139について、機器表の台数は1台ですが平面図には3台図示されており相違があります。 平面図の台数を正と考えて宜しいですか。	図番M-337を正とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1721	M-124,M-337	1F FS1～3排気ファン FE-139について	1F FS1～3排気ファンFE-139について、機器表の台数は1台ですが平面図には3台図示あります。平面図の台数を優先いたしますがよろしいでしょうか。	図番M-337を正とします。
1722	M-124、M-337	1F FS1～3排気ファン FE-139について	1F FS1～3排気ファンFE-139について、機器表の台数は1台ですが平面図には3台図示あります。平面図の台数を優先いたしますが、宜しいでしょうか。	図番M-337を正とします。
1723	M129～147	VHS (F付) について	制気ロリストにVHS (F付) はフィレドンフィルターとの記載が御座いますが、フィレドンの種別としてはPS300相当と想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1724	M-129～147	VHS (F付) について	制気ロリストにVHS (F付) はフィレドンフィルターとの記載が御座いますが、フィレドンの種別としてはPS300相当と考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1725	M-129～147	VHS (F付) について	制気ロリストにVHS (F付) はフィレドンフィルターとの記載が御座いますが、フィレドンの種別としてはPS300相当で宜しいですか。	お見込みの通りです。
1726	M-206	空調ドレンの系統分け	空調機にアクティブフィルターは、必要ないでしょうか。ご指示ください。	図面番号と質疑内容が相違しています。 質疑内容への回答としては「機器表の機器には、アクティブフィルターが、必要です。」
1727	M-208～212、M-217～211、 M-514	漏水検知対策について	配管図では、漏水検知対策部分を通過するドレン管、加湿給水管はラッキングを行うとありますが、計装図では、ドレンパンを天井内に設置し漏水検知帯を敷設することになっています。配管にラッキングを行った上で、天井面にドレンパンを設置し、ドレンパン内に漏水検知帯を敷設すると考えて宜しいでしょうか。	本来の保温と、ラッキングの間に漏水検知器を布設するものとします。
1728	M217～223	冷暖切替ユニットの設置場所について	パッケージエアコン冷暖フリー機種に伴います冷暖切替ユニットが病室内等に設置して御座います。切替時の発生音が問題となり、メーカーのカタログ等でも寝室等の設置は避ける旨の記載が御座います。遮音対策(遮音材の仕様)等、具体的に御指示下さい。	切替ユニットは、廊下内に設置し、廊下内に設置できない場合は、遮音シートを巻く等の遮音対策を行うものとします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1729	M-217～223	冷暖切替ユニットの設置場所について	パッケージエアコン冷暖フリー機種に伴います、冷暖切替ユニットが病室内等に設置してあります。 切替時の発生音が問題となり、メーカーのカタログ等でも寝室等の設置は避ける旨の記載が御座いますが、どのように考えれば宜しいでしょうか。遮音対策(遮音材の仕様)等、具体的にご提示下さい。	切替ユニットは、廊下内に設置し、廊下内に設置できない場合は、遮音シートを巻く等の遮音対策を行うものとなります。
1730	M-217～223	冷暖切替ユニットの設置場所について	パッケージエアコン冷暖フリー機種に伴います冷暖切替ユニットが病室内等に設置して御座います。切替時の発生音が問題となり、メーカーのカタログ等でも寝室等の設置は避ける旨の記載が御座いますが、どのように考えれば宜しいですか。遮音対策(遮音材の仕様)等、具体的にご提示下さい。	切替ユニットは、廊下内に設置し、廊下内に設置できない場合は、遮音シートを巻く等の遮音対策を行うものとなります。
1731	M-217～223,003	冷暖切替ユニットの設置場所について	平面図に冷暖切替ユニット付近には点検口を設ける事との記載が御座いますが、この点検口の設置は工事区分表-1の記載通り建築工事と考えますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1732	M340,A221,A224	4F無菌個室工事区分について	4Fの無菌個室4室についてですが建築図に記載のあります無菌個室ユニット工事の工事範囲及び無菌個室ユニット図と4階ダクト平面図の空調ダクト及び換気ダクトに相違があります。 4階ダクト平面図を正と考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1733	M343	7F個室A(陰圧)E717～719のHEPA-702～705について	7F個室A(陰圧)E717～719のHEPA-702～705についてですが機器表に明記されていないため不明です。 機器の仕様を御指示下さい。	HEPA702～705共通 HEPAフィルター仕様:補修効率 計算法99.9%以上、寸法:305×305×150×1枚、フィルターボックス400w×400h×300dとしてください。
1734	M-343	7F個室A(陰圧)E717～719のHEPA-702～705について	7F個室A(陰圧)E717～719のHEPA-702～705についてですが機器表に明記がありません。 機器の仕様をご提示下さい。	HEPA702～705共通 HEPAフィルター仕様:補修効率 計算法99.9%以上、寸法:305×305×150×1枚、フィルターボックス400w×400h×300dとしてください。
1735	M-343	7F個室A(陰圧)E717～719のHEPA-702～705について	7F個室A(陰圧)E717～719のHEPA-702～705についてですが機器表に明記が御座いません。 機器の仕様をご提示下さい。	HEPA702～705共通 HEPAフィルター仕様:補修効率 計算法99.9%以上、寸法:305×305×150×1枚、フィルターボックス400w×400h×300dとしてください。
1736	M356,357	厨房フードの仕様について	厨房フードの仕様は化粧囲い付の二重フードを想定いたしますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1737	M-356,357	厨房フードの仕様について	厨房フードの仕様は化粧囲い付の二重フードと考えて宜しいですか。	お見込みの通りです。
1738	M-356、M-357	厨房フードの仕様について	厨房フードの仕様は化粧囲い付の二重フードと考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1739	M-510	設計図書確認	同じ図面ようですが、ダブリですか。	お見込みの通りです。
1740	M-700	既設油焚冷温水器吸収液処分について	既設油焚冷温水発生器のメーカーを御教示お願いします。	川崎重工業 株式会社同等としてください。
1741	M-700～703	既設撤去工事範囲について	既設撤去本工事範囲は、撤去機器リストの機器本体、冷媒回収処分及びアスベスト除去リストの継手・パッキンのみと考え、その他設備撤去は別途工事と考えて宜しいでしょうか。 (M-704～724救急棟、M-801健診センターに図示の配管、ダクト等の撤去は本工事)	解体する建物の設備全ての、撤去・処分も、全て本工事とします。
1742	M-700～704	空調設備撤去平面図配布について	撤去機器リスト・アスベスト数量の記載がありますが、対象の位置・配管ダクト数量が不明です。金額算出する為に位置・サイズ等が必要な為、空調設備撤去平面図の発行をお願い致します。	全て本工事とします。 アスベスト調査、分析及びアスベストの撤去、処分については、法規制に基づき行うこと。 撤去する、箇所部材は、図番M-703の表を参照すること。
1743	M-900	手術室工事区分について	工事区分で記載の御座います手術室の空調工事につきましては、全て専門工事メーカーの工事範疇(専門メーカーでの責任施工)と考えますが宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1744	M-900	手術室工事区分について	工事区分で記載の御座います手術室の空調工事につきましては、全て専門工事メーカーの工事範疇(専門メーカーでの責任施工)と考えますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1745	P001,300	配管の保温について	特記仕様書で消火配管の保温が必要との記載が御座いますが、消火(水消火)に関しては消火設備凡例の特記に記載の通り、屋外露出のみ保温工事を見込むものと想定いたしますが宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1746	P-001,300	配管の保温について	特記仕様書で消火配管の保温が必要との記載が御座いますが、消火(水消火)に関しては消火設備凡例の特記に記載の通り、屋外露出のみ保温工事を見込むものと考えますが宜しいですか。	お見込みの通りです。
1747	P-001、P-002	配管の保温について	特殊排水管の保温有無、保温仕様は汚水、雑排水に準拠するものと考えますが宜しいでしょうか。また、地下ピット内の排水管の保温断熱工事は全て不要と考えますが宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。
1748	P-001、P-300	配管の保温について	特記仕様書で消火配管の保温が必要との記載が御座いますが、消火(水消火)に関しては消火設備凡例の特記に記載の通り、屋外露出のみ保温工事を見込むものと考えて宜しいでしょうか。	お見込みの通りです。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1749	P-002	排水配管材料について	使用材料表記より高温排水、通気を抜いた各種排水は屋内一般をTMP、ピット内、屋外をVPと表記の通りと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	汚水管、雑排水管、手術系排水、薬品・検査系排水管、感染汚水管、感染雑排水管、RI汚水管、RI雑排水管、解剖系排水管、厨房排水管は、共通で、屋内一般:TMP、ピット内:VP、埋設:VP、ポンプアップ:HIVP、器具接続:VPとします。
1750	P-002	感染系排水他特殊排水管材について	感染排水他特殊排水の管材記載がありません。参考数量表通りの管材を正と考えて宜しいですか。	汚水管、雑排水管、手術系排水、薬品・検査系排水管、感染汚水管、感染雑排水管、RI汚水管、RI雑排水管、解剖系排水管、厨房排水管は、共通で、屋内一般:TMP、ピット内:VP、埋設:VP、ポンプアップ:HIVP、器具接続:VPとします。
1751	P-002 参考数量表P730	配管材料について	中材配管(純水)については、参考数量表でステンレス鋼管との記載が御座いますが、この配管に関しては、禁油品の使用、脱脂洗浄等、必要なものがございましたらご指示下さい。	特にごさいます。
1752	P-002、 参考数量表P730	配管材料について	歯科用配管(吸引・エアー)、中材配管(純水)についての配管材料は、参考数量表を優先に考えれば宜しいですか。また、中材配管のみ保温工が必要と考えますが宜しいでしょうか。	配管材料は、参考数量表を正とします。中材配管のみ保温するものとします。
1753	P-003,P-300	消火器工事区分について	工事区分表と消火設備の工事区分に相違があります。工事区分表を正と考えて宜しいですか。	図番P-300、図示の消火器、大型可搬式消火器等は、全て本工事とします。
1754	P-100、P-111	貯湯槽の負圧対策	貯湯槽の負圧対策として、負圧対策弁が必要と聞けてよろしいでしょうか	追加してください。
1755	P101	GTK-1,2 グリストラップ 環境改善装置について	GTK-1, 2について平面図には図示が御座いません。設置場所、配管接続、機器の詳細について御指示下さい。	設置場所はグリストラップの近傍のピット階内とします。機器の詳細は機器表を参照とすること。
1756	P-101	GTK-1, 2 グリストラップ 環境改善装置について	GTK-1, 2についてですが平面図には図示が御座いません。設置場所、配管接続、機器の詳細が確認出来ず資料のご提示をお願いします。	設置場所はグリストラップの近傍のピット階内とします。機器の詳細は機器表を参照とすること。
1757	P101,P126,P135	TD-2 RI導入槽について	TD-2の設置位置について図P-126とP-135に相違があります。P-135の図面を正と考えて宜しいですか。	建築図を正としてください。
1758	P101,P126,P135	PD-1 排水ポンプユニット RI用について	上記に伴いPD-1についてもP-135の図面を正と考えて宜しいですか。	図番P-126を正とします。
1759	P-101,P-126,P-135	TD-2 RI導入槽について	TD-2についてですが図P-126とP-135とでは設置場所が異なります。P-135の図面を優先と考えますがよろしいでしょうか。	図番P-126を正とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1760	P-101,P-126,P-135	PD-1 排水ポンプユニット RI用について	上記に伴いPD-1についても同様と考えますがよろしいでしょうか。	図番P-126を正とします。
1761	P-101、P-126、P-135	RI導入槽(TD-2)、排水ポンプ ユニット(PD-1)について	TD-2についてですが図P-126とP-135とでは設置場所が異なります。 P-135の図面を優先と考えますがよろしいでしょうか。 また、上記に伴い排水ポンプ(PD-1)についてもP-135の図面を正と考 えて宜しいでしょうか。	図番P-126を正とします。
1762	P-102	洗濯機パン、洗濯機用水栓 について	衛生器具表と細目別内訳表の洗濯機パンと洗濯用水栓の個数に相違が ありますが、衛生器具表を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 (同様の質問複数あり)	衛生器具表を正とします。
1763	P-107、P-148	混合水栓の個数について	衛生器具表には5階多目的室3に、混合水栓TKGG33ECが1個と記載が ありますが、詳細図には記載がありません。衛生器具表を正と考えてよろ しいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	衛生器具表を正とします。 当該混合水栓への給水管(20Aを最寄給水管まで)、給湯配管(20Aを最 寄給湯管まで)を追加します。 当該混合水栓を設置する流しの排水管(50Aを最寄排水管まで)を追加し ます。 意匠図には流し台を記載しております。
1764	P-109、P-154	混合水栓の個数について	衛生器具表には7階準備室2に、混合水栓TKGG33ECが2個と記載があり ますが、詳細図には1つしか記載がありません。衛生器具表を正と考えて よろしいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	衛生器具表を正とします。 当該混合水栓への給水管(20Aを最寄給水管まで)、給湯配管(20Aを最 寄給湯管まで)を追加します。 当該混合水栓を設置する流しの排水管(50Aを最寄排水管まで)を追加し ます。
1765	P-118 他 M-208 他	放射線防護処理について	放射線防護対象室と一般室の区画にて処理詳細が図面に記載されてお りますが、防護対象室間の壁貫通(例えば、X線撮影室と操作室の間仕切 り貫通)に関しては処理不要でしょうか。	必要です。
1766	P-118 他 M-208 他	放射線防護処理について	放射線防護対象室と一般室の区画にて処理詳細が図面に記載されてお りますが、防護対象室間の壁貫通(例えば、X線撮影室と操作室の間仕切 り貫通)に関しては処理不要でしょうか。	必要です。
1767	P-126	排水配管の表記について	救急棟からのED,ID排水管に地球側と表記がありますが、救急棟側と考 えてよろしいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	ピット階の地球側とします。
1768	P-141	3階厨房の床排水金物につ いて	厨房の排水金物の型番が不明です。床排水トラップのKT5Bと考えてよろ しいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	T5Bとします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1769	P-156	8階機械室の排水	機械室の床排水として、格子柵の排水は、不要と考えてよろしいでしょうか	お見込みの通りです。
1770	P-169～171	3階厨房機器について	厨房機器の品名に一部商品名が記載されていますが、品名型式指定ではなく、各厨房メーカー同等品での代替が可能として宜しいでしょうか。 ※リヒートクッカー・角釜立体炊飯器	同等品での代替が可能です。
1771	P-170、P-171	厨房機器について	設備図に記載の厨房機器と建築図に記載の厨房機器(A-294,295)で相違があります。 設備図を正と考えて宜しいでしょうか。 また、工事区分は設備工事と考えて宜しいでしょうか。(同様の質問複数あり)	建築図を正としてください。 工事区分は、設備工事とします。
1772	P-600～642	浄化槽仕様について	浄化槽処理方式について、メーカー特有のシステムとなっています。処理方式について、指定は無く、流入汚水量に対する処理水量及び水質を守れば、良いとの解釈で宜しいでしょうか。 また、その際の流入水情報(汚水量・水質)及び流出水情報を御教示お願いします。	設計図通りのシステムとします。
1773	P-700 他 M-700 他	機器類撤去について	撤去対象の機器類、配管等の資材類は、リサイクル指定機器を除き、すべて再使用を予定しない廃棄処分としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1774	P-700 他 M-700 他	機器類撤去について	撤去対象の機器類、配管等の資材類は、リサイクル指定機器を除き、すべて再使用を予定しない廃棄処分としてよろしいでしょうか。	お見込みの通りです。
1775	P-700、P-701	設計図書確認	同じ図面ようですが、ダブリですか。	お見込みの通りです。
1776	P-703	排水槽擁壁について	TD1,TD2排水槽の擁壁ですが、断面詳細図は建築工事となっています。排水槽の上部スラブのみ本工事と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	全て本工事とします。
1777	P-703	排水槽擁壁について	TD-1、TD-2排水槽の擁壁について、断面詳細図ではコンクリート擁壁が建築工事、コンクリートスラブが設備工事となっています。平面図では周囲コンクリート基礎・擁壁が本工事となっております。排水槽の上部スラブのみ本工事と考えて宜しいでしょうか。	全て本工事とします。
1778	P-703	排水槽擁壁について	TD1、TD2排水槽の擁壁ですが、断面詳細図は建築工事となっています。排水槽の上部スラブのみ本工事と考えて宜しいですか。	全て本工事とします。
1779	P-703	排水ポンプユニットについて	排水ポンプユニットの基礎、擁壁工事区分が平面図と左下断面図で異なります。コンクリート擁壁、基礎、上部スラブ工事は建築工事と考えて宜しいですか。	全て本工事とします。
1780	P-703	排水槽擁壁について	TD1,TD2排水槽の擁壁ですが、断面詳細図は建築工事となっています。排水槽の上部スラブのみ衛生工事と考えてよろしいでしょうか。	全て本工事とします。

	質問項目 (図面番号、書類の名称、ページ番号)	質問の要旨	質問の内容	回答
1781	P-703図	排水槽擁壁について	TD1,TD2排水槽の擁壁ですが、断面詳細図は建築工事となっています。排水槽の上部スラブのみ設備工事と考えてよろしいですか。	全て本工事とします。
1782	P-800～801	衛生設備撤去平面図配布について	撤去機器リスト・アスベスト数量の記載がありますが、対象の位置・配管数量が不明です。金額算出する為に位置・サイズ等が必要な為、衛生設備撤去平面図の発行をお願い致します。	図番P-800、P-801の表より積算してください。
1783	P900～905	仮設、迂回配管について	仮設、迂回時の外構部には、アスファルト舗装、コンクリート舗装は無きものとし、はつり及び復旧工事は該当無しと想定いたしますが宜しいですか。必要な場合は範囲等を御指示下さい。	仮設、迂回時の外構部は、全てアスファルト舗装があるものとし、はつり工事が必要です。 復旧は、施工方法により検討してください。
1784	P900～905	仮設、迂回配管について	仮設、迂回時の外構部には、アスファルト舗装、コンクリート舗装は無きものとし、はつり及び復旧工事は該当無しと考えますが宜しいですか。必要な場合は範囲等をご提示下さい。	仮設、迂回時の外構部は、全てアスファルト舗装があるものとし、はつり工事が必要です。 復旧は不要ですが、施工上必要な場合は、復旧してください。
1785	P-900～905	仮設、迂回配管について	仮設、迂回時の外構部には、アスファルト舗装、コンクリート舗装は無きものとし、はつり及び復旧工事は該当無しと考えますが宜しいですか。必要な場合は範囲等をご提示下さい。	仮設、迂回時の外構部は、全てアスファルト舗装があるものとし、はつり工事が必要です。 復旧は不要ですが、施工上必要な場合は、復旧してください。
1786	P-901	機器について	機器リストのTD-101,102,PD-101,102,103についてはRI排水メーカー業者への範囲に含まれるものと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。(同様の質問複数あり)	RI排水メーカー業者の範囲に含まれていませんが、全て本工事とします。
1787	P-902	仮設配管について	救急棟の仮設配管については、建築工事にて天井解体、及び復旧工事(養生共)を対応して頂けるものと考えますが宜しいですか。	お見込みの通りです。